

令和 4 年度

市 政 資 料 集



宮 津 市

## 目 次

---

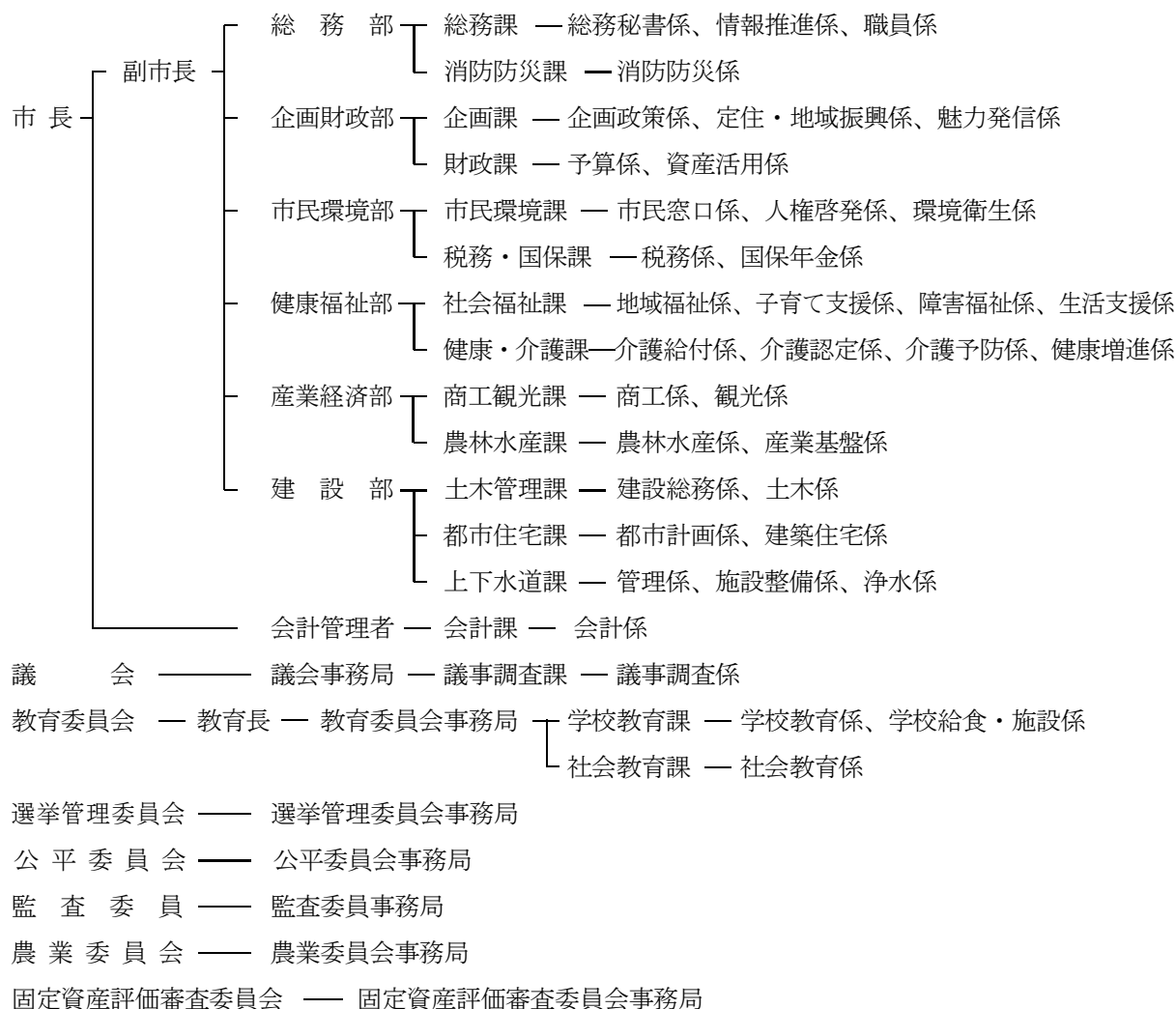
### ■部門別施策とその成果

第1章	総務課	1
第2章	消防防災課	18
第3章	企画課	24
第4章	財政課	54
第5章	市民環境課	60
第6章	税務・国保課	68
第7章	社会福祉課	76
第8章	健康・介護課	108
第9章	商工観光課	141
第10章	農林水産課	162
第11章	土木管理課	177
第12章	都市住宅課	186
第13章	上下水道課	192
第14章	会計課	202
第15章	学校教育課	203
第16章	社会教育課	221
第17章	選挙管理委員会	239
第18章	公平委員会	244
第19章	監査委員	245
第20章	農業委員会	247
第21章	議 会	251

# 第1章 総務課

## 第1節 行政

### 1 行政機構（令和4年4月1日現在）



### 2 議会招集

招集年月日	定例・臨時の別	招集年月日	定例・臨時の別
令和4年4月22日	令和4年第2回臨時会	令和4年8月30日	令和4年第6回定例会
令和4年5月23日	令和4年第3回定例会	令和4年11月30日	令和4年第7回定例会
令和4年7月20日	令和4年第4回臨時会	令和5年2月22日	令和5年第1回定例会
令和4年8月3日	令和4年第5回臨時会	-	-

### 3 条例・規則・その他（令和4年4月1日～令和5年3月31日に公示したもの）

- (1) 条例の制定・改廃  
制定5件、一部改正27件、廃止2件
- (2) 規則の制定・改廃  
制定3件、一部改正21件、廃止2件
- (3) その他例規（要綱、規程等）の制定・改廃  
制定19件、一部改正26件、廃止0件

#### 4 行政不服審査制度

行政不服審査会

○設置年月日 平成28年4月1日

○令和4年度審査会開催状況 0回

○令和4年度審査請求件数 0件

### 第2節 表彰

#### 1 表彰

○自治功労者 4人

宇都宮 直（木子） 中村 尚志（万町） 松岡 照幸（喜多） 宮本 光雄（須津）

### 第3節 人事・給与

#### 1 職員数

(1) 年度推移（4月1日現在）

年 度	平成5年度	平成17年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
職員数	360人	300人	246人	244人	242人	240人	238人

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
職員数	234人	235人 (1人)	233人 (5人)	223人 (3人)	218人 (2人)	213人 (1人)	205人 (1人)

※ 括弧書きは再任用職員（フルタイム勤務）の人数（内数）

(2) 職員の採用・退職状況

採 用	退 職
6人	7人

※ 再任用職員（フルタイム勤務）の人数は含んでいない。

#### 2 人事

(1) 事務局局別職員数の状況

部 局 別	区 分	令和4年4月1日 現 員	現員の内訳		令和3年4月1日 現 員
			男	女	
市長の事務局の職員		161人	104人	57人	161人
議会の事務局の職員		3	2	1	4
選挙管理委員会の事務局の職員		-	-	-	-
監査委員の事務局の職員		1	1	-	1
教育委員会の事務局の職員		28	11	17	33
農業委員会の事務局の職員		-	-	-	-
公平委員会の事務局の職員		-	-	-	-
公営企業の職員		12	11	1	12
合 計		205	129	76	213



## (2) 職員級別配置状況

(令和4年4月1日現在)

部局別		級別						計
		1	2	3	4	5	6	
市長の事務部局	総務部	2人	-人	8人	5人	3人	2人	20人
	企画財政部	4	2	8	5	4	2	25
	市民環境部	1	1	10	8	4	1	25
	健康福祉部	3	4	24	10	3	1	45
	産業経済部	4	-	9	5	5	2	25
	建設部	2	1	7	5	1	2	18
	会計課	-	-	1	1	1	-	3
	小計	16	8	67	39	21	10	161
議会の事務部局		-	-	-	1	1	1	3
選挙管理委員会の事務部局		-	-	-	-	-	-	-
監査委員の事務部局		-	-	-	-	1	-	1
教育委員会の事務部局		2	(4) 5	(1) 10	5	5	1	(5) 28
農業委員会の事務部局		-	-	-	-	-	-	2
公平委員会の事務部局		-	-	-	-	-	-	-
公営企業の職員 (水道事業・下水道事業)		-	-	7	4	1	-	12
合計		18	(4) 13	(1) 84	49	29	12	(5) 205

※ 事務局の( )内は、教育職の職員数で内数

## (3) 職員の定期人事異動状況

4月1日付の定期人事異動者数 63名

## (4) 職員の昇格・昇任状況

6級	5級	4級	3級	2級	計
3人	8人	13人	10人	5人	39人

## (5) 年齢別・職種別職員数の状況

(令和4年4月1日現在)

年齢	職種	一般行政職	税務職	看護保健職	福祉職	企業職	技能労務職	教育職(幼稚園)	合計
19歳未満		-人	-人	-人	-人	-人	-人	-人	-人
20～23		3	1	1	-	-	-	-	5
24～27		10	1	1	-	-	-	-	12
28～31		12	-	-	-	-	-	-	12
32～35		21	1	-	2	-	-	-	24
36～39		14	2	2	-	2	-	-	20
40～43		13	1	1	-	1	-	2	18
44～47		21	1	2	1	2	-	-	27
48～51		24	3	-	3	1	-	2	33

52～55	24	1	-	1	3	1	-	30
56～59	14	-	1	-	2	5	-	22
60歳以上	-	-	-	-	1	-	1	2
合計	156	11	8	7	12	6	5	205

(6) 職員の派遣状況等

ア 派遣

派遣先団体名	人数	市での職名	備考
宮津与謝消防組合	1人	係長	
宮津与謝環境組合	2	部長、課長	
京都府総務部自治振興課	1	主査	実務研修派遣
京都地方税機構（事務局）	1	主事	
京都地方税機構（丹後地方事務所）	1	係長	
京都府後期高齢者医療広域連合	1	主事	
京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）	1	課長	日々出張
京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）天橋立地域本部	1	課長	日々出張
計	9		

イ 受入れ

派遣元団体名	人数	市での職階	備考
宮津与謝消防組合	1人	主査	
京都府	1	部長	
(株) J T B	1	担当課長	
計	3		

3 給与

(1) 給与の改定等

財政健全化に向けた取組の一環として、市長、副市長及び教育長の給料の20%減額、また、一般職職員のうち管理職級の職員の管理職手当の50%減額を実施した。

令和3年人事院勧告に基づく国の法律改正が、令和4年4月に行われたことから、本市では同年6月に、国に準拠し、特別職職員の期末手当（△0.1月）及び一般職職員の期末手当（△0.15月）を減額改定した。

また、令和4年人事院勧告による国家公務員の給与改定等を受け、同年12月に特別職職員の期末手当（+0.05月）並びに一般職職員の給料表及び勤勉手当（+0.1月）を増額改定した。

(2) 人件費の状況（全会計）

区 分	令和3年度	令和4年度	前年度比	
	千円	千円	千円	
給料(報酬)手当	議 員	73,714	75,188	1,474
	各種委員会等委員	61,340	68,772	7,432
	会計年度任用職員	252,905	256,388	3,483
	市長等特別職職員	31,014	30,619	△395
	一 般 職 職 員	1,275,027	1,237,848	△37,179
上記に係る共済費	325,448	316,007	△9,441	
京都府市町村職員退職手当組合負担金	154,691	149,792	△4,899	
人 件 費 合 計	2,174,139	2,134,614	△39,525	
4月1日現在の職員数	人 213	人 205	人 △8	
ラ ス パ イ レ ス 指 数	97.0	96.9	△0.1	

※水道事業会計及び下水道事業会計（令和2年度から）に係る人件費については、消費税及び地方消費税を

含まない。

※ラスパイレース指数とは、各年4月1日現在の国家公務員給与水準を100とした場合の宮津市職員の給与水準を示す指数。

#### 4 主な制度改革

##### (1) 育児短時間勤務制度等

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、職員の育児短時間勤務制度の創設（半日程度の短時間勤務が可能）や、育児休業を原則1回から2回（分割取得）とすることを可能とするなどの改定を行った。（令和4年10月1日施行）

##### (2) 定年延長

地方公務員法等の一部を改正する法律（令和3年法律第63号）が令和3年6月に公布され、地方公務員の定年が引き上げられること等に伴い、職員の定年年齢の65歳への段階的な引き上げ、管理監督職勤務上限年齢制（役職定年制）の創設などを行った。（令和5年4月1日施行）

##### (3) 会計年度任用職員の積極活用

第2期行財政運営指針に定める、「市役所の組織・定数の更なる見直し」を進める中、会計年度任用職員制度を積極活用するため、職種区分の整理、給料体系の改善及びパートタイム勤務時間の延長を行った。（令和5年4月1日施行）

#### 5 職員研修

##### (1) 階層別研修

###### ア 新規採用職員研修

研修内容	期間	人員	方法	実施機関
採用時研修	令和4年4月1日 4月4日	5	集合	宮津市
職場研修	令和4年4月1日 ～9月30日	5	-	宮津市
新入社員研修	令和4年4月14日	5	オンライン	宮津商工会議所
法制執務の入門（基本原理）	令和4年5月18日 ～7月17日	4	eラーニング	京都府市町村振興協会
議会傍聴	令和4年6月2日	5	-	宮津市
新規採用職員研修（地方自治法・地方公務員法）	令和4年7月20日 ～9月19日	4	eラーニング	京都府市町村振興協会
新規採用職員基礎研修	令和4年10月26日 ～10月27日	3	集合	京都府市町村振興協会

###### イ 若手職員（主事級）研修

研修内容	期間	人員	方法	実施機関
フォロワーシップ・コミュニケーション（3年目研修）	令和4年6月7日 ～6月8日 令和4年8月30日 ～8月31日 令和4年11月1日 ～11月2日	8	集合	京都府市町村振興協会
会計制度・契約事務（3年目研修）	令和4年8月17日 ～10月16日	4	eラーニング	京都府市町村振興協会

問題解決・政策形成 (5年目研修)	令和4年5月31日 ～6月1日	2	集合	京都府市町村振興 協会
防災・危機管理 (5年目研修)	令和4年6月22日	1	オンライン	京都府市町村振興 協会
クレーム対応・接遇 (5年目研修)	令和4年12月21日	2	集合	京都府市町村振興 協会

ウ 中堅職員（主査・主任級）研修

研修内容	期間	人員	方法	実施機関
後輩指導力・調整力 (7年目研修)	令和4年9月27日 令和4年10月4日	2	集合	京都府市町村振興 協会
チームリーダーとしての役割 (10年目研修)	令和4年7月27日	4	集合	京都府市町村振興 協会
変化の時代のキャリアデザイン (10年目研修)	令和4年8月1日 ～9月30日	3	eラーニング	京都府市町村振興 協会

エ 監督職員（係長・課長補佐級）研修

研修内容	期間	人員	方法	実施機関
新任係長研修	令和4年5月12日 ～5月13日 令和4年6月9日 ～6月10日	4	集合	京都府市町村振興 協会
コンプライアンス・リスクマネジ メント（課長補佐研修）	令和4年6月14日 ～6月15日	2	集合	京都府市町村振興 協会

オ 管理職員（課長・部長級）研修

研修内容	期間	人員	方法	実施機関
マネジメント研修（課長研修）	令和4年8月2日	1	集合	京都府市町村振興 協会
ハラスメント研修（課長研修）	令和4年10月3日 ～10月21日	10	eラーニング	京都府市町村振興 協会

(2) 能力開発研修

研修内容	期間	人員	方法	実施機関
地域創生リーダー人財創発事業 「持続可能な地域コミュニティ・ 自治組織のあり方」 〔講師〕東京農業大学教授・博士 東京農業大学大学院非常勤講師 日本地域創生学会長・地域創生 実践総合研究所長 木村俊昭氏	令和4年6月9日 ～11月12日 (うち12日間)	12	集合・現地 視察	宮津市
地方創生戦略立案	令和4年6月16日、 6月23日、6月30日	1	集合	京都府市町村振興 協会
情報セキュリティ研修	令和4年8月11日 ～8月19日	125	eラーニン グ	宮津市
法制執務の基礎（読み方・作り 方）	令和4年9月13日 ～9月16日 (うち2日間)	4	オンライン	京都府市町村振興 協会
DX人材研修（基礎編）	令和4年9月15日	全職員	ハイブリッ ド	宮津市
使用料等の債権回収	令和4年10月3日 ～10月7日	3	集合	全国市町村国際文 化研究所
エクセル研修（基礎・応用）	令和4年10月31日 ～12月26日	20	eラーニン グ	京都府市町村振興 協会

法制執務研修	令和4年11月29日	56	集合	宮津市
女性職員のためのキャリアデザイン	令和4年12月9日	1	集合	京都市市町村振興協会
行政におけるAI・IoT・IcT	令和4年12月23日	1	集合	京都市市町村振興協会
一般質問答弁書作成等に係る研修会	令和4年12月27日	95	集合	宮津市
DX人材研修（応用編）	令和5年1月27日	22	集合	宮津市

### (3) 特別研修

研修内容	期間	人員	方法	実施機関
人権問題研修 アンコンシャス・バイアスとは何か？～身近な偏見、ネットと差別、そして人権～ 〔講師〕東洋大学社会学部教授 北村 英哉 氏	令和4年6月16日	21	集合	宮津市
標的型メール攻撃訓練	令和4年7月14日 (第1回) 令和4年8月31日 (第2回)	224	メール	宮津市
木造家屋評価研修会	令和4年8月9日 ～8月10日	1	集合	京都市市町村振興協会
市町村1期目議員研修会	令和4年8月24日	4	集合	京都市市町村振興協会
丹後塾 第1回 「デジタルが生み出す新たな価値とその活かし方」	令和4年10月6日	2	オンライン	丹後広域振興局
監査委員研修会	令和4年10月18日	3	集合	京都市市町村振興協会
北部7市合同研修	令和4年10月20日	3	集合	北部7市
人権問題研修 「子どもを『SNS性被害・性暴力』から守る」～子どもから信頼される大人になるために～ 〔講師〕京都教育大学非常勤講師・立命館大学非常勤講師 関口 久志 氏	令和4年10月21日	20	集合	宮津市
丹後塾 第2回 「デジタル社会における事業立案」	令和4年12月1日	4	オンライン	丹後広域振興局
丹後塾 第3回 「デジタル社会の業務はどう変わる？」	令和5年1月16日	2	オンライン	丹後広域振興局
議会運営実務研修	令和5年1月16日 ～2月10日	2	eラーニング	京都市市町村振興協会
市町村トップセミナー	令和5年2月10日	2	オンライン	市町村 アカデミー

### (4) 職場環境の向上

#### ア 職員と市長との座談会の開催

風通しの良い組織風土の醸成と職員の士気向上を図るため、新規採用職員、女性職員、若手（主事、

主査級) 職員と市長との座談会を開催 (計5回)。

#### 第4節 文書管理

##### 1 情報公開・個人情報保護制度

###### (1) 情報公開制度

ア 開示請求の件数及び処理の状況 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) (単位: 件)

実施機関	請求件数	処 理 の 状 況						取下げ	
		開 示		不開示	存否応答拒否	不存在等	計		
		全部開示	部分開示						
市 長	33	29	16	13	1	0	3	33	0
教育委員会	1	0	0	0	0	0	0	0	1
選挙管理委員会	1	1	0	1	0	0	0	1	0
公平委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0
監 査 委 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産評価 審査委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議 会	9	5	5	0	0	0	3	8	1
合 計	44	35	21	14	1	0	6	42	2

イ 不服申立ての状況 (単位: 件)

不服申立て 件 数	処 理 の 状 況					取下げ	審査中
	却 下	棄 却	一部認容	認 容	計		
0	0	1	0	0	0	0	0

###### (2) 個人情報保護制度

ア 開示請求の件数及び処理の状況 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) (単位: 件)

実施機関	請求件数	処 理 の 状 況						取下げ	
		開 示		不開示	存否応答拒否	不存在等	計		
		全部開示	部分開示						
市 長	21	21	3	18	0	0	0	21	0
教育委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0
選挙管理委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公平委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0
監 査 委 員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産評価 審査委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0
議 会	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	21	21	3	18	0	0	0	21	0

イ 不服申立ての状況 (単位: 件)

不服申立て 件 数	処 理 の 状 況					取下げ	審査中
	却 下	棄 却	一部認容	認 容	計		
0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 情報公開・個人情報保護審査会

○設置年月日 平成14年4月1日

○審査会開催状況 3回

## 2 行政文書管理

(1) 告示

要綱等の制定等に関するもの	42件
使用料徴収事務等の委託に関するもの	14
議会の招集に関するもの	7
公印に関するもの	0
地縁による団体に関するもの	28
予防接種の実施に関するもの	12
公の施設の指定管理者に関するもの	7
その他	11
合 計	121

(2) 公告

農業振興等に関するもの	11件
職員の採用試験に関するもの	7
公示送達書	12
市営住宅に関するもの	8
制度に係る状況の公表に関するもの	3
一般競争入札に関するもの	4
その他	4
合 計	49

(3) 公報の編集発行

発行回数 12回 (第902号～第913号)

## 3 郵便物発送状況

区 分	料 金(円)
1. 料金後納郵便	20,780,748
2. レターパック等購入	926,460
3. 料金受取人払	2,700,566
4. 小荷物運搬	252,132
5. レタックス	79,680
合 計	24,739,586

上記のうち、地区連絡所あて文書郵送状況

区 分	件 数(件)	内容件数(件)	料 金(円)
上宮津地区連絡所	119	3,886	9,490
栗田地区連絡所	111	4,060	53,030
由良地区連絡所	117	3,738	57,640
吉津地区連絡所	116	4,214	55,530
府中地区連絡所	121	4,937	59,980
日置地区連絡所	118	2,453	55,700
世屋地区連絡所	37	107	14,630
養老地区連絡所	115	2,093	51,294
日ヶ谷地区連絡所	93	612	39,780
合 計	947	26,100	397,074

## 第5節 自治会・国際交流等

### 1 自治会

#### (1) 令和4年度宮津市自治連合協議会

##### ア 役員

会長 岩田 光雄 (日吉自治会長)  
 副会長 岩田 一秀 (宮村自治会長) 八尋 慈教 (小田自治会長)  
 一色 立雄 (宮津市府中地区連合自治会長) 瀬戸 享明 (浜自治会長)  
 石田 弘司 (宮津市日ヶ谷地区自治連合会長)  
 会計 市田 登志通 (矢原自治会長)

##### イ 会議の開催

開催年月	事業等	内 容
令和4年4月28日	第1回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和4年度役員を選出及び役割分担について</li> <li>○令和3年度決算について</li> <li>○令和4年度事業計画及び予算(案)について</li> <li>○「令和4年度宮津市単位自治会報償金及び資源ごみリサイクル報奨金の支給額」並びに「令和4年度地区自治連合協議会報償金」について</li> <li>○令和4年度定例総会について ほか</li> <li>○連絡事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津市社会福祉協議会からの連絡事項</li> <li>・各部課からの連絡事項等</li> <li>①火災情報に関わる配信の変更について (消防防災課)</li> <li>②空家空地対策及び移住促進特別区域の指定に向けて (企画課)</li> <li>③民生児童委員一斉改選 候補者選出依頼の事前依頼 (社会福祉課)</li> </ul> </li> </ul>
5月12日	総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和3年度事業報告・決算</li> <li>○令和4年度事業計画・予算</li> <li>○報告事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>・転入転居時の自治会長・民生委員への情報提供の事務処理の変更について</li> <li>・自治連合協議会「持続可能な地域コミュニティ検討部会」の取組概要</li> </ul> </li> <li>○市からの報告説明事項 (総務部)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会のための市制度活用ガイドの概要説明</li> <li>・火災情報に関わる配信の変更について</li> <li>・消防団員の募集について (市民環境部)</li> <li>・マイナンバーカード出張申請受付について (健康福祉部)</li> <li>・令和4年民生児童委員の一斉改選について</li> <li>・生活支援体制整備事業の説明及び活動内容の報告並びに活動への参加協力依頼について (選挙管理委員会)</li> <li>・宮津市長選挙及び宮津市議会議員一般選挙について</li> </ul> </li> </ul>
8月29日	第1回持続可能な地域コミュニティ検討部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昨年度の取組について</li> <li>○今年度の取組について</li> </ul>
9月29日	第2回持続可能な地域コミュニティ検討部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治会の役割について</li> </ul>



10月11日	第2回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修会について</li> <li>○京都府北部五市自治連合会長会議について</li> <li>○各部課からの連絡事項等 <ul style="list-style-type: none"> <li>①宮津市原子力災害住民避難計画の全部改定（令和5年3月予定）概要案の説明（消防防災課）</li> <li>②マイナンバーカードの自治会出張申請受付の実施について（市民環境課）</li> <li>③デジタル化に向けた宮津市の現在の整備状況と今後の展望等について（企画課）</li> <li>④京都府の移住条例に基づく「移住促進特別区域」の指定について（企画課）</li> </ul> </li> </ul>
10月31日	第3回持続可能な地域コミュニティ検討部会	○自治会主体ですべきこと、市からの依頼事項等の整理
11月15日	宮津市自治連合協議会研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○溝尻地域づくりの取組 講師：村上光一氏</li> <li>○持続可能な地域づくりの処方箋 講師：杉岡秀紀先生（福知山公立大学地域経営学部准教授）</li> </ul>
11月24日	京都府北部五市自治連合会長会議（舞鶴市）	○取組状況等の報告、意見交換
11月30日	第4回持続可能な地域コミュニティ検討部会	○自治会の役割を果たせる組織について
12月23日	第5回持続可能な地域コミュニティ検討部会	○今年度のまとめ、次年度の取組について
令和5年2月6日	議会への申し入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宮津市議会議員の定数及び報酬等について <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宮津市議会議員定数問題 中長期を見据えた宮津市議会議員定数の在り方について</li> <li>2. 宮津市議会議員報酬問題 近隣自治体比較による議員報酬の在り方について</li> </ol> </li> </ul>
2月24日	第3回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和4年度事業報告・決算見込について</li> <li>○鳥が尾自治会の上宮津自治連合会からの脱会について</li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市からの連絡事項等 <ul style="list-style-type: none"> <li>①宮津市原子力災害住民避難計画について（消防防災課）</li> <li>②交通安全対策について（市民環境課）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○確認事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市自治連幹事の選出について</li> <li>・令和5年度幹事会と定例総会の日程（調整案）</li> </ul> </li> </ul>

(2) 自治会等に対する助成

区 分	助成金（円）	備 考
単位自治会報償金	8,700,050	
地区自治連合協議会報償金	4,600,000	
宮津市自治連合協議会事業費補助金	915,000	自治会活動保険補助金409,000円含む。
資源ごみリサイクル報奨金	1,170,000	
合 計	15,385,050	

(3) 自治会集会施設等整備事業に対する補助金

事業区分	自治会名	事業内容	事業費（円）	補助金（円）
自治会集会施設	天神	屋根改修	1,779,965	530,000
	城東	トイレ改修	3,571,598	850,000

整備事業	天橋	トイレ改修	1,628,000	650,000
	万町	雨樋修繕	784,795	230,000
	今福	トイレ改修	1,470,000	430,000
	小計	5件	9,234,358	2,690,000
有線放送施設整備事業	由良脇	防災行政無線との接続	391,600	150,000
	小計	1件	391,600	150,000
テレビ共同受信施設整備事業	上宮津テレビ共同受信施設組合	光ケーブル化改修	4,026,000	1,610,000
	小計	1件	4,026,000	1,610,000
合計		7件	13,651,958	4,450,000

※今福自治会は令和3年度からの繰越し

(4) 地縁による団体の認可(地方自治法第260条の2に基づく自治会の法人化)

令和3年度末の認可団体数	35団体
令和4年度の認可団体数	2団体
令和4年度末の認可団体数	37団体

## 2 市民実践活動施設の管理運営

(1) 指定管理料

	令和4年度 指定管理料(円)	令和3年度 指定管理料(円)	前年度対比
宮津運動公園	15,301,942	15,840,622	△538,680
市民体育館	15,517,955	13,504,376	2,013,579
中央公民館	4,340,746	4,145,400	195,346
みやづ歴史の館	28,264,509	31,462,117	△3,197,608
市民実践活動推進	22,683,046	23,849,069	△1,166,023
合計	86,108,198	88,801,584	△2,693,386

(2) 利用料金

	令和4年度 利用料金(円)	令和3年度 利用料金(円)	前年度対比
宮津運動公園	1,253,627	913,596	340,031
市民体育館	5,694,993	5,407,879	287,114
中央公民館	1,396,649	1,147,786	248,863
みやづ歴史の館	2,133,223	1,864,326	268,897
合計	10,478,492	9,333,587	1,144,905

(3) 施設利用状況等

施設名	令和4年度		令和3年度		前年度対比	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
宮津運動公園	502	16,648	297	12,254	205	4,394
市民体育館	6,077	51,559	4,680	38,355	1,397	13,204
中央公民館	1,527	15,024	1,278	11,712	249	3,312
みやづ歴史の館	121	10,383	96	7,227	25	3,156
合計	8,227	93,614	6,351	69,548	1,876	24,066

※各施設の詳細な利用状況は、それぞれの施設所管課の章において掲載

(4) 自主事業の展開

ア スポーツ事業

事業名	概要		
	種類	回数	参加者延人数
スポーツ教室	ヨガ(入門)	32	317

	ピラティス	37	267
	ダンベル体操	3	3
卓球	基礎	22	43
	初級	59	229
	中級	32	152
	中～上級	32	348
	卓球体験会	37	349
	合計	254	1,708

イ 文化事業

事業名	概要
音楽の「チ・カ・ラ」 感動コンサート	開催日時 令和4年7月17日(金) 午後1時30分開演 場 所 みやづ歴史の館文化ホール 入 場 者 160人 入場料収入 315,000円
京都府地域における舞台芸術振興・ 次世代体験推進事業  桂米朝一門 「家族で楽しむ落語会」	開催日時 令和4年9月11日(日) 場 所 みやづ歴史の館文化ホール 入 場 者 88人 入場料収入 294,500円 (内京都府補助金 175,000円)
冬の丹州ジャズ フェスティバル2022	開催日時 令和4年12月11日(日)午後3時15分開演 場 所 みやづ歴史の館文化ホール及びロビー 入 場 者 162人
NHK公開収録 「上方演芸会」	開催日時 令和4年10月21日(金)午後6時30分開演 場 所 みやづ歴史の館文化ホール 入 場 者 180人
市民映画の日 みやづシネマ劇場	①令和4年5月7日(土) 「そしてバトンは渡された」 入場者 174人 ②令和4年6月18日(土) 「99.9 刑事専門弁護士—THE MOVIE」 入場者 208人 ③令和4年7月30日(土) 「コーダ あいのうた」 入場者合計 92人 ④令和4年9月3日(土) 「とんび」 入場者合計 152人 ⑤令和4年11月13日(日) 「破戒」 入場者合計 120人 ⑥令和4年12月3日(土) 「老後の資金がありません！」 入場者合計 170人 ⑦令和5年3月11日(土) 「異動辞令は音楽隊！」 入場者合計 150人 上映時間 午前10時 午後2時 午後6時 場 所 みやづ歴史の館文化ホール 入場料収入 773,800円
スタインウェイピアノを弾こう！	1回目 開催日時 7月23日(土) 24日(日) 場 所 みやづ歴史の館文化ホール 参加者 21人 参加料 11,000円 2回目 開催日時 10月15日(土) 16日(日) 場 所 みやづ歴史の館文化ホール 参加者 38人 参加料 15,000円
ステージメンバーズ	会員数 97人 (うち新規会員 4人)、催物案内等 会費収入 48,500円

### 3 国際交流（姉妹都市・友好都市との交流）等

事業名	内容
ニュージーランド・ネルソン市 オンライン交流事業	期 日：令和4年5月、7月、10月、令和5年2月 参加者：吉津小学校生徒（5月、10月、2月） 府立海洋高等学校生徒（7月） 各学校の授業時間にZoomを活用した現地の学生、姉妹都市協会会員等とのオンラインでの交流を行った。
アメリカ・デルレイビーチ市 姉妹都市提携45周年記念展示等	○記念展示 期 日：令和4年9月30日～10月13日 場 所：宮津市立図書館 姉妹都市提携45周年を記念し、デルレイビーチ市の概要、関連書籍、両市の交流の歩み等を展示した。 ○記念品の贈呈 姉妹都市提携45周年を記念し、記念品（楯）を贈呈した。
外国人向け防災教室の実施	期 日：令和4年11月5日 参加者：ベトナム人技能実習生28人、事業者2人 公益財団法人京都府国際センター、宮津与謝消防署（宮津分署）との共催により、市内事業所で働く在住外国人を対象に、起震車体験、地震に対する備え（座学）等を行い、地震災害時に備えるための防災教室を実施した。

### 4 防犯カメラ等による地域防犯

#### (1) 防犯カメラの設置・運用によるまちな見守り

○設置場所（令和4年度末現在）

浜町交差点付近、宮津与謝消防組合前交差点付近、宮津天橋立IC付近、由良もみじ公園付近、  
府中籠神社前国道付近、丹後由良駅前、宮津駅前、栗田駅前、小天橋前T字路、岩滝口駅前

○宮津警察への映像提供件数：3件（照会7件）

#### (2) ドライブレコーダーによる見守り活動

○協力事業所数：56事業所

○車両登録台数：538台

## 第6節 電算管理

### 1 宮津市のコンピュータシステム（令和4年度末現在）

#### (1) 住民情報管理システム

住民情報総合システム			
① 市町村基幹業務支援システム（住記・税系、福祉系）			
住民記録システム	印鑑証明システム	選挙システム	
宛名・住民登録外システム	国民健康保険システム	国民年金システム	
期日前・不在者投票システム	個人住民税システム	固定資産税システム	
軽自動車税システム	収滞納管理システム	OCR システム	
宛名管理・住民登録外システム （福祉系）	介護保険システム	後期高齢者医療システム	
子育て支援医療システム	母子医療システム	老人医療システム	
障がい者医療システム	児童手当システム	収納管理（福祉系）システム	
児童扶養手当システム			
② その他のシステム			

	住民基本台帳ネットワークシステム	し尿汲み取りシステム	子ども・子育て支援システム
	障害者福祉システム	公営住宅管理システム	下水道受益者負担金システム
	水道料金システム	学齢簿システム	団体内統合宛名番号連携サーバシステム
	申告支援システム	学校給食費システム	
健康管理システム			
	基本健康診査システム	母子保健システム	保健事業管理システム
	各種がん検診システム	統計システム	訪問指導支援システム
	予防接種システム		
その他のシステム			
	戸籍総合システム	生活保護電算システム	生活保護レセプト管理システム
	農地等総合管理システム	土地・家屋管理システム	

(2) 内部業務管理システム

東部不燃物処理場電子計量システム	土地改良工事積算システム	公共施設予約管理システム
収蔵資料管理システム	文化財検索システム	図書館情報システム
例規集管理検索システム	公的個人認証システム	財務会計システム
総合行政ネットワークシステム	人事給与システム	国保療養給付費調整交付金システム
水道企業会計システム	起債管理システム	公共工事積算システム
防災・地域情報（映像）システム	営繕積算システム	水田情報管理システム
水道工事積算システム	農地地図情報システム	中山間評価システム

## 2 情報基盤の整備

(1) 府内自治体との共同開発及び運用

府内自治体が加入する京都府自治体情報化推進協議会において共同開発した統合型GIS（地理情報システム）、被災者生活再建支援システム、電子申請システム等の運用を継続するとともに、市町村基幹業務支援システムの改修を実施した。

(2) 情報インフラの整備

自治体情報セキュリティ強靱化サーバ、人事給与システムサーバ及び財務会計システムサーバの更新を実施した。

(3) DXの推進について

国の補助金（地方創生臨時交付金、デジタル基盤改革支援補助金）を活用して、各税の令和5年当初賦課のアウトソーシングのためのプログラム開発やテレワーク環境の整備、AIOCRの導入、自治体オンライン手続推進のためのシステム構築等を実施した。

(4) 電算システムの管理運営等に係る経費の状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
委託料	千円 43,896	千円 39,079	千円 53,486	千円 42,078 (6,029)	千円 66,519 (30,785)

使用料及び賃借料	44,451	61,911	64,103	63,442	50,834
備品購入費	62	0	5,280	0	0
その他	16,324	25,387	24,472	30,599 (3,371)	26,347
合計	104,733	126,377	147,341	136,119 (9,400)	143,700 (30,785)

### 3 行政DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

デジタル技術の活用により、市民生活の利便性の向上や地域課題解決につなげるとともに、市役所業務の効率化・高度化を図るため、計画策定等を実施した。

#### (1) 宮津市DX推進計画

- ・令和4年12月策定

#### (2) 専門人材の確保

- ・デジタル外部人材として未来戦略マネージャー2名を委託配置

#### (3) デジタル技術を活用したサービス等の高度化・向上

- (2 情報基盤の整備 (3) DXの推進について再掲)

国の補助金（地方創生臨時交付金、デジタル基盤改革支援補助金）を活用して、各税の令和5年当初賦課のアウトソーシングのためのプログラム開発やテレワーク環境の整備、AIOCRの導入、自治体オンライン手続推進のためのシステム構築等を実施した。

## 第7節 統計

### 1 基幹統計調査の実施

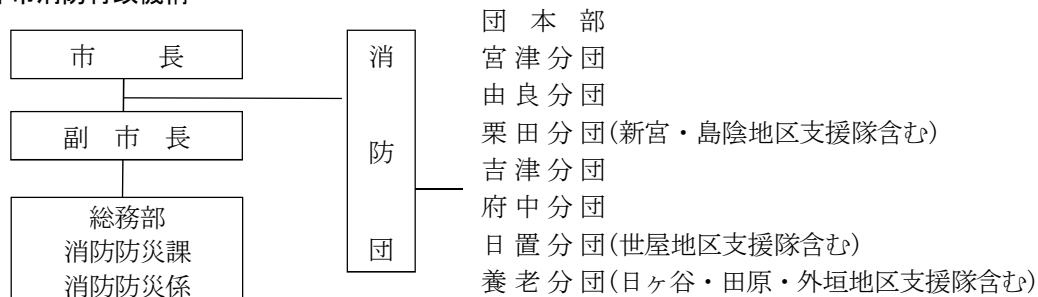
調査名	調査期日・期間	調査費(円)	調査概要	
令和4年学校基本調査	令和4年5月1日 (毎年)	13,554	・調査目的 ・調査対象 ・調査事項	学校に関する基本項目を調査し、学校教育、行政上の基礎資料とする。 市内幼稚園、小・中学校及び各種学校、教育委員会 職員数、学校数、児童生徒数等
令和4年港湾統計調査	通年 (毎年)	150,700	・調査目的 ・調査対象 ・調査事項	港湾の実態を明らかにし、港湾の開発、利用、管理の基礎とする。 宮津港への入港船舶 隻数、トン数、海上出入貨物数等
令和4年就業構造基本調査	令和4年10月1日	355,182	・調査目的 ・調査対象 ・調査員数	国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料とする。 抽出された全国108万世帯の中の15歳以上の者（宮津市では90世帯が対象） 6名
令和5年住宅・土地統計調査単位区設定	令和5年2月1日	251,000	・実施目的 ・指導員数	令和5年住宅・土地統計調査の実施に先立ち、調査員が担当する調査区域を明確にし、調査の円滑な実施と結果精度の向上を図ること。 7名
令和4年経済センサス調査区管理	—	8,000	・管理目的	経済センサス基礎調査において設定した調査区を今後の経済センサス調査区として管理し、必要な修正を行うことにより、事業所・企業を対象とする各種統計調査実施の基礎資料として利用に供

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理対象</li> <li>・管理項目</li> </ul>	<p>すること。 宮津市の区域に設定された調査区 調査区修正の有無の確認等</p>
令和4年度統計調査員確保対策事業	通年 (毎年)	24,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業目的</li> <li>・登録者</li> </ul>	<p>統計調査員希望者をあらかじめ登録しておき、その資質の向上を図ることによって、各種統計調査の実施に際して必要とする統計調査員を容易に確保すること。 65名（令和4年度末時点）</p>
合 計		802,436		

## 第2章 消防防災課

### 第1節 消防団

#### 1 宮津市消防行政機構



※地区支援隊 過疎高齢化等で「分団」又は「部」による消防団機能が維持できなくなった地域において、火災出動等の限定的な活動を行う支援団員によって設置するもの。

※常備消防については、宮津市・伊根町・与謝野町において宮津与謝消防組合（一部事務組合）を設置

#### 2 消防団員数

(単位：人)

階級別	実員	
	R4. 4. 1 現在	R5. 4. 1 現在
団 長	1	1
副 団 長	3	3
分 団 長	11	11
副分団長	14	14
部 長	34	34
班 長	55	55
団 員	209 (49)	199 (47)
計	327 (49)	317 (47)

※（うち支援団員）

#### 3 表彰

##### (1) 消防出初式における表彰

(単位：人)

①京都府消防協会長 功績章	1
②京都府消防協会長 勤功章	1
③京都府消防協会長 精績章	2
④京都府消防協会長 精勤章	5
⑤宮津市長表彰	7
⑥両丹都市消防協議会長表彰	7
⑦京都府消防協会丹後ブロック消防連絡協議会長表彰	3
⑧京都府消防協会宮津与謝支部長表彰	10
⑨宮津市消防団長特別 20 年勤続表彰	14
⑩宮津市消防団長表彰	7

##### (2) その他の表彰

①京都府知事 功労章	1
②京都府知事 永年勤続功労章	2
③日本消防協会長 功績章	1
④日本消防協会長 精績章	1
⑤日本消防協会長 勤続章	1
⑥京都府知事 精励章	4
⑦消防庁長官表彰 永年勤続功労章	2
⑧四世代消防団員表彰	4



#### 4 消防団活動

訓練・大会	場所	実施日	備考
宮津与謝支部操法研究会	宮津小学校グラウンド	5/22	団本部・警防指導員
第28回宮津市消防操法大会	宮津小学校グラウンド	6/26	【優勝】 ポンプ車の部 宮津分団第3部第4部 小型ポンプの部 吉津分団
第28回京都府消防操法大会	京都府立丹波自然運動公園	8/28	宮津分団第3部第4部 6位
宮津与謝支部教養訓練	伊根分校グラウンド（伊根町）	10/23	団本部・警防指導員・新入団員
備品点検	各分団各部車庫	10月～11月	各分団
年末警戒	市内全域	12/28、29	団本部・各分団
宮津市消防出初式	島崎公園付近一帯	1/8	団本部・各分団・消防組合等

教育・研修	場所	実施日	備考
本部付警防指導員合同会議	宮津市防災拠点施設	4/8	団本部・本部付警防指導員
本部付警防指導員訓練	吉津小学校	4/15、4/22	団本部・本部付警防指導員
庶務部長会		4/20	感染症拡大防止のため書面会議
特別教育操法指導科	府立消防学校南部訓練拠点施設	4/27、4/28	団本部・本部付警防指導員
警防指導員操法訓練	島崎・宮津小学校グラウンド	5/9、5/22	団本部・警防指導員
操法審査員研修会（机上）	宮津与謝消防組合消防本部	6/10	団本部・警防指導員
操法審査員研修会（実技）	吉津小学校グラウンド	6/16	団本部・警防指導員
消防学校1日入校	府立消防学校南部訓練拠点施設	7/21	団本部・本部付警防指導員・ 宮津分団
宮津与謝消防署による 訓練指導	由良地内	9/11	団本部・由良分団
消防団等充実強化アドバイザーによる講義	宮津市防災拠点施設	10/7	団本部・分団長
予防部長会	宮津市防災拠点施設	10/14、2/25	団本部・予防部長
宮津与謝消防署による 安全管理講習	栗田中学校	11/12	栗田分団
幹部教育指揮幹部科	福知山市防災センター	12/3	分団長
宮津与謝消防署合同訓練	カトリック丹後教会	1/17	団本部・宮津分団
消防団員等公務災害補償等 共済基金による安全管理講習	福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム	2/18	団本部・各分団
宮津与謝支部消防団幹部視 察研修	愛媛県 松山市防災センター	3/10、3/11	団長・副団長

予防運動	内容	実施期間	備考
秋季火災予防運動	防火広報、看板掲出等	11/9～11/15	団本部・各分団
春季火災予防運動 （山火事予防運動含む）	防火広報、看板掲出等	3/1～3/7	団本部・各分団

#### 5 消防団員出動状況

出動種別		延回数（回）	延出動人員（人）
非常出動	火災出動	3	94
	風水害出動（警戒含む）	1	7
	搜索	0	0
	除雪出動	0	0
	小計	4	101
訓練出	消防訓練等	303	4,206
	防火広報	184	1,084
	警防調査（消防水利・放水想定確認等）	13	65

動 等	機械器具点検	133	849
	訓練指導（自衛消防隊等）	6	26
	イベント警備（花火大会等）	5	55
	各種会議等（消防団会議・出初式・表彰式・年末警戒等）	165	855
	小計	809	7,140
合計		813	7,241

## 6 消防機械配置現勢表

（令和5年3月31日現在）

所 属	機 種	ポンプ性能	車両登録年月	備 考	
団 本 部	消防指令車	—	H21. 2		
	防災広報車	—	H26. 12		
宮津分団 第1部	CD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H24. 4		
〃 第2部	CD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H10. 3	水槽付(900 <sup>リットル</sup> )	
〃 第3部	CD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H31. 3	多機能型	
〃 第4部	CD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H30. 3	多機能型、操法仕様	
	小型動力ポンプ	B-3級		ポンプH18年式	
由良分団 第1部	CD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H26. 12	総務省無償貸与	
〃 第2部	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	H22. 9	総務省無償貸与、多機能型	
栗田分団 第1部	CD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H29. 3	多機能型	
〃 第2部	BD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H14. 3		
〃 第3部	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	H26. 3	総務省無償貸与、多機能型	
〃 第4部	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	H28. 3	軽四、多機能型	
〃 第5部	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	H22. 1	軽四、多機能型	
〃 新宮支援隊	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	H3. 10	軽四、ポンプH8年式	
〃 島陰支援隊	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	H3. 10	軽四、ポンプH8年式	
吉津分団 第1部	CD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H11. 6		
〃 第2部	BD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H11. 3		
〃 第3部	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	R3. 11	軽四、多機能型	
府中分団 第1部	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	H29. 3	軽四、多機能型	
〃 第2部	CD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H26. 3	多機能型	
	小型動力ポンプ	B-3級		ポンプH9年式	
日置分団 第1部	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	R5. 2	軽四、多機能型	
〃 第2部	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車	A-2級	R2. 2	総務省無償貸与、多機能型	
〃 世屋支援隊	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	H9. 3	ポンプH8年式	
養老分団 第1部	CD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H28. 3	多機能型	
〃 第1部1班	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	H26. 3	軽四、多機能型	
〃 第2部	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	R元. 12	軽四、多機能型	
〃 外垣支援隊	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	H9. 3	ポンプH8年式	
〃 田原支援隊	小型動力ポンプ付積載車	B-3級	H8. 3	ポンプH3年式	
〃 日ヶ谷支援隊	BD-I型消防ポンプ自動車	A-2級	H6. 3		
機種内訳	消防指令車	防災広報車	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ
	1台	1台	13台	14台	2台

## 7 消防水利の状況

### (1) 消火栓

(令和5年3月31日現在)

種別 地区	地上式(基)			地下式(基)		計
	65mm	50mm	40mm	65mm	65mm (町野式※)	
宮津	104	—	3	99	24	230
上宮津	37	—	—	6	—	43
栗田	81	—	—	15	1	97
由良	62	—	8	4	—	74
吉津	40	—	—	17	11	68
府中	41	—	—	25	1	67
日置	57	—	—	4	5	66
世屋	6	6	10	—	—	22
養老	54	—	18	3	—	75
日ヶ谷	12	—	9	1	—	22
計	494	6	48	174	42	764

※地下式消火栓の町野式はスタンドパイプが付いていないタイプ

### (2) 防火水槽

(令和5年3月31日現在)

種別 地区	防火水槽(基)										計
	公 設					私 設					
	40m <sup>3</sup> 以上		20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満		小計	40m <sup>3</sup> 以上		20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満		小計	
	有蓋	無蓋	有蓋	無蓋		有蓋	無蓋	有蓋	無蓋		
宮津	24	9	5	7	45	3	1	—	—	4	49
上宮津	3	1	—	4	8	—	—	—	—	—	8
栗田	1	6	2	4	13	2	—	—	1	3	16
由良	3	1	1	14	19	—	—	—	—	—	19
吉津	2	6	2	2	12	2	7	1	—	10	22
府中	8	—	—	7	15	4	—	1	—	5	20
日置	5	3	—	5	13	3	—	—	—	3	16
世屋	3	2	—	10	15	—	—	—	—	—	15
養老	7	3	1	10	21	3	—	—	—	3	24
日ヶ谷	2	7	1	4	14	—	—	—	—	—	14
計	58	38	12	66	175	17	8	2	1	28	203

## 8 自主防災組織

(令和4年4月1日現在)

地区	宮津	上宮津	栗田	由良	吉津	府中	日置	世屋	養老	日ヶ谷	計	
組織数	21	11	17	6	5	7	2	4	4	3	80	
人員	男(人)	440	190	138	105	88	255	34	17	108	36	1,411
	女(人)	89	120	134	193	32	45	0	18	42	17	690
	合計(人)	529	310	272	297	120	300	34	35	150	53	2,101
小型ポンプ(台)	1	3	8	0	1	4	0	2	1	0	20	

※令和4年度自主防災組織助成金交付申請におけるR4.4.1組織概要。

## 第2節 災害対策

### 1 災害警戒対応等

#### (1) 防災パトロール

実施日	令和4年5月31日	点検箇所数	1地区1か所
参加機関	5機関 18名	・丹後広域振興局、丹後土木事務所、宮津警察署、宮津与謝消防組合、宮津市担当課により、現地で出水期危険溪流としての情報共有を行う。	

#### (2) 気象警報による警戒対応

【発生年月日等】令和4年9月19～20日（令和4年台風第14号）

#### (ア) 気象情報と災害警戒等の状況

日時	気象情報等	災害警戒等
19日	9:00	災害警戒本部設置
	10:10	暴風警報発表
	13:00	第1回本部会議
	14:00	指定避難所開設のお知らせ
	15:00	高齢者等避難発令（市全域） 指定避難所開設（12施設）
	16:06	大雨警報発表
	19:00	第2回本部会議
20日	1:46	大雨警報解除
	3:34	暴風警報解除
	4:00	高齢者等避難解除（市全域） 全指定避難所閉鎖決定
	6:00	指定避難所順次閉鎖のお知らせ
	10:00	災害警戒本部解散

#### (イ) 避難者の状況（市指定避難所）

地区	開設場所	避難者数		地区	開設場所	避難者数	
		世帯	人			世帯	人
宮津	市民体育館	2	8	吉津	吉津地区公民館	1	1
	宮津天橋高等学校	1	1	府中	府中地区公民館	3	3
	城東会館	3	3	日置	日置地区公民館	1	1
	杉末会館	0	0	養老	養老地区公民館	0	0
上宮津	旧上宮津小学校	0	0	日ヶ谷	日ヶ谷地区公民館	2	4
栗田	栗田地区公民館	1	1	計	12施設	19	27
由良	由良地区公民館	5	5	※ピーク時（9月19日18:00）の状況			

#### (ウ) 被害状況

道路河川	西川、藤左エ衛門川、堂島川、中川、荒神川、大門川（中村～小寺～上司の海岸線） 各河口の断面10割閉塞による排水不良
農林水産	ハウス3棟破損

## 2 防災啓発

### (1) 宮津市防災のつどい

日時・場所	令和4年10月20日（木）10時 宮津市福祉・教育総合プラザ第1コミュニティルーム
内容	「災害に強いまちづくり“市民宣言”」宮津市自治連合協議会会長 気象トピック：線状降水帯について（京都地方気象台）
参加者	自治会長、自主防災組織代表、防災会議委員、市議会議員、市理事者等約40人

(2) 住民参加型防災訓練の実施

訓練	内容	実施日	備考
土砂災害を想定した防災訓練	避難情報伝達、自治会防災訓練	5/29、9/4	全市域
地震シェイクアウト訓練	緊急地震速報伝達、安全行動	6/15、11/2	全市域
京都府原子力総合防災訓練	一時集合場所・車両管理訓練	11/27	城南部・城東部

3 防災施設の整備運用

(単位:円)

事業名	事業費	左の財源内訳				備考
		国府支出金	地方債	その他	一般財源	
防災情報一斉配信システム運用管理業務	957,000	478,000	—	—	478,500	みやづ情報メール配信 500 件/年
防災行政無線施設保守点検業務	4,480,300	2,240,000	—	—	2,240,300	親局 1 局 中継局 1 局 再送信局 4 局 拡声子局 22 局 遠隔制御器 1 台
放射線防護対策工事に係る実施設計業務	13,079,000	13,079,000	—	—	—	(繰越明許) 養老地区公民館

4 防災関連計画の動き

- (1) 宮津市原子力災害住民避難計画の全部改定 (令和 5 年 2 月宮津市防災会議承認)
- (2) 地区防災計画の作成 … 9 自治会 (累計 26 自治会)
- (3) 要配慮者利用施設避難確保計画の作成 … 7 施設 (累計 37 施設: 全作成)

# 第3章 企画課

## 第1節 第7次宮津市総合計画の推進

### (1) 宮津市総合計画等有識者会議の設置

第7次宮津市総合計画(R3.5策定)及び第2期宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略(R3.3策定)の推進に当たり、本市のまちづくりに関する識見を有す市民等を委員とする宮津市総合計画等有識者会議を設置し、実施計画の進捗状況の点検・評価を実施し、進捗管理を行った。

- ・構成 住民、産業、大学、金融、労働、社会福祉、報道関係機関、子育て・教育、女性団体、国府等関係機関 16人

- ・令和4年度開催状況 第1回：令和4年6月22日

- 第2回：令和4年11月29日

### (2) エリア連携構想の推進

地域を維持・発展させていくために、地域コミュニティや交通の維持等の様々な課題や地域振興策等について、地域を越えた連携(エリア連携)を図ることが必要であり、地域住民と一緒に話し合い、様々な課題の把握とその解決に向けた、エリア連携のあり方・方法等を構築するため、宮津市北部地域と南部地域の2会場で地域懇談会を実施した。

- ・宮津市北部地域(養老、日ヶ谷、世屋、日置、府中地区)

令和4年10月11日 19:00～21:00 日置地区公民館 参加者:19人

- ・宮津市南部地域(吉津、宮津、上宮津、栗田、由良地区)

令和4年10月14日 19:00～21:00 宮津市福祉・教育総合プラザ 参加者:40人

## 第2節 宮津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン／第2期総合戦略の推進

「宮津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン／第2期総合戦略」の推進に向け、各種事業を行った。

### (1) デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)の活用

「人口ビジョン」「第2期総合戦略」の推進にあたり、デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)を活用し、次の事業を実施した。

事業名	事業費(円)	デジタル田園都市国家構想交付金交付額(円)
農山漁村地域における若者を中心にした地域の新たな絆づくりプロジェクト	617,000	308,500
「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業	12,668,061	6,308,030
ポストコロナを見据えた「持続可能な観光地域づくりモデル市町村」形成事業	12,493,082	6,002,805
「海の京都連携都市圏」形成推進事業	30,608,428	12,234,214
「文化×観光」のまちづくりプロジェクト	6,992,400	3,496,200
移住促進により地域を元気にするプロジェクト「移住するなら京都」	18,894,201	6,964,599
合計	82,273,172	35,314,348

## (2) アンケート調査の実施

### ・転入・転出者アンケート調査

宮津市への転入出者がどのようなきっかけや理由で転居をしているのかを把握するため、市民窓口係において転入出届を提出する方を対象にアンケートを実施した。

調査期間：令和4年2月1日～4月29日 / 回答件数：193件

## 第3節 総合企画

### 1 地域再生計画の策定

地域再生法の一部を改正する法律（平成28年法律第30号）の施行を受け、地方創生に係る自主的・主体的な取組について、複数年度にわたる地域再生計画を策定し、内閣総理大臣の認定を受けるとともに、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）等の活用により各事業を推進した。

○認定を受けた地域再生計画（第55回・59回・60回・63回・67回認定）

地域再生計画の名称	計画期間	策定主体	概要
農村漁村地域における若者を中心にした地域の新たな絆づくりプロジェクト	R2～R4 (3か年)	京都府及び 府内4市	都市部から農村漁村地域への新たな人の流れの創出、地域を支える核となる人材の育成と地域の活性化及び農山漁村地域での新しい就業スタイルの創出に係る取組を実践することで、地域に関わる人が絶えずいて、地域を活性化させる取組が次々と生まれ続ける農山漁村地域の実現を目指す。
宮津市まち・ひと・しごと創生推進計画	R2～R6 (5か年)	宮津市	企業版ふるさと納税を活用し、宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業に取組むことで、「地域経済力を高め、人口減少に歯止めをかける」の実現を目指す。
「一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できるまちづくり実現」プロジェクト	R3～R7 (5か年)	京都府及び府 内14市町	各市町村の中心部にまちの核となるエリアを形成し、地域での仕事づくり、まちのファンづくりを一体的に進めるとともに、各市町村の特性を活かした子育てにやさしいまちを選択できる京都を実現させ、人口の転入出の均衡を目指す。
ポストコロナを見据えた「持続可能な観光地域づくりモデル市町村」形成事業	R3～R5 (3か年)	岩手県釜石市 及び全国7市 町	持続可能な観光による地域づくりを実践することで、「新型コロナウイルス終息後のインバウンド観光の回復時の優良な旅行者の呼び込み（訪れてよし）」「地域住民の満足度の向上（住んでよし）」の実現を目指す。
「海の京都連携都市圏」形成推進プロジェクト	R3～R7 (5か年)	北部7市町	相互の連携と役割分担により、北部地域が一つの経済・生活圏を形成し、中核市にも匹敵する公共サービスや産業・商業規模、観光拠点や受け入れ態勢、交通機能等の都市機能を備える仮想的30万人都市圏の実現に向けた取組を推進する。
「文化×観光」のまちづくりプロジェクト	R3～R5 (3か年)	宮津市	本市の有する豊富な歴史文化資源を活かし、国内外に発信するとともに、文化活動の担い手と観光事業者が連携して「文化×観光」コンテン

			ツを開発するなど市民を中心とした「文化×観光」を通じたまちの賑わいづくりを進め、文化活動の担い手を増やすとともにまちや地域経済の活性化を目指す。
移住促進により地域を元気にするプロジェクト「移住するなら京都」	R4～R8 (5か年)	京都府及び府内12市町	京都を訪れた様々な知識・経験・技能等を持った人が、自分の実現したい生き方や追いかけてみたいテーマに合った府内各地の生活やダイバーシティに惹かれ、訪れ、活動し、暮らすことができ、多くの移住検討者にも選ばれる「移住するなら京都」への取組が地域の活性化に繋がるという好循環を目指す。
文化庁京都移転を契機とした京都からの文化創造・発信プロジェクト	R5～R7 (3か年)	京都府及び府内11市町	文化庁京都移転を新たな契機とし、「音楽」と「伝統芸能・舞台芸術」の分野を中心として、京都から全国へ文化芸術活動を強く発信する事業を実施することで、地域経済の活性化と観光誘客、府民が京都文化を身近に感じる環境の構築、京都の伝統文化・生活文化等の次世代への継承を図る。
大阪・関西万博きょうとの力創出・発信プロジェクト	R5～R7 (3か年)	京都府及び府内6市町	大阪・関西万博に向けて国内外、特に海外から多くの人や企業が関西を訪れることを最大限活用し、京都が誇る最先端の技術や研究開発などの「産業」の強み、府内各地の「文化」や「観光資源」の魅力を、万博会場からだけでなく府内各地からも国内外に広くアピールし、府外、特に海外から府内各地に継続的な人や投資の流れを呼び込むことで、万博会期後にも人や仕事が集まる持続可能な京都の発展を目指す。

## 2 宮津市過疎地域持続的発展計画の策定・推進

「宮津市過疎地域持続的発展計画」（計画期間：令和3年度～令和7年度）に基づき、過疎対策事業を実施した。

(1) 過疎対策事業の実施状況

(単位：千円)

事業名	事業費	過疎対策事業債充当額
宮津市ターミナルセンター整備事業	4,950	4,900
宮津湾にぎわいづくり促進事業	7,633	7,600
KTR 支援事業	56,550	56,500
KTR 支援事業（ソフト）	82,628	52,600
地方バス路線運行維持対策事業（ソフト）	54,914	11,200
財産管理事業（福祉・教育総合プラザ関連）	4,494	4,400
地域ささえあいセンター整備事業	3,389	3,300
浄化槽補助事業	9,915	9,900
有害鳥獣対策事業	9,265	4,700
海岸保全施設整備事業	28,100	9,300
まちなか地域振興拠点施設管理運営事業	7,326	7,300
道路新設改良事業（過疎）	48,090	22,100



都市公園等整備事業	660	600
定住促進住宅整備事業	40,964	30,700
公民館整備事業	15,510	15,500
小学校施設整備事業	7,700	7,700
小 計	382,088	248,300
<令和3年度繰越事業>		
道路新設改良事業（過疎）	36,347	16,800
小 計	36,347	16,800
合 計	418,435	265,100

(2) 過疎地域持続的発展特別事業基金の運用状況 (単位：円)

令和3年度末基金残高	36,447,898	
令和4年度	基金積立額	0
	基金取崩額	0
令和4年度末基金残高	36,447,898	

### 3 広域行政

#### (1) 丹後広域連携会議

令和3年度は開催なし

#### (2) 京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会

京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町）が一つの経済・生活圏を形成し、中核市にも匹敵する公共サービスや都市機能を備えることで圏域全体の活性化を図るため、「京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会（会長：舞鶴市長）」を組織している。令和4年度は、京都府北部地域連携都市圏の第2期ビジョンに基づき、各部会での取組や連携深化プロジェクトチーム会議において、様々な取り組みを実施した。宮津市が部会長を務める観光・交通部会では、海の京都DMOの事業に取り組んだほか、令和3年度に策定した京都府北部地域連携都市圏公共交通計画に基づき、自家用車に過度に頼ることなく、公共交通利用者の満足度を高めるとともに、利用機会などをつくりながら、公共交通へのマインドセット（固定観念）の転換を図るための取組をスタートさせた。宮津市では、丹後海陸交通の協力のもとバスのお試し乗車を実施し、各市町の取組の参考となるよう乗り方教室の概要や実施方法をまとめ、配布した。協議会全体の取組としては、産官学連携プラットフォームの構築に向けた先進地視察を行い、福知山公立大学を中心とした「北近畿コラボスペース」を立ち上げたほか、ふるさとへの関心や愛着を醸成することによる若者の市外流出抑制やUターン促進を目的とした「高校生みらい会議」の開催や「海の京都」未来共創ネットワークと連携した圏域内事業所が行う副業人材の募集に係るプロモーション（マッチングサイトへの求人掲載）等を実施した。

事業内容	協議会経費 (円)	うち宮津市 負担金 (円)	財源内訳 (円)		
			国府支出金	その他	一般財源
協議会職員人 件費、事務費等	8,260,864	577,000	70,000	—	507,000
専門人材確保 推進事業等	10,619,311	857,428	428,714	—	428,714
合 計	18,880,175	1,434,428	498,714	—	935,714

※財源：デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

#### (3) 山陰新幹線の誘致活動

平成25年6月に設立された「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」及び平成28年3月に設

立された「北陸新幹線京都府北部ルート誘致促進同盟会」に加盟しており、新幹線の整備による京都府北部地域の発展に寄与する山陰新幹線並びに北陸新幹線の誘致活動を行ってきた。なお、「北陸新幹線京都府北部ルート誘致促進同盟会」については、平成28年12月に北陸新幹線敦賀以西ルートが「小浜京都ルート」に決定されたことを受け、平成29年8月に「山陰新幹線京都府北部ルート誘致・鉄道高速化整備促進同盟会」に改称し、山陰新幹線京都府北部ルートの誘致と山陰本線をはじめとする在来線の高速化等の実現を目指すこととなった。

ア 山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議

山陰新幹線の整備にかかる要望活動のほか、WEBサイトの更新を実施した。

・要望活動

実施日 令和5年3月24日

提出先 「山陰新幹線を実現する国会議員の会」加盟議員等

(別途、郵送にて国土交通大臣、副大臣、鉄道局長他へ要望決議書提出(令和5年3月29日))

・WEBサイト構築

「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」の整備計画へ向けた活動や要望内容などを掲載したホームページをリニューアル

イ 山陰新幹線京都府北部ルート誘致・鉄道高速化整備促進同盟会

例年要望活動や新幹線整備に向けた決起大会を実施しているが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から活動を自粛した。また、誘致啓発活動に活用するための、山陰新幹線京都府北部ルート誘致パンフレットを作成した。

## 4 人材育成

### (1) 市内高校との連携事業

将来のみやづを担う人材育成を目的として、宮津市内の高校と連携し、生徒が「しごと」等に対して向き合う講座等を実施した。

ア 京都府立宮津天橋高等学校

宮津天橋高等学校宮津学舎の総合学習の時間に実施されている自立するキャリア人の育成カリキュラム「Realize!」「Safari」において、生徒たちの探究に対してアドバイス等を実施した。

・実施日 令和4年10月5日、令和4年12月15日、令和5年2月8日

・助言者 市職員

イ 京都府立海洋高等学校

航海船舶コース3年生を対象に、市内事業者等が参加する産学官意見交流会を実施し、同高校の研究テーマに対し、解決手法等のアドバイスを行った。

・実施日 令和4年10月21日、令和5年1月19日

・講師 株式会社やまいち、京都府漁業協同組合、宮津商工会議所

## 第4節 市民協働等

### 1 地域会議

#### (1) 地域会議の設立状況

全14地区(地区自治連単位)で設立済み

(宮津中部/宮津西部/宮津東部/宮津城南部/宮津城東部/上宮津/栗田/由良/吉津/府中/日置/世屋/養老/日ヶ谷)

(2) 地域会議の活動支援

地域会議補助金等

- ・市民との協働を推進するため、1 地域会議あたり、地域会議の会議等運営に充てる交付金 5 万円及び地域会議主体の活動を支援する補助金 10 万円を上限に交付
- ・交付金 450 千円  
(9 地域会議分：宮津中部／西部地区／城南部／上宮津／府中／日置／世屋／養老／由良)
- ・補助金 425 千円  
(5 地域会議分：宮津中部／上宮津／日置／養老／由良)

2 市民まちづくり活動への支援

(1) 宮津市まちづくり補助金

宮津市まちづくり基金を財源とする「宮津市まちづくり補助金」による助成を通じて、市民が主体的に参画する団体が実施する 3 件のまちづくり活動を支援した。

(単位：円)

事業名	実施団体	事業内容	総事業費 (補助対象経費)	補助金額
金引きの滝誘客推進事業	滝馬自治会	・宮津市・天橋立観光協会と連携し、「金引きの滝」を活用したアクティビティコンテンツを開発～実施することにより誘客を行い、一定の収益の確保により、地域に還元できる事業モデルの構築につなげる。 ・地元団体として、「金引きの滝」の階段手すりの整備や清掃活動を実施	520,000 (520,000)	260,000
歴史芸能劇「天の波濤」上演と新伝承芸能の創造	天の波とうの会	地域の歴史を題材とした歴史芸能劇「天の波濤」及び劇内で演じる伝承芸能の創作を行った。 ○稽古会の実施 ○プレビュー発表 ○特設舞台(和貴宮神社境内)・みやづ歴史の館文化ホールでの上演 ○アンケート調査 ○取組みの記録保存 DVD の作成	3,013,325 (1,013,325)	500,000
TO SEE LIFE, TO SEE THE MIYAZU	一般社団法人 MITEMI	宮津の文化や習慣、暮らしなどを Web 記事で発信し、宮津のファン獲得を目的として以下の事業を行った。 ○市民クリエイター育成講座 ○フォトスクールの開催 ○HP・SNS・展示会等での情報発信	2,337,462 (310,730)	150,000
合計	3 件		5,870,787 (1,844,055)	910,000

※事業募集期間：令和 4 年 4 月 1 日～6 月 30 日

○宮津市まちづくり補助金申請事業審査会

- ・委員 5 人
- ・開催日 令和 4 年 8 月 23 日
- ・審査件数 3 件 (採択 3 件)

(2) コミュニティ事業補助金

コミュニティ活動を実施した住民団体に補助金を交付した。

## ○一般コミュニティ助成事業

(単位:円)

事業名	実施団体	事業内容	総事業費 (補助対象経費)	補助金額
祭礼用宮太鼓等両面張 替え修理事業	江尻自治会	太鼓他コミュニティ活動備品の 整備	1,630,585 (1,630,585)	1,600,000
合 計	1件		1,630,585 (1,630,585)	1,600,000

※財源：一般財団法人自治総合センター コミュニティ助成金 (10/10)

## 3 ふるさと宮津応援寄附・宮津市まちづくり基金

## (1) ふるさと宮津応援寄附

## ア 寄附の受入

個人住民税の寄附金税制、いわゆる「ふるさと納税」制度を活用し、市内外からの寄附を受け入れた。  
納税サイトへの業務委託、クレジットカード決済、ふるさと納税ワンストップ特例制度等を実施し、ふるさと宮津応援寄附の推進を行った。

また、ふるさと納税ポータルサイトを新たに追加するとともに、MIYAZU 未来戦略マネージャーとふるさと納税チームを編成し、返礼品魅力 UP キャンペーン（商品画像・キャッチコピーの魅力化、ふるさと納税ポータルサイト内での広告配信）を実施した。

## (ア) 施策別内訳

施 策 等		受 入 基 金	寄附の状況	
			件数(件)	金額(円)
教 育	恵まれた自然環境を活かした特色ある学校・地域づくりにより、人がすこやかに育つまちづくりのための施策	宮津市教育基金	1,560	30,552,000
環境保全	特別名勝「天橋立」の保全、緑豊かな森づくりなど、風光明媚な自然環境を後世に受け継いでいくための施策	宮津市自然環境保全基金	1,396	34,666,000
市民によるまちづくり	市民団体の多彩なまちづくり活動を支援し、元気な宮津づくりを推進するための施策	宮津市まちづくり基金	3,028	79,057,228
福 祉	乳幼児から高齢者まで、誰もが安心して健康に暮らせる地域づくりを進めるための施策	宮津市福祉基金	725	16,636,000
人財応援	修学を容易にし、未来を担う人材を育成・確保、ふるさとへの愛着心の醸成、定住を促進するための施策	宮津市未来を担う人財応援奨学金基金	1,246	24,291,000
合 計			7,955	185,202,228

## (イ) 寄附者属性別内訳

区 分	企業・団体		個 人		合 計	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
市 内	0	0	1	30,000	1	30,000
市 外	2	189,228	7,952	184,983,000	7,954	185,172,228
合 計	2	189,228	7,953	185,013,000	7,955	185,202,228

## (ウ) 納税サイト別内訳

サイト名	契約主体	運用開始日	寄附件数 (件)	寄附金額 (円)
ふるさとチョイス	株)トラスバンク	平成 27 年 10 月	1,835	48,735,000
さとふる	株)さとふる	平成 27 年 12 月	2,061	43,805,000
楽天市場	楽天グループ(株)	平成 28 年 7 月	2,788	44,709,000
ふるなび	株)アイモバイル	平成 30 年 9 月	865	28,627,000
ふるさとプレミアム	株)ユニメディア	平成 30 年 12 月	32	1,953,000
海の京都コイン旅先納税	一般社団法人京都北部地域 連携都市圏振興社	令和 4 年 11 月	10	205,000
ふるさと本舗	株)ふるさと本舗	令和 4 年 11 月	28	1,560,000
ANA のふるさと納税	全日空商事(株)	令和 4 年 12 月	76	1,827,000
納税サイト以外		—	260	13,781,228
計			7,995	185,202,228

## イ ふるさと産品

寄附者に贈呈するふるさと産品について、市内事業者から募集し、ふるさと産品の充実を図った。

## (ア) 産品の種類

	産品の価格設定	1 事業者当たりの産品数
平成 27 年 4 月 1 日～	・ 10,000 円寄附 ⇒ 2,000 円程度の産品	1 品
平成 27 年 10 月 1 日～	・ 10,000 円寄附 ⇒ 3,000 円程度の産品	3 品まで
平成 28 年 1 月 22 日～	・ 10,000 円寄附 ⇒ 3,000 円程度の産品 ・ 30,000 円寄附 ⇒ 10,000 円程度の産品 ・ 50,000 円寄附 ⇒ 17,000 円程度の産品	制限なし
平成 29 年 6 月 1 日～	・ 10,000 円寄附 ⇒ 2,500 円～3,000 円の産品 ・ 15,000 円寄附 ⇒ 3,700 円～4,500 円の産品 ・ 30,000 円寄附 ⇒ 7,500 円～9,000 円の産品 ・ 50,000 円寄附 ⇒ 12,500 円～15,000 円の産品 ・ 100,000 円寄附 ⇒ 25,000 円～30,000 円の産品	制限なし
令和元年 10 月 1 日～	・ 寄附金額の 3 割以内の産品	制限なし

## (イ) 取扱産品数 (指定制度報告数)

294 品 (58 事業者)

## ウ 事業費

事業内容	事業費 (円)	財源内訳 (円)		
		国府支出金	その他	一般財源
・ 納税サイト業務委託料等	25,880,024			25,880,024
・ クレジットカード決済 等手数料	2,597,165	—	—	2,597,165
・ 産品調達に係る費用等	59,333,864			59,333,864
合 計	87,811,053	—	—	87,811,053

## (2) 宮津市まちづくり基金

## ○基金の運用状況

(単位:円)

令和 3 年度末基金残高		143,708,447		
令和 4 年度	基金積立額	79,058,726	市民等からの寄附金	79,057,228
			基金利子	1,498
	基金取崩額	29,700,000		
令和 4 年度末基金残高		193,067,173		

#### 4 企業版ふるさと納税・宮津市まち・ひと・しごと創生基金

##### (1) 企業版ふるさと納税

###### ○ 寄附の受入

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組み、いわゆる「企業版ふるさと納税」制度を活用し、企業からの寄附を受け入れた。

寄附件数 (件)	企業名	寄附金額 (円)
4 件	People Trees 合同会社	100,000
	株式会社にしがき	5,000,000
	株式会社ケーケーシー情報システム	1,000,000
	株式会社 JECC	3,000,000
寄附額合計		9,100,000

##### (2) 宮津市まち・ひと・しごと創生基金

###### ○ 基金の運用状況

(単位:円)

令和3年度末基金残高		6,500,000	
令和4年度	基金積立額	9,100,000	企業からの寄附金 9,100,000 基金利子 0
	基金取崩額	3,826,000	
令和4年度末基金残高		11,774,000	

#### 5 大学協働

##### (1) 京都府立大学との連携

地域連携の取組の一環として、包括協定締結自治体が講師となり、各自治体で重点的に取り組まれている施策事例や、自治体等職員としての心構え等をテーマとする講義に協力するとともに。また、第7次宮津市総合計画に示す将来像の実現に向けた取組などについて講義を行った。

また、京都府立大学が前尾記念クロスワークセンターMIYAZU にオフィスを開設したことを踏まえ、高等教育機関と地域との連携による地域の課題解決や市内の教育機関との連携を進めていくため、大学生等の滞在拠点づくりや大学との連携強化に向けた準備を進めた。

###### (ア) 高等教育機関等との連携強化に向けた準備 (子育てにやさしいまちづくりモデル事業)

事業内容	事業費 (円)	財源内訳 (円)		
		国府支出金	その他	一般財源
大学生等の滞在拠点づくり ・みやづ城東タウンC棟の整備	2,129,775	1,419,850	—	709,925
京都府立大学との連携に向けた準備事業 ・宮津市内でのフィールドワーク等に係る予約システムの構築等 ・現地滞在拠点 (城東タウン) の試行活用 など	800,000	533,333	—	266,667
合計	2,929,775	1,953,183	—	976,592

財源：京都府子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金

##### (2) 京都工芸繊維大学との連携

令和4年8月22日～8月24日の間に、地域課題導入セミナーにおいて、「京都丹後鉄道宮津駅駅舎を活用した京都丹後鉄道の利用促進案の提案」についてフィールドワークなどを行った。

令和4年11月7日～11月18日の間に、移住促進チラシのデザイン修正やお試し住宅の空間

デザインの提案などを体験業務として企画課定住地域振興係にインターンシップを1人受け入れた。

(3) 福知山公立大学との連携

令和4年10月26日に、グローバル特講Ⅱ(北近畿の地域創生Ⅰ)において、『「橋をつなごう」共創のまちづくりへ』と題して、本市における第7次宮津市総合計画に示す重点プロジェクトを中心に特別講義を実施した。

(4) 大学・地域連携プロジェクト

宮津市域をフィールドとした大学等のフィールドワーク等の受入強化を図り、本市への人の流れをつくるとともに、地域課題の解決を図ることを目的に、2大学から3プロジェクトの提案を受け、地域団体と協働して事業を実施した。

(単位：円)

プロジェクト名	大学等	協働団体	取組概要	総事業費 (補助経費)	補助金額
世代間交流促進を通じた日置コミュニティ活性化事業	京都大学	日置地域会議	地域住民アンケートとワークショップ、ニューズレターの発行と配布など	200,000 (200,000)	200,000
里山資源の変遷～土壌炭素量の回復速度を規定する要因の解明		丹後藤織り保存会	上世屋集落を中心とした里山資源の今後の見通しと対応方法について土壌分析による検証など	200,000 (200,000)	200,000
府中地域の観光まちづくりデザインと推進	京都産業大学	府中をよくする地域会議	観光客や地元住民のアンケート、現地の歴史や生活様式の掘り起こし、地元企業の調査とプログラム企画など	281,912 (281,912)	197,000
合 計				681,912 (681,912)	597,000

※財源：デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

6 地域課題解決型地域おこし協力隊員の活動支援等

地域などが主体となって行う地域課題の解決に係る取組の支援活動を行う「地域課題解決型地域おこし協力隊員」1人を引き続き委嘱した。

- ・委嘱期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日
- ・活動受入地域(団体)：上宮津地域会議

第5節 公共交通

1 京都丹後鉄道

北近畿タンゴ鉄道の抜本的な経営改善や収支構造の見直しなどを図るため、上下分離方式による鉄道事業再構築事業の実施により平成27年4月1日から京都丹後鉄道が運行を開始したことにともない、沿線自治体においては、北近畿タンゴ鉄道に対し、平成26年12月に策定した「北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画」に基づき、鉄道の利用促進を図るとともに、鉄道施設の維持管理、更新等に対する支援を行った。

○ 輸送人員

(単位：千人)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
宮 福 線	552	514	269	323	385
宮舞線・宮豊線	1,098	1,065	796	795	930
合 計	1,650	1,579	1,065	1,118	1,315

(1) 京都丹後鉄道利用促進協議会

京都丹後鉄道の利用促進を図るため、次の事業が実施された。

事業名	実施内容等
利用啓発に関する取組	<p>■京都丹後鉄道沿線デジタルスタンプラリーの実施</p> <p>○令和4年3月25日からJR西日本のMaaSアプリ「WESTER」のマイ駅登録が京都丹後鉄道でも可能となり、JR西日本と京都丹後鉄道との連携が進んでいることから、「WESTER」アプリを活用したデジタルスタンプラリーを実施した。実施にあたっては海の京都DMOにPR面で協力いただいた。</p> <p>○期間 1/14(土)～3/10(金)</p> <p>○概要 列車・駅(中丹)・駅(丹後・豊岡)・観光施設(中丹)・観光施設(丹後・豊岡)の5種類のカテゴリで、列車スタンプを含む3個以上のスタンプを集めてアンケートに回答すると、丹後くろまつ号ランチペアチケットをはじめとした景品への応募が可能となる。</p> <p>○実績 スタンプシート作成1,070人 スタンプ3つ以上獲得134人</p> <p>○過年度実績 2020年シールラリー応募者282人 2018年夏スタンプラリー 38人 2018年秋ウォークラリー応募者99人</p> <p>■たんてつこども新聞の発行</p> <p>沿線地域の小学生向けに、ウィラートレインズが発行するこども新聞の印刷経費の1/2を負担</p> <p>○時期 2回発行(夏号:7月、冬号:12月)</p> <p>○内容 鉄道に関する情報、歴史スポットの紹介、クイズプレゼント企画など</p> <p>○配布先 沿線自治体の各小学校</p> <p>○実績 プレゼント応募者:夏号149人/冬号97人</p> <p>■中学校・高校利用団体助成</p> <p>中学校・高校がクラブ活動や校外活動で京都丹後鉄道を利用した場合の乗車運賃の一部を助成</p> <p>○実績 4校4件(186人) ※令和3年度実績:2校2件(29人)</p> <p>利用実績のあった高等学校、中学校は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮津市立宮津中学校</li> <li>・京都府立福知山高等学校附属中学校</li> <li>・舞鶴市立城北中学校</li> <li>・舞鶴市立城南中学校</li> </ul> <p>■利用啓発にかかる物品の作成</p> <p>○のぼり(5セット)・テーブル幕(2枚)</p> <p>○あかまつ号・あおまつ号10周年記念ヘッドマーク2枚</p> <p>○あかまつ・あおまつ号10周年記念缶バッジ(250個)</p>
鉄道の利便向上に関する取組	<p>■JR西日本への要望活動</p> <p>○期日 9月5日(月)</p> <p>○場所 JR西日本福知山支社 5階 大会議室</p> <p>○要望者 丹鉄利用促進協議会会長(宮津市長)</p> <p>○要望内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特急列車の維持について</li> <li>・「WESTER」を中心とした、京都丹後鉄道との連携強化</li> <li>・「城崎・天橋立ダイレクト」及び「ぐるっと北近畿」の継続運行について</li> </ul>
沿線の環境美化等の魅力向上に関する取組	<p>■清掃・美化活動団体助成</p> <p>鉄道沿線や駅周辺等の清掃・美化活動を行った団体に対して、1回につき上限2万円(上限2回まで)の助成を行った。</p> <p>○対象団体 駅所在の地域団体</p> <p>○実績 7団体 12件 ※令和3年度実績:6団体 12件</p> <p>須津自治会(岩滝口駅)、須津第7組(岩滝口駅)、由良環境づくり推進会(丹後由良駅)、栗田自治連合会(栗田駅)、峰山高等学校(峰山駅)、豊岡総合高等学校(豊岡駅、コウノトリの郷駅)、上福井区自治会(四所駅)</p> <p>■駅の賑わいづくり創出イベントへの協力</p> <p>ウィラートレインズ社と連携し、舞鶴市公共交通フェスティバル「のり乗り</p>



	フェスタ」に京都丹後鉄道ブースを出展 ○期 日 令和4年5月28日(土) ○場 所 西舞鶴駅 ○内 容 広告費への支援とノベルティグッズの配布を実施
その他協議会の目的達成に必要な事業	■ウィラートレインズ社と連携した地域の情報発信 沿線地域の魅力発信や観光誘客のため、ウィラートレインズ社と連携し鉄道博2023に京都丹後鉄道ブースを出展 ○期 日 1月7日(土) (イベントは1月7日～9日の3日間開催) ○場 所 大阪南港ATC Gallery ○実 績 1月7日～9日までのイベント期間中、1月7日に京都丹後鉄道の物販補助を実施。(事務局(宮津市)から2人出役)

(2) 北近畿タンゴ鉄道株式会社への支援

- ・宮津市の北近畿タンゴ鉄道(株)への支援総額: 146,162,530円(前年度156,640,899円)

ア 鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金

線路設備の更新、車両更新、車両検査など軌道輸送対策に係る設備投資経費を支援した。

総事業費	国庫補助	府、県及び沿線自治体補助		
	補助額 (円)	補助団体	補助総額 (円)	うち宮津市 補助額
823,017,967	326,100,176	京都府、宮津市、舞鶴市、福知山市、京丹後市、伊根町、与謝野町、兵庫県、豊岡市	404,069,304	57,497,093

※財源: 過疎対策事業債

イ 北近畿タンゴ鉄道支援費基盤管理補助金

鉄道の安全運行を維持するため、基盤施設(線路・電路・車両)の維持管理等に係る経費を支援した。  
(単位: 円)

総事業費	兵庫県域補助額	京都府域補助額	うち宮津市補助額
737,746,000	37,775,000 (宮舞線・宮豊線×7.6%)	699,971,000 (宮福線+宮舞線・宮豊線×92.4%)	82,628,000

※財源: 過疎対策事業債

ウ 北近畿タンゴ鉄道基盤整備事業補助金

老朽化した発動発電機の更新、それに付随する分電盤、信号ケーブルの取り換えにかかる経費について支援した。  
(単位: 円)

総事業費	兵庫県域補助額	京都府域補助額	うち宮津市補助額
41,678,429	2,322,878 (宮舞線・宮豊線×7.6%)	39,355,551 (宮福線+宮舞線・宮豊線×92.4%)	6,037,437

※財源: 過疎対策事業債

(3) 利用促進事業

ア 高齢者片道上限200円レール事業 5,961,550円

65歳以上の高齢者の方を対象として、京都丹後鉄道の快速・普通列車を片道上限運賃200円とする支援を行った。(丹後2市2町連携事業として実施)

- ・期 間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
- ・利用実績 15,280人

## 2 地方バス路線運行維持対策

○ 輸送人員（実数）

（単位：人）

区 分		R1. 10 ～R2. 9	R2. 10 ～R3. 9	R3. 10 ～R4. 9
幹線（国制度）	伊根線	114,615	103,870	102,023
	蒲入線	38,074	31,378	38,271
	経ヶ岬線（～R4.9）	36,275	27,612	38,898
	与謝線	43,412	55,272	58,956
	福知山線	—	—	—
合 計		232,376	218,132	238,148
※令和元年10月より与謝線、福知山線を再編し、福知山線は国庫補助対象路線ではなくなり、与謝野町及び福知山市において維持することとなった。 ※経ヶ岬線は、令和4年9月末で運行終了し、令和4年10月から蒲入線に経ヶ岬を起終点とする系統を新設する形で統合				

区 分		R1. 10 ～R2. 3	R2. 4 ～R2. 9	R2. 10 ～R3. 9	R3. 10 ～R4. 9
枝線（スクールバス一般混乗型）	上宮津線2	2,795	2,377	5,535	5,119
枝線（府制度）	上宮津線	1,047	—	—	—
	日ヶ谷線	197	—	—	—
	養老線	32	—	—	—
	田井線	631	602	4,123	7,138
	島陰新宮由良線	1,188	650	—	—
	日置世屋線	355	252	—	—
合 計		6,245	3,881	9,658	12,257

※枝線（スクールバス一般混乗型）の輸送人員は、通学生徒も含む。

※平成31年4月1日より、枝線の再編を実施。スクールバスと路線バスを分離

※令和2年4月1日より、上宮津線、日ヶ谷線、養老線を廃止し、上宮津地区、養老・日ヶ谷地区における地域主体の交通空白地有償運送に再編

※令和2年10月1日より、栗田地区では、島陰新宮由良線を廃止し、田井線を再編、また、栗田地区の東側において200円タクシー事業を実施。日置世屋線を廃止し、養老・日ヶ谷地区における交通空白地有償運送を世屋地区まで拡大

### （1）運行補助

丹後海陸交通株式会社が運行する自主運行路線に対して、国の地方バス路線運行維持費補助金交付要綱等に基づき次のとおり補助金を交付した。

区 分	対象路線数	補助金額（円）	左の特定財源（円）
幹線（国制度）	7	46,289,800	0
枝線（府制度）	1	8,624,000	2,741,000
合 計	8	54,913,800	2,741,000

※補助金、特定財源とも、対象期間は令和3年10月1日から令和4年9月30日まで

※枝線（府制度）の特定財源は、市町村運行確保生活路線維持費補助金

※特定財源以外の財源は、過疎対策事業債

※その他、スクールバス一般混乗型として運行を委託している上宮津線2は、教育費で計上

### 3 交通空白地有償運送等への支援

#### (1) 交通空白地有償運送実施団体への支援

枝線6路線の再編に伴い、令和2年度から地域主体の運送サービスである、「交通空白地有償運送」を開始した上宮津有償運送運営協議会、橋北移送サービス運営協議会、由良有償運送運営協議会の組織運営にかかる経費について支援を行った。

・交通空白地有償運送実施団体への支援総額：4,772,977円

実施団体	運行地区	実施方式	支援額(円)	令和4年度 利用実績(人)
上宮津有償運送 運営協議会	上宮津地区	停留所を定めた デマンド方式	1,991,317円	1,696人
橋北移送サービス 運営協議会	養老・日ヶ谷 ・世屋地区	ドア to ドア デマンド方式	1,776,717円	1,448人
由良有償運送 運営協議会	由良地区	停留所を定めた デマンド方式	1,004,943円	300人

#### (2) 栗田地区200円タクシー運行

令和2年10月1日より栗田地区東側における島陰新宮由良線の廃止代替として、交通結節点である京都丹後鉄道「栗田駅」及び丹海バス田井線「獅子バス停」と栗田地区の東側を200円でタクシー利用できる制度を開始した。

委託事業者	委託料(円)	利用件数(件)
日本交通(株)	756,870	730

### 4 宮津市地域公共交通計画の推進

「宮津市地域公共交通計画」(R4.3策定)の目指すべき将来像「サステナブル&シームレスなモビリティシティ MIYAZU」の実現に向けて、下記のとおり事業を実施した。

方策		令和4年度の取組内容
目標1 公共交通利用者の満足度がより高まるサービスの実現		
方策1	交通結節点での乗り継ぎを考慮した運行ダイヤの調整	上宮津地区交通空白地有償運送と幹線バスとの乗り継ぎ改善(令和5年4月1日実施)
方策2	バス路線再編後の交通空白地有償運送等の利用者ニーズを踏まえた満足度向上への取組	
方策3	待合施設的环境整備(Wi-Fiや多言語表示の整備など)	宮津駅待合室を令和5年度にリニューアルするため、実施設計を実施。Wi-Fiの導入や授乳室の設置、待合室デザインの見直し等、待合環境の改善を図る。
方策4	公共交通の利活用についての積極的な情報発信	宮津市内総合時刻表を作成し、市役所及び各地区連絡所への配架及びHPに掲載
方策5	MaaSなど利用者目線での利用促進や新たな利用者の掘り起こし	交通空白地有償運送を除き、市内バス路線及び鉄道路線はGTFSに対応済
目標2 だれもが公共交通の使い方を理解し、移動することが楽しくなるまちの実現		
方策6	高齢者や低年齢層を対象とした公共交通のお試し乗車会等の実施	宮津交通フェスティバル(令和4年10月16日)に合わせて、丹後海陸交通の協力のもと、計3回バスの乗り方教室を実施し、参加者には今後の利用につながるよう、回数券200円分を配布。 ・計49人参加(大人25人 小人24人)
方策7	運転免許証返納前の段階における高齢者の利用促進	
目標3 自家用車に過度に頼らないまちづくりや観光と連携する公共交通の実現		
方策8	鉄道・高速バスとの連携強化による宮津市外とのアクセス利便性向上	丹後海陸交通(株)運行の高速バス「京都線」が増便(令和4年10月1日実施)
方策9	観光地へのアクセスなど公共交通による周遊性の向上	府中地区をはじめとした二次交通として、周遊性の向上を図るために、グリーンスローモビリティの導入の

方策 10	自動運転など先進モビリティを活用したラストワンマイル確保の検討	先進地視察や検討を進めた。
方策 11	公共交通事業者の人材不足の解消	海の京都宮津就職フェア（令和 4 年 9 月、令和 5 年 2 月の 3 回（うち 1 回は京都市内））、京都府北部 5 市 2 町合同企業説明会（令和 4 年 5 月、京都市内）に、交通事業者 2 者が出展 ・海の京都宮津就職フェア 参加者:68 人 ・京都北部 5 市 2 町合同企業説明会 参加者:46 人

## 5 宮津ターミナルセンターの長寿命化対策と待合室の利用環境改善

### (1) 宮津ターミナルセンターの劣化状況調査

建設から 30 年を経過し、老朽化した宮津ターミナルセンターの長寿命化を図るため、躯体の劣化度調査及び調査を基にした改修の中長期計画を策定した。

事業内容	事業費（円）	財源内訳（円）		
		国府支出金	その他	一般財源
宮津ターミナルセンター劣化度調査及び改修・中長期修繕計画作成 委託先：（株）日匠設計	2,178,000	—	2,100,000	78,000

※財源：過疎対策事業債、まちづくり基金繰入金

### (2) 宮津ターミナルセンターの長寿命化と待合環境改善に向けた実施設計等

宮津市地域公共交通計画に基づき、老朽化した宮津ターミナルセンターの待合環境を改善するため、改修に係る実施設計を行った。実施設計においては、京都工芸繊維大学と学術指導契約を締結し、専門的な知見からの助言や広く駅利用者からの意見を聴取するために、地元高校生、観光関係者、子育て世代、自治会、交通事業者等とのワークショップを実施し、その意見を実施設計へ反映させた。

事業内容	事業費（円）	財源内訳（円）		
		国府支出金	その他	一般財源
宮津ターミナルセンター改修に係る計画検討 委託先：京都工芸繊維大学	752,100	1,000,000	4,700,000	34,724
ワークショップ実施に係る事務費 （有識者報酬・消耗品）	32,624			
宮津ターミナルセンター改修実施設計 ※長寿命化対策分も含む 委託先：（株）東亜設計	4,950,000			
合計	5,734,724	1,000,000	4,700,000	34,724

※財源：京都府駅周辺にぎわいづくり推進事業費補助金、過疎対策事業債、まちづくり基金繰入金

## 第 6 節 宮津湾のにぎわいづくり

### 1 田井宮津ヨットハーバー

宮津湾東側「田井臨海エリア」を新たな集客エリアと位置付け、令和 3 年 10 月から 10 年間、株式会社にしがきに財産（施設一式）を有償貸付し、宮津の海の資源を活かした魅力的な海の観光まちづくりを進めた。また、老朽化が著しく機能復旧が必要な設備の修繕について、施設保有者（賃貸者）として工事費用を負担した。

○改修内容 栈橋設備に係る復旧工事

（浮き栈橋架替、フロート・アンカーブロック制作・据付、緩衝材取替）

○工事負担金 7,632,350 円（※財源：過疎対策事業債）

## 2 田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会

「住民や観光客、家族や若者、誰もが気軽に訪れるにぎわい創出エリア」となるよう、官民連携プラットフォーム「田井臨海エリアにぎわいづくり実行委員会」において、にぎわいづくりイベント「宮津田井海まちフェスタ」を年2回開催したほか、エリアのにぎわい創出を共創するための具体化に向けた企画・実施等について検討・意見交換等を行った。

### (1) 実行委員会の開催

開催日		内容
第1回	令和4年6月27日	宮津田井海まちフェスタ(4/23開催)の総括、令和3年度決算案・令和4年度予算案・事業計画案、監事の新設と就任、事業の進め方(部会の設置)、「みなとオアシスたいみやづ」の構成施設への加入と運営者の変更
第2回	令和4年11月8日	第2回宮津田井海まちフェスタの開催(報告・承認)、令和4年度事業の進捗(報告)及び令和5年度の取り組み(意見交換)

<参加団体>

(一社) 港まちづくり協議会大阪、(株)にしがき、サラヤ(株)、Hotel&Resorts 京都宮津、宮津市ヨット協会、丹後海陸交通(株)、(一社) 京都府北部地域連携都市圏振興社 天橋立地域本部、関西電力(株)宮津エネルギー研究所、京都府立宮津天橋高等学校、京都府立海洋高等学校、田井自治会、京都府立青少年海洋センター、京都府水産事務所、京都府港湾局、京都府丹後広域振興局、宮津市

### (2) 企画連絡調整部会の開催

開催日		内容
第1回	令和4年8月26日	エリアの情報発信・既存サービス連携した商品造成、第2回宮津田井海まちフェスタの実施、来年度の活動に向けた事業内容についての意見交換など
第2回	令和4年9月15日	エリアの情報発信・既存サービス連携した商品造成、第2回宮津田井海まちフェスタの実施、来年度の活動に向けた事業内容、みなとオアシス参加(構成施設の追加)についての意見交換、雑誌「港湾」への寄稿・舞鶴港みなとオアシス認定イベントの協力依頼など
第3回	令和4年10月13日	エリアの情報発信・既存サービス連携した商品造成、第2回宮津田井海まちフェスタの実施、来年度の活動に向けた事業内容についての意見交換、舞鶴港みなとオアシス認定イベントの参加内容報告など
第4回	令和4年12月19日	実行委員会の令和5年度事業の展開案、観光庁補助を活用した事業(府)の取組について意見交換

### (3) 宮津田井海まちフェスタの開催

	開催日	主な内容	来場者数
第1回	令和4年4月23日	<ヨットハーバー会場> レンタルボート体験、モーターボート宮津湾クルーズ、セーリング体験、海上教室、BBQ・グランピング施設無料見学 <マリーニピア会場> フィールドアスレチックコース・ボルダリング場、トレーニング場無料開放、イチゴパック販売、eバイク無料体験、ミニコンサート、新体操パフォーマンス、キッチンカー、地元産ワカメスープの振る舞い、地元産ワカメうどん・ばら寿司の販売 など	約1,000人
第2回	令和4年12月10日	<ヨットハーバー会場> 天橋立を見ながらBBQ、レンタル艇見学会 <マリーニピア会場>	約600人

		クリスマスコンサート、ゆるキャラ集合、体験ワークショップ、フィールドアスレチックコース・ボルダリング場、トレーニング場無料開放、キッチンカー、地元の魚を使ったつみれ汁の振る舞い など	
--	--	---	--

事業費（円）	財源内訳（円）		
	国府支出金	その他	一般財源
1,000,000	276,000	500,000	224,000

※財源：デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)・まちづくり基金繰入金

### 3 多様な連携による「宮津・人流の港」づくり

宮津港のポテンシャルを活かした方策等を検討するため、地元関係者や港湾管理者による「宮津港を活かした地域振興にかかる勉強会」へ参画した。また、宮津港のPRに向け、京都府内の各港（宮津港、久美浜港、伏見港、京都舞鶴港）の交流・連携促進、魅力発信等を推進する「京のみなとオアシス連絡調整会議」へ参画した。

### 4 宮津市B&G海洋センター

指定管理者に、「京都府青少年育成協会」を指定し、管理運営を委託した。

指定管理料(円)	管理経費(円)	利用料金等(円)
7,600,000	7,903,077	510,684

○体育館利用状況

区分	利用件数(件)	利用人数(人)	使用料金等(円)
体育館	255	14,427	304,750
冷暖房	68	—	182,810
合計	323	14,427	487,560

## 第7節 定住促進

### 1 UIターン

定住人口の増加と地域の活性化を図るため、みやづUIターンサポートセンター（平成23年9月22日開設）において、引き続き移住希望者への情報提供等を行った。また、京都府北部地域連携都市圏の連携による地域ブランディング戦略に係る各事業の継続実施をしたほか、全市域での京都府移住促進特別区域の指定を目指して、地域とともに取組を進めるとともに、地域が実施するワークショップ等の取組を支援した。

事業	事業費（円）	財源内訳（円）		
		国府支出金	その他	一般財源
みやづUIターンサポートセンターの運営等 ・宮津市空き家等情報バンクシステムの運営 ・UIターン希望者への情報提供等	6,563,549	2,289,945	—	4,273,604
京都府北部地域連携都市圏連携事業 ・仕事、生活体験のウェブ配信 ・移住に関するワークショップの実施	368,319	184,159	—	184,160
総合的な空き家空地対策の推進	301,506	—	—	301,506
合計	7,233,374	2,474,104	—	4,759,270

※財源：デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

○登録状況等

		令和3年度末	令和4年度			
			新規登録件数	契約成立	登録抹消等	年度末登録件数
空き家等登録件数	住宅	24件	14件	10件	5件	23件
	店舗	1件	0件	0件	0件	1件
		令和3年度末	令和4年度			
			新規登録件数	本市への転入	登録抹消等	年度末登録件数
空き家等利用希望者登録件数		259世帯 526人	61世帯 109人	4世帯 6人	4世帯 10人	312世帯 619人

	令和3年度末	令和4年度	累計
定住実績	137世帯 275人	17世帯 23人	154世帯 298人

## 2 空家の活用等による移住促進

人口の増加と地域の活性化を図るため、市内への定住を目的に空家等を購入又は賃借し、修繕又は模様替えをする者に対し、その修繕等に要する経費の一部を支援した。また、移住促進特別区域において、地域が取り組むお試し住宅の整備を支援した。

事業	補助金額(円)	財源内訳(円)		
		国府支出金	その他	一般財源
定住支援空き家等改修事業補助金 (空き家等改修事業・空き家等活用推進事業) 5件(改修2件・家財撤去3件)	2,124,000	1,062,000	—	1,062,000
移住促進事業補助金 (移住促進住宅整備事業)				
移住者への空き家改修支援 5件	9,000,000	6,750,000	—	2,250,000
地域のお試し住宅整備支援 1件	1,800,000	900,000	—	900,000
合計	12,924,000	8,712,000	—	4,212,000

※財源：デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)、京都府移住促進事業費補助金、きょうと地域連携交付金

## 3 つつじが丘団地宅地分譲事業

分譲地の早期完売と住宅投資による地域経済の活性化を図るため、引き続きチラシの配架などのPR活動を展開したほか、イベント等の機会を活用して、分譲地の紹介・斡旋などを行ったが、販売には至らなかった。

## 4 都市部からの副業・兼業人材の受入推進

### (1) MIYAZU 未来戦略マネージャー

市内事業所の経営力向上や地域課題の解決などを図るため、本市の観光戦略や関係人口創出、DX(業務改革)等の取組に対し、企画提案や助言を受ける「MIYAZU 未来戦略マネージャー」7人を引き続き

受け入れた。

また、北部7市町へ拡大し、京都府北部の商工会議所や金融機関でつくる『「海の京都」未来共創ネットワーク』の事業として、副業・兼業プロ人材のマッチングの取組を引き続き実施した。

分野	活動内容	人数(人)
観光戦略	・観光集客のための戦略プランへの助言 ・観光コンテンツづくり支援(由良) など	3
関係人口	・ふるさと納税の分析、商品造成支援 ・デジタルコンテンツ活用助言 ・シティプロモーション企画立案、助言 など	2
業務改革	・庁内DX検討ワーキングチームの活動支援 ・DX推進計画及び推進体制への助言 など	2
合計		7

事業費(円)	財源内訳(円)		
	国府支出金	その他	一般財源
8,002,784	7,955,464	—	47,320

※財源：地方創生臨時交付金

## (2) 都市部企業・人材による地域ビジネス等支援事業

地域企業等の経営力や人材力の向上に向け、都市部企業・人材の更なる活用を図るため、「MIYAZU未来デザインセンター」による、都市部企業・人材と地元企業との連携・交流事業の取組を支援した。

実施内容	参加実績
プロボノ型都市部人材(複業フェロー)によるチーム型企業伴走支援プログラム	・複業フェロー参加者：12人 ・市内企業：7社
都市部企業研修による実践型交流プログラム	・都市部企業：27社(41人) ・市内企業：14社

補助金額(円)	財源内訳(円)		
	国府支出金	その他	一般財源
7,158,259	7,158,259	—	—

※財源：地方創生臨時交付金

## 5 関係人口の創出・拡大

### (1) 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの運営

関係人口の創出や都市部企業等の人材と地域事業者及び住民の交流を図るための中核拠点「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」について、指定管理制度による管理運営を実施した。

- ・指定管理委託料：14,000,000円(利用料金収入：3,492,110円)
- ・指定管理者：株式会社FoundingBase
- ・指定期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日(3年)

#### ア 利用状況及び利用料金収入

区分	利用状況	利用料金収入
コワーキングスペース (イベントや企画での利用を含む)	3,898人	453,110円
レンタルオフィス	9室(9法人)	3,036,000円
その他(温水シャワー利用)	30件	3,000円
合計	—	3,492,110円



イ 関係人口創出等に向けたイベントや企画

関係人口づくりに向けた都市部と地域との交流イベントの実施や、地域内外の方が新たな連携・共創やチャレンジが生まれるための土壌づくりを推進した。

区 分	開催回数	参加者数
都市部と地域との交流イベント	18 回	453 人
各種交流イベントや地域事業者等との共創イベント	95 回	1,645 人
合 計	113 回	2,098 人

(2) ワークーション受入環境整備支援

ロビーや客室などをテレワークやワークーション施設（スペース）に整備する市内の宿泊施設等を支援した。

- ・支援施設：1 施設（つるや食堂（飲食店））

補助金額(円)	財源内訳(円)		
	国府支出金	その他	一般財源
250,000	125,000	—	125,000

※財源：デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

(3) 進出企業定着・地域活性化支援事業

前尾記念クロスワークセンターMIYAZU に進出（入居）した企業と地域の事業者が連携して行う、地域資源を活用した地域活性化の取組を支援することで、進出企業の基盤強化と地域定着を図るとともに、地域活性化を図る取組を実施した。

- ・支援企業：スターマーク株式会社
- ・支援内容：地域事業者と連携し、地域の事業者や製品、取組などの情報を動画コンテンツ化し情報発信するための機器導入及び情報発信番組の企画・配信、地域事業者の動画マーケティング支援等

補助金額(円)	財源内訳(円)		
	国府支出金	その他	一般財源
17,000,000	17,000,000	—	—

※財源：デジタル田園都市国家構想推進交付金（地方創生テレワークタイプ）、地方創生臨時交付金

## 6 未来を担う人財応援奨学金事業

将来、ふるさと宮津の未来を担う人材として宮津にUターンする若者を増やすため、卒業後本市に居住すると返還免除となる、大学、短期大学、専門学校等への進学に必要な修学資金の一部を貸与する奨学金制度により、5 人（継続 3 人、新規 2 人）に貸与を行った。また、複数年にわたる貸与資金に係る財源を確保するため、ふるさと納税等寄附金を受け入れるとともに、基金に積み立てた。

(1) 未来を担う人財応援奨学金の貸与

補助（貸与）金額(円)	財源内訳(円)		
	国府支出金	その他	一般財源
2,100,000	—	2,100,000	—

※財源：未来を担う人財応援奨学金基金繰入金

(2) 未来を担う人財応援奨学金寄附金

「人材育成のために」として、次のとおり寄附金を受け入れた。

寄附件数(件)	寄附金額(円)	備考
1,246	24,291,000	未来を担う人財応援奨学金基金へ積立

(3) 未来を担う人財応援奨学金基金

「子ども若者未来応援基金（令和5年3月設置）」の設置に合わせ、基金の統合を実施した。

(単位：円)

令和4年度末基金残高		29,277,500	
令和4年度	基金積立額	24,291,212	市民等からの寄附 24,291,000 基金利子 212
	基金取崩額	53,568,712	令和4年度事業に充当 2,100,000 子ども若者未来応援基金へ積立（統合） 51,468,712
令和4年度末基金残高		0	

(4) 子ども若者未来応援基金

第7次宮津市総合計画の「若者が住みたいまちづくりプロジェクト」を推進する中、少子化対策・子育て環境、教育、総合的な移住定住対策などを充実させるため、新たに「子ども若者未来応援基金」を設置。

なお、基金設置に合わせて、「未来を担う人財応援奨学金基金」を同基金に統合するとともに、「育英資金貸付基金」の廃止に伴う残余財産を同基金に積み立てた。

(単位：円)

令和4年度	基金積立額	151,468,712	未来を担う人財応援奨学金基金の統合 51,468,712 育英資金貸付基金の残余財産の積立 16,403,117 その他（一般財源） 83,596,883 基金利子 0
	基金取崩額	0	
令和4年度末基金残高		151,468,712	

第8節 空家空地対策

第2期宮津市空家空地対策計画(令和4年度～令和13年度)に基づき、空家空地対策事業を推進した。

1 宮津市空家空地対策協議会

(1) 協議会の開催

- ・構成 弁護士、司法書士、宅地建物取引業者、土地家屋調査士、建築士、大学、自治連合協議会、民生児童委員、宮津商工会議所、市長 10人
- ・令和4年度の開催状況

開催日	主な内容
令和5年3月28日	・空家空地対策の令和4年度の実績、令和5年度の取組について

2 空家の現状と利用状況等の把握

空家等の推移を把握し、空家等の適切な維持管理の啓発と利活用を促進するために、空家総量追加調査及び利活用等意向調査を実施した。

(1) 空家総量追加調査

- 調査期間 令和4年6月10日～8月12日
- 調査方法 水道閉栓データによる机上調査を基に空き家と思われる住宅等の外観目視による空家判断

- 調査対象 126 件
- (2) 利活用等意向調査
  - 調査期間 令和4年10月～令和5年1月
  - 調査対象者 空家等の状態確認判定の結果、「すぐ使えそう」「少しの修繕等で使えそう」と判断された空家所有者等のうち、昨年度調査で無回答及び空き家バンク登録を希望しなかった方
  - 意向調査発送数 393 件
  - 回答数 131 件 (回答率: 33.3%)
  - バンク登録希望件数 10 件

### 3 予防の推進

所有者等の空家等及び空地に対する意識の醸成と発生抑制及び適正な維持管理に関する啓発に取り組んだ。

- (1) 広報みやづによる啓発
  - 「あなたの人生とともに歩んできた大切なおうちが空家に…」 「考えましょう、住まいの終活」等をテーマに記事掲載
- (2) 啓発講座の開催
  - 「住まいの将来講座」(令和5年3月17日開催)を開催し、住まいの将来について考えるきっかけづくりに向けた啓発を実施した。
- (3) 空家空地対策相談窓口
  - ・空家空地相談件数 123 件

### 4 安全・安心の確保

管理不全な状態である空家等及び空地をはじめとする市内の空家等及び空地について、所有者等の適切な管理を促進するため、情報の提供、助言等を行った。

- (1) 管理不全な空家空地 (令和4年度末状況)
  - ・管理不全な空家 17 件 うち対処済 4 件 (解体・除却4件)
  - ・管理不全な空地 25 件 うち対処済 1 件
- (2) 管理不全な状態の空家等の危険度等の判定調査

委託先	委託料(円)	調査件数(件)
一般社団法人京都府建築士会	44,000	2

## 第9節 広報・広聴

### 1 広報活動

事業名	内容
広報「みやづ」の発行等	<b>【広報みやづの発行】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月20日発行、各戸配布</li> <li>・主な内容 市政の運営状況、市民のまちづくり活動など</li> </ul> <b>■印刷部数</b> 7,500部 <b>■発行経費</b> 3,634,125円 ※有料広告収入: 355,000円 (申込み事業者 17社)

ホームページの運用	宮津市ホームページ <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設日 平成11年6月1日</li> <li>・主な内容 観光情報、くらしのガイド、計画・施策</li> <li>・令和4年度ページビュー数 1,704,604PV (シティプロモーションサイト 239,963PV)</li> <li>・保守管理委託料 979,220円</li> </ul> ※有料広告収入：58,000円（申込み事業者 9社）
デジタルコンテンツの作成	Web記事作成をコトカタリ研究所に委託。ホームページとnoteで公開。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な内容 地域の催し、文化、歴史をWeb記事で発信</li> <li>・委託料 2,420,000円 ※財源：地方創生臨時交付金</li> </ul>

## 2 広聴活動

### (1) どこでも市長室

開催日	申込者	参加人数 (人)	主な話し合いのテーマ
10月24日	宮津商工会議所女性の会	11	観光・福祉施策等について
合 計		11	

### (2) どこでも職員講座

種別	主なテーマ	回数(回)	参加人数 (人)
消防防災	防災減災の基本、災害リスクについて	3	33
	原子力災害防護措置の概要	1	9
消費生活	宮津与謝消費生活センターの紹介、特殊詐欺の啓発	2	125
健康福祉	フレイルについての講話等	2	10
	成年後見制度について	2	33
	認知症サポーター養成講座	1	21
合 計		11	231

## 第10節 スポーツ振興

「第2期宮津市スポーツ推進計画」（2018年～2022年までの5ヶ年計画）の基本理念に掲げる「スポーツを通じた人とまちの元気づくり」を目指し、(公財)宮津市民実践活動センター、宮津市スポーツ協会、NPO法人Sports Club RAINBOW、宮津市スポーツ推進委員などと連携を図り、青少年から高齢者に至るまで幅広い層の市民を対象とした各種スポーツ教室・大会等を計画・実施するとともに、スポーツに親しむ機会となるようSOMPOボールゲームフェスタや、スポGOMI in 天橋立、天橋立エコ・スポーツフェスティバルを開催した。

併せて、競技スポーツの普及・振興を図るため、宮津市スポーツ協会等スポーツ関係団体への活動支援や組織強化に努めるとともに、とりわけジュニアスポーツの育成を図るため、「ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業補助金」制度の創設や、京都サンガF.C.のホームタウン加入を契機としたサッカー教室・試合観戦、ヨットハーバーを拠点とした海のスポーツ活動支援などを行った。

また、最終年度を迎える「第2期宮津市スポーツ推進計画」の必要な見直しなどを行い、「第3期宮津市スポーツ推進計画」を策定した。

### 1 市民スポーツ事業

日常的なスポーツ活動の充実・促進を図るため、各種スポーツ大会を計画・実施し、スポーツに接する機会の提供に努めた。

#### (1) スポーツ教室

教室名	対象	参加人員等
巡回ニュースポーツ教室 (宮津市スポーツ推進委員主管事業)	市民	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

少年少女ヨット体験教室	小学生 (1～6年生)	令和4年6月5日(日)・ 12日(日) 参加人数:延べ28人
少年少女スキー教室	小学生 (4～6年生)	令和5年2月5日(日) 参加人数:10人

## (2) スポーツ大会

大会名	対象	参加人員等
宮津市長杯争奪与謝地方中学校野球大会	中学生	令和4年6月4日(土)・ 5日(日) 参加人数:6チーム96人
市民スポーツDAY【共催事業】 次世代育成事業「SOMPOボールゲームフェスタ」 (主催:一般社団法人日本トップリーグ連携機構) <あそびバ!> ボール遊び運動体験 <キッズチャレンジ> トップアスリートによる直接指導体験 4競技(ラグビー・サッカー・バスケットボール・ バレーボール)	<あそびバ!> 年長、小学校低学年 (小1～小3)と保護 者  <キッズ チャレンジ> 小学校高学年 (小3～小6)	令和5年3月4日(土) ・小学校低学年 25人【保護者25人】 ・小学校高学年 53人

## (3) スポーツ推進委員

コロナ禍において、ニュースポーツの普及・指導等の活動は実施できなかったが、地域・生涯スポーツの振興を図るため、委員の資質向上を図るための研修会を実施した。

なお、京都府、近畿で開催される予定の研修会は動画配信で行われた。

## 2 スポーツ大会参加

競技力向上と、市町の親睦を図るため、各種大会へ参加した。

また、全国大会等に出場される選手を激励するため、懸垂幕を掲出し、広報活動を実施した。

### (1) 四都市スポーツ大会等

大会名	日程
四都市スポーツ大会(春季大会・福知山市[当番市])	令和4年5月8日(日)
京都府民総合体育大会(府下一円)	令和4年10月30日ほか
四都市スポーツ大会(冬季大会・綾部市[当番市])	令和5年1月29日(日)

### (2) 広報活動

事業名	内容
全国大会等出場選手激励懸垂幕の掲出	・掲出先 浜町立体駐車場側面 ・掲出件数 19件(激励:スポーツ全国大会等出場) ・事業費 935,330円

## 3 スポーツ大会開催支援事業

広域的な大会の誘致及び開催支援により、選手の競技機会の拡充を図るとともに、スポーツを間近に見る機会を創出し、市民がスポーツに触れる環境づくりに努めた。

大会名	主催(管)団体	市補助金(円)	参加者数等
“京都府知事杯”第33回ビーチバレー 京都(天橋立フェスティバル)天橋立名勝 100年・特別名勝70年記念	京都府ビーチバレーボール 連盟	45,000	72チーム
近畿シニアソフトボール大会	宮津市ソフトボール協会	54,000	12チーム

天橋立エルダーソフトボール大会	宮津市ソフトボール協会	54,000	12 チーム
天橋立エルデストソフトボール大会	宮津市ソフトボール協会	54,000	4 チーム
丹後大学駅伝 (関西学生対校駅伝競走大会)	関西学生陸上競技連盟	100,000	22 チーム
宮津市長杯少年少女レスリング選手権大会	京都府レスリング協会	90,000	234 人

#### 4 スポーツ関係団体運営補助金

団 体 名	市補助金(円)
宮津市スポーツ協会 (加盟 20 団体)	1,755,000

#### 5 ジュニアスポーツの育成

##### (1) ヨットハーバーを拠点とした海のスポーツ活動支援

田井宮津ヨットハーバーのリバイバルを契機に、(株)にしがきからいただいた企業版ふるさと納税を活用し、ヨットハーバーの設立当初から当該施設を拠点としてヨット競技の普及や活動を通じたジュニア選手の育成、地域振興に取り組む宮津市ヨット協会が行うオプティミストディンギー級 (OP 級) の新艇導入による競技環境の強化の取組を支援した。

補助金額(円)	財源内訳(円)		
	国府支出金	その他	一般財源
1,000,000	500,000	500,000	0

※財源：デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)、まち・ひと・しごと創生基金繰入金

##### (2) 京都サンガ F.C. ホームタウン活動による子どもたちの競技力向上

京都サンガ F.C. のホームタウンへの加入 (R4. 4. 26 加入) に伴い、サンガ選手による講習会の開催や試合観戦を通じて子どもたちの競技力向上に繋げた。

事業内容	開催日	会場	参加者数等
京都サンガ F.C. 市民限定観戦ツアー	令和4年10月8日	サンガスタジアム(亀岡市)	24 人 (小中高生 10 人、大人 14 人)
京都サンガ F.C. ホームタウン事業「サッカー教室」	令和5年1月29日	宮津市民体育館	宮津サッカースポーツ少年団 26 人(小学1年生～6年生)

事業費(円)	財源内訳(円)		
	国府支出金	その他	一般財源
202,200	75,600	126,000	600

※財源：デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)、宮津市まち・ひと・しごと創生基金

京都サンガ F.C. 観戦ツアー参加料

##### (3) ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業

競技スポーツに取り組む小・中学生の競技力向上と心身の健全な発達をより一層促し、全国大会や国際大会出場という目標に向かってチャレンジする環境づくりを進めるため、企業版ふるさと納税等を活用した「ジュニアスポーツ育成チャレンジ事業補助金」制度を創設した。

#### 6 天橋立エコ・スポーツフェスティバル事業 (天橋立名勝 100 年・特別名勝 70 年記念事業)

天橋立で開催されるビーチバレーボール大会を一層地域に根付く大会とするため、清掃活動やジュ

ニア指導などを実施し、環境啓発も意識した市民参加型の大会として活性化するよう取り組むとともに、周年記念イベントとして、多くの市民に「天橋立」を大会してもらい、スポーツを通じた賑わい創出から保全承継に繋がる機会づくりに取り組んだ。

事業名	開催日	会場	開催内容	事業費(円)	備考
スポ GOMI in 天橋立	令和4年6月26日	天橋立大天橋	ビーチクリーン、スポ GOMI (清掃活動)、ビーチバレーボール体験教室	227,940	京都府ビーチバレーボール連盟、大塚製薬、第一生命と連携 12チーム49人が参加
天橋立エコ・スポーツフェスティバル	令和4年9月18日	天橋立小天橋・大天橋	模擬店、ステージパフォーマンス、ニュースポーツ体験会、フラッグフットボール教室	176,000	宮津市地域女性の会、Sports Club RAINBOW、京都府ビーチバレーボール連盟と連携

## 7 市民体育館利用状況

### (1) 指定管理料等

指定管理者に公益財団法人宮津市民実践活動センターを指定し、管理運営を委託した。

指定管理料(円)	利用料金(円)	その他(円)	管理経費(円)
15,517,955	5,694,993	2,544,000	23,756,948

### (2) 開館日数 359日

### (3) 宮津市民体育館利用状況

区分	競技場	剣道場	柔道場	多目的練習場	トレーニング室	会議室	合計
件数 (単位:件)	959 (815)	402 (309)	380 (363)	568 (569)	3,137 (2,072)	631 (552)	6,077 (4,680)
人数 (単位:人)	25,026 (16,460)	6,074 (4,857)	6,117 (5,468)	6,851 (6,310)	3,137 (2,072)	4,354 (3,188)	51,559 (38,355)

※表中下段( )書きは、前年度の実績 (公益財団法人宮津市民実践活動センター事業報告書)

### (4) 宮津市民体育館種目別利用状況

内 容		件数(件)	人数(人)
ス ポ ー ツ	卓 球	618	9,135
	テ ニ ス	20	158
	ソ フ ト テ ニ ス	44	1,010
	バ レ ー ボ ー ル	43	1,309
	ソ フ ト バ レ ー ボ ー ル	173	1,881
	バ ド ミ ン ト ン	106	1,335
	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル	186	4,651
	エ ア ロ ビ ク ス	75	742
	太 極 拳	77	756
	剣 道	4	35
	柔 道	71	1,810
	合 気 道	0	0
	空 手	124	1,238
	踊 り	231	1,453
	体 操	62	896
	ダ ン ス	199	2,826
	ヨ ガ	83	1,023
	フ ッ ト サ ル	36	510
フ ォ ー ク ダ ン ス	55	799	
ト レ ー ニ ン グ	3,138	3,147	

	レクリエーション	28	756
	マーチングバンド	0	0
	その他	238	4,092
	小計	5,611	39,562
文 化	文 化	0	0
	研 修 ・ 公 演	125	4,615
	そ の 他	341	7,382
	小計	466	11,997
合 計		6,077	51,559

(公益財団法人宮津市民実践活動センター事業報告書)

(5) 宮津市民体育館利用者別利用状況

区 分	件数(件)	人数(人)
児童・生徒	731	14,462
一 般	5,346	37,097
合 計	6,077	51,559

(公益財団法人宮津市民実践活動センター事業報告書)

(6) 宮津市民体育館利用料金収入状況

区 分		収 入	
		件数(件)	金 額(円)
施 設	ア リ ー ナ	411	2,191,536
	剣 道 場	117	462,589
	柔 道 場	99	411,747
	多目的練習場	122	533,076
	トレーニング室	492	837,170
	会 議 室	278	393,625
	小 計	1,519	4,829,743
設 備	付 属 設 備	688	583,240
	冷 暖 房 料	229	282,010
	小 計	917	865,250
合 計		2,436	5,694,993

(公益財団法人宮津市民実践活動センター事業報告書)

## 第11節 文化振興

宮津市文化団体協議会への活動支援や宮津市民文化祭の開催、文化芸術活動への補助金による支援を通じて、各文化団体等の自主的な活動の活性化や、市民が身近に文化・芸術に触れる機会の提供に努めた。

### 1 宮津市文化団体協議会（加入30団体）の活動支援

宮津市文化団体協議会補助金の交付により活動支援を行い、市民が主体となった自主的、創造的な文化芸術活動の促進に努めた。

事業内容	事業費(円)	交付額(円)
・宮津市民文化祭の開催 ・広報誌「文化の潮」の発行 ・宮津市文化団体協議会構成団体の活動支援 等	463,446	300,000



## 2 宮津市文化芸術活動振興事業補助金

多様な文化芸術活動を促進し、こころ豊かな市民生活に寄与するため、補助金を交付し、大規模な発表やコンサートの開催を支援するとともに、文化芸術との触れ合いの機会を創出する活動を推進した。

区分	事業内容	総事業費(円) (補助対象経費)	補助金額(円)
市外での文化芸術活動の開催に対する支援	—	—	—
まちかどコンサート等の開催に対する支援	・みやづ歴史の館文化ホールにおいて、市民等を対象とした箏曲演奏会を開催	95,018 (95,018)	50,000
	・旧三上家住宅において、市民等を対象とした絵画展を開催	51,136 (51,136)	50,000
	・旧三上家住宅(酒造蔵)において、地域の方々を対象とした朗読会「音とことばの展覧会」を開催	72,000 (72,000)	50,000
	・智源寺駐車場において、市民、事業所等を参加対象とした、伝統芸能である宮津おどりの発表の場を設け、宮津おどり振興会のメンバーによる踊りの手ほどきを実施	50,000 (50,000)	50,000
	・旧三上家住宅において、地域の方々を対象としたギターとヴィオラによる演奏会「Indigo Note 2022 Summer Kansai tour in 宮津」を開催	57,390 (57,390)	50,000
	・本妙寺において、地域の方々を対象としたフルートとギターによる音楽会「時の響きコンサート」を開催	72,000 (72,000)	50,000
	・旧上宮津小学校の教室1室を活用し、地域の方々や観光客等を対象とした古布等創作品の展示を開催	50,000 (50,000)	50,000
	・盛林寺において、地域の方々や観光客等を対象とした「丹後の写真展」を開催	80,000 (80,000)	50,000
	・みやづ歴史の館文化ホール及びロビーにおいて、地域の方々等を対象とした「冬の丹洲ジャズフェスティバル2022」を開催	90,000 (90,000)	50,000
	・みやづ歴史の館文化ホールにおいて、地域の方々等を対象とした演奏会「ウインドオーケストラ与謝2023」を開催	148,452 (135,497)	50,000
	・前尾記念クロスワークセンター MIYAZU において、地域の方々等を対象とした個展と講演会・ミニワークショップを開催	51,852 (51,852)	50,000

※財源：デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)

### 3 第49回宮津市民文化祭の開催（11月3日～11月5日）

（宮津市文化団体協議会、（公財）宮津市民実践活動センター、宮津市の共催）

	開催日	会場	出演及び出品種別	出演団体・出品者数	観覧者数
音楽祭	11月3日	みやづ歴史の館 文化ホール	吹奏楽、ピアノ演奏、合唱、 オカリナ	10団体 (5団体)	403人 (276人)
芸能祭	11月5日		大正琴、郷土芸能、箏、尺八、 太極拳、民謡、民踊、日本舞 踊、歌謡曲	12団体 (9団体)	329人 (271人)
美術展	11月3日 ～5日	市民体育館	書、絵画、工芸、写真、いけ ばな、自由作品 出品点数182点（243点）	95人 (92人)	609人 (580人)
宮津市歴史資料館 特別開館	11月3日 ～5日	みやづ歴史の館 4階	常設展示室の開館 宮津市史、展示図録等の販売	—	48人 (66人)

※観覧者数等の（ ）書きは、前年度の実績

### 4 小中学生文化・芸術体験の実施

市内小中学生を対象に、京都市内等の劇場やホール等で開催される音楽や伝統芸能等の体験・鑑賞を実施

#### (1) 小学生文化芸術体験事業

「夏井いつき句会ライブ in 中丹」に参加した。

- ・開催日：令和5年3月26日
- ・場所：中丹文化会館（綾部市）
- ・参加者：1人

#### (2) 中学生文化芸術体験事業

「令和4年度全国高校生伝統文化フェスティバル」に参加した。

- ・開催日：令和4年12月18日
- ・場所：京都コンサートホール（京都市）
- ・参加者：1人（参加申込は10人あったが、9人はコロナで参加キャンセル）

### 5 天橋立名勝100年・特別名勝70年記念 田中彩子モノオペラ「ガラシャ」天橋立公演

舞鶴市出身でウィーンを拠点に活躍する国際的ソプラノ歌手の田中彩子氏が、天橋立を舞台に宮津市と関わりの深い「細川ガラシャ」を題材としたモノオペラを、天橋立名勝100年・特別名勝70年の周年記念公演として実施し、国内外に対して広く天橋立の歴史的・文化的魅力を発信するとともに、世界遺産登録に向けた機運醸成につなげていくため、実行委員会を設立し、公演及び関連事業を実施した。

※総事業費6,662,120円（宮津市負担金1,904,116円 ※財源：地方創生臨時交付金）

#### (1) 実行委員会

会議名	開催日	場所	主な議事内容等
第1回（設立） 総会	令和4年5月16日	宮津商工会議所 大会議室	・趣意書について ・実行委員会規約（案）について ・役員等の選出について
第2回総会	令和4年7月13日	福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム	・事業計画（案）について ・事業予算（案）について
第3回（解散） 総会	令和4年12月26日	みやづ歴史の館 大会議室	・事業報告及び収支決算報告について ・実行委員会の解散について

＊実行委員会構成団体

宮津市、京都府丹後文化事業団、宮津商工会議所、公益財団法人宮津市民実践活動センター、天橋立を守る会、一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社天橋立地域本部、一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社、天橋立文珠繁栄会、天橋立府中観光会、宮津天橋立観光旅館協同組合、宮津市地域女性の会、丹後海陸交通株式会社、WILLER TRAINS 株式会社、京都北都信用金庫、天橋立を世界遺産にする会、京都府丹後広域振興局、宮津市文化団体協議会、京都銀行宮津支店

(2) 田中彩子モノオペラ『ガラシャ』天橋立公演の開催

- ・日 時：令和4年9月21日 【第1部】17時30分開演 / 【第2部】20時開演
- ・場 所：天橋立公園内特設会場
- ・観客数：374人（【第1部】224人 / 【第2部】150人）

(3) 「宮津市文化芸術ブランドアンバサダー」委嘱式及び中学生との交流会の開催

- ・日 時：令和4年9月22日 13時～16時
- ・場 所：宮津中学校体育館
- ・内 容：「宮津市文化芸術ブランドアンバサダー」委嘱式、田中彩子氏によるミニコンサート、中学生の合唱披露と田中彩子氏によるアドバイス、田中彩子氏との交流
- ・参加者：98人（宮津中学校81人/栗田中学校17人）

第12節 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症対策として各種施策を行った。

1 交通事業者への事業継続支援

新型コロナウイルス感染症拡大により利用が落ち込んでいる交通事業者に対し、事業継続支援を実施

(1) 鉄道事業者への支援

- ・WILLER TRAINS 株式会社に対する、京都府、兵庫県及び沿線5市2町が協調した事業継続支援

総支援額(円)	補 助 団 体	うち宮津市 補助額(円)
52,894,000	京都府、宮津市、舞鶴市、福知山市、京丹後市、伊根町、与謝野町、兵庫県、豊岡市	5,899,000

※財源：地方創生臨時交付金

- ・新型コロナウイルス感染症や世界情勢等による原油価格高騰の影響を受けている京都丹後鉄道の安定した輸送サービスを確保するため、燃油・電力費の増加見合分を支援

総支援額(円)	補 助 団 体	うち宮津市 補助額(円)
37,311,000	京都府、宮津市、舞鶴市、福知山市、京丹後市、伊根町、与謝野町、兵庫県、豊岡市	4,161,000

※財源：地方創生臨時交付金

(2) タクシー事業者への支援

新型コロナウイルス感染症の影響でタクシー事業者が営業を縮小し、運行台数が減少している中、夜間の公共交通の利便性を向上して、夜のにぎわい回復につなげることを目的に、夜間のタクシー増車に係る支援を実施

支援額：1,504,000円 ※財源：地方創生臨時交付金

# 第4章 財政課

## 第1節 財政運営

### 1 財政健全化に向けた取組み

本市の財政運営は、令和3年度～令和12年度までの10年間における行財政運営の基本的な指針として令和2年度に策定した「宮津市第2期行財政運営指針」の2年目として、「中長期的な視点による行財政運営と高コスト体質の改善」「安定した行財政運営に向けた財政規律の強化」「重要課題への着実な対応と優先的な財源配分」の3点の指針に基づき、「持続可能な行財政運営有識者会議」における行政サービスのあり方検討や、総枠キャップによる建設地方債の発行抑制など、安定した行財政基盤の構築に取り組むとともに、令和元年度から令和5年度までの5年間における約41億円の収支不足を解消するため、平成30年度に策定した「財政健全化に向けた取組み」の着実な実施に努めた。

## 第2節 財産管理

### 1 財産の取得及び処分

#### (1) 土地の取得

	土地の所在	地目	筆数	面積(m <sup>2</sup> )	金額(円)	備考
一般会計	長江小字サヤ 1517 番	宅地	1	52.79	—	法定外公共物 用途廃止
	本町 839 番 2	宅地	1	90.14	—	遺贈
	万町 602 番	宅地	1	117.53	—	
	計			260.46	—	

#### (2) 土地の処分

	土地の所在	地目	筆数	面積(m <sup>2</sup> )	金額(円)	備考
一般会計	長江小字サヤ 1517 番	宅地	1	52.79	237,555	売却
	計			52.79	237,555	

※(1)、(2)は市道（橋梁を含む）、農道及び林道等インフラ資産並びに水道事業会計に係る用地を除く。

#### (3) 建物の取得

	建物の所在	構造	面積(m <sup>2</sup> )	金額(円)	備考
一般会計	本町 839 番 2	木造	109.64	—	遺贈
	万町 602 番	木造	147.28	—	
	計		256.92	—	

#### (4) 建物の処分

	建物の所在	構造	面積(m <sup>2</sup> )	金額(円)	備考
一般会計	須津小字一ツ山 2268 番 4	木造	453.00	—	無償譲渡
	滝馬 12 番 5	コンクリートブロック	6.15	—	
	須津小字倉橋山 23 番 41	コンクリートブロック	8.61	—	解体
	万年小字稻荷町裏 4	コンクリートブロック	3.64	—	
	江尻 245 番 1	コンクリートブロック	6.72	—	
	江尻 245 番 1	コンクリートブロック	10.00	—	
	江尻 245 番 1	軽量鉄骨造	16.50	—	
計			504.62	—	

#### (5) 物品の処分

官公庁オークション実施回数	出品件数	売却件数	売却額合計
1 回	1 件	1 件	830,000 円

※ 紀尾井町戦略研究所が提供する KSI 官公庁オークションに出品し、1 件（1 品）を売却した。

(6) 有価証券

出 資 先	令和3年度末		令和4年度末		増減額(円)
	株 数(株)	現在額(円)	株 数(株)	現在額(円)	
(株) 大林組	54,000	48,600,000	54,000	54,702,000	6,102,000
(株) みずほフィナンシャルグループ	1,568	2,457,056	1,568	2,944,704	487,648
丹後海陸交通(株)	55,000	2,750,000	55,000	2,750,000	—
北近畿タンゴ鉄道(株)	2,495	124,750,000	2,495	124,750,000	—
計	113,063	178,557,056	113,063	185,146,704	6,589,648

※ 株式上場企業である(株)大林組及び(株)みずほフィナンシャルグループについては、年度末現在の株価の終値をもとに算出した額を、また、その他のものについては、取得価格(額面金額)を記載した。

2 車両

(1) 車両の保有状況

区 分	令和4年3月31日現在	令和4年度中の増減		令和5年3月31日現在
		増	減	
普通乗用自動車	2(1) 台	—	—	2(1) 台
普通貨物自動車	2	—	—	2
小型乗用自動車	9(1)	—	—	9(1)
小型貨物自動車	4(1)	—	—	4(1)
軽乗用自動車	15(1)	—	—	15(1)
軽貨物自動車	16(1)	—	—	16(1)
大型特殊自動車	2	—	—	2
普通特殊自動車	3	—	1	2
小型特殊自動車	4	—	—	4
普通乗合自動車	4	—	—	4
計	61(5)	—	1	60(5)

※ 消防関係車両を除く。( )内の数値はリース車両等で、外数である。

(2) 車両の購入及び廃車等

区 分	車両登録番号	所 属 部	異動内容	異動年月日
普通特殊	京都 800 す 5711	教育委員会	廃車	R4. 4. 1

※ 消防関係車両を除く。

3 保険

(1) 全国市有物件災害共済会加入及び受給の状況

	災害共済会加入状況			災害共済金受給状況	
	件 数	共済金額	分 担 金	件 数	受 給 額
建物総合損害共済	棟 81 (7)	万円 1,464,599 (16,921)	円 1,786,260 (15,006)	件 1	円 434,500
自動車損害共済	台 82 (10)	49,063 (5,306)	1,200,118 (141,315)	8	1,477,173
道路賠償責任保険	450km	11,000	167,400	0	0
計	—	1,524,662 (22,227)	3,153,778 (156,321)	9 (0)	1,911,673 (0)

※ ( )内の数値は、特別会計及び水道事業会計に係るもので外数である。

(2) 全国市長会の損害保険の加入及び受給の状況

	加入状況			受給状況	
	件 数	支払限度額	分 担 金	件 数	受 給 額
市民総合賠償補償保険	件 1	万円 死亡補償 500 入院・通院補償 15 身体賠償10,000 財物賠償 2,000	円 283,020	件 0	円 0

防災・減災費用保険	1	1,000	1,135,784	1	360,595
計	-	-	1,418,804	1	360,595

#### 4 登記

(1) 市有財産（ほ場整備関係を除く。）の所有権移転登記状況

		前年度繰越数		本年度発生数		本年度処理数	
		所有者数	件数	所有者数	件数	所有者数	件数
全 体		人	件	人	件	人	件
		384	598	(1) 12	(1) 20	(1) 12	(1) 20
内 訳	道路関係	374	570	(0) 1	(0) 1	(0) 1	(0) 1
	その他	10	28	(1) 11	(1) 19	(1) 11	(1) 19

次年度繰越数		左の未登記の主な原因
所有者数	件数	
人	件	
384	598	
374	570	残地測量、相続関係
10	28	相続関係

- ※1 土地は筆毎、建物は棟毎にそれぞれ1件とした。  
2 ( )内の数値は、処分に係るもので内数である。

(2) 目的別登記処理件数（市有財産以外のものを含む。） (単位：件)

		所有権移転	分 筆	地目変更・その他	計
市有財産	財政課処理	(1)	(0)	(0)	(1)
		20	33	12	65
その他	財政課処理	—	—	—	—
計		(1) 20	(0) 33	(0) 12	(1) 65

- ※1 土地は筆毎、建物は棟毎に登記の目的毎に1件とした。  
2 ( )内の数値は、処分に係るもので内数である。

#### 5 庁舎の整備等

(単位：円)

事業名	概要	事業費	財源内訳		
			国府支出金	地方債	一般財源
宮津市役所別館 1階ほか空調機 取替工事	三相 200V 28.0kW 2台 単相 100V 3.6kW 1台	2,612,500	2,612,500	—	—
市有林（波路） 法面復旧工事	カゴ枠工（3段積） 30.0m 張芝工 479.0㎡	11,089,100	—	—	11,089,100
合 計		13,701,600	2,612,500	—	11,089,100

## 6 公共施設マネジメントの推進

### (1) 再編方針に基づく対策の進捗状況

(単位：件)

施設類型	フェーズ1 (概ね令和7年度まで)を目標とする対策の進捗状況			
	対象施設	達成した施設 [延べ床面積の減少]		
		令和3年度末	令和4年度中	令和4年度末
(1) 地域コミュニティ施設	12	1	1	2
(2) 学校教育施設及び子育て支援施設	3	1	0	1
(3) 市民文化系施設	3	1	0	1
(4) スポーツ施設	1	0	0	0
(5) 観光関連施設	5	4	0	4
(6) 産業系施設	11	1 [△453 m <sup>2</sup> ]	0	1 [△453 m <sup>2</sup> ]
(7) 市営住宅				
(8) 保健・福祉系施設	6	4 [△1,298 m <sup>2</sup> ]	0	4 [△1,298 m <sup>2</sup> ]
(9) ①庁舎関係	4	0	0	0
②地区連絡所	2	1	1	2
③公共交通関係	3	0	1	1
④生活衛生関係	3	0	0	0
⑤公衆便所	7	1 [△9 m <sup>2</sup> ]	1 [△6 m <sup>2</sup> ]	2 [△15 m <sup>2</sup> ]
⑥公園関係	2	0	0	0
⑦消防関係	2	2 [△47 m <sup>2</sup> ]	0	2 [△47 m <sup>2</sup> ]
⑧遊休施設	26	6 [△830 m <sup>2</sup> ]	7	13 [△830 m <sup>2</sup> ]
(10) 児童遊園	13	1	0	1
合計	103	23 [△2,637 m <sup>2</sup> ]	11 [△6 m <sup>2</sup> ]	34 [△2,643 m <sup>2</sup> ]
達成率		22.3%	10.7%	33.0%

### (2) 公共施設マネジメント推進会議の運営

#### ア 推進会議の開催状況

開催日	内容
令和4年12月26日	・日置地区、田井地区及び島崎地区内計9か所の公共施設の取組み、利用状況等の説明をフィールドワーク形式で実施。

#### イ 推進会議委員：8人

座長 谷口 知弘 (福知山公立大学地域経営学部地域経営学科教授)

### (3) 島崎ウォーターフロントエリアの再開発

日本三景天橋立を臨む眺望に優れ、アクセスも良い「島崎ウォーターフロントエリア」にある公共・遊休施設等について、民間資本導入による再開発を進め、地域経済の活性化を図ることを目的に、民間事業者の投資意欲や具体の事業提案、課題・条件等を把握し、事業化(公募)に向けた構想計画の立案を進めるため、ヒアリング調査等を実施した。

業務名	概要	事業費	財源内容		
			国府支出金	その他	一般財源
島崎ウォーターフロントエリア民間開発事業可能性調査業務	民間事業者への再開発に向けた投資意欲や事業提案のヒアリング調査等 受注者: 株式会社エム・エス・シー	5,929,000	2,964,500	2,500,000	464,500

### (4) 遊休市有財産の処分

#### ア 公募案件

財産名称	物件概要	公募方法	結果
雑種地	須津小字田尻 2649 番 3 183.00 m <sup>2</sup>	先着順	不調

旧福祉センター跡地	鶴賀小字鶴賀 2084 番 6 他 634.33 m <sup>2</sup> 鉄筋コンクリート造 床面積 598.92 m <sup>2</sup>	随意契約	
旧互助会館跡地	魚屋 907 番 1 他 421.97 m <sup>2</sup> 木造等 4 棟 床面積 328.90 m <sup>2</sup>		
宅地 4 区画	安智 2454 番 3 202.84 m <sup>2</sup>		
	惣小字左惣鼻 427 番 3 他 194.95 m <sup>2</sup>		
	喜多小字禮場 1291 番 3 133.86 m <sup>2</sup>		
	須津 2665 番 19 236.19 m <sup>2</sup>		

## 7 指定管理者選定委員会の運営

### (1) 委員会の開催状況

開催日	協議内容
令和4年9月28日	・宮津市指定管理者制度導入施設の状況について ・令和4年度末で指定管理期間を満了する施設のうち、引き続き指定管理者制度を導入する施設の導入方法（公募/非公募）の選定
令和5年1月24日	・令和4年度末で指定管理期間を満了する施設のうち、引き続き指定管理者制度を導入する施設の指定管理者候補者の選定

### (2) 指定管理者選定委員会：6人

委員長 遠藤 尚秀(大阪市立大学大学院都市経営研究科教授 公認会計士)

## 第3節 丹後地区土地開発公社の運営

### 1 総括

宮津市から依頼を受けて丹後地区土地開発公社が令和4年度中に実施した事業はなく、2事業、297,467,214円を次年度に繰り越した。

### 2 宮津市の業務依頼と実績

(単位：円)

	期首残高	当期増加高	当期減少高	期末残高
図書館等複合施設建設事業用地（柳縄手）	252,424,277	554,151	554,151	252,424,277
公共及び公共用地等取得事業（暁星）	45,042,937	—	—	45,042,937
計	297,467,214	554,151	554,151	297,467,214

※図書館等複合施設建設事業用地（柳縄手）及び公共及び公共用地等取得事業（暁星）における(株)ローソンの賃貸料等に係る利益は、公社定款等の規定に基づき「土地売却損失引当金」に計上されており、当該引当金の期末残高は73,489,330円である。

(丹後地区土地開発公社経営状況説明書)

### 3 期末残高の財源明細

(単位：円)

	期末残高	財源明細		
		京都府信用漁業協同組合連合会借入金	土地開発基金借入金	土地売却損失引当金
図書館等複合施設建設事業用地（柳縄手）	252,424,277	174,230,477	10,784,191	67,409,609
公共及び公共用地等取得事業（暁星）	45,042,937	—	38,963,216	6,079,721
計	297,467,214	174,230,477	49,747,407	73,489,330



第5節 地方債目的別現在高の状況

(単位:千円)

	令和3年度末 現在高	令和3年度中の増減		令和3年度末 現在高	令和4年度中の増減		令和4年度末 現在高
		当該年度中 起債額	当該年度中 元金償還額		当該年度中 起債額	当該年度中 元金償還額	
1 普通債	12,111,175	508,000	906,454	11,712,721	544,900	984,429	11,273,192
(1) 総務債	1,077,950	19,400	60,860	1,036,490		64,997	971,493
(2) 民生債	184,575		41,030	143,545		37,180	106,365
(3) 衛生債	337,013	13,300	17,394	332,919	10,200	23,680	319,439
(4) 農林水産業債	179,394	700	33,311	146,783	200	27,899	119,084
(5) 商工債	69,714		22,455	47,259		14,353	32,906
(6) 土木債	1,824,219	95,200	243,955	1,675,464	242,100	192,371	1,725,193
(7) 消防債	378,766	2,600	22,943	358,423	2,800	23,888	337,335
(8) 教育債	543,458		77,449	466,009		60,630	405,379
(9) 諸支出債	60,788		40,720	20,068		20,068	0
(10) 辺地債	72,085	5,400	15,118	62,367	24,500	14,072	72,795
(11) 過疎債	7,321,753	371,400	313,659	7,379,494	265,100	487,731	7,156,863
(12) 第三セクター等改革推進債	61,460		17,560	43,900		17,560	26,340
2 災害復旧債	1,005,344	12,900	63,398	954,846	1,200	132,227	823,819
(1) 農林水産業債	123,444		15,581	107,863		21,306	86,557
(2) 土木債	837,091	12,900	46,476	803,515	1,200	105,054	699,661
(3) 教育債	4,900		612	4,288		613	3,675
(4) その他	39,909		729	39,180		5,254	33,926
3 その他	4,242,909	227,444	390,245	4,080,108	88,397	403,232	3,765,273
(1) 市民税等減税補てん債	35,233		11,056	24,177		8,824	15,353
(2) 臨時財政対策債	4,079,699	227,444	365,286	3,941,857	88,397	386,192	3,644,062
(3) 減収補てん債	115,177		13,903	101,274		8,216	93,058
(4) 特別減収対策債	12,800			12,800			12,800
一 一般会計合計	17,359,428	748,344	1,360,097	16,747,675	634,497	1,519,888	15,862,284
1 休日応急診療所事業	11,577		2,162	9,415		2,236	7,179
特別会計合計	11,577		2,162	9,415		2,236	7,179
1 水道事業	3,971,103	284,200	245,193	4,010,110	411,300	245,087	4,176,323
2 下水道事業	9,362,796	462,700	704,575	9,120,921	386,900	700,286	8,807,535
全 会 計 合 計	30,704,904	1,495,244	2,312,027	29,888,121	1,432,697	2,467,497	28,853,321

# 第5章 市民環境課

## 第1節 戸籍・住民基本台帳等関係

### 1 戸籍・住民基本台帳人口及び世帯数

(令和5年3月31日現在)

本籍数	本籍人口	住民基本台帳	
		人口	世帯数
12,294 戸籍	27,986 人	16,554 人	8,286 世帯

#### ・地区別住民基本台帳人口・世帯数

地区名	世帯数	人口			地区名	世帯数	人口			
		男	女	計			男	女	計	
宮津地区	4,200	3,971	4,349	8,320	府中地区	767	738	887	1,625	
上宮津地区	489	456	487	943	日置地区	383	312	383	695	
栗田地区	788	786	876	1,662	世屋地区	52	45	46	91	
由良地区	508	433	492	925	養老地区	374	379	375	754	
吉津地区	644	670	725	1,395	日ヶ谷地区	81	67	77	144	
		総合計					8,286	7,857	8,697	16,554

### 2 諸届取扱件数

#### (1) 戸籍届書 (戸籍事件数)

(単位：件)

出生	死亡	婚姻	離婚	その他	計
150	553	240	47	242	1,232

※その他……養子縁組・離縁、入籍、転籍、分籍、不受理申出ほか

#### (2) 住民基本台帳処理件数

(単位：件)

種別	計	種別	計
出生	60	転居	189
死亡	369	世帯主変更	3
転入	437 (514)	世帯合併	7
		世帯分離	32
転出	514 (629)	世帯構成変更	4
		個人項目変更	335
転出取消	1	職権記載	4
国籍取得	0	職権消除	3
国籍喪失	0	帰化	0
		合計	1,958

※ ( ) 内は人数

### 3 外国人住民に係る国籍別人口

(令和5年3月31日現在)

国籍別	人口(人)			国籍別	人口(人)		
	男	女	計		男	女	計
韓国	21	28	49	ベトナム	0	53	53
フィリピン	1	32	33	台湾	2	1	3
中国	0	4	4	ネパール	7	4	11
朝鮮	1	0	1	インドネシア	6	5	11
米国	4	4	8	タイ	0	1	1
カナダ	1	0	1	ベラルーシ	0	1	1
ロシア	1	0	1	ベルギー	1	0	1
英国	1	0	1	ミャンマー	0	1	1
ニュージーランド	1	1	2	ポルトガル	1	0	1
				合計	48	135	183

### 4 社会保障・税番号制度における個人番号カード交付状況

(令和5年3月31日現在)

交付	交付率 (交付/人口)
4,711件 (12,036件)	28.4% (72.7%)

※( )内は累計

## 第2節 市民相談等・交通安全対策

### 1 市民相談

(単位:件)

項目	件数	内訳	
		来庁	電話等
家庭関係	6	2	4
住宅・土地関係	3	1	2
近隣関係	16	6	10
商取引関係	0	0	0
その他	10	6	4
計	35	15	20

### 2 交通安全対策

#### (1) 宮津市内における人身事故発生状況

件数	18件
負傷者	29人
重傷者	1人
死者	1人

(2) 高齢者運転免許証自主返納支援事業 1,500,000円

・対象 65歳以上の宮津市民

(単位：人)

利用実績	京都丹後鉄道 (6ヶ月無料パス)	丹後海陸交通 (6ヶ月無料パス)	丹後海陸交通 (バス回数券)	日交タクシー (利用券)	交通空白地有償 運送利用券
75	0	1	22	48	4

### 第3節 人権啓発

#### 1 杉末会館運営事業

事業区分	内 容	実施回数 (回)	利用人数等 (人)
相談事業	健康・生活相談	14	24
	職業相談	1	4
クラブ活動	子供会	2	25
	学習相談	0	0
	スポーツ教室	0	0
	その他	10	82
教養・文化活動	料理教室	0	0
	人形劇・コーラス活動	0	0
	地区運動会	0	0
	伝統芸能の保存	11	171
その他	広報活動	93	2,931
	研修活動	6	95
	福祉活動	7	104
	諸会議	56	601
	社会調査	12	—
	遊戯室自由来館	42	138
	その他	2	10
計		256	4,185

### 第4節 男女共同参画

#### 1 ワーク・ライフ・バランス推進事業

子育てしやすい職場環境づくりや、ライフスタイルに応じた多様な働き方の普及を図るため、ジェンダーギャップの解消の必要性とワーク・ライフ・バランスの関連について講演会を実施した。

##### (1) ワーク・ライフ・バランス講演会の開催 (参加者 58人)

日 時 令和4年10月14日 (金)

内 容 演題：「小さな世界都市を創る～Local&Globalの挑戦～」

講師：中貝宗治氏 (前豊岡市長)

#### 2 子育てにやさしいまちづくりモデル事業

「若者が住みたい、選ばれるまちづくり」に向け、女性のライフデザイン応援講座を開催した。

##### (1) 女性のライフデザイン応援講座の開催 (参加者延べ 32人)

○はじまりの講演会

○セミナー3回

- ・イントロダクション「自分と向き合う・原体験を掘り下げる」
- ・あなたらしく生きる「生き方・マインドセット・ライフデザイン」
- ・地域をつくる「自己実現と社会のバランスを考える」

○最終発表「自分の思いを伝えよう」

### 3 男女共同参画・女性活躍の推進に関する市民意識調査の実施

「宮津市男女共同参画基本計画～ウインドプラン 2017～」の中間年を迎えたことに伴い、市民の男女共同参画及び女性活躍推進等に対する意識を把握するための市民意識調査を実施した。

(1) 調査対象

宮津市に在住する16歳以上の市民から2,000人を年代別、男女別に無作為に抽出

(2) 調査方法

郵送配付・郵送回収

(3) 調査期間

令和4年6月6日～6月30日

(4) 回収結果

有効回収数：641件（有効回収率：32.1%）

### 4 DV防止対策

相談対応

(単位：人)

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談者数	4	1	0	2	1

## 第5節 SDGs

### 1 SDGsの推進

(1) SDGsセミナーの開催（ハイブリッド開催）

日時：令和4年11月9日（水）、10日（木）

市民・事業者向け 1回（参加人数40人）

市職員向け 2回

演題：SDGsの風潮をつかむ

講師：リコージャパン株式会社 自治体文教事業部 米谷正児氏

(2) 「SDGs未来都市」提案書の提出

タイトル：日本三景天橋立のあるまち宮津の未来へつなぐチャレンジ

～SDGsな観光地づくり、若者から選ばれるまちづくり、資源循環の促進～

内容：①人口減少・高齢化→②地域経済縮小・雇用の減少→③若年層の都市部流出→①人口減少というマイナススパイラルからの脱却に向け、世界から選ばれるSDGsな観光地づくりや観光を核とした地域経済の好循環の創出、若者に選ばれるまちづくりプロジェクトによる若者の移住定住の促進や関係人口の拡大、資源循環の促進により、持続可能で魅力あるまちづくりを展開する。

## 第6節 環境

### 1 持続可能な環境づくりの推進

#### (1) 脱炭素社会の構築に向けた再生可能エネルギーの普及・活用に関する調査等

##### ア 調査内容・成果

- ・ 再生可能エネルギーを活用したエコ観光地づくり  
再生可能エネルギーを活用したグリーンスローモビリティの事業化に向けた運行ルート等のサービス内容の検討と、府中地区で実証運行を実施するための実証計画を策定した。
- ・ 温泉熱の観光地づくり等産業への活用  
天橋立温泉の温泉熱利活用のため、新たな源泉のポテンシャルを把握するため、水源探査の実施と、天橋立駅周辺における温泉熱利活用に関する詳細検討を実施した。
- ・ 公共施設への再生可能エネルギーの導入と脱炭素社会の理解促進  
浜町立立体駐車場及びその周辺の公共施設における太陽光発電設備導入の調査・検討と、導入の可能性箇所として市民体育館周辺へのソーラーカーポートの設計を実施した。

イ 事業費 52,875,152 円

## 第7節 衛生

### 1 火葬場

利用件数 296 件 (市内 277 件、市外 19 件)

### 2 畜犬の登録状況

登録頭数 713 頭 (令和5年3月31日現在)

## 第8節 じん芥処理

### 1 ごみ処理の状況

#### (1) ごみ収集状況及び収集量 (宮津与謝クリーンセンター搬入量) (単位: t)

区分	市直営	収集 (市委託)	許可業者搬入	市民の 直接搬入	官公庁 (市以外)	計
燃やすごみ	9.0	3,645.2	543.1	542.9	7.7	4,747.9
燃やさないごみ	2.3	722.6	34.0	107.0	0.2	866.1
資源ごみ	0	627.0	0	3.2	0	630.2
大型ごみ	0.2	11.0	14.3	80.9	0	106.4
有害ごみ	0	15.0	0	0	0	15.0
計	11.5	5,020.8	591.4	734.0	7.9	6,365.6

#### (2) 東部不燃物処理場搬入量 (単位: t)

市有車		私有車	合計
土砂類	残渣類	土砂・瓦類	
262.5	833.4	19.4	1,115.3

## (3) 宮津与謝クリーンセンターの再資源化の状況 (1市2町)

(単位：t)

大区分	小区分	収集量	大区分	小区分	収集量
びん	白カレット	118.3	その他	紙類	130.6
	茶カレット	91.6		プラスチック類	685.7
	その他	61.7		発泡スチロール	14.3
	小計	271.6		ペットボトル	129.9
かん ・ 金属類	スチール	49.8		有害ごみ	24.9
	アルミ	60.4		電線くず	7.1
	鉄くず	30.7		破碎磁性物	143.1
	ステンレスくず	1.0		ダンボール	18.5
	アルミくず	7.3		紙パック	3.0
	真鍮くず	0.5		新聞・雑誌	18.5
	銅くず	0.1		小型家電	53.1
	破碎アルミ	15.4		衣類	10.7
	小計	165.2		小計	1,239.4
			合計	1,676.2	

## 2 宮津与謝環境組合分担金

1市2町合計負担額	うち宮津市負担額
410,644,000円	197,713,000円

## 3 ごみの減量化・資源化促進に向けた取組

## (1) 宮津市廃棄物減量等推進審議会の運営

有識者及び各ステークホルダーを委員とする宮津市廃棄物減量等推進審議会を設置し、一般廃棄物の減量化・資源化等に向け審議した。

開催回数	8回（全体会4回、資源循環検討部会2回、し尿手数料検討部会2回）
審議事項	宮津市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例の制定について 宮津市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例に基づく基本指針について（R5継続審議） 宮津市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例の一部改正について（一部の項目はR5継続審議）

## (2) ごみの減量化及び資源化調査業務

事業所が排出する生ごみの減量化を推進するため、市内事業所を対象とする事業系可燃ごみの排出量の調査を実施した。また、食品リサイクル装置（大型コンポスト）の実地導入による実証実験を実施した。

## 第9節 浄化槽

## 1 浄化槽補助事業

## (1) 浄化槽設置費補助金

下水道事業計画区域以外の区域において、専用住宅及び専用住宅以外の事業所に浄化槽を設置する者に対し浄化槽設置費補助金を交付した。

人槽区分	基数	補助金額	左 の 内 訳					
			専用住宅 (市内業者施工)		専用住宅 (市外業者施工)		事業所等	
			基数	補助金額	基数	補助金額	基数	補助金額
	基	円	基	円	基	円	基	円
5人槽	17	7,486,000	5	3,085,000	1	529,000	11	3,872,000
6～7人槽	7	4,301,000	3	2,316,000	1	662,000	3	1,323,000
8～10人槽	0	0	0	0	0	0	0	0
11～20人槽	2	2,004,000	0	0	0	0	2	2,004,000
21～30人槽	0	0	0	0	0	0	0	0
31～50人槽	0	0	0	0	0	0	0	0
51人槽～	0	0	0	0	0	0	0	0
計	26	13,791,000	8	5,401,000	2	1,191,000	16	7,199,000

(2) 高齢者世帯排水設備整備費補助金

宮津市に住所を有し65歳以上の者で構成される世帯に対し、補助金を交付した。

補助限度額	交付件数	補助金交付総額
10万円 / 件	1件	100,000円

(3) 浄化槽維持管理費補助金

浄化槽を適正に管理する者に対し、補助金を交付した。

人槽区分	基数	補助金額
5～10人槽	389基	7,780,000円

2 浄化槽清掃業の許可状況

浄化槽法第35条第1項の規定による浄化槽清掃業の許可を行った。

名称	代表者	住所
(株)エルバイイー	島田政則	宮津市字獅子崎108番地の29
木谷清掃社	木谷恵美	宮津市字川向1416番地
(株)鶴賀清掃社	富田正浩	宮津市字須津1974番地
トミタ環境(株)	城山恵二	宮津市字波路826番地

第10節 し尿処理

1 し尿処理人口及び年間くみ取り量等

(1) し尿処理人口及び年間し尿くみ取り量等

区分	世帯	人口	し尿くみ取り量	浄化槽汚泥収集量
くみ取り等	2,715世帯	4,447人	5,946.79 k1	—
浄化槽処理	750世帯	1,816人	—	3,788.89 k1
下水道処理	4,821世帯	10,291人	—	—
計	8,286世帯	16,554人	5,946.79 k1	3,788.89 k1

※ 単独処理浄化槽世帯及び自家処理世帯についてはくみ取り世帯に含む。



## (2) し尿処理登録件数

(令和5年3月31日現在)

宮津	上宮津	栗田	由良	吉津	府中	日置	世屋	養老	日ヶ谷	計
923	270	651	415	188	470	223	70	370	116	3,696

## (3) 年間くみ取り件数及び収集量

件数	収集量
18,230件	5,946.79kl

## (4) し尿くみ取り手数料

	調定額		収入済額	
	件数	金額	件数	金額
現年度分	17,362件	70,681,920円	16,987件	69,587,100円
過年度分	2,363	7,677,634	365	1,247,847
計	19,725	78,359,554	17,352	70,834,947

不納欠損額		未収額		収納率
件数	金額	件数	金額	
0件	0円	375件	1,094,820円	98.5%
458	1,681,495	1,540	4,748,292	16.3
458	1,681,495	1,915	5,843,112	90.4

## 第6章 税務・国保課

### 第1節 市税の課税状況等

#### 1 市民税

##### (1) 個人市民税

	納税義務者	うち均等割のみを納める者	均等割額	所得割額
給与所得者	5,702 人	460 人	19,957 千円	527,018 千円
営業等所得者	445	102	1,557	56,286
農業所得者	18	7	63	545
その他の所得者	2,027	533	7,095	64,412
計	8,192	1,102	28,672	648,261

(令和4年度市町村課税状況等の調べ)

##### (2) 法人市民税の課税状況

###### ア 納税義務者数 (令和5年3月31日現在)

(単位：件)

	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号	計
法人数	468	1	172	6	42	4	50	1	5	749

###### イ 申告法人数及び賦課額

		申告法人数	均等割額	法人税割額	賦課額 計
現 事 業 年 度 分	1号法人	415件	24,715,000円	6,186,500円	30,901,500円
	2号法人	1	144,000	0	144,000
	3号法人	167	25,272,000	18,790,500	44,062,500
	4号法人	6	1,080,000	1,495,000	2,575,000
	5号法人	41	7,376,000	2,468,500	9,844,500
	6号法人	4	1,920,000	0	1,920,000
	7号法人	50	23,553,000	9,344,900	32,897,900
	8号法人	1	2,100,000	3,416,400	5,516,400
	9号法人	5	21,600,000	23,521,700	45,121,700
	計	690	107,760,000	65,223,500	172,983,500
過 事 業 年 度 分	1号法人	14	400,000	84,400	484,400
	2号法人	0	0	0	0
	3号法人	5	65,000	0	65,000
	4号法人	2	180,000	1,800	181,800
	5号法人	5	96,000	28,900	124,900
	6号法人	1	480,000	0	480,000
	7号法人	9	410,000	212,400	622,400
	8号法人	0	0	0	0
	9号法人	3	0	140,900	140,900
	計	39	1,631,000	468,400	2,099,400
計	729	109,391,000	65,691,900	175,082,900	

※ 「現事業年度分」は、令和4年度に予定、確定又は修正申告があったもの。

「過事業年度分」は、前事業年度以前に係る修正申告等があったもの。

## 2 固定資産税

### (1) 課税状況

#### ア 納税義務者数

土地	家屋	償却資産
7,454 人	7,335 人	274 人

(令和4年度固定資産に関する概要調書)

#### イ 土地 (法定免税点以上)

	筆数	地積	評価額	課税標準額
田	10,784 筆	6,884,753 m <sup>2</sup>	806,994 千円	806,805 千円
畑	10,329	2,798,999	173,031	172,905
宅地	22,506	3,876,740	52,062,707	20,619,104
山林	25,289	15,395,592	274,219	274,117
原野	12,612	3,120,816	54,146	54,144
雑種地 他	5,941	1,797,403	8,552,582	5,686,702
計	87,461	33,874,303	61,923,679	27,613,777

(令和4年度固定資産に関する概要調書)

#### ウ 家屋 (法定免税点以上)

	棟数	床面積	評価額	課税標準額
木造	17,588 棟	1,272,307 m <sup>2</sup>	16,362,173 千円	16,333,537 千円
非木造	2,820	623,641	24,848,061	24,556,408
計	20,408	1,895,948	41,210,234	40,889,945

(令和4年度固定資産に関する概要調書)

#### エ 償却資産

	評価額	課税標準額
市長決定分	9,554,631 千円	9,395,320 千円
総務大臣配分	18,926,300	16,116,209
計	28,480,931	25,511,529

(令和4年度固定資産に関する概要調書)

#### オ 国有資産等所在市町村交付金

	評価額	算定標準額	交付金額
国有資産	355,140 千円	231,071 千円	3,234,700 円
公有資産	769,970	286,561	4,011,700
計	1,125,110	517,632	7,246,400

(令和4年度固定資産に関する概要調書)

### 3 軽自動車税

#### (1) 課税台数

		賦課期日 現在台数(A)	官公署分の 非課税台数(B)	身体障害者等 の減免台数(C)	課税台数 (A)-(B)-(C)	
原動機付 自転車	50cc 以下	883 台	0 台	10 台	873 台	
	50cc 超～90cc 以下	100	0	0	100	
	90cc 超～125cc 以下	162	7	0	155	
	ミニカー	35	0	0	35	
	計	1,180	7	10	1,163	
軽自動車	二輪車	221	6	0	215	
	三輪車	0	0	0	0	
	四輪 乗用	営業用	0	0	0	0
		自家用	4,922	20	270	4,632
	四輪 貨物	営業用	40	0	0	40
		自家用	2,490	30	44	2,416
	専ら雪上を走行するもの	0	0	0	0	
計	7,673	56	314	7,303		
小型特殊 自動車	農耕用	350	5	1	344	
	特殊作業用	89	4	0	85	
	計	439	9	1	429	
二輪の小型自動車		209	1	2	206	
計		9,501	73	327	9,101	

(令和4年度市町村課税状況等の調べ)

### 4 市たばこ税

特別徴収義務者	売渡本数	税 額
3 人	15,203,594 本	99,613,948 円

### 5 入湯税

特別徴収義務者	入湯人員	税 額
31 人	230,449 人	34,567,350 円

### 6 都市計画税

#### (1) 課税状況 (法定免税点以上)

	筆・棟数	面積	評価額	課税標準額
土 地	33,570 筆	9,517 m <sup>2</sup>	60,790,486 千円	33,799,167 千円
家 屋	20,408 棟	1,895,948	41,210,234	40,906,806
計	—	—	102,000,720	74,705,973

(令和4年度固定資産に関する概要調書)

令和4年度市税収納状況

	調定額		収入済額		不納欠損額		収入未済額		収納率
	件数	税額 円	件数	税額 円	件数	税額 円	件数	税額 円	
1 市民税	31,879	866,499,177	31,618	861,141,175	0	0	261	5,358,002	99.38%
(1)個人	31,183	691,116,077	30,926	685,974,841	0	0	257	5,141,236	99.26%
(2)法人	696	175,383,100	692	175,166,334	0	0	4	216,766	99.88%
2 固定資産税	10,586	1,375,573,200	10,452	1,368,152,465	1	307,600	133	7,113,135	99.46%
(1)固定資産税	10,581	1,368,326,600	10,447	1,360,905,865	1	307,600	133	7,113,135	99.46%
7 土地家屋 イ 償却資産	10,300	1,007,861,500	10,166	1,000,440,765	1	307,600	133	7,113,135	99.26%
(2)交付金	281	360,465,100	281	360,465,100	0	0	0	0	100.00%
3 軽自動車税	9,101	69,606,700	9,037	69,116,386	0	0	64	490,314	99.30%
4 市たばこ税	25	99,613,948	25	99,613,948	0	0	0	0	100.00%
5 入湯税	301	34,567,350	301	34,567,350	0	0	0	0	100.00%
6 都市計画税	10,301	73,128,500	10,179	72,601,762	1	20,500	121	506,238	99.28%
計	62,193	2,518,988,875	61,612	2,505,193,086	2	328,100	579	13,467,689	99.45%
1 市民税	398	19,358,335	77	3,603,035	54	2,542,423	267	13,212,877	18.61%
(1)個人	380	18,519,456	74	3,502,256	53	2,482,423	253	12,534,777	18.91%
(2)法人	18	838,879	3	100,779	1	60,000	14	678,100	12.01%
2 固定資産税	465	30,365,979	142	6,917,309	56	4,664,843	267	18,783,827	22.78%
(1)固定資産税	465	30,365,979	142	6,917,309	56	4,664,843	267	18,783,827	22.78%
7 土地家屋 イ 償却資産	459	30,035,493	140	6,786,152	56	4,664,843	263	18,584,498	22.59%
(2)交付金	6	330,486	2	131,157	0	0	4	199,329	39.69%
3 軽自動車税	325	2,301,801	59	523,763	50	336,500	216	1,441,538	22.75%
4 市たばこ税	0	0	0	0	0	0	0	0	-
5 入湯税	0	0	0	0	0	0	0	0	-
6 都市計画税	436	2,068,776	137	505,830	56	257,112	243	1,305,834	24.45%
計	1,624	54,094,891	415	11,549,937	216	7,800,878	993	34,744,076	21.35%

現年課税分

滞納繰越分

1 市民税	32,277	885,857,512	31,695	864,744,210	54	2,542,423	528	18,570,879	97.62
(1)個人	31,563	709,635,533	31,000	689,477,097	53	2,482,423	510	17,676,013	97.16
(2)法人	714	176,221,979	695	175,267,113	1	60,000	18	894,866	99.46
2 固定資産税	11,051	1,405,939,179	10,594	1,375,069,774	57	4,972,443	400	25,896,962	97.80
(1)固定資産税	11,046	1,398,692,579	10,589	1,367,823,174	57	4,972,443	400	25,896,962	97.79
ア 土地家屋	10,759	1,037,896,993	10,306	1,007,226,917	57	4,972,443	396	25,697,633	97.04
イ 償却資産	287	360,795,586	283	360,596,257	0	0	4	199,329	99.94
(2)交付金	5	7,246,600	5	7,246,600	0	0	0	0	100.00
3 軽自動車税	9,426	71,908,501	9,096	69,640,149	50	336,500	280	1,931,852	96.85
4 市たばこ税	25	99,613,948	25	99,613,948	0	0	0	0	100.00
5 入湯税	301	34,567,350	301	34,567,350	0	0	0	0	100.00
6 都市計画税	10,737	75,197,276	10,316	73,107,592	57	277,612	364	1,812,072	97.22
計	63,817	2,573,083,766	62,027	2,516,743,023	218	8,128,978	1,572	48,211,765	97.81

現年課税分・滞納繰越分

## 第2節 福祉医療

### 1 老人医療費支給事業

事業の内容		支給の内訳			
		区分	件数	給付額	1件当たり支給額
対象者	65歳～69歳の老人	現物給付	2,893件	6,754,349円	2,335円
受給者数	200名(2月末現在)				
支給割合	自己負担分の1/3の額	現金給付	99	300,870	3,039
診療月	令和4年3月～ 令和5年2月				
		合計	2,992	7,055,219	2,358

## 第3節 国民健康保険

### 1 被保険者

(令和5年3月31日現在)

区分		世帯数	人口	加入割合(対人口)	
市の状況		A 8,286世帯	16,554人	—	
加入者の状況		B 2,746	4,154	B/A	25.1%
内訳	一般被保険者	C 2,746	4,154	C/B	100.0
	退職被保険者等	D 0	0	D/B	—
	介護保険第2号被保険者	E (1,088)	(1,271)	E/B	(30.6)
	前期高齢者	F —	(2,180)	F/B	(52.5)

### 2 保険給付等

給付内容	支出済額	前年度比	給付内容	支出済額	前年度比
	(円)	(%)		(円)	(%)
療養の給付	1,285,911,550	99.0	出産育児一時金	1,668,000	44.5
療養費	13,287,604	108.4	移送費	—	—
高額療養費	181,415,341	101.4	葬祭費	1,450,000	107.4
			精神・結核医療付加金	1,839,480	92.1
			傷病手当金	303,173	863.2
計	1,480,614,495	99.4	計	5,260,653	73.7

### 3 国民健康保険税の賦課状況

#### (1) 保険税率

区分	所得割額	資産割額	均等割額	平等割額
医療分	5.5%	28.7%	23,600円	16,000円
後期高齢者支援金分	2.2%	11.3%	9,300円	6,300円
介護分(40～64歳まで)	2.3%	16.0%	12,000円	6,100円

#### (2) 賦課状況

区分	医療分	後期高齢者支援金分	介護分	計
所得割額	124,010千円 (40.7%)	48,849千円 (40.7%)	19,343千円 (41.4%)	192,202千円 (40.8%)
資産割額	27,350千円 (9.0%)	10,604千円 (8.8%)	3,893千円 (8.3%)	41,847千円 (8.9%)
均等割額	106,554千円 (34.9%)	41,990千円 (35.1%)	16,380千円 (35.1%)	164,924千円 (35.0%)
平等割額	47,040千円 (15.4%)	18,522千円 (15.4%)	7,082千円 (15.2%)	72,644千円 (15.4%)

計 ①	304,954 千円	119,965 千円	46,698 千円	471,617 千円
低所得者軽減額 ②	51,093 千円	20,129 千円	7,162 千円	78,384 千円
異動増減額等 ③	△4,368 千円	△1,817 千円	72 千円	△6,113 千円
調定額 ①-②+③	249,493 千円	98,019 千円	39,608 千円	387,120 千円
※③のうち、新型コロナウイルス感染症に係る減免	△489 千円	△195 千円	△152 千円	△836 千円

区分	医療分	後期高齢者支援金分	介護分	計
1世帯当たり	87,788 円	34,489 円	35,051 円	136,214 円
1人当たり	57,447 円	22,569 円	29,870 円	89,137 円
平均世帯数	2,842 世帯	2,842 世帯	1,130 世帯	2,842 世帯
平均被保険者数	4,343 人	4,343 人	1,326 人	4,343 人

※平均世帯数、平均被保険者数は、3月～2月の平均

### (3) 収納状況

	調定額		収入済額	
	件数	税額	件数	税額
現年課税分	3,185 件	387,120,000 円	3,120 件	375,793,576 円
滞納繰越分	523	45,098,224	163	10,891,316
計	3,708	432,218,224	3,283	386,684,892

不納欠損額		収入未済額		収納率
件数	税額	件数	税額	
0 件	0 円	165 件	11,326,424 円	97.1 %
32	6,018,352	432	28,188,556	24.2
32	6,018,352	597	39,514,980	89.5

## 4 保健事業

事業名	事業内容	受診者数
特定健康診査等事業	特定健康診査	1,548 人
	特定保健指導	36
健康診査事業	人間ドック費用補助	357

※人間ドック受診者のうち、特定健康診査該当者は344人



#### 第4節 後期高齢者医療制度

##### 1 被保険者数（宮津市）

（令和5年3月31日現在）

区分		負担割合			年度末現在
		1割証 （一般）	2割証 （一般）	3割証 （現役並み所得者）	
被保険者数	65歳～74歳	37人	3人	0人	40人
	75歳～	3,301	721	132	4,154
合計		3,338	724	132	4,194

※65歳～74歳は、一定の障害があると広域連合で認定を受けた被保険者

※平均被保険者数（3月～2月）は、4,158人（65～74歳：43人、75歳～：4,115人）

##### 2 収納状況

	調定額		収入済額	
	件数	税額	件数	税額
	件	円	件	円
現年課税分	26,866	271,473,319	26,807	270,722,373
滞納繰越分	100	1,474,646	23	275,945
計	26,966	272,947,965	26,830	270,998,318

不納欠損額		収入未済額		収納率
件数	税額	件数	税額	
件	円	件	円	%
0	0	86	750,946	99.7
6	693,659	53	505,042	18.7
6	693,659	139	1,255,988	99.29

##### 3 保健事業

事業名	事業内容	受診者数
人間ドック助成事業	人間ドック費用補助	102人

# 第7章 社会福祉課

## 第1節 地域福祉

だれもが住み慣れた地域で、安心して、生きがいを持って生活できる地域の実現を目指し、地域福祉活動の中核的役割を担う宮津市社会福祉協議会、地域に密着した活動を担う宮津市民生児童委員協議会及び宮津市老人クラブ連合会の運営にそれぞれ助成を行ったほか、令和元年度から宮津市地域ささえあいセンターを開設し、指定管理者として宮津市社会福祉協議会に運営を委託した。

### 1 宮津市地域ささえあいセンター管理運営事業

#### (1) 指定管理料

(単位：円)

	指定管理料	管理経費		その他収入	
		事業費	事務費		
通常分	2,376,000	2,469,000	135,000	2,334,000	93,000

#### (2) 自主事業

自主事業の名称	自主事業の内容	開催回数	参加人数
ボランティア講座	いきがい・助け合いフォーラム ・基調講演、実践発表ほか	1回	205人
	オヤジの活きざま講座	2回	30人
居場所づくり事業(みんな、おいでえなあ)	ぶらぶら体操	60回	672人
	お茶の間サークル	45回	355人
	パソコン教室	8回	20人
	スローエアロビック	33回	245人
	ラインダンス	16回	76人
	ちょこボラ	28回	50人
合計		193回	1,653人

### 2 福祉・教育総合プラザのコミュニティルーム及びクッキングルームの利用状況

子育て支援をはじめ市民の健康及び福祉の増進並びに教育・文化の振興を図るため、宮津市福祉・教育総合プラザのコミュニティルーム等を貸し出した。

区分	コミュニティルーム					クッキング ルーム	合計	
	第1	第2	第3	第4	第5			
件数(単位：件)	357	386	366	385	257	216	1,967	
人数(単位：人)	13,131	6,348	2,056	10,705	3,225	2,682	38,147	
収入金額 (単位：円)	使用料	482,775	170,305	253,865	333,630	135,065	26,280	1,401,920
	冷暖房料	274,090	76,785	100,590	72,200	50,305	6,400	580,370
	合計	756,865	247,090	354,455	405,830	185,370	32,680	1,982,290

### 3 民生児童委員協議会事業

民生委員・児童委員の改選に伴い、宮津市民生委員推薦会を設置し、新任及び再任として84名の民生委員・児童委員について京都府へ推薦するとともに、感謝状及び委嘱状の伝達式を開催した。

(1) 宮津市民生委員推薦会

- ア 開催日 第1回：令和4年5月31日（火） 宮津市福祉・教育総合プラザ（第1コミュニティルーム）  
第2回：令和4年8月1日（月） 宮津市福祉・教育総合プラザ（応接会議室）
- イ 委員 14名：宮津市民生児童委員協議会、宮津市ボランティア連絡協議会、宮津市社会福祉協議会、宮津市地域女性の会、宮津市自治連合協議会ほか

(2) 感謝状・委嘱状伝達式

- ア 開催日 令和4年12月1日（木） みやづ歴史の館（文化ホール）
- イ 出席者 新任委員、再任委員、退任委員
- ウ 内容 感謝状伝達（厚生労働大臣・京都府知事）、委嘱状伝達（厚生労働大臣・京都府知事）  
指名状伝達（厚生労働大臣）

(3) 補助金の交付

地域に密着した活動を行い、地域福祉の推進を担う民生児童委員協議会に助成した。（単位：円）

補助金の名称	補助金額	財源内訳	
		国・府支出金	一般財源
民生委員・児童委員活動費補助金	6,321,000	5,056,800	1,264,200
民生児童委員協議会会長活動費補助金	11,920	11,920	0
民生委員地域福祉活動促進費補助金	285,800	285,800	0
合計	6,618,720	5,354,520	1,264,200

(4) 民生委員・児童委員の活動状況

ア 内容別相談・支援件数（単位：件）

内容別事項	在宅福祉	介護保険	健康・保健医療	子育て母子保健	子どもの地域生活	子どもの教育・学校生活	生活費
相談・支援件数	40	28	23	7	13	5	10

年金・保険	仕事	家族関係	住居	生活環境	日常的な支援	その他	合計
0	3	12	18	61	479	389	1,088

イ 分野別相談・支援件数（単位：件）

分野別事項	高齢者関係	障害者関係	子ども関係	その他	合計
相談・支援件数	528	67	85	408	1,088

ウ その他の活動件数（単位：件）

活動事項	調査実態把握	行事・事業・会議への参加協力	地域福祉活動自主活動	民児協の運営・研修	証明事務	要保護児童の発見の通告・仲介	合計
件数	1,156	1,523	2,749	2,228	238	7	7,901

エ 訪問・連絡調整回数（単位：回）

内容	訪問・連絡活動	その他訪問	委員相互の連絡	関係機関との連絡	合計
回数	9,505	3,374	3,049	1,681	17,609

オ 活動延日数

活動延日数	10,123日
-------	---------

#### 4 社会福祉協議会補助事業

(1) 社会福祉協議会運営事業等補助金

地域福祉活動の中核的役割を担う宮津市社会福祉協議会が行う事業に対して助成を行った。

(単位：円)

補助金名	補助金額	財 源 内 訳			備 考
		国・府支出金	福祉基金	一般財源	
宮津市社会福祉協議会運営補助金	16,087,000	8,043,500	0	8,043,500	法人運営事業補助 暮らしのかけ橋事業補助 地域サロン事業補助 高齢者見守り事業補助 ボランティア振興事業補助 福祉有償運送活動支援補助 市老人クラブ連合会運営事業補助

## 5 京都府北部福祉人材養成システム総合実習センター「マ・ルート」

### (1) 実習センターの概要

対象施設	事業名	実施内容	学校名	延べ参加者
マ・ルート	実習・研修等	介護福祉士等の資格取得に向けた実習の実施、現場実習用プログラムの作成等	京都府立看護学校、舞鶴YMC A国際福祉専門学校ほか	69名
	高校生ボランティア・授業	授業の延長線上での福祉体験ほか	京都暁星高等学校	18名

## 6 介護人材確保推進事業

恒常的に不足が生じている介護人材の育成確保を図るため、民間事業者が実施する講習を受講した費用の一部について助成を行った。

### (1) 資格取得のための研修受講費の補助及び介護福祉士修学資金の貸与 (単位：円)

補助金(修学資金)名	補助(貸与)金額	財 源 内 訳			備 考
		国・府支出金	その他	一般財源	
介護員養成研修受講費補助金(初任者研修)	54,000	0	0	3,334,000	[初任者研修] 申請者 2名 (2/3 補助) 上限 100,000 円
介護福祉士資格取得講習等受講費補助金(実務者研修)	261,000				[実務者研修] 申請者 6名 (1/2 補助) 上限 67,000 円
介護福祉士資格取得講習等受講費補助金(受験対策講座)	0				[受験対策講座] 申請者 - 名 (1/2 補助) 上限 50,000 円
介護支援専門員実務研修受講試験受験対策講座受講費補助金(受験対策講座)	19,000				[受験対策講座] 申請者 1名 (1/2 補助) 上限 35,000 円
介護福祉士修学資金貸与	3,000,000				申請者 3名 上限 1,000,000 円

## 7 福祉事業寄附金

「福祉のために」として、次のとおり寄附金を収納した。

区 分	件 数	金 額	備 考
福祉全般	727件 (665件)	18,907,400円 (16,017,052円)	福祉基金へ積立 ※うち 725件 16,636,000円は、ふるさと宮津応援寄附

※ ( ) は前年度実績

## 8 福祉バス運行事業

福祉団体等の研修活動などに福祉バス「まつかぜ」を委託運行した。

委託先	委託料	使用件数	走行距離
丹後橋立交通（株）	1,339,250 円 (572,500 円)	58 件 (23 件)	6,603km (3,335km)

※（ ）は前年度実績

## 9 災害時要配慮者支援体制の構築

災害時における要配慮者への情報伝達、避難誘導、安否確認の体制づくりとして、災害時要配慮者名簿を更新し、災害時要配慮者の支援体制を進めた。

(1) 災害時要配慮者数（令和4年度末） (単位：人)

災害時要配慮者数	内 訳		
	災害時要配慮者個別計画作成登録者 [災害時たすけあいネットワーク登録者] (重度障害者・重度要介護者を含む)	重度障害者 (重度要介護者を含む)	重度要介護者
1,261	586	125	550

※重度障害者・・・身体障害者手帳1・2級の第1種を所持する者

(心臓、じん臓機能障害のみで該当する者を除く)

- ・療育手帳Aを所持する者
- ・精神障害者保健福祉手帳第1級を所持する者等

※重度要介護者・・・要介護認定3～5を受けている者

- ・障害高齢者の日常生活自立度のランクがB・Cの者（寝たきり）
- ・認知症高齢者の日常生活自立度のランクがⅢ・Ⅳ・Mの者等

## 10 共同募金・日本赤十字社資募集

(1) 共同募金

京都府共同募金会及び宮津市社会福祉協議会による赤い羽根共同募金（10月）、歳末たすけあい募金（12月）の戸別募金や街頭募金に協力した。

(単位：円)

募金総額		募金配分		宮津市社会福祉協議会の福祉活動
赤い羽根	1,755,512	福祉活動費	1,219,959	地区支会活動助成
		募金啓発活動費	172,341	暮らしのかけ橋活動費補助
		府共募運営費等	363,212	福祉団体活動助成
歳末たすけあい	1,709,468	福祉活動費	1,572,711	ふれあいサロン活動補助
		募金啓発活動費	136,757	買物支援サービス事業
				お誕生日訪問事業
合計	3,464,980	福祉活動費	2,792,670	地域活動応援助成
		募金啓発活動費	309,098	子どもと地域つながり助成事業
		府共募運営費等	363,212	給食サービス補助事業 等

## (2) 日本赤十字社活動資金

日本赤十字社京都府支部宮津市地区として、日本赤十字社員増強月間（5月）の戸別募金に取り組んだ。

（単位：円）

活動資金総額	活動資金使途		交付金使途	
1,679,612	日赤活動資金	1,343,690	—	
	宮津市地区交付金 (募金額の20%)	335,922	自治連へ助成	220,000
			事務費	115,922

## 11 災害救助等

### (1) その他の災害における対応

ウクライナ国内及び周辺国への救援活動を支援するため、市内14箇所の公共施設で救援金を募集した。

災害名	受付期間	救援金額(円)	備考
ウクライナ 人道危機救援金	R4.4.28～R5.3.1	61,186	日本赤十字社等を通じて被災地へ送金

### (2) 災害援護資金の回収状況

平成16年の台風23号被災世帯に対して貸し付けた災害援護資金について、回収を行った。

区分	世帯	金額(円)	
災害援護資金	貸付金	24	31,620,000
	利子	24	2,676,872
計	24	34,296,872	
前年度末回収額累計	24	30,707,653	
本年度回収額	2	140,976	
未回収額	4	3,448,243	

※本年度末現在の完済は20世帯

## 12 いのち支える宮津市自殺対策推進計画の推進

「いのち支える宮津市自殺対策推進計画」の円滑な推進を図るため、宮津市自殺対策推進協議会において進行管理を行った。

(1) 開催日 令和5年3月29日(水)

(2) 内容 ・自殺者の状況について

・進捗管理表(重点施策)に基づき、宮津市自殺対策推進事業の令和4年度事業実施状況及び令和5年度取組方針について協議した。

(3) 主な取組状況 ・「自殺予防週間」(9月)及び「自殺対策強化月間」(3月)において、パンフレット、啓発グッズ、のぼり旗を配置し啓発活動を実施

・啓発ポスターの作成 300枚、市内事業所等に配布

## 13 宮津市地域福祉計画の推進

「宮津市地域福祉計画」の円滑な推進を図るため、令和4年度までの進捗状況について、宮津市地域福祉計画推進協議会において、施策や事業のPDCAとする進捗管理を行った。

(1) 開催日 令和5年2月20日(月)

(2) 内容 宮津市地域福祉計画進捗管理表【重点事業】に基づき、令和元年度から令和4年度までの進捗状況及び次期宮津市地域福祉計画の方向性について協議した。

## 第2節 高齢者福祉

高齢者保健福祉に関する総合的な計画として策定した第9次高齢者保健福祉計画に基づいて事業を行った。

介護保険制度外の高齢者に対しては、高齢者の生活や自立の支援、介護予防、高齢者の生きがいと健康づくりに向けた従来の施策を継続実施し、介護保険制度の高齢者に対しては、介護保険サービスを利用する低所得者に対して引き続き助成を行った。

### 1 老人ホーム入所措置事業

養護老人ホーム等の入所措置状況

施設名	前年度末 実人数	本年度		年度末実人数	措置費
		措置開始人数	措置廃止人数		
成相山青嵐荘	23人	5人	3人	25人	48,421,536円
安岡園	2	0	0	2	4,848,782
満寿園	1	1	0	2	4,586,855
洛南寮	1	0	0	1	2,159,120
萩の苑	1	0	0	1	2,119,892
長生園	1	0	0	1	2,216,356
夕風の里	0	1	1	0	324,868
合計	29	7	4	32	64,677,409

### 2 敬老事業

各地区及び自治会等で行われる敬老会等に対し補助金を交付するとともに、長寿者に記念品を贈呈した。

実施地区(自治会)	対象者	補助金	長寿祝(記念品贈呈)	
4地区50自治会 (5地区46自治会)	3,206人(75歳以上) (3,261人(75歳以上))	1,689,300円 (1,627,500円)	米寿(88歳) 177人(205人)	百歳 5人(7人)

※( )は前年度実績

### 3 老人クラブ等助成事業

地域社会の中で自らの経験と知識を活かし、積極的に役割を果たそうと自主的に活動する宮津市老人クラブ連合会及び地域の単位老人クラブに対し活動支援を行った。

補助金名	補助金額
老人クラブ連合会活動促進事業費補助金	1,094,664円(1,101,504円)

※( )は前年度実績

補助金名	クラブ数・会員数	加入率(65歳以上人口比)	補助金額
単位老人クラブ助成金	24単位クラブ・912人 (27単位クラブ・1,007人)	12.50% (13.74%)	734,160円 (743,832円)

※「クラブ数・会員数」「加入率(65歳以上人口比)」(令和4年4月1日現在)

※( )は前年度実績

#### 4 高齢者福祉施設整備費等補助事業

(1) 社会福祉法人が整備した特別養護老人ホームの建設資金借入金の償還に対して補助金を交付した。

補助金名	補助金額(円)	事業概要
施設整備資金借入金償還補助金	7,893,750	実施主体 (福)北星会 整備年度 平成15～16年度 事業費 1,524,048千円 償還補助金総額 169,180千円 平成18年度債務負担行為設定 (平成18～37年度)

(2) 社会福祉法人が整備した高齢者施設等の職員雇用に対して補助金を交付した。

補助金名	補助金額(円)	事業概要
高齢者福祉施設等整備促進補助金(雇用機会拡大補助金)	800,000	実施主体 (福)北星会 対象施設 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)「天橋の家」 開設日 令和2年12月20日(増床) 対象年度 令和3～5年度 対象人数 市民正規職員2人×400千円

(3) 京都府地域密着型サービス等整備事業

社会福祉法人が整備した施設等に対して補助金を交付した。

(単位:円)

施設及び法人名	補助金額	財源内訳			整備概要
		国・府支出金	その他	一般財源	
特別養護老人ホーム (福)みねやま福祉会	2,761,000	2,761,000	0	0	家族面会室の整備(感染防止対策の強化)【繰越分】
認知症高齢者グループホーム (福)成相山青嵐荘	2,500,000	2,500,000	0	0	家族面会室の整備(感染防止対策の強化)【繰越分】
特別養護老人ホーム (福)北星会	1,136,000	1,136,000	0	0	家族面会室の整備(感染防止対策の強化)

### 第3節 福祉医療

#### 1 重度心身障害児者医療費支給事業

事業の内容		支給の内訳			
		区分	件数	給付額	1件当たり支給額
対象者	75歳未満の障害者で身障手帳1級・2級、療育手帳Aを有する者等	現物給付	4,105件	26,443,078円	6,442円
受給者数	180名(1月末現在)	現金給付	118	1,371,519	11,623
支給割合	自己負担分の全額				
診療月	令和4年2月～ 令和5年1月	合計	4,223	27,814,597	6,586

#### 2 重度心身障害老人健康管理費支給事業

事業の内容		支給の内訳			
		区分	件数	給付額	1件当たり支給額
対象者	65歳以上の障害者で身障手帳1級・2級、療育手帳Aを有する者等	現物給付	6,837件	23,185,836円	3,391円
受給者数	270名(12月末現在)	現金給付	251	1,593,441	6,348
支給割合	自己負担分の全額				
診療月	令和4年1月～ 令和4年12月	合計	7,088	24,779,277	3,496



### 3 ひとり親家庭医療費支給事業

事業の内容		支給の内訳			
		区分	件数	給付額	1件当たり支給額
対象者	子どもが18歳までのひとり親家庭の親と子等	現物給付	4,083 件	13,557,930 円	3,321 円
受給者数	425名(1月末現在)				
支給割合	自己負担分の全額	現金給付	137	466,276	3,403
診療月	令和4年2月～令和5年1月				
		合計	4,220	14,024,206	3,323

### 4 子育て支援医療費助成事業

#### (1) 府制度分

事業の内容		支給の内訳			
		区分	件数	給付額	1件当たり支給額
対象	・0歳～中学校卒業までの入院 ・0歳～中学校卒業までの入院外 (3歳以上は月額1,500円を超過した分※)	現物給付	3,471 件	8,903,361 円	2,565 円
受給者数	1,397名(1月末現在)				
支給割合	自己負担分の200円を超過する額	現金給付	4,913	14,938,818	3,041
診療月	令和4年2月～令和5年1月				
		合計	8,384	23,842,179	2,844

#### (2) 市単独分

事業の内容		支給の内訳			
		区分	件数	給付額	1件当たり支給額
対象	・3歳～中学校卒業までの入院外(府制度対象外の1,500円以下※)	現物給付	10,790 件	6,286,554 円	583 円
受給者数	1,190名(1月末現在)				
支給割合	自己負担分の200円を超過する額	現金給付	164	496,575	3,028
診療月	令和4年2月～令和5年1月				
		合計	10,954	6,783,129	619

※ 月額1,500円が適用されるのは、令和元年9月診療分から。8月診療分までは月額3,000円

## 第4節 児童、母子・父子福祉

「第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、各種施策を積極的に推進するなど、総合的な子育て支援策を展開した。

### 1 子ども・子育て会議運営事業

子ども・子育て支援法第61条に基づく市町村行動計画である「第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画」の取組状況について確認するとともに、『みんなで育み みんなが育まれるまち みやづ』を基本理念として、誰もが安心して子どもを生み育てられる環境の実現及び教育・保育、子育て支援サービスの更なる充実を図るための意見を募った。

(1) 子ども・子育て会議の開催（委員 13 人）

開催日：第 1 回 令和 4 年 8 月 10 日 第 2 回 令和 5 年 3 月 28 日

内 容：・第 2 期宮津市子ども・子育て支援事業計画における個別施策の実績と進捗状況について  
・令和 5 年度宮津市の子ども・子育て支援に係る主要事業（案）について ほか

(2) 事業費 委員報酬：155,000 円 費用弁償：9,953 円

## 2 地域子育て支援事業

### (1) 地域子育て支援拠点事業・利用者支援事業

宮津阪急ビル内に地域子育て支援拠点施設として、宮津市子育て支援センター「にっこりあ」を開設し、子どもと保護者や子育て家庭同士の交流促進を図ったほか、赤ちゃん誕生のお祝いながき送付や地域の子育て関連情報の提供など、これから子育てを始める方への情報提供や支援を行った。また、地域の子育てサロン活動に訪問して活動を支援した。併せて、利用者支援事業として、利用者の個別ニーズに沿った相談等を行った。

- ・委託先 社会福祉法人城東福祉会
- ・設置場所 宮津市字浜町 3012 番地 宮津市福祉・教育総合プラザ 4 階 (H29. 11. 27～)
- ・開設日及び開設時間 月～水曜日、金～日曜日 9：00～16：30（木曜日及び年末年始は休館）

	事業内容	延利用	前年度
地域子育て支援拠点	保護者等の交流の場の提供及び交流促進、子育てに関する相談及び助言、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び子育てに関する講習等の実施など	18,236 人	14,451 人
利用者支援事業	利用者の個別ニーズの把握・情報提供	125 件	139 件

### (2) 子育ての輪づくり支援事業

子育てに楽しさを感じられる環境づくりや地域ぐるみでの子育て支援を推進するため、子育て支援センター「にっこりあ」を中心として保護者同士の交流を促進した。また、地域の子育て支援の核となる人材を育成したほか、事業所等の子育て支援の機運を醸成するとともに、男性の家事・育児参加を促進した。

○子育て世代の交流促進・人材育成（委託先：社会福祉法人城東福祉会）

	事業内容	回数	参加人数
親子向けワークショップの開催	子どもの救急救命講習会	1 回	10 組・23 人
	おんぶ抱っこ教室	3 回	延べ 43 組・89 人
	おやこヨガ	3 回	延べ 15 組・31 人
	ベビーマッサージ	5 回	延べ 24 組・49 人
子育て関係 4 団体との協働による「みやづ子育てフェスタ」の開催		1 回	12 組・32 人

○「親子で楽しむ遊びと学びラボ」の開催

子育て支援に取り組む団体に補助金を交付し、子育て中の市民を講師に、親子や子育て家庭同士が学び、交流する機会を提供した。

・補助金額 30,000 円×2 団体

- ①子育てサロンひかり 工作、バランスボール体操、味噌作りほか（4 講座） 参加延べ 21 組
- ②カミヤヅラボ 親子陶芸教室（1 講座） 参加 8 組

○SNS を活用した情報発信

- ・「宮津市すくすく子育てLINE」の運用（委託先：宮津メディアセンター）

配信件数：113 件、配信登録者数：465 人（令和4年度末現在）

パパママライターからの情報提供による配信：5 件

- ・「にっこりあFacebook」の運用

○企業や事業所ぐるみの子育て応援の推進

- ・子育て応援事業所の認定 4 事業所
- ・子育て応援環境整備事業費補助金の交付 1 事業所 補助金額 50,000 円（おむつ交換台）

○男性の家事・育児参加の促進に向けた講座「お父さんと一緒に楽しもう」の開催

- ・スライム作り 幼児編（令和4年11月20日）参加 8 組
- ・スライム作り 小学生編（令和4年12月4日）参加：11 組
- ・パン作り 幼児編（令和4年11月27日）参加：6 組
- ・パン作り 小学生編（令和4年12月18日）参加：9 組

(3) 子育てにやさしいまちづくりモデル事業

京都府の「子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金」を活用し、子育てにやさしいまちの実現に向けた試行的な取組みとして、「にっこりあ」での託児サービスの試行等を実施した。

- 「にっこりあ」での託児サービスの試行実施（11月～3月（委託料、備品の購入））1,098,519 円

利用件数：30 件 利用実児童数：10 人

- 「にっこりあ」公式ホームページの制作及び運用 360,800 円

- 「にっこりあ」施設入口のゲート新設 220,220 円

- 「にっこりあ」施設ガラス飛散防止フィルム貼付修繕 451,000 円

### 3 およこのひろば

未就園の乳幼児とその保護者を対象に、未就園児童の遊び場として、また、子育て中の保護者同士のコミュニケーションの交流を図る場として開放した。

施設名	延利用人数	前年度
日置保育所	4 人	6 人
養老保育所	23	36
計	27	42

### 4 子ども家庭総合支援拠点

支援を必要とする子どもとその家庭の把握や情報提供、相談等への対応及び支援内容やサービスの総合調整、関係機関との連携調整を担う機関として「子ども家庭総合支援拠点」を運営し、要保護児童や特定妊婦等への継続した支援を行うとともに、「子育てなんでも相談窓口」として保護者等からの幅広い相談に応じた。

(1) 職員体制（子ども家庭支援員）

児童福祉司任用資格をもつ専門職員 2 人、主任保育士 1 人（兼務）

## (2) 相談受付件数

虐待相談【受付経路別】	
受付経路	件数
児童委員	0件
家族・親族	0
庁内	2
関係機関（児童相談所等）	14
学校	3
保育施設・幼稚園	0
本人	0
計	19

その他の相談【内容別】	
内容	件数
養育相談	6件
引きこもり	2
生活相談	3
就労相談	1
生活困窮	2
計	14

## 5 要保護児童対策

児童虐待の防止だけでなく、支援を要するすべての子どもを視野に入れ、児童相談体制の充実を図り、虐待の発生子防や早期発見等を促進するため、「要保護児童対策地域協議会」を設置し対応した。

また、要保護児童対策地域協議会では、児童虐待の早期発見及び地域の児童虐待防止に向けて、児童虐待問題に対する関心と理解を得るための取り組みを実施した。

### (1) 宮津市要保護児童対策地域協議会代表者会議の開催

開催日：令和4年7月15日

構成：京都府丹後保健所ほか10機関

### (2) 宮津市要保護児童対策地域協議会実務者会議の開催

開催日：第1回 令和4年4月19日 第2回 令和4年6月21日

第3回 令和4年8月17日 第4回 令和4年10月18日

第5回 令和4年12月20日 第6回 令和5年2月21日

構成：京都府福知山児童相談所、京都府宮津警察署、宮津市（健康福祉部、教育委員会）

### (3) ヤングケアラー支援に関するネットワーク会議の開催

「ヤングケアラーの実態と求められる支援」について学ぶとともに、各関係機関の現状及び課題等を共有することを目的に、初めて開催した。

開催日：令和4年12月20日

構成：就学前施設・小中学校等17機関 出席者：26名

講師：京都府ヤングケアラー総合支援センター チーフコーディネーター 青木 賀代子 氏

### (4) 児童虐待防止の啓発活動

- ・広報誌「みやづ」10月号への記事掲載
- ・宮津市ホームページ及びフェイスブック掲載、メール配信
- ・オレンジリボンの着用（市役所全職員、市議会議員、要保護児童対策地域協議会構成機関他）
- ・オレンジリボンツリーの設置（市役所ほか2公共施設）
- ・児童虐待防止推進月間ポスターの掲出（市内公共施設）
- ・児童虐待防止推進月間チラシの配布（保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校）
- ・児童虐待防止推進月間チラシの自治会回覧
- ・児童虐待防止啓発懸垂幕の掲出（宮津市庁舎別館）
- ・街頭啓発（オレンジリボン及び啓発グッズの配布）

(5) 進行管理台帳登載児童

対応ケースの状況		件数 (児童数)	前年度件数(児童数)
受付受理件数 (家庭数)		計 68 件 (123 人) 新規分 11 件 ( 18 人) 継続分 57 件 (105 人)	計 68 件 (125 人) 新規分 23 件 ( 44 人) 継続分 45 件 ( 81 人)
相談種別	虐待		
	身体的虐待	31 人	34 人
	性的虐待	4	2
	心理的虐待	37	33
	放置・保護の怠慢(ネグレクト)	16	19
	要支援	35	37
年度末終了児童数		65	23
翌年度継続児童数		58	102
特定妊婦		0	2
個別ケース検討会議開催状況		21 回	11 回

6 児童手当支給事業

児童手当支給事業として、中学校修了までの児童を対象に、児童手当を支給した。また、所得制限により限度額以上の場合は特例給付を支給した。

(1) 児童手当受給世帯の状況

775 世帯(令和 5 年 2 月現在)

(2) 児童手当の支給状況(対象月 令和 4 年 2 月～令和 5 年 1 月)

区 分		手当月額	支給総額	算定基礎延児童数
被 用 者(0 歳～3 歳未満)		15,000 円	24,270,000 円	1,618 人
非被用者(0 歳～3 歳未満)		15,000	6,540,000	436
被用者 (3 歳以上小学校修了前)	第 1・2 子	10,000	57,470,000	5,747
	第 3 子以降	15,000	18,330,000	1,222
非被用者 (3 歳以上小学校修了前)	第 1・2 子	10,000	18,420,000	1,842
	第 3 子以降	15,000	6,555,000	437
小学校修了後中学校修了前		10,000	38,770,000	3,877
特例給付		5,000	1,950,000	390
合 計			172,305,000	15,569

7 児童扶養手当支給事業

ひとり親家庭の家計を支援するため、児童扶養手当を支給した。

(1) 児童扶養手当受給世帯の状況(令和 5 年 3 月 31 日現在)

区 分	世帯数	児童数
母子世帯	115 世帯	186 人
父子世帯	15	26
合 計	130	212
(前年度合計)	(129)	(220)

(2) 児童扶養手当の支給状況(対象月 令和4年3月～令和5年2月)

区 分	支給額		支給取消額		差引実支給額	
	支給総額	延受給者数	取消額	延受給者数	実支給額	延受給者数
全部支給者 ※43,070円/月	円 37,262,570	人 865	円 0	人 0	円 37,262,570	人 865
一部停止者 ※43,060～10,160円/月	21,341,320	724	0	0	21,341,320	724
加算額	第2子加算	7,002,490	758	0	7,002,490	758
	第3子以降加算	1,967,150	335	0	1,967,150	335
計	67,573,530	2,682	0	0	67,573,530	2,682

※全部支給者 43,070円/月、一部停止者 43,060円～10,160円/月。

第2子加算は全部支給 10,170円/月、一部支給 10,160円～5,090円/月。

同じく、第3子以降加算は全部支給 6,100円/月、一部支給 6,090円～3,050円/月。

## 8 保育所等の状況

(1) 保育所等入所児童数の状況(令和4年4月1日現在)

施設名等	定員	入所児童数(人)							前年度	
		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計		
公立	日置保育所	20	—	—	0	3	0	1	4	9
	養老保育所	45	—	—	2	3	1	3	9	8
	小計	65	—	—	2	6	1	4	13	17
私立	亀ヶ丘保育園	50	2	11	7	10	11	12	53	50
	みずほ保育園	60	3	8	14	12	13	12	62	58
	たんぼぼ保育園	60	0	11	15	15	14	10	65	68
	吉津子ども園	70	1	13	13	15	7(1)	16(1)	65(2)	68(2)
	府中子ども園	50	1	7	11	10	13	10	52	50
小計	290	7	50	60	62	58(1)	60(1)	297(2)	294(2)	
広域	—	0	0	1	0	0	0	1	1	
計	355	7	50	63	68	59(1)	64(1)	311(2)	312(2)	

※( )は内数で、1号認定児童数

(2) 保育料収納状況

区 分	調 定 額		収 入 額		不納欠損額		未 収 額	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
現年度分	件 842	円 16,947,920	件 828	円 16,708,020	件 —	円 —	件 14	円 239,900
滞納繰越分	私立分	796 16,031,720	782 15,791,820	— —	— —	14 177,270	239,900	
	公立分	46 916,200	46 916,200	— —	— —	0 0	0	
滞納繰越分	私立分	62 908,650	21 318,580	12 172,070	29 418,000	29 418,000	418,000	
	公立分	56 893,000	3 83,600	2 5,200	51 804,200	51 804,200	804,200	
計	960	18,749,570	852	17,110,200	14	177,270	94	1,462,100

- ・入所児童の疾病による保育料の減免状況(長期欠席の場合に限る)

減免人数	1人(1件)
減免額計	6,810円

- ・入所児童の新型コロナウイルス感染症対策に伴う登園自粛による保育料の減免状況

減免人数	51人(94件)
減免額計	360,740円

### (3) 保育料特別徴収

児童手当法に基づき、一定期間現年度分保育料に未納がある方に対して、当該児童分に係る児童手当及び特例給付の支給額範囲内で特別徴収を実施し、令和4年度の保育料に充当した。

	保育料特別徴収月別内訳										合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
特別徴収世帯数(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
特別徴収児童数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
特別徴収額(円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17,200	17,200

### (4) 民間保育園運営事業

民間保育園3園(亀ヶ丘保育園、みずほ保育園、たんぼぼ保育園)に保育を委託し、保育を必要とする世帯の子育てと仕事等の両立を支援するため、保育サービスの提供を行った。

#### ア 民間保育園運営委託・補助事業

事業費	財源内訳		
	国・府支出金	その他	一般財源
273,247,299円	186,107,434円	15,791,820円	71,348,045円

#### ・事業内訳

名称	委託料・補助金額	内訳			
		亀ヶ丘保育園	みずほ保育園	たんぼぼ保育園	広域入所
民間保育園運営費委託料	円 262,703,190	円 79,784,490	円 89,458,820	円 92,348,900	円 1,110,980
延長保育事業費補助金	767,000	—	320,000	447,000	—
一時預かり事業費補助金	1,331,000	174,000	483,000	674,000	—
障害児特別保育事業費補助金	3,767,000	1,280,000	829,000	1,658,000	—
副食費独自減免に係る補助金	414,000	0	193,500	220,500	—
保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業費補助金	4,265,109	1,317,240	1,352,700	1,595,169	—
計	273,247,299	82,555,730	92,637,020	96,943,569	1,110,980

イ 延長保育等年間利用児童数 (上段:延利用児童数、下段:実利用人数)

事業名	施設名	令和4年度	令和3年度	増減
延長保育	みずほ保育園	2,013 (26)	1,728 (34)	285 (△8)
	たんぼぼ保育園	618 (33)	776 (31)	△158 (2)
一時預かり保育	亀ヶ丘保育園	23 (4)	20 (3)	3 (1)
	みずほ保育園	39 (6)	20 (5)	19 (1)
	たんぼぼ保育園	90 (9)	76 (10)	14 (△1)

(5) 認定こども園運営事業

府中子ども園、吉津子ども園において、教育と保育を必要とする世帯の子育てと仕事等の両立を支援するため、サービスの提供を行った。

ア 施設型給付・補助事業

事業費	財源内訳		
	国・府支出金	その他	一般財源
192,079,670円	137,190,726円	—	54,888,944円

・事業内訳

名称	府中子ども園	吉津子ども園
施設型給付費	71,746,610円	110,484,060円
障害児特別保育事業費補助金	3,055,000	2,073,000
延長保育事業費補助金	379,000	339,000
一時預かり事業費補助金	73,000	411,000
副食費独自減免に係る補助金	67,500	54,000
保育士・幼稚園教諭等处遇改善臨時特例事業費補助金	1,184,520	2,212,980
計	76,505,630	115,574,040

イ 休日保育等年間利用児童数 (上段:延利用児童数、下段:実利用人数)

事業名	施設名	令和4年度	令和3年度	増減
休日保育	府中子ども園	212 (18)	204 (16)	8 (2)
延長保育	吉津子ども園	375 (17)	748 (17)	△373 (0)
	府中子ども園	671 (13)	1,035 (7)	△364 (6)
一時預かり保育	吉津子ども園	199 (13)	126 (11)	73 (2)
	府中子ども園	36 (1)	62 (2)	△26 (△1)



(6) 子育てのための施設等利用給付

幼児教育・保育の無償化に伴い認可外保育施設への利用給付を行った。

事業費	財源内訳		
	国・府支出金	その他	一般財源
2,640,000円	1,980,000円	—	660,000円

(7) 幼児教育・保育サポート事業

○保育コーディネーターの配置（主任保育士1名）

全就学前施設の現状把握や課題の解決支援、関係部署・機関との連携による児童の発達相談・支援を行った。また、施設訪問研修の内容を共有する交流会を全就学前施設長と行うと共に、その内容を各園の職員に紹介するための冊子を作成した。

○保育・教育の質向上のための研修実施

就学前施設職員、小中学校教員、子育て支援センター職員、民生児童委員などを対象に、「子ども主体の保育・教育に向けて」をテーマとした講演会を2回開催した。また、施設訪問研修を3園で2回ずつ実施し、主体性を育む保育環境作りについて、各園に合わせた具体的な助言と指導を受けた。

講師：NPO 法人国際臨床保育研究所 勝山 結夢 氏

参加人数：講演会 延べ206人、施設訪問研修 延べ90人

○就学前施設の保育サービス拡充・適正化研究会の開催

保育・教育施設の現状と課題、就学前児童数の推移等を踏まえて、本市としてどのような保育サービスの拡充ができるかを検討。全4回開催し、使用済み紙おむつの持ち帰り廃止、施設での紙おむつ・おしりふきの無償提供、宮津市らしさを活かした保育・教育サービス、不適切保育への対応等について施設長らが意見交換を行った。

アドバイザー：福知山公立大学 地域経営学部 川島 典子 教授

参加施設：保育所(園)、子ども園、幼稚園、認可外保育施設 全12施設

9 ファミリー・サポート・センター事業

育児の援助を受けたい者(おねがい会員)と育児の援助を行いたい者(まかせて会員)からなる会員組織を設置し、子どもの預かりや習い事への送迎など、会員相互の援助活動を実施した。

(1) ファミリー・サポート・センター会員数(令和5年3月31日現在)

おねがい会員	まかせて会員	うち両方会員	計
53人	36人	1人	90人

(2) スキルアップ講習会の開催状況

開催日	対象	内容	参加
令和4年8月2日	全会員・希望者	子どもの救急救命講習会	親子10組

※子育ての輪づくり支援事業と共催。

(3) 援助活動の実施状況

援助活動内容	件数
放課後児童クラブへの送り(その他活動)	9件

## 10 児童福祉施設の整備状況

保育所及び児童遊園の老朽化設備等の修繕を実施した。

(単位：円)

施設の名称	整備概要	事業費	左の財源内訳			
			国・府補助金	地方債	その他	一般財源
養老保育所	保育室エアコン取替修繕 (新型コロナウイルス対策)	225,500	225,500	—	—	—
	遊戯室天井ランプ修繕	50,000	—	—	—	50,000
	給湯機取替修繕	128,480	—	—	—	128,480
	消防設備取替修繕 (差動式スポット型感知器)	24,838	—	—	—	24,838
小計	計	428,818	225,500	—	—	203,318
八幡児童遊園	ポール時計取替修繕	140,800	—	—	—	300,454
	倉庫扉鍵修繕	3,300				
	トイレ入口扉修繕	53,350				
	トイレ排水修繕	10,890				
	手洗い場排水修繕	10,164				
府中ふれあい広場	ポール時計取替修繕	79,200	—	—	—	300,454
岩ヶ鼻児童遊園	すべり台スロープ手摺修繕	2,750				
小計	計	300,454	—	—	—	300,454
合計	計	729,272	225,500	—	—	503,772

## 11 ひとり親家庭等福祉

(1) 母子家庭世帯数の推移(18歳以下の児童を養育している母子家庭(各年度3月31日現在))

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
世帯数	136世帯	142世帯	147世帯

(2) 母子家庭奨学金支給申請書の府への進達

136件・受給対象児童数222人

受給対象児童区分	人数	支給年額
乳幼児	29人	11,000円
小学生	79	21,500
中学生	62	43,000
高校生	52	64,000
計	222	

(3) ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金

対象者	3人
支給月額 および支給月	140,000円×12月×1人
	100,000円×1月×1人
	70,500円×1月×1人
令和4年度支給総額	1,850,500円

(4) 母子寡婦福祉団体への助成

名称	補助金額
宮津市母子寡婦福祉会	32,000円

## 12 病児・病後児保育施設運営事業

宮津市、伊根町、与謝野町の連携により、宮津与謝病児保育所「りりふる」を共同運営した。

事業費	3,521,992 円
財源内訳	国府支出金 2,234,000 円、1 市 2 町分担金 1,202,742 円、 利用料 85,250 円 (14 人)
1 市 2 町分担金内訳	宮津市 507,934 円、伊根町 93,889 円、与謝野町 600,919 円 (均等割 10%、人口割 90%)
利用児童数	宮津市 7 人、延べ 16 人 与謝野町 7 人、延べ 21 人 計 14 人、延べ 37 人

## 13 入院助産実施事業

実施実績なし。

## 14 子どもの貧困対策事業

子ども食堂の取組を行っている団体に対して補助金を交付し、低価格での食事提供（コロナ禍のため弁当配布）や相談等を通じて、経済的に困難な家庭の子どもと保護者を支援した。

○補助対象団体 みやづ子ども食堂を支える会

○補助金額 150,000 円

## 第5節 障害児（者）福祉

「宮津市障害者計画・第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画」に基づき、障害理解の啓発や障害者の自立と社会参加の促進に努めるなど、障害者福祉施策を展開した。

### 1 身体障害者福祉

#### (1) 特別障害者手当等の支給状況

区 分	受給者数	支 給 額
特別障害者手当	24 人	6,526,800 円
障害児福祉手当	5	831,960
計	29	7,358,760

#### (2) 特別児童扶養手当の受給状況

区 分	受給者数	支給停止者数	支給月額
1 級	10 人	1 人	52,400 円
2 級	28	2	34,900

#### (3) 身体障害者手帳の交付状況

(単位：人)

区 分		視 覚	聴覚・平衡機能	音声言語	肢 体	内 部	計
令和4年度未交付者		88	142	14	748	439	1,431
年 齢 別	18 歳未満	0	1	0	3	2	6
	18 歳～64 歳	10	13	1	112	54	190
	65 歳以上	78	128	13	633	383	1,235

#### (4) 重度障害者給付金の支給状況

受給者	5 人
支給金額	560,000 円

(5) 心身障害者扶養共済制度の加入状況

令和3年度末 加入者	年 度 中			令和4年度末 加入者
	加入者	脱退者	受給者へ移行	
21人	0人	0人	0人	21人

(6) 手話通訳者等の派遣状況

聴覚障害者の社会生活における意思伝達を円滑に行うため、各種会議等に手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者の日常活動の援助を行った。

区 分	派遣対象者	登録員数	派遣回数	金 額
手話通訳者	29人	7人	29回	72,351円
要約筆記者	60	20	31	287,726
合 計	89	27	60	360,077

(7) 身体障害者巡回更生相談の開催

身体障害者手帳、補装具、日常生活上の相談等が必要な者に対して、医師、専門機関、相談による判定及び更生相談を行った。

開 催 日	相 談 件 数			計
	手帳（聴覚）	補装具	その他	
令和4年5月20日	0件	0件	3件	3件
令和4年7月8日	0件	8件	0件	8件

(8) 福祉タクシー利用助成の状況

外出困難な在宅重度障害者の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るために、タクシー料金の一部を助成した。

申 請 者	22人
支 払 金 額	79,500円

(9) じん臓機能障害者通院交通費助成事業

じん臓機能障害者の経済的負担の軽減と福祉の増進を図るため、慢性透析療法を受けるために医療機関への通院に要した交通費を助成した。

区 分	助成金額	事 業 概 要
じん臓機能障害者通院交通費助成金	413,790円	事業内容 じん臓の障害者手帳を所持し、通院により慢性透析療法を受けている者を対象に、通院交通費の助成を行った。 助 成 額 通院交通費（鉄道、バス、自家用車、福祉有償運送）の1/2 ※1月あたりの通院交通費の上限額1万円 対 象 者 20人

## 2 知的障害者福祉

(1) 療育手帳の交付状況

(単位：人)

区 分		重 度 (A)	中軽度 (B)	計
令和4年度末交付者		93	141	234
年 齢 別	18歳未満	9	19	28
	18歳～64歳	64	91	155
	65歳以上	20	31	51

(2) 障害者サービス事業所等通所交通費補助事業

対 象 者	11人
補 助 金 額	554,990円

### 3 障害児福祉

#### (1) 障害児通所支援事業

児童福祉法に基づき、障害児の通所サービスとして、児童発達支援、放課後等デイサービス等に係る費用を支給するとともにサービス利用者について相談支援を実施した。

種 類	支給決定者数		利用実人員		利用数量	支 給 金 額	
	人	前年度	人	前年度		円	前年度
児童発達支援	44	47	44	45	990	14,542,833円 (多 5,808)	18,327,608円 (多 112,730)
放課後等 デイサービス	76	75	69	65	4,534	50,994,799	52,159,922
障害児相談支援	109	112	91	100	-	4,822,830	4,894,100
保育所等訪問支援	40	44	14	16	15	321,468 (多 0)	375,460 (多 2,001)
計	269	278	218	226	5,539	70,681,930 (多 5,808)	75,757,090 (多 114,731)

(多) の数は、内数で多子軽減措置を行った額

### 4 精神障害者福祉

精神障害者保健福祉手帳の交付状況

(単位：人)

区 分		1 級	2 級	3 級	計
令和4年度末交付者		7	95	56	158
年 齢 別	20歳未満	0	0	3	3
	20歳～64歳	2	61	46	109
	65歳以上	5	34	7	46

### 5 社会参加促進事業

障害者の自立と社会参加を促進するため、スポーツ教室、料理教室、養成事業等を行った。また、精神障害者に対し、創作的活動等のグループワークを実施した。

区 分	開催回数 (回)		参加延人数 (人)		開 催 場 所	備 考
	前年度	前年度	前年度	前年度		
スポーツ教室	1	0	26	0	宮津市民体育館	ボッチャ大会
料 理 教 室	8	6	96	65	福祉・教育総合プラザ	視覚障害者8回
要約筆記現任研修会	1	0	5	0	福祉・教育総合プラザ	
難聴者教室	1	1	10	11	福祉・教育総合プラザ	
手話奉仕員養成講座 (入門課程)	15	—	72	—	与謝郡聴覚言語障害者 センター	講座全15回
精神障害者 グループワーク	6	4	6	6	福祉・教育総合プラザ ほか	創作的活動ほか

### 6 障害者総合支援法事務事業

#### (1) 宮津市、伊根町及び与謝野町障害支援区分認定審査会

##### ア 審査会開催状況

開催回数	障害支援区分 判定件数	1回当たりの平均 審査判定件数	非定型サービスに 対する意見照会
12回	119件 (55件)	9.9件 (4.6件)	0件

※ ( ) は、宮津市分で内数

イ 障害支援区分審査の状況

申請件数		令和4年度内訳		
令和4年度	令和3年度	新規	更新	変更
119件 (55件)	152件 (64件)	16件 (5件)	98件 (48件)	5件 (2件)

※ ( ) は、宮津市分で内数

(2) 障害支援区分認定状況

(単位：人)

区分	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
身体障害	0	0	0	6	4	10	4	24
知的障害	0	0	3	3	2	9	12	29
精神障害	0	0	1	5	3	6	0	15
計	0 (0)	0 (0)	4 (4)	14 (12)	9 (7)	25 (18)	16 (14)	68 (55)
構成比	0.0%	0.0%	7.3%	21.8%	12.7%	32.7%	25.5%	100.0%

※重複障害あり。( ) は、実人数

(3) 認定調査

区分	件数(件)	比率(%)	委託事業者
委託調査	46	75.4	社会福祉法人京都太陽の園 社会福祉法人よさのうみ福祉会
市調査	15	24.6	
計	61	100.0	

(4) 障害福祉サービス

障害者総合支援法に基づき、障害福祉サービスを利用した障害者に対し、介護給付費及び訓練等給付費を支給するとともに、京都府と協調し、障害福祉サービス等利用支援事業による利用者負担額を緩和した。また、相談支援強化のため、サービス利用者について計画相談支援を実施した。

ア 支給状況

区分	支給決定者数		利用実人員		利用数量等	支給金額	
	(人)	前年度	(人)	前年度		(円)	前年度
居宅介護	52	49	42	45	5,937時間	35,019,155	37,738,503
重度訪問介護	1	1	1	1	2,732時間	9,559,780	7,649,800
同行援護	9	12	7	8	771時間	2,696,820	3,485,204
行動援護	1	1	1	0	98時間	525,399	0
重度障害者等包括支援	0	0	0	0	0時間	0	0
生活介護	81	79	75	75	14,360日	180,589,282	182,403,587
自立訓練(生活訓練)	1	1	1	1	260日	2,385,390	2,217,270
自立訓練(機能訓練)	0	0	0	0	0日	0	0
宿泊型自立訓練	0	0	0	0	0日	0	0
就労移行支援	3	1	2	1	13日	64,740	29,720
就労継続支援(A型)	15	18	13	17	2,895日	18,609,480	19,804,578
就労継続支援(B型)	81	84	75	78	15,909日	128,826,676	128,582,111
療養介護	3	3	3	3	1,095日	9,652,310	9,709,350
短期入所	30	29	6	8	100日	1,214,580	2,927,217
共同生活援助	51	52	34	32	9,927日	54,246,736	51,791,893
施設入所支援	34	35	32	33	10,890日	52,385,078	53,398,495
計画相談支援	194	199	182	177		11,024,535	10,901,176
高額障害福祉サービス費	0	1	0	1		0	120,991
特定障害者特別給付費	78	79	62	60		6,585,411	6,769,778

特例特定障害者特別給付費	0	0	0	0		0	0
知的障害者入所施設利用者医療費	0	0	0	0		0	0
やむを得ない事由による措置	1	0	1	0		109,360	0
計	635	644	537	540		513,494,732	517,529,673

イ 障害福祉サービス請求内容チェックシステム

障害福祉サービス費等の給付の適正化を図るとともに、計画相談を管理するために、請求審査、計画相談支援管理およびデータ集計を総合的にサポートするシステムを借り上げた。

業 務 名	事 業 概 要
障害福祉サービス請求内容 チェックシステム貸借業務	契約事業者 (株)ニック 事業費 528,000 円

(5) 自立支援医療

ア 更生医療

区 分	支給決定者数		金 額	
	(人)	前年度	(円)	前年度
心臓機能障害	15	22	984,654 (515,968)	1,162,529 (493,148)
じん臓機能障害	61	57	14,494,752 (1,528,000)	13,209,268 (1,461,194)
肝臓機能障害	2	1	240,194 (58,020)	174,666 (7,500)
肢体不自由	31	19	3,069,274 (1,824,633)	1,668,876 (1,073,257)
免疫機能障害	2	4	676,380 (255,556)	940,295 (3,750)
計	111	103	19,465,254 (4,182,177)	17,155,634 (3,038,849)

※( )は内数で、障害者福祉サービス等利用支援事業による負担緩和額

支給決定者数	利用者負担金上限月額階層区分					
	一定所得以上	中間3	中間2	中間1	低所得	生活保護
111人 (65)	1人 (1)	2人 (0)	17人 (9)	30人 (16)	60人 (38)	1人 (1)

※( )は内数で、重度かつ長期間継続医療が必要な者の数

イ 療養介護医療

支給決定者数	金 額	
	前年度	前年度
3人	3人	2,576,009円 2,623,869円

ウ 精神通院医療

支給決定者数	利用者負担金上限月額階層区分					
	一定所得以上	中間2	中間1	低所得2	低所得1	生活保護
312人 (119)	6人 (6)	61人 (58)	56人 (55)	64人 (0)	104人 (0)	21人 (0)

※( )は内数で、重度かつ長期間継続医療が必要な者の人数

エ 障害者福祉サービス等利用支援事業による負担緩和額

京都府が実施する精神通院医療の負担軽減を図るため、下記のとおり支出した。

区 分	延べ対象者	金 額
精神通院医療	792人	537,917円

オ 障害者自立支援医療特別対策事業

障害者総合支援法の更生医療の対象とならない呼吸器機能障害及びぼうこう又は直腸機能障害を対象に、医療費の自己負担軽減を目的として実施した。

区 分	支給決定者数	金 額
呼吸器機能障害	4人	616,583円
ぼうこう又は直腸機能障害	0	0
計	4	616,583

(6) 補装具給付事業

ア 補装具費

区 分	件 数	金 額	備 考
義 肢	2件	240,620円	
装 具	7	580,854	(児 4,406円、緩 9,786円)
座位保持装置	1	12,614	
歩行補助つえ	1	9,222	
眼 鏡	3	64,620	
補聴器	21	780,894	
補聴器(特例)	1	331,202	(児 1,168円、緩 16,263円)
車椅子	8	515,540	
電動車椅子	3	121,942	
重度障害者用意思伝達装置	1	55,000	
合 計	48	2,712,508	(児 5,574円、緩 26,049円)

※ (児) の数は、内数で児童補装具費助成額

(緩) の数は、内数で障害者福祉サービス等利用支援事業による負担緩和額

(7) 地域生活支援事業

ア 障害者相談支援事業

在宅障害者等に対し在宅福祉サービスの利用援助その他の障害者福祉支援を総合的に行うため、障害者生活支援センター結に委託し、実施した。

(ア) 委託先 社会福祉法人よさのうみ福祉会

委託料 7,500,000円

設置場所 宮津市字浜町 3012 番地 宮津市福祉・教育総合プラザ 4 階

(イ) 相談支援を利用している障害者等の人数

区 分	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障 害 者	24人	1人	1人	8人	13人	1人	0人	0人
障 害 児	10	3	0	4	1	0	0	2
計	34	4	1	12	14	1	0	2

(ウ) 支援方法

区 分	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール
件数 (件)	63	74	16	248	95

個別支援会議	関係機関	その他	計
20	365	1	882



## (エ) 支援内容

区 分	件 数	区 分	件 数
福祉サービスの利用等に関する支援	142 件	家計・経済に関する支援	10 件
障害や病状の理解に関する支援	183	生活技術に関する支援	44
健康・医療に関する支援	102	就労に関する支援	31
不安の解消・情緒安定に関する支援	138	社会参加・余暇活動に関する支援	64
保育・教育に関する支援	71	権利擁護に関する支援	0
家族関係・人間関係に関する支援	70	その他	26
		計	881

## イ 日常生活用具の給付

区分	種目	件数	金 額	区分	種目	件数	金 額
自立生活支援用具	頭部保護帽	1 件	7,700 円	情報・意思疎通支援用具	視覚障害者用拡大読書器	2 件	243,900 円
	入浴補助用具	1	16,051		視覚障害者用ポータブルレコーダー(録音再生機)	1	85,000
	T 字状・棒状の杖	1	3,000	排泄管理支援用具	ストーマ装具(消化器系)	364	3,094,136
	移動・移乗支援用具	1	60,000		ストーマ装具(尿路系)	90	981,539
在宅療養等支援用具	ネブライザー(吸入器)	2	67,600		紙おむつ	131	1,526,512
	電気式たん吸引器	2	107,160		計	596	6,192,598

## ウ 移動支援事業

委託法人 社会福祉法人よさのうみ福祉会  
 社会福祉法人京都太陽の園  
 特定非営利活動法人虹

区 分	利用者数(人)				利用時間数(時間)	委託料(円)
	身体	知的	精神	児童		
身体介護を伴う	3	3	0	0	191.0	586,620
身体介護を伴わない	1	3	1	2	81.5	118,545
計	4	6	1	2	272.5	705,165

## エ 在宅重度障害者訪問入浴サービス事業

委託法人 社会福祉法人宮津市社会福祉協議会

利用者数	利用数量	委託料
1 人	31 回	404,240 円

## オ 日中一時支援事業

委託法人 社会福祉法人よさのうみ福祉会  
 社会福祉法人みねやま福祉会

利用者数	利用数量	委託料
47 人	2,664 時間	2,278,715 円

カ 地域活動支援センター

委託法人 社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会

利用者数	利用延人数	開催日数	委託料
4人	84人	96日	962,240円

キ 障害者等サロン運営事業

委託法人 社会福祉法人よさのうみ福祉会

利用者数	利用延人数	開催日数	委託料
25人	502人	169日	1,500,000円

(8) 障害者インフルエンザ助成事業（任意接種）

障害により重症化のおそれのある者、重度障害のためインフルエンザ罹患後の受診困難な者、知的障害等により自ら体調不良を訴えにくい者のインフルエンザ発病や重症化予防を目的として、予防接種費用の助成を行った。

・実施期間：令和4年10月17日～令和4年12月23日

助成対象者	回数	接種者数	補助金額
13歳未満	2回	7人	572,540円
13歳以上65歳未満	1回	146人	

(9) 障害者福祉システム保守・改修

区分	委託先	事業概要
障害者福祉システム保守業務	(株)アール・シー・エス	事業内容 障害者福祉システムの保守を行った。 事業費 300,960円
障害者福祉システム改修業務		事業内容 令和5年度障害福祉関係データベース稼働に伴うシステム改修を行った。 事業費 726,000円

7 宮津市障害者就労施設等優先調達

国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律に基づき、宮津市障害者就労施設等優先調達方針を策定し、障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めた。

令和4年度目標額	実績額	内容
1,235,000円	1,191,540円	物品 1,088,880円（金杯、クッション等） 役務 102,660円（清掃）

8 障害者福祉施設運営補助事業

区分	補助金額	事業概要
京都歯科サービスセンター 北部診療所運営事業補助金	55,556円	対象事業所 京都歯科サービスセンター 北部診療所 (一般社団法人京都府歯科医師会) 補助対象事業費 4,000,000円

9 福祉施設運営支援事業

区分	金額	事業概要
元京都府水産事務所土地建物賃借料	1,468,500円	事業内容 元水産事務所（京都府施設）を活用した社会福祉法人よさのうみ福祉会の事業展開に対する支援 物件の表示 宮津市宇鶴賀小字鶴賀町2062番地 土地：1,860.13㎡ 建物：建築面積 523.51㎡ 延床面積 1,264.85㎡

## 10 各種団体への助成事業

補助金等の名称	補助金額
丹後視力障害者福祉センター負担金	10,000円
宮津市身体障害者団体連合会運営事務費補助金	72,000円

## 11 障害者虐待防止事業

(1) 相談・通報対応件数等 2件

養護者による障害者虐待に関する相談・通報対応件数	2件
うち、事実確認により、虐待の事実が認められた件数	2件
障害者福祉施設従事者等による障害者虐待に関する相談・通報対応件数	0件
うち、事実確認により、虐待の事実が認められた件数	0件
使用者による障害者虐待に関する相談・通報対応件数	0件
うち、事実確認により、虐待の事実が認められた件数	0件

(2) 障害者虐待の対応状況等 被虐待者数 2人（虐待認定事例のみ）

虐待の種別・類型	身体的虐待	2人
	性的虐待	0人
	心理的虐待	0人
	放棄・放置虐待	0人
	経済的虐待	0人

## 第6節 戦没者遺族援護

### 1 慰霊事業

事業名	宮津市戦没者追悼式	京都府戦没者追悼式	全国戦没者追悼式
開催日	令和4年10月26日	令和4年10月18日	令和4年8月15日
場所	みやづ歴史の館文化ホール	国立京都国際会館	日本武道館
参列者	55人	4人	0人

### 2 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の進達状況

国債種別	進達件数	裁定件数	取下件数
第十一回い号	38件	34件	0件

## 第7節 低所得者福祉

生活保護法に基づく、最低限度の生活を保障するため、生活困窮世帯に対し、困窮する程度に応じ必要な保護を行うとともに、世帯の自立を支援した。

### 1 被保護者世帯数及び被保護人員の状況

区分	令和3年度末	令和4年度中の開始・廃止の状況					令和4年度末
		保護の開始			世帯分離	保護の廃止 決定件数	
		申請件数	取下げ・ 却下件数	決定件数			
世帯数(世帯)	101	10	0	10	0	11	100
人員(人)	111	14	0	14	0	13	112
保護率(%)	6.55	—	—	—	—	—	6.77

## 2 世帯の類型別被保護世帯数

区 分	世帯数	単 身 世 帯			2 人 以 上 の 世 帯				医療扶 助単給 世帯 (再掲)	
		高齢者 世帯	傷 病 障 害 者 世 帯	その 他 世 帯	高 齢 者 世 帯	母 子 世 帯	傷 病 障 害 者 世 帯	その 他 世 帯		
令和3年度末	世帯 101	世帯 69	世帯 20	世帯 2	世帯 3	世帯 1	世帯 5	世帯 1	世帯 6	
年 度 中	保護の開始	10	2	4	0	1	0	3	0	0
	保護の廃止	11	9	1	1	0	0	0	0	0
	世帯の変更	—	2	1	△1	△2	0	0	0	△1
令和4年度末	100	64	24	0	2	1	8	1	5	

※ 行旅人を除く

## 3 生活保護費扶助別支出状況

区 分	延人数(人)	支 出 額 (円)		構 成 比 率 (%)			
		前年度	前年度	前年度	前年度		
保 護 費	生活扶助	965	981	42,334,547	43,795,001	19.63	22.64
	住宅扶助	862	846	19,714,410	18,875,921	9.14	9.76
	教育扶助	12	0	94,390	0	0.04	0
	介護扶助	475	474	9,425,808	10,960,047	4.37	5.67
	医療扶助	1,123	1,158	143,642,269	119,515,290	66.60	61.80
	出産扶助	0	0	0	0	0	0
	生業扶助	0	0	0	0	0	0
	葬祭扶助	3	1	462,860	196,770	0.22	0.10
	保護施設事務費	0	0	0	0	0	0
	就労自立給付金	0	1	0	57,455	0	0.03
計	3,440	3,461	215,674,284	193,400,484	100.00	100.00	

## 4 生活保護費医療扶助の給付状況

区 分	件 数	日 数	給 付 額	1 件 当 たり 日 数	1 件 当 たり 給 付 額	1 日 当 たり 給 付 額	
医 療 費	入 院	172 件	3,842 日	98,869,004 円	22.34 日	574,820 円	25,734 円
	入 院 外	1,130	2,374	26,439,942	2.10	23,398	11,137
	歯 科	120	214	1,903,197	1.78	15,860	8,893
	調 剤	614	896	14,268,215	1.46	23,238	15,924
	施設入所	0	0	0	0	0	0
	訪問看護	22	127	1,508,402	5.77	68,564	11,877
	小 計	2,058	7,453	142,988,760	—	—	—
治療材料費等	309	—	653,509	—	—	—	
合 計	2,367	7,453	143,642,269	—	—	—	

## 5 生活保護費返還状況

### (1) 法63条による返還金の収納状況

区 分	調 定 額		収 入 額		不 納 欠 損 額		未 収 額	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
現年度分	件 1	円 103,975	件 1	円 103,975	件 —	円 —	件 0	円 0
滞納繰越分	5	608,640	1	220,000	—	—	4	388,640
計	6	712,615	2	323,975	—	—	4	388,640

(2) 法 78 条による徴収金の収入状況

区 分	調 定 額		収 入 額		不納欠損額		未 収 額	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
現年度分	件	円	件	円	件	円	件	円
	—	—	—	—	—	—	—	—
滞納繰越分	5	3,651,438	1	283,000	1	419,850	3	2,948,588
計	5	3,651,438	1	283,000	1	419,850	3	2,948,588

6 生活困窮者自立相談支援の状況

生活困窮者自立支援法に基づく「宮津市生活困窮者自立相談支援事業」を宮津市社会福祉協議会に引き続き委託し、「くらしの相談窓口」を開設するとともに、相談内容に沿って寄り添いながら、相談者の自立に向けた支援を実施した。

(1) 相談受付状況

受付年度	継続支援	月別件数 (件)												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(件)
令和3年度	42件	7	7	5	10	5	9	7	5	4	1	4	6	70
令和4年度	11件	6	4	2	3	1	3	1	4	2	3	3	5	37

(2) 支援の実施状況

区分	支援終了内容 (件)					継続	計 (件)
	就労	生活保護 (つなぎ含む)	権利擁護事業	生活福祉資金 特例貸付	生活相談他		
令和3年度	1	0	3	29	20	17	70
前年度継続分	1	1	0	1	2	6	11
令和4年度	2	0	0	12	12	11	37

(3) 相談者年代・男女別件数

	区分	年 代 (件)									計(件)
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	不明	
令和3年度	男	—	2	2	6	8	3	7	1	—	29
	女	—	1	4	9	8	7	9	3	—	41
令和4年度	男	1	1	0	6	4	4	2	1	1	20
	女	0	0	1	7	2	4	2	0	1	17

7 くらしの資金

生活が不安定な世帯に対する生活相談や生活指導をするとともに、くらしの資金の貸付を行い、経済的自立のための支援と生活意欲の向上を図った。なお、経済不況から、雇用主の理由による解雇者（失業者）に対しては、貸付限度額を 20 万円に引き上げて貸し付ける制度を継続した。また、令和 2 年 1 月 16 日以後に事業主の都合等により解雇又は休業等によって著しく生活が不安定になった方に対する貸付限度額を 20 万円に引き上げて貸し付ける制度についても継続実施した。

## (1) 貸付状況

区 分	申込件数(件)		貸付件数(件)		貸付金額(円)		1件当たりの貸付金額(円)	
		前年度		前年度		前年度		前年度
夏 期	1	0	1	0	100,000	0	100,000	0
年 末	1	2	1	2	100,000	120,000	100,000	60,000
随 時	8	12	8	12	610,000	775,000	76,250	64,583
計	10	14	10	14	810,000	895,000	—	—

## (2) 貸付理由

※ ( ) は構成比

区 分	生活費	失 業	事 故	医 療	そ の 他	計
理由別件数(件)	6 (60.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)	10 (100%)
前 年 度	11 (78.7%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	14 (100%)

## (3) ぐらしの資金回収状況

区 分	調定額		回収金額	不納欠損額		未回収金額	
	件数	金 額	金 額	件数	金 額	件数	金 額
令和 4 年 度	現年度分	27 円 779,500	円 545,500	—	—	13 円 234,000	
	滞納繰越分	152 9,285,450	347,000	5 467,000	113 8,471,450		
	計	179 10,064,950	892,500	5 467,000	126 8,705,450		
令和 3 年 度	現年度分	37 1,223,000	665,500	—	—	17 557,500	
	滞納繰越分	151 9,392,950	551,000	2 114,000	135 8,727,950		
	計	188 10,615,950	1,216,500	2 114,000	152 9,285,450		
比 較 増 減	現年度分	△10 △443,500	△120,000	—	—	△4 △323,500	
	滞納繰越分	1 △107,500	△204,000	3 353,000	△22 △256,500		
	計	△9 △551,000	△324,000	3 353,000	△26 △580,000		

## 第8節 新型コロナウイルス感染症・物価高騰等対策

## 1 経済対策等支援

## (1) 子育て世帯生活支援特別給付金事業(ひとり親世帯分)

コロナ禍において物価の高騰等に直面する低所得のひとり親世帯への生活支援として、児童扶養手当を受給する世帯等を対象に高校生までの児童1人当たり5万円を給付した。

(ア) 総事業費 12,843,027円(給付金11,850,000円、事務費993,027円)

## (イ) 支給内容

対象者区分	世帯数・人数	給付額
①児童扶養手当受給者	130世帯	6,500,000円
第2子以降	93人	4,650,000
②公的年金等受給者	1世帯	50,000
第2子以降	1人	50,000

③家計急変者	6世帯	300,000
第2子以降	6人	300,000
合計		11,850,000

(2) 子育て世帯生活支援特別給付金事業（ふたり親世帯分）

コロナ禍において物価の高騰等に直面する低所得のふたり親世帯への生活支援として、住民税非課税世帯等を対象に高校生までの児童1人当たり5万円を給付した。

(ア) 総事業費 7,216,856円（給付金6,850,000円 事務費366,856円）

(イ) 支給内容

給付世帯	対象児童数	給付額
80世帯	137人	6,850,000円

(3) 子育て世帯生活応援給付金事業

コロナ禍において急激な物価高騰の影響を受けている子育て世帯を支援するため、高校生までの児童1人当たり1万円を給付した。

(ア) 総事業費 20,441,292円（給付金20,190,000円、事務費251,292円）

(イ) 支給内容

給付世帯	対象児童数	給付額
1,153世帯	2,019人	20,190,000円

(4) 出産応援給付金事業

コロナ禍において、急激な物価高騰の影響により、感染防止対策や出産に伴う経済的負担が大きい出産を迎えた世帯を支援するため、本市に住民登録された新生児1人当たり10万円を給付した。

(ア) 総事業費 5,600,000円（給付金）

(イ) 支給内容

給付世帯	対象新生児
55世帯	56人

(5) 子育て世帯等支援商品券事業

コロナ禍の影響が長期化する中で、その影響を受けている子育て世帯や出産を迎える世帯を支援するとともに、地域内の経済循環と消費喚起を図るため、中学生までの児童及び妊婦（母子健康手帳の交付を受けている方）1人当たり5千円の商品券を配布した。

(ア) 総事業費 8,765,710円（商品券換金資金7,328,000円、事務費1,437,710円）

(イ) 配布内容

区分	給付世帯	対象者数	商品券配布額
中学生までの児童	922世帯	1,555人	7,775,000円
母子健康手帳交付者	35	35	175,000
計	957	1,590	7,950,000

※換金率92.2%

(6) 子育て世帯等臨時特別支援事業（子育て世帯への臨時特別給付金・令和3年度からの繰越分）

高校生までの児童1人当たり10万円を給付した。（令和3年度事業支給対象者）

(ア) 総事業費 627,380円（給付金500,000円 事務費127,380円）

(イ) 支給内容

給付世帯	対象児童数	給付額	支給対象者
5 世帯	5 人	500,000 円	・令和4年3月に出生した児童の保護者：4人 ・受給者の配偶者であった者のうち離婚した者：1人

(7) 子育て世帯等臨時特別支援事業（住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金）

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して臨時的な措置として1世帯当たり10万円の子育て世帯等臨時特別給付（住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金）を支給した。

(ア) 総事業費

令和3年度繰越事業 26,700,000 円（給付金 25,700,000 円、事務費 1,000,000 円）

令和4年度事業 7,340,000 円（給付金 7,100,000 円、事務費 240,000 円）

(イ) 支給内容

対象者区分	世帯数	計
住民税非課税世帯	322 世帯	32,200,000 円
家計急変世帯	6 世帯	600,000 円
合計	328 世帯	32,800,000 円

(8) 子育て世帯等臨時特別支援事業（電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金）

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増によって様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に対して臨時的な措置として1世帯当たり5万円の子育て世帯等臨時特別給付（電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金）を支給した。

(ア) 総事業費 123,550,000 円（給付金 121,550,000 円、事務費 2,000,000 円）

(イ) 支給内容

対象者区分	世帯数	計
住民税非課税世帯	2,421 世帯	121,050,000 円
家計急変世帯	10 世帯	500,000 円
合計	2,431 世帯	121,550,000 円

(9) 住居確保給付金

新型コロナウイルス感染症の影響により、就業機会又は収入が減少し家屋を失うおそれのある世帯に対し、家賃相当額（上限あり）を給付した。

(ア) 総事業費 108,000 円

(イ) 支給内容

給付世帯	給付額	財 源 内 訳		
		国・府支出金	その他	一般財源
1 世帯	108,000 円	81,000 円	—	27,000 円

(10) 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金

総合支援資金の再貸付を借り終える等一定の要件を満たした世帯に対し、求職活動を行うこと等を条件に支援金を給付した。

(ア) 総事業費 810,000 円（給付金 540,000 円、事務費 270,000 円）

(イ) 支給内容

給付世帯	給付額	財 源 内 訳		
		国・府支出金	その他	一般財源
4 世帯	810,000 円	810,000 円	—	—



## 2 福祉施設等支援

(1) 公立保育所、民間保育園及び認定こども園、子育て支援センターにおいて、衛生用品・備品の購入、児童手洗い場水栓の交換等を実施（補助）し、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めた。

事業名	金額	財源内訳		
		国・府支出金	その他	一般財源
保育対策総合支援事業 新型コロナウイルス感染症対策分（令和3年度からの 繰越分・令和4年度分） [保育所等8施設]	3,211,268円	2,860,080円	—	351,188円
京都府保育対策総合支援事業 感染症対策のための改修整備等事業分 （令和3年度からの繰越分） [保育所等7施設]	4,138,150	4,138,150	—	
京都府新型コロナウイルス感染症対策事業 [保育園等6施設]	1,000,000	1,000,000	—	
新型コロナウイルス感染拡大防止事業 （令和3年度からの繰越分） [子育て支援センター]	300,446	300,446	—	

# 第8章 健康・介護課

## 第1節 高齢者福祉

### 1 介護保険低所得者対策事業

低所得により生計が困難な高齢者等を対象に介護保険サービス利用に係る利用者負担の軽減を行った社会福祉法人に対して、「社会福祉法人による介護保険利用者負担金軽減措置補助金」を交付した。

実施法人	サービスの種類	軽減対象者	軽減総額	市補助金額	備考
(福)北星会	訪問介護	8人	62,533円	10,688円	
	通所介護	9	188,909	26,506	3事業所
	認知症対応型通所介護	1	12,592	0	
	短期入所生活介護	8	293,360	17,935	
	介護老人福祉施設	10	1,430,051	251,306	
(福)成相山青嵐荘	通所介護	8	143,539	40,869	
	短期入所生活介護	5	42,909	0	
	介護老人福祉施設	6	284,923	0	
	通所介護相当サービス	2	47,854	13,848	
(福)よつば会	短期入所生活介護	10	304,091	44,270	
	介護老人福祉施設	8	771,504	16,981	
(福)香南会	短期入所生活介護	3	122,292	20,855	
	介護老人福祉施設	5	1,104,528	339,443	
(福)宮津市社会福祉協議会	訪問介護	2	15,666	1,297	
(福)みねやま福祉会	小規模多機能型居宅介護	2	86,622	1,837	
	介護老人福祉施設	2	344,098	0	
(福)与謝郡福祉会	通所介護	1	22,439	2,052	
	短期入所生活介護	1	34,874	6,654	
	介護老人福祉施設	6	771,824	247,105	4事業所
(福)長生園	短期入所生活介護	1	32,865	0	
	介護老人福祉施設	2	103,662	0	
合 計		100 (実数 72)	6,221,135	1,041,646	26事業所
		対前年度比	(実数 128.6%)	120.0%	110.5%

### 2 介護従事者負担軽減支援事業

介護人材の不足、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により介護サービス従事者の負担が大きくなる中、業務の負担軽減と効率化を図るために、介護ロボットや ICT を導入した事業者に対し、「介護ロボット等導入支援事業補助金」を交付した。【令和3年度3月補正予算繰越事業】

(単位：円)

法人名	事業所名	内容	補助対象 経 費	補 助 率	補助金額
(福)北星会	グループホーム 天橋の家	介護ロボット等通信機器の 導入 (介護ソフト連携バイ タル機器)	107,600	1/4	26,000

(福)成相山青嵐荘	青嵐荘(特養)	見守り支援機器の導入 (センサーカメラ、インカム等)	2,890,000	1/8	361,000
	グループホーム せいらん	ICT機器の導入 (モバイル端末等)	305,400	1/8	38,000
(福)よつば会	夕風の里(特養)	介護ロボット等通信機器の 導入(インカム、タブレット、 介護ソフトのクラウド 化等)	9,396,800	1/8	1,174,000
	夕風の里(短期入 所生活介護)		2,960,336	1/8	370,000
	ヘルパーステー ション夕風の里		1,095,464	1/4	273,000
(福)香南会	安寿の里(特養)	移乗アシスト機器の導入	1,169,400	1/4	292,000
合 計			17,925,000		2,534,000

備考 法人は、京都府の補助制度を併用。京都府の補助率が2分の1の場合は市の補助率は4分の1を、京都府の補助率が4分の3の場合は市の補助率は8分の1を適用。

財源：地方創生臨時交付金

## 第2節 介護保険

第8期介護保険事業計画(計画期間：令和3年度～令和5年度)に基づき、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して幸せに暮らせるよう、地域包括ケアシステムの構築や認知症対策、介護予防の推進に重点を置いた事業を行った。

### 1 被保険者の状況(令和5年3月末現在)

区 分	実人数(人)	構成比(%)	対前年比(%)
第1号被保険者	7,122	58.5	98.5
65歳～69歳	1,328	10.9	98.2
70歳～74歳	1,669	13.7	91.2
75歳～79歳	1,360	11.2	110.7
80歳～84歳	1,113	9.1	97.0
85歳以上	1,652	13.6	98.9
第2号被保険者(40歳～64歳)	5,059	41.5	97.9
合 計	12,181	100.0	98.3

※ 対前年比は、令和4年3月末の実人数との比率

### 2 要介護認定等の審査

#### (1) 宮津市介護認定審査会

要介護認定・要支援認定の審査、判定を行うため医療・保健・福祉関係の18人で構成する宮津市介護認定審査会を開催した。

#### ア 審査会委員

分野	人数(人)	内 訳
医療分野	11	医師9人・看護師2人
保健分野	4	保健師4人
福祉分野	3	介護支援専門員等3人

イ 審査会開催状況

開催数	審査・判定件数	対前年度比	1回当たりの平均審査・判定件数	備考
44回	1,407件	98.0%	32.0件	概ね月4回の開催

(2) 要介護認定・要支援認定等の状況

ア 申請件数

区分	件数(件)	対前年度比(%)
新規	421	97.0
更新	868	97.5
変更	166	97.6
合計	1,455	97.4

イ 介護認定調査

区分	件数(件)	対前年度比(%)	備考
委託調査	56	233.3	委託事業所31
市調査	1,375	98.5	調査員数5人
他市町村調査	6	200.0	他市町村への嘱託(6市)
合計	1,437	101.0	

(3) 介護度別認定者数(令和5年3月末現在)

(単位:人)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	対前年比
第1号被保険者	425	233	346	248	220	211	136	1,819	96.9%
第2号被保険者	3	7	4	1	2	2	2	21	110.5%
合計	428	240	350	249	222	213	138	1,840	97.0%
構成比	23.3%	13.0%	19.0%	13.5%	12.1%	11.6%	7.5%	100.0%	
対前年比	106.5%	98.0%	94.1%	87.7%	96.9%	97.3%	94.5%	97.0%	

※ 対前年比は、令和4年3月末現在の認定者数の合計に対する比率

3 サービス受給者の状況(令和5年3月利用分)

(単位:人)

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	対前年同月比	
居宅・介護予防	訪問介護	0	0	75	58	33	34	17	217	101.4%
	訪問入浴	0	0	1	2	5	4	5	17	60.7%
	訪問看護	40	34	79	64	40	36	22	315	94.6%
	訪問リハビリ	4	4	4	8	5	6	1	32	86.5%
	通所介護	0	0	111	91	43	29	10	284	88.8%
	通所リハビリ	4	7	17	16	15	5	4	68	94.4%
	福祉用具貸与	112	108	150	135	78	61	34	678	101.0%
	短期入所生活介護	0	4	21	55	64	29	17	190	95.5%
	短期入所療養介護	0	0	1	0	3	3	1	8	50.0%
	居宅療養管理指導	3	3	13	18	5	6	1	49	96.1%
	特定施設入居者生活介護	1	2	8	7	7	5	6	36	94.7%
	住宅改修	3	3	5	3	2	1	0	17	154.5%
	福祉用具購入	2	0	3	1	2	1	0	9	112.5%
	居宅介護支援	144	129	237	187	97	65	34	893	99.3%
	セルフケアプラン			13	1	2	0	1	17	60.7%
居宅合計	313	294	738	646	401	285	153	2,830	96.8%	

	居宅実人数 A	148	128	258	197	105	68	42	946	96.7%
	対前年比	115.6%	94.1%	98.1%	86.0%	90.5%	101.5%	107.7%	96.7%	
地域密着型	定期巡回・随時対応型訪問介護看護			2	0	0	0	0	2	200.0%
	夜間対応型訪問介護			4	8	8	7	7	34	100.0%
	地域密着型通所介護			55	47	14	4	1	121	102.5%
	認知症対応型通所介護	0	0	11	14	10	5	4	44	89.8%
	認知症対応型共同生活介護		0	12	9	14	3	2	40	105.3%
	小規模多機能型居宅介護	0	0	6	5	3	2	2	18	90.0%
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%
	地域密着型老人福祉施設					0	0	0	0	前年実績無
	複合型サービス			0	0	0	0	0	0	前年実績無
	地域密着型合計	0	0	90	83	49	21	17	260	99.6%
	地域密着型実人数 B	0	0	86	70	46	18	14	234	100.4%
	対前年比	前年実績無	前年実績無	96.6%	104.5%	102.2%	75.0%	175.0%	100.4%	
	施設	介護老人福祉施設			1	2	72	114	69	258
介護老人保健施設				12	18	20	18	6	74	93.7%
介護療養型医療施設				0	0	0	0	0	0	前年実績無
介護医療院				0	0	0	0	0	0	皆減
施設合計				13	20	92	132	75	332	96.8%
施設実人数 C				13	20	91	130	76	330	98.5%
対前年比				100.0%	100.0%	103.4%	104.0%	85.4%	98.5%	
受給者総数 A+B+C	148	128	357	287	242	216	132	1,510	97.7%	
受給者実人数 D	148	127	279	226	206	191	118	1,295	97.9%	
対前年比	117.5%	96.9%	99.3%	88.6%	95.4%	101.1%	94.4%	97.9%		
認定者数 E	428	240	350	249	222	213	138	1,840	97.0%	
受給割合 D/E	34.6%	52.9%	79.7%	90.8%	92.8%	89.7%	85.5%	70.4%		
対前年比(ポイント)	3.3	△0.6	4.2	1.0	△1.5	3.4	△0.1	0.7		

※ 対前年比は、令和4年3月利用分に対する比率

#### 4 介護サービスの利用状況・介護給付費の状況

区分	実人数(人)	利用回数等	対前年度比(%)	介護給付費(円)	対前年度比(%)	1人当たり年間利用回数等	1人当たり介護給付費(円)	
居宅	訪問介護	316	33,676回	97.1	91,880,375	96.1	106.6回	290,761
	訪問入浴	62	979回	72.0	12,171,332	72.7	15.8回	196,312
	訪問看護	360	12,053回	101.1	89,440,107	102.7	33.5回	248,445
	訪問リハビリ	40	3,720回	77.5	10,546,523	80.0	93.0回	263,663
	通所介護	419	24,728回	84.7	197,309,619	93.0	59.0回	470,906
	通所リハビリ	81	3,745回	95.1	35,894,174	94.5	46.2回	443,138
	福祉用具貸与	673	5,650件	98.3	83,031,723	99.4	8.4件	123,376
	短期入所生活介護	317	16,279回	96.0	149,435,903	97.0	51.4回	471,407
	短期入所療養介護	39	835回	81.5	10,164,266	86.5	21.4回	260,622
	居宅療養管理指導	53	562件	93.5	3,768,706	84.4	10.6件	71,108
	特定施設入居者生活介護	47	12,878日	91.5	87,004,622	91.1	274.0日	1,851,162
	住宅改修	47	48件	85.7	3,399,486	81.6	1.0件	72,329
福祉用具購入	71	79件	76.7	2,312,269	79.2	1.1件	32,567	

	居宅介護支援	864	7,593件	98.0	116,722,950	99.2	8.8件	135,096
	セルフケアプラン	196	395件	92.3			2.0件	
	居宅合計				893,082,055	95.3		
地域密着型	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	14件	107.7	1,185,503	96.5	7.0件	592,752
	夜間対応型訪問介護	63	424件	94.2	24,693,901	93.9	6.7件	391,967
	地域密着型通所介護	167	7,998回	112.8	57,571,172	119.5	47.9回	344,738
	認知症対応型通所介護	67	5,042回	90.3	60,243,258	93.5	75.3回	899,153
	認知症対応型共同生活介護	48	14,158日	101.6	117,749,918	103.7	295.0日	2,453,123
	小規模多機能型居宅介護	27	245件	92.8	51,756,178	94.0	9.1件	1,916,895
	地域密着型特定施設入居者生活介護	1	365日	100.0	3,144,744	100.6	365.0日	3,144,744
	地域密着型老人福祉施設	0	0日	前年度実績無	0	前年度実績無	0.0日	0
	複合型サービス	0	0件	前年度実績無	0	前年度実績無	0.0件	0
	地域密着型合計				316,344,674	101.4		
施設	介護老人福祉施設	360	93,747日	101.0	875,426,251	102.4	260.4日	2,431,740
	介護老人保健施設	146	23,406日	98.7	249,638,486	95.3	160.3日	1,709,853
	介護療養型医療施設	0	0日	前年度実績無	0	前年度実績無	0日	0
	介護医療院	1	55日	59.8	644,644	52.4	55.0日	644,644
	施設合計				1,125,709,381	99.7		
	高額介護サービス費	536	4,996件	99.5	53,858,820	97.4	9.3件	100,483
	高額医療合算介護サービス費	301	303件	87.3	7,898,048	93.6	1.0件	26,239
	特定入所者介護(介護予防)サービス費	326	5,854件	90.0	89,402,724	86.8	18.0件	274,241
	支払審査手数料		41,281件	98.7	2,606,470	98.7		
	合計				2,488,902,172	98.1		

## 5 介護予防サービスの利用状況・介護予防給付費の状況

区分	実人数(人)	利用回数等	対前年度比(%)	介護予防給付費(円)	対前年度比(%)	1人当たり年間利用回数等	1人当たり介護予防給付費(円)	
介護予防	訪問入浴	0	0回	皆減	0	皆減	0回	0
	訪問看護	116	2,611回	88.1	17,691,733	89.7	22.5回	152,515
	訪問リハビリ	12	914回	102.6	2,343,204	105.2	76.2回	195,267
	通所リハビリ	17	139件	103.7	5,007,673	109.1	8.2回	294,569
	福祉用具貸与	287	2,593件	108.7	19,824,282	104.4	9.0件	69,074
	短期入所生活介護	10	191日	48.4	1,272,716	44.2	19.1日	127,272
	短期入所療養介護	0	0日	前年度実績無	0	前年度実績無	0	0
	居宅療養管理指導	8	56件	100.0	520,212	116.8	7.0件	65,027
	特定施設入居者生活介護	4	1,110日	126.0	2,688,830	136.8	277.5日	672,208
	住宅改修	44	46件	131.4	4,331,920	144.7	1.0件	98,453
福祉用具購入	42	45件	90.0	1,063,569	103.9	1.0件	25,323	

	介護予防支援	364	3,219件	104.8	14,342,220	105.1	8.8件	39,402
	介護予防合計				69,086,359	100.8		
地域密着型	認知症対応型通所介護	0	0回	前年度実績無	0	前年度実績無	0回	0
	認知症対応型共同生活介護	0	0日	前年度実績無	0	前年度実績無	0日	0
	小規模多機能型居宅介護	0	0件	前年度実績無	0	前年度実績無	0件	0
	地域密着型合計				0	前年度実績無		
	合計				69,086,359	100.8		

※ 対前年度比は、令和3年度の利用回数等及び介護予防給付費との比較

## 6 居宅サービス利用量状況

要介護度	延人数 (人) A	利用単位数 B	平均利用 単位数 C=B/A	支給限度 単位数 D	利用可能 単位数 E=A×D	限度額に対する 利用割合(%) B/E	対前年度比 (ポイント)
要支援1	2,994	7,717,888	2,578	5,032	15,065,808	51.2	0.2
要支援2	2,239	9,839,865	4,395	10,531	23,578,909	41.7	0.5
要介護1	3,271	30,236,214	9,244	16,765	54,838,315	55.1	△2.9
要介護2	2,609	37,632,602	14,424	19,705	51,410,345	73.2	△0.4
要介護3	1,393	31,922,395	22,916	27,048	37,677,864	84.7	△1.6
要介護4	840	24,358,166	28,998	30,938	25,987,920	93.7	△6.1
要介護5	528	16,676,700	31,585	36,217	19,122,576	87.2	3.8
合計	13,874	158,383,830			227,681,737	69.6	△1.4

※ 対前年度比は、「限度額に対する利用割合」の令和3年度数値とのポイントの増減

※ 支給限度額管理対象サービスのみ計上

(訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリ、通所介護、通所リハビリ、福祉用具貸与、短期入所生活介護、短期入所療養介護、特定施設入居者生活介護(短期利用)、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護(短期利用)、地域密着型特定施設入居者生活介護(短期利用)、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護)

## 7 介護保険における保険給付費の受領委任払

通常は償還給付となる保険給付費の支給を受ける者の一時的な費用負担の軽減を図るため、受領委任払を実施した。

保険給付の種類	福祉用具購入費	住宅改修費	高額介護サービス費
件数(件)	116	69	406
支給金額(円)	3,191,388	4,980,634	4,826,591

(※件数、支給金額については、「4 介護サービスの利用状況・介護給付費の状況」、「5 介護予防サービスの利用状況・介護予防給付費の状況」の内数)

## 8 地域密着型(介護予防)サービス

高齢者が要介護状態等となっても、できる限り住み慣れた地域で生活を継続できるよう、原則として宮津市内の被保険者を対象にサービスを提供する事業所について、次のとおり指定等を行った。

区 分	前年度末 指定事業所数	新規指定	指定更新	指定廃止	本年度末 指定事業所数
全体	17	1	4	2	16
うち市内	9	0	1	1	8

## 9 地域支援事業

高齢者が要支援・要介護状態になることを予防するとともに、要介護状態等となった場合にも可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する地域支援事業を実施した。

また、介護予防・日常生活支援総合事業により、訪問型サービス・通所型サービスを実施したほか、介護予防事業など効果的・効率的な介護予防の取組を推進した。

### (1) 介護予防・生活支援サービス事業

要支援の認定を受けた者、基本チェックリストの該当者を対象に、介護予防ケアマネジメント、訪問型サービス、通所型サービス等を実施した。

#### ア 訪問型サービス

##### (ア) 利用人数・事業費の状況

区 分	事業所数		実人数 (人)	事業費 (円)	1人当たり 事業費 (円)	事業費 対前年度比 (%)
		うち市内				
訪問介護相当サービス	5	3	90	12,106,492	134,517	112.7
訪問型サービスA (緩和した基準によるサービス)	2	2	26	1,152,450	44,325	55.5

※ 訪問型サービスAは、(福)宮津市社会福祉協議会及び(公社)宮津与謝広域シルバー人材センターにより実施。

#### イ 通所型サービス

##### (ア) 利用人数・事業費の状況

区 分	事業所数		実人数 (人)	事業費 (円)	1人当たり 事業費 (円)	事業費 対前年度比 (%)
		うち市内				
通所介護相当サービス	15	7	351	81,586,441	232,440	103.7
通所型サービスA	1	1	15	1,716,660	114,444	93.5

※ 通所型サービスAは、(福)宮津市社会福祉協議会により実施。

#### ウ 配食サービス (任意事業分は、後掲)

##### (ア) 調理・配達

利用人数：14人

利用回数：延べ878回

委託料：255,053円

##### (イ) アセスメント

件数：2件

委託料：2,000円

##### (2) 一般介護予防事業

65歳以上のすべての高齢者を対象として、要介護状態にならないようするため、介護予防に関す



る意識啓発等を行った。

ア 介護予防把握事業 (令和5年3月31日現在)

区 分		人数(人)
65歳以上人口		7,192
総合事業対象者数		688
内 訳	事業対象者	14
	要支援者	674

イ 介護予防普及啓発事業

(ア) 介護予防教室講師派遣

派遣先：6団体

講 師：健康運動指導士、保健師等

参加者：延べ105名

(イ) 介護予防運動教室

会 場	実施回数	内 容	参加人数
(南部圏域) 宮津市福祉・教育総合プラザ 宮津市民体育館等	40回	健康運動実践指導者等による運動 DVDによる自主トレーニング	575人
(北部圏域) 北部地域各公民館等	5回	健康運動実践指導者等による運動 DVDによる自主トレーニング	64人

ウ 地域介護予防活動支援事業

介護予防を目的とした食生活改善講習会の実施等に対する支援を行った。

開催回数：38回

参加者：延べ275人

(3) 包括的支援事業・任意事業

ア 生活支援体制整備事業

高齢者の在宅生活を支えるため、市と生活支援サービスを担う多様な事業主体が連携した生活支援サービス研究会を第1層協議体として、生活支援のあり方を検討するとともに、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を中心に、市の北部圏域、南部圏域にそれぞれ第2層の協議体を設置し、地域における課題、生活支援に係る資源や生活支援ニーズ等の情報共有を図ったほか、生活支援・介護予防の担い手の養成及び確保に努めた。

また、助け合いの仕組みづくりの必要性を学び、地域における支え合い活動を広げていくことを目的に各種研修を実施した。

(ア) 第1層協議体：施設長会議兼宮津市生活支援サービス研究会

開 催 日	協 議 内 容
令和4年5月23日(月)	・令和3年度実績報告 ・令和4年度事業計画

(イ) 第2層協議体：北部・南部生活支援サービス研究会(北部：計8回、南部：計6回)

a 北部・南部生活支援サービス研究会合同会議（年1回、延べ22人参加）

b 研究会通信「みやづ ささえあい」の発行（年2回）

c 住民学習会（福祉懇談会）（市内9地区で開催 延べ188人参加）

d 北部地域の介護予防教室の実施（5回、延べ64人参加）

e 日置地域の移動支援に関する協議会 2回

f 南部せせらぎサロン送迎の実施（10月19日（水）より開始し、月1回程度開催（約20人利用/回））

g 南部レクリエーション体験講座（6回、延べ48人参加）

(ウ) 生活支援コーディネーター会議（全11回）

(エ) 研修会の開催状況

開催日	研修名	内容
令和4年9月1日（木）～ 令和4年9月2日（金）	いきがい・助け合いサミット in 東京	全体シンポジウム・各分科会におけるパネルディスカッション・全体発表（オンライン研修）
令和4年11月11日（金）	南部生活支援サービス研究会	溝尻地域づくり委員会の取組みについて

イ 家族介護支援事業

(ア) 介護用品支給事業

介護認定において、要介護4又は5の認定を受けた市民税非課税世帯に属する高齢者等を介護する家族の経済的負担を軽減するため、年間48,000円分（上限）の介護用品を支給した。

対象となる介護用品	支給者数	事業費
おむつ、尿取りパッド、清拭剤、ドライシャンプー、手袋等	28人	833,500円

ウ 配食サービス事業（介護予防・生活支援サービス事業分は、前掲）

65歳以上の高齢者（要支援1・2の認定者及び介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者を除く。）を対象に、配食サービス事業を実施した。

(ア) 調理・配達

利用人数：40人

利用回数：延べ1,886回

委託料：871,585円

(イ) アセスメント

件数：5件

委託料：10,000円

エ 認知症高齢者等位置探索サービス利用支援事業

認知症により行方不明になるおそれのある方及びその家族が、認知症高齢者等を対象とする位置探索サービスの利用契約をした際に、その費用について上限10,000円の補助を実施した。

件数：1件

## 10 介護給付の適正化

(1) システムの導入

要介護認定データと給付実績を突合することにより、過剰なサービスや算定基準に合致しない給付など過不足のないサービスを事業者が適切に提供するように促し、適切なサービスの確保、その結果としての費用の効率化を通じて介護保険制度への信頼を高め、持続可能な介護保険制度の構築に資するため、システムを導入した。

委託料 2,497,000円（導入経費1,815,000円 運用支援682,000円）

(2) ケアプラン点検

ケアマネジメントの質の向上を図るため、ケアプラン点検（書面点検）を行った。

件数：居宅介護支援事業所4事業所 15件

## 11 介護保険料

### (1) 賦課収納状況

区 分		対象者数	調 定 額	収 入 額	不納欠損額
現年度分	特別徴収	人 7,090	円 492,045,680	円 493,562,690	円 —
	普通徴収	812	32,398,380	30,108,410	—
	計	7,481	524,444,060	523,671,100	—
滞納繰越分	普通徴収	80	6,764,430	1,375,330	1,753,660
合 計		7,561	531,208,490	525,046,430	1,753,660
対前年度比		99.5%	99.5%	99.9%	61.5%

未 収 額	還付未済額	収 納 率	未 納 者 数
円 0	円 1,517,010	% 100.00	人 0
2,317,830	27,860	92.85	65
2,317,830	1,544,870	99.56	65
3,636,540	1,100	20.32	53
5,954,370	1,545,970	98.55	118 (82)
87.3%	120.1%	0.36 (前年度とのポイント差)	106.3% (103.8%)

※ 対象者数の現年度分は、特別徴収及び普通徴収に併徴者がいるため、計と一致しない。

※ ( )内の人数は実数、還付未済額は収入額の内数

### (2) 段階別賦課の状況（現年度分・当初賦課時点）

段 階	第1号被保険者数(人)	対前年度比(%)	対象となる者の課税状況等	基準額に対する乗率 保険料額(年額:円)
第1段階	1,048	97.9	・生活保護受給者 ・世帯全員が市民税非課税で、本人が老齢福祉年金受給者 ・世帯全員が市民税非課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合計額が80万円以下	基準額×0.25 20,020
第2段階	1,023	102.7	世帯全員が市民税非課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合計額が80万円超120万円以下	基準額×0.45 36,030
第3段階	756	99.0	世帯全員が市民税非課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合計額が120万円超	基準額×0.70 56,050
第4段階	538	98.2	本人が市民税非課税、他の世帯員が市民税課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合計額が80万円以下	基準額×0.85 68,060
第5段階	1,125	98.9	本人が市民税非課税、他の世帯員が市民税課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合計額が80万円超	基準額 80,070
第6段階	1,377	99.6	本人が市民税課税で、合計所得金額が125万円未満	基準額×1.20 96,080
第7段階	879	98.0	本人が市民税課税で、合計所得金額が125万円以上210万円未満	基準額×1.35 108,090
第8段階	291	105.1	本人が市民税課税で、合計所得金額が210万円以上320万円未満	基準額×1.70 136,110
第9段階	75	105.6	本人が市民税課税で、合計所得金額が320万円以上400万円未満	基準額×1.75 140,120

第10段階	54	103.8	本人が市民税課税で、 合計所得金額が400万円以上500万円未満	基準額×1.90 152,130
第11段階	39	105.4	本人が市民税課税で、 合計所得金額が500万円以上650万円未満	基準額×2.05 164,140
第12段階	19	135.7	本人が市民税課税で、 合計所得金額が650万円以上800万円未満	基準額×2.20 176,150
第13段階	35	97.2	本人が市民税課税で、 合計所得金額が800万円以上	基準額×2.25 180,150
合計	7,259	99.7		

(3) 保険料の減免状況

ア 生活困難者特認減免ほか

減免件数	9件
減免金額	167,190円

イ 新型コロナウイルス感染症の影響による減免（令和4年4月～令和5年3月分保険料）

	10/10減免	8/10減免	計
減免件数	1件	2件	3件
減免金額	36,030円	94,770円	130,800円

12 広報・啓発

介護保険制度等を一層市民に周知するため、介護保険に関わる諸制度について広報みやびに掲載したほか、65歳到達時及び介護保険料決定通知書と併せてリーフレットを送付し、その啓発に努めた。

第3節 地域包括支援センター

介護予防のマネジメントをはじめ高齢者の総合的な相談・支援業務、権利擁護業務・虐待対応及び介護支援専門員の活動支援等の取組を実施した。

地域包括支援センターの機能強化を図るため、北部圏域においては、社会福祉法人成相山青嵐荘に委託して宮津北部地域包括支援センターを継続して設置した。また、地域包括ケアシステムの構築を図るための在宅医療・介護連携事業や認知症総合支援事業に継続して取り組んだ。

1 運営体制

(1) 宮津市地域包括支援センター（直営）

管理者：健康・介護課長（兼務）

職員：常勤5人 ・主任介護支援専門員1人・保健師1人・社会福祉士2人・看護師1人  
非常勤4.6人 ・介護支援専門員3.6人・事務職員1人

担当圏域：宮津市南部（由良・栗田・宮津・上宮津・吉津）

(2) 宮津北部地域包括支援センター（社会福祉法人成相山青嵐荘に委託）

管理者：主任介護支援専門員（兼務）

職員：常勤2人 ・主任介護支援専門員1人 ・社会福祉士1人  
非常勤1人 ・介護支援専門員1人

担当圏域：宮津市北部（府中・日置・世屋・養老・日ヶ谷）

## 2 介護予防ケアマネジメント事業

生活上のさまざまな課題を抱える高齢者に対して、状況にあった適切な支援を行うことにより、要支援・要介護状態の予防やその重度化の予防、改善を図るなど自立した日常生活が送れるよう支援を行った。

(1) 要支援認定者の介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメント業務の介護予防ケアプランの作成

ア 宮津市地域包括支援センター（直営分）

[単位：件・円]

	区 分	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
予 防 給 付	作成数	189	187	194	195	201	211
	介護報酬	836,820	831,060	861,720	869,100	901,380	930,180
総 合 事 業	作成数	147	146	144	137	142	143
合 計	作成数	336	333	338	332	343	354
	介護報酬	836,820	831,060	861,720	869,100	901,380	930,180

9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	合 計
213	205	209	204	199	199	2,406
947,940	918,900	924,420	908,520	877,620	886,620	10,694,280
148	150	153	148	147	150	1,755
361	355	362	352	346	349	4,161
947,940	918,900	924,420	908,520	877,620	886,620	10,694,280

※介護予防ケアマネジメント業務に係る介護サービス計画（ケアプラン）作成成分については、直営であるため委託料収入はなし

イ 宮津北部地域包括支援センター（委託分）

[単位：件・円]

	区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
予 防 給 付	作成数	64	65	63	62	64	65
	介護報酬	286,320	290,700	281,940	277,560	283,320	290,700
総 合 事 業	作成数	29	31	33	35	31	32
	ケアマネジメント 業務委託料	133,020	144,780	156,540	159,300	135,780	140,160
合 計	作成数	93	96	96	97	95	97
	介護報酬等	419,340	435,480	438,480	436,860	419,100	430,860

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
63	61	70	72	75	72	796
278,940	267,180	324,600	327,360	337,500	318,360	3,564,480
32	28	35	30	31	35	382
146,160	125,640	159,300	131,400	141,780	159,300	1,733,160
95	89	105	102	106	107	1,178
425,100	392,820	483,900	458,760	479,280	477,660	5,297,640

### 3 総合相談支援、権利擁護事業

高齢者に関する各種相談を幅広く受け付け、支援や権利擁護、困難事例等への指導・助言など実施した。

#### (1) 総合相談業務

相談内容	直営分		委託分		備考
	延件数	実人員	延件数	実人員	
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	4,316	2,170	4,475	2,524	
権利擁護（成年後見制度等）に関すること	58	27	0	0	任意後見： 契約件数 0件
成年後見制度に関すること（再掲）	45	21	0	0	法定後見： 申立件数 2件
高齢者等虐待に関すること	31	16	5	3	
合計	4,450	2,234	4,480	2,527	

#### (2) 権利擁護業務

成年後見制度の活用促進、養護老人ホーム等の老人福祉施設への入所に係る情報提供・調査同行などの支援のほか、消費者被害についての情報提供・注意喚起及びその他困難事例についてもケースごとに関係機関等と連携し対応した。

### 4 成年後見制度利用支援事業

宮津市成年後見支援センターを健康福祉部（高齢：介護予防係（宮津市地域包括支援センター）、障害：障害福祉係）内に設置し、そのセンターを権利擁護支援における地域連携ネットワークの中核機関として位置づけ、広報機能・相談機能の推進及び成年後見制度の利用促進を図った。

#### (1) 成年後見支援センターの開設（令和4年4月1日付）

#### (2) 事業内容

##### ア 運営委員会・協議会の開催

開催年月日	内容
令和4年6月13日	【第1回運営委員会】 ・成年後見支援センター事業について ・成年後見支援センター運営開始以降の周知及び運営状況 ・今後の運営、スケジュールについて
令和4年11月18日	【協議会】 ・成年後見支援センター概要について ・今後の活動等について ・意見交換
令和5年3月22日	【第2回運営委員会】 ・成年後見支援センター運営状況報告 ・成年後見ケース事例検討 ・今後のセンター運営事業スケジュール

イ 報酬助成 4件

ウ 広報等啓発活動

(ア) 宮津市成年後見支援センターのチラシ作成、ホームページ、広報誌への掲載

(イ) 市内の障害者・高齢者関連施設、医療機関にチラシ配布

(ウ) 認知症サポーター養成講座等にて成年後見支援センターの窓口周知、チラシの配布

(エ) すこやか大学での成年後見制度に関する講演

## 5 高齢者等虐待防止事業

相談や通報のあったケースについての事実確認等を行い関係機関等と連携し虐待事例の解決に向けた対応を行うとともに、施設従事者に対して研修を行った。

### (1) 相談・通報対応件数等 16件

内 容	直営分	委託分
養介護施設従事者等による虐待に関する相談・通報対応件数	1	0
うち、事実確認により、虐待の事実が認められた件数	0	0
養護者による虐待に関する相談・通報対応件数	15	左記内3
うち、事実確認により、虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例	10	
うち、包括的・継続的ケアマネジメント対応した事例	5	
うち、相談のみ受理した事例	0	

### (2) 高齢者虐待の対応状況等 被虐待者数 10件（事実確認事例のみ）

虐待の種別・類型  (5件の重複有り)	身体的虐待	7
	心理的虐待	8
	介護・世話の放棄、放任	0
	経済的虐待	0

### (3) 高齢者等虐待防止ネットワーク

ア ケース会議 随時開催

イ ネットワーク総会・研修会

開 催 日 令和4年11月18日(金)

出 席 者 総会28人・研修会26人

研修会内容 高齢者等虐待防止研修会

講演：「高齢者虐待と精神疾患のある養護者支援」

講師：社会福祉法人よさのうみ福祉会

与謝野町障害者相談支援事業所結 管理者 坂根 由美子氏

高齢者等虐待防止ネットワーク参画機関等一覧

行政機関	京都地方法務局宮津支局、京都府丹後保健所、京都府宮津警察署、宮津与謝消防組合、宮津市
関係機関	(一社)与謝医師会、弁護士法人たんご法律事務所、(福)宮津市社会福祉協議会、宮津市民生児童委員協議会、(福)北星会、(福)成相山青嵐荘、(福)よつば会特別養護老人ホーム夕風の里、オーチャード・ケア(株) (医)宮津康生会宮津武田病院、(公社)京都府看護協会宮津訪問看護ステーション、(福)京都太陽の園障害者生活支援センターかもめ・多機能事業所宮津サンホーム、(福)よさのうみ福祉会、(福)香南会特別養護老人ホーム安寿の里、介護レスキュー(株)宮津事業所、(株)ダイボシグループデイひだまりの家、(株)吉峰ライフ吉笑庵デイサービス宮津、(福)みねやま福祉会、(株)よこまちトータルヘルスデイサービスリハとも
市民団体	宮津人権擁護委員協議会、宮津市自治連合協議会、宮津市老人クラブ連合会、宮津市身体障害者団体連合会、宮津市ボランティア連絡協議会、みやづ作業所家族会

## 6 包括的・継続的ケアマネジメント事業

包括的・継続的ケアを可能にするため、関係機関等との連携や介護支援専門員の活動支援を行った。

### (1) 関係機関等との連携

ア 丹後保健所地域包括ケア推進連絡会議 2回

丹後保健所及び管内2市2町で情報交換や研修会の企画、事業の検討会等を行った。

イ 在宅療養多職種連携事業

(ア) 地域ケア会議（事例検討、研修会）の開催

開催年月日	内 容	参加者数
令和4年6月6日(月)	講演：精神疾患の方への対応と理解 講師：京都府精神保健福祉総合センター 八尾博士氏	58人
令和4年7月4日(月)	講演：薬剤師の役割と認知症の方の服薬支援 講師：みやづスマイル薬局 谷原暢氏	47人
令和4年9月5日(月)	情報共有：生活支援体制整備事業の取組みについて 報告者：中川拓哉（第1層コーディネーター） 瀬戸享明氏、上辻孝太氏（第2層コーディネーター）	48人
令和4年12月5日(月)	研修：ACPについて・京あんしんネットについて 講師：今出クリニック 院長 今出陽一朗氏 宮津訪問看護ステーション 梅田美枝子氏	55人
令和5年2月6日(月)	事例検討：多職種で支える在宅看取り 事例提供者：天橋園居宅介護支援事業所 夕風の里居宅介護支援事業所	46人
令和5年3月6日(月)	報告・意見交換：宮津市の地域ケア個別会議の取組みについて 報告者：宮津市地域包括支援センター	41人
合 計	6回	295人

(イ) 個別ケア会議（個別事例の検討等）の開催

開催回数：2回

参加人数：17人(民生委員や近隣住民等を含む)

(ウ) 在宅医療・介護連携シンポジウム

開催日：令和4年10月8日(土)

参加者数：120人

テーマ：認知症になっても大丈夫？～もしも家族が認知症になったら～

(エ) 宮津北部地域包括支援センターとの連絡会議 6回

(2) 介護支援専門員の活動支援

ア 介護支援専門員研究会の開催

開催年月日	内 容	参加者数
令和4年5月10日(火)	ケアプランチェックにかかる研修	28人
令和4年10月11日(火)	自然災害発生時における業務継続計画作成のポイント	26人
令和5年3月7日(火)	今年度の振り返りと次年度の計画について	25人
合 計	3回	79人

イ その他

困難事例対応、介護支援専門員への指導助言、同行訪問、サービス担当者会議への出席

(3) 要介護認定者の自己作成（セルフプラン）支援 給付管理数 395件

7 認知症対策の推進

認知症の早期対応を図るため、認知症に対する正しい理解と啓発を目的に認知症サポーター養成講座を実施した。また、認知症初期集中支援チームでは、定例開催のチーム員会議や訪問を行い、認知症の人とその家族への専門医等による初期支援を包括的・集中的に行った。オレンジカフェ事業については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら再開するカフェが見られた。



(1) 認知症サポーター養成講座

対象者	開催回数	受講者数
小学生	5回	125人
中学生	3回	153人
一般市民・企業	4回	79人
合計	12回	357人

(2) オレンジカフェ事業

名称	はままちカフェ	いちごカフェ	須津なぎさカフェ	囲炉裏茶屋
実施場所	宮津市福祉・教育総合プラザ	栗田区民センター	吉津公民館	上宮津地区公民館
運営法人	(福)宮津市 社会福祉協議会	(福)天橋の郷	(福)リハ・ヴィラ なぎさ苑	(福)天橋園
開催回数	12回	7回	3回	2回
参加者数	28人	54人	11人	23人

(3) オレンジロードつなげ隊活動支援

「アルツハイマー月間(9月)」や「アルツハイマーデー(9月21日(水))」にあわせて、認知症啓発に係る広報や天橋立オレンジライトアップを実施した。また、9月24日(土)～25日(日)に開催された「天橋立ツーデーウォーク」において認知症啓発パンフレット等を配置。10月16日(日)に開催された「宮津市交通安全フェスティバル」においては、もの忘れチェックや認知症啓発活動を実施した。加えて、宮津市在宅医療・介護連携シンポジウム等において、市民対象のリーフレット配布ほか認知症啓発活動を実施した。

(4) 認知症初期集中支援事業

認知症初期集中支援チーム			
構 成 員	チーム員医師	サポート医	1人
	チーム員の職種と人数	保健師	1人
		看護師	3人
		社会福祉士	2人
		主任介護支援専門員	1人
合計			8人
活 動 状 況	認知症初期集中支援の実施	訪問実人数	5人
		訪問延べ件数	28回
		専門医を含めたチーム員会議の開催	7回
認知症初期集中支援チーム検討委員会	開催回数	1回	

8 京都府地域包括ケア推進事業

「府民リハビリテーション啓発支援事業」(京都私立病院協会)に基づき、リハビリ体験会を開催した。

開催日	場 所	内 容	参加者数
令和4年10月5日	府中地区公民館	理学療法士等による脳トレ・転倒予防・腰痛予防等の運動・嚥下体操等	22人

## 第4節 地域医療

### 1 診療所管理事業

#### (1) へき地診療委託料

区 分	金 額
日置診療所	4,015,000 円
養老診療所	2,092,000 円
養老歯科診療所	379,000 円
宮津市由良診療所	500,000 円

#### (2) 宮津市由良診療所

指定管理者	利用者人数 (延べ患者数)
YMSほりかわ 代表者 堀川 義治	7,487 人

### 2 診療所整備事業

施設	整備内容	事業費
府中診療所	敷地内の不要建物等（物置、植栽、庭石等）を撤去し、発熱外来患者対応スペースを確保	3,688,300 円

### 3 宮津市休日応急診療所運営事業

#### (1) 患者数

診療日数	患者数	性 別		年 齢 別				1日平均患者数
		男	女	6歳未満	6歳～14歳	15歳～69歳	70歳以上	
71日	346人	144人	202人	65人	53人	173人	55人	4.9人

#### (2) 市町・月別患者数

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宮津市	1	15	7	7	6	7	17	8	13	29	18	10	138
伊根町	0	1	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	6
与謝野町	8	9	3	13	5	5	11	5	10	44	20	17	150
管 外	0	4	1	1	1	3	1	0	6	18	7	10	52
計	9	29	11	22	12	15	29	13	31	93	45	37	346

#### (3) 新型コロナウイルス感染症検査の実施

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行による発熱患者等の増加に備え、外来医療がひっ迫する休日において発熱患者等の診療・検査を行った。

##### ア 実施期間

令和4年12月30日から令和5年2月26日まで（16日間）

##### イ 検査人数

113人

### 4 在宅当番医制運営事業

#### (1) 患者数

診療日数	患者数	1日平均患者数
71日	1,094人	15.4人

(2) 事業費

委託先	委託料	左の財源内訳	
一般社団法人与謝医師会 参加医療機関数 10 機関	8,540,000 円	宮津市負担金 伊根町負担金 与謝野町負担金	3,606,000 円 667,000 円 4,267,000 円

5 看護師等確保対策事業

地域医療の充実に必要な看護師等の確保を図るため、14名に看護師等修学資金を貸与した。

修学資金貸与

貸付区分	貸付金額
新規貸付 7人 継続貸付 7人	12,000,000 円 (1,000,000 円/年×12人) ※北部医療センター分 400,000 円 (200,000 円/年×2人) ※宮津武田病院分

※医師確保奨学金は令和4年度貸与実績はなし。

6 持続可能な地域医療推進事業

将来に渡り安心して医療を受けられる環境の維持を目的に、医療機器、通信機器を搭載した医療車両に看護師が乗車、慢性期疾患の患者宅を訪問し、医療機関で待機する医師とテレビ会議システムで接続することにより自宅等にしながら診察を受けるオンライン診療や保健・栄養指導を実施した。

(1) 医療

ア 実施期間：令和4年11月21日から令和5年2月13日まで

イ 実施件数：21件（うち2件は中止）

(2) 保健・栄養指導

ア 実施回数：2回・2地域

イ 参加人数：13人

第5節 食生活改善

1 市主催事業に対する宮津市食生活改善推進員の協力状況

事業名	開催日（開催回数）	開催場所	内容	対象	延参加人数	推進員延協力人数
減塩料理教室	R4.12.1、R4.12.8、 R4.12.15（3回）	福祉・教育総合プ ラザ クッキング ルーム	調理実習講師他	市民 全般	23人	6人
からだ改善！ 健康教室（メ タボ編）	R4.11.25（1回）				3人	2人
からだ改善！ 健康教室（糖 尿病編）	R4.12.6（1回）				4人	2人
低栄養予防料 理教室	R5.3.17、R5.3.24 （2回）				12人	2人
計					42人	12人

2 宮津市食生活改善推進員の育成

事業名	実施回数	内容	延参加人数
宮津市食生活改善推進員研修	10回	食育講習会準備研修会ほか	109人

### 3 宮津市食生活改善推進員協議会委託事業

事業名	開催回数	内 容	対 象	延参加人数	推進員延活動人数
食育講習会	15回	調理実習、講話、 試食づくり、展示等	市民全般	225人	34人
骨粗しょう症予防講習会	18回			104人	31人
生活習慣病予防講習会	23回			140人	51人
障害者料理教室	13回			130人	26人
低栄養・過栄養等予防講習会	20回			171人	43人
計	89回			770人	185人

## 第6節 母子保健

1 母子健康手帳交付者数 59人

2 地区別妊娠届出数 (単位：人)

区 分	宮 津	上宮津	栗 田	由 良	吉 津	府 中	日 置	世 屋	養 老	日ヶ谷	計
届出数	30	7	3	3	7	5	2	-	2	-	59

3 妊娠週別妊娠届出数 (単位：人)

妊娠週数	満 11 週以内 (第 3 月以内)	満 12 週～19 週以内 (第 4 月～5 月以内)	満 20 週～27 週以内 (第 6 月～7 月以内)	満 28 週以上 (第 8 月以上)	計
届出数	58	1	0	0	59

4 地区別出生状況 (令和4年1月1日から令和4年12月31日生)

区 分	出 生 数	左のうち出生時体重 2,500g 未満の者	出 生 率	乳児死亡数	R4.9.30 現在 の住基人口
宮 津	人 37	人 3	‰ 4.40	人 -	人 8,402
上 宮 津	3	-	3.13	-	958
栗 田	5	-	2.96	-	1,689
由 良	2	-	2.13	-	941
吉 津	17	-	11.89	-	1,430
府 中	2	-	1.19	-	1,680
日 置	2	-	2.82	-	708
世 屋	-	-	-	-	94
養 老	2	2	2.58	-	776
日ヶ谷	-	-	-	-	145
計	70	5	4.16	-	16,823

※ 出生率=出生数÷人口×1,000

## 5 妊産婦健康診査

受診券方式として、府内医療機関に委託して妊産婦健康診査を実施した。府外医療機関受診者には健診費用を助成した。

(1) 妊婦健康診査

区 分	受診者数	延べ受診回数	金 額
府内委託医療機関 (健診委託料)	86人	647回	4,612,030円
府外医療機関 (健診費用の助成)	9人	54回	256,970円
計	95人	701回	4,869,000円

(2) 産婦健康診査

区 分	受診者数	延べ受診回数	金 額
府内委託医療機関（健診委託料）	49 人	67 回	335,000 円
府外医療機関（健診費用の助成）	8 人	13 回	61,000 円
計	57 人	80 回	396,000 円

6 新生児聴覚検査

区 分	受診者数	延べ受診回数	金 額
府内委託医療機関（健診委託料）	44 人	44 回	123,960 円
府外医療機関（健診費用の助成）	5 人	5 回	16,400 円
計	49 人	49 回	140,360 円

7 産後ケア事業

心身の不調等のためサポート、休養が必要な母子を対象に、医療機関に宿泊して心身のケアや育児指導を受けられるサービスを平成 30 年 9 月から開始した。（自己負担必要）

令和 4 年度の利用実績はなかった。

8 パパ・ママ学級（両親学級）

開催回数	延参加人数	内 容
5 回	22 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科衛生士による個別相談</li> <li>・ 妊娠中・授乳中の栄養の話</li> <li>・ 沐浴体験</li> <li>・ 妊娠から出産についての話</li> <li>・ 父親の妊婦体験</li> </ul>

9 もぐもぐ・ごっくん教室（離乳食・育児教室）

開催回数	延参加人数	内 容
3 回	8 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 赤ちゃんの発育について（保健師の話）</li> <li>・ 離乳食のすすめ方（管理栄養士の話）</li> <li>・ 調理実習（離乳食の展開）、試食</li> <li>・ 個別相談</li> </ul>

10 のびのびっこ広場（育児等健康支援事業）

開催回数	延参加人数	内 容
3 回	6 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 親子遊び・運動遊び</li> <li>・ 育児不安についての相談、発達や遊びについての相談</li> </ul>

11 乳児健康診査

区 分	対象者数	実施回数	受診者数	受診率	診査結果の内訳		
					異常なし	要指導	要精検
4 か月児健康診査	人 67	回 12	人 65	% 97.0	人 48	人 3	人 14
7 か月児健康診査	82	12	80	97.6	65	10	5
計	149	24	145	97.3	113	13	19

※ 4 か月児健診と 7 か月児健診は同日実施。

## 12 12か月児相談

対象者数	実施回数	相談者数	来所率	相談結果の内訳		
				異常なし	要指導	うち、健康診査等への紹介者
84人	9回	79人	94.0%	75人	4人	0人

## 13 1歳6か月児健康診査

### (1) 一般健康診査

対象者数	実施回数	受診者数	受診率	診査結果の内訳		
				異常なし	要指導	要精検
64人	9回	61人	95.3%	39人	15人	7人

### (2) 歯科健康診査

対象者数	実施回数	受診者数	受診率	むし歯罹患状況				
				むし歯有	むし歯保有者の割合	総本数	受診者1人当たり	むし歯有1人当たり
64人	9回	61人	95.3%	-人	-%	-本	-本	-本

むし歯の罹患型			むし歯以外の異常		フッ素塗布状況	
A	B	C	歯列咬合異常	その他	塗布希望者	塗布者
-人	-人	-人	6人	2人	59人	59人

※「むし歯の罹患型」 A:奥歯又は上前歯にむし歯がある者

B:奥歯と上前歯にむし歯がある者

C:下前歯にもむし歯がある者

## 14 経過観察児相談

相談者数	相談結果の内訳		
	問題なし	要指導	要精検
33人	5人	26人	2人

## 15 2歳6か月児歯科健康教室

対象者数	実施回数	受診者数	受診率	むし歯罹患状況				
				むし歯有	むし歯保有者の割合	総本数	受診者1人当たり	むし歯有1人当たり
84人	10回	79人	94.0%	1人	1.3%	1本	0.01本	1本

むし歯の罹患型			むし歯以外の異常		フッ素塗布状況	
A	B	C	歯列咬合異常	その他	塗布希望者	塗布者
1人	-人	-人	18人	8人	75人	75人

※「むし歯の罹患型」 A:奥歯又は上前歯にむし歯がある者

B:奥歯と上前歯にむし歯がある者

C:下前歯にもむし歯がある者

## 16 3歳児健康診査

### (1) 一般健康診査

対象者数	実施回数	受診者数	受診率	診査結果の内訳		
				異常なし	要指導	要精検
70人	6回	68人	97.1%	28人	24人	16人

(2) 歯科健康診査

対象者数	実施回数	受診者数	受診率	むし歯罹患状況				
				むし歯有	むし歯保有者の割合	総本数	受診者1人当たり	むし歯有1人当たり
70人	6回	68人	97.1%	4人	5.9%	17本	0.25本	4.25本

むし歯の罹患型				むし歯以外の異常		フッ素塗布状況	
A	B	C <sub>1</sub>	C <sub>2</sub>	歯列咬合異常	その他	塗布希望者	塗布者
2人	2人	-人	-人	9人	5人	64人	64人

※「むし歯の罹患型」 A:上顎前歯のみ又は奥歯にむし歯がある者 B:上顎前歯及び奥歯にむし歯がある者  
C<sub>1</sub>:下顎前歯のみにむし歯がある者 C<sub>2</sub>:下顎前歯を含み他の部位にむし歯がある者

17 年中児すこやか相談事業

(1) 年中児すこやか相談事業

対象者数	実施園数	受診者数	受診率	相談結果の内訳			
				問題なし	園支援	要支援	管理中
89人	10園	89人	100.0%	56人	13人	12人	8人

(2) わくわく教室（ソーシャルスキルを育むための小集団活動教室）

開催回数	延参加人数	内 容
6回	46人	・ソーシャルスキルを目的とした遊び、活動、学習

18 訪問指導

妊 婦		産 婦		新生児 (未熟児を除く)		未熟児		乳児(新生児、未熟児を除く)	
実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
0人	0人	71人	80人	6人	6人	9人	9人	70人	78人

幼 児		その他	
実人員	延人員	実人員	延人員
129人	229人	12人	12人

19 不妊治療等助成金事業

(1) 不妊治療・不育治療に対して助成金を交付した。

	実人員	交付件数 (うちR3人工授精、R4先進医療を含む件数)	交付金総額
不妊治療	13人	18件(6件)	969,651円
不育治療	0人	0件	0円

※令和3年度から、初回治療から3万円までの治療費については全額助成した。

※令和4年度から、医療法改正により保険診療となった特定不妊治療及び厚生労働省に指定された先進医療も助成対象に追加した。

(2) 特定不妊治療に係る交通費に対して助成金を交付した。

特定不妊治療(顕微授精や体外受精など)のための指定医療機関への通院に係る交通費を助成した。

実人員	交付件数	交付金総額
9人	17件	574,655円

## 20 未熟児養育支援医療

給付者数	給付延べ日数	療養費等負担額
2人	41日	171,094円

## 21 出産・子育て応援事業

### (1) 伴走型相談支援

出産・育児等の見通しを立てるための面談を行った。

妊娠届出後の面談	出生届出後の面談	計(延べ)
8人	3人	11人

### (2) 出産・子育て応援給付金

妊婦等に対する経済的支援として給付金を給付した。

	出産応援給付金	子育て応援給付金	金額
遡及支給者	75人	46人	6,050,000円
事業開始後の支給者	8人	3人	550,000円
合計	83人	49人	6,600,000円

## 第7節 成人・老人保健

### 1 健康教育

集団健康教育

区分	開催回数	延参加人数	内容
ロコモ予防	16回	141人	ロコモティブシンドローム予防 (講話、骨密度測定ほか)
病態別	13	114	高血圧・食中毒予防ほか
一般	18	186	高血糖予防、生活習慣病予防(試食・講話)、 メタボ予防の運動ほか
計	47	441	

### 2 健康相談

区分	開催場所	開催回数	被指導延人数
総合健康相談	福祉・教育総合プラザ	3回	2人
重点健康相談(骨粗鬆症)	福祉・教育総合プラザ	4	32
重点健康相談(高血圧)	福祉・教育総合プラザ	2	1
重点健康相談(フレイル予防)	辛皮公民館ほか	10	40
計		19	75

### 3 健康診査

#### (1) 検査別受診状況

##### ア 健康診査

後期高齢医療被保険者と生活保護世帯の40歳以上を対象に、健康診査を実施した。



## (ア) 受診者数

(単位：人)

区 分	受診者	診査結果の内訳				
		異常なし	要指導	要医療	治療中	観察中
40歳～44歳	3(3)	-	3(3)	-	-	-
45歳～49歳	-	-	-	-	-	-
50歳～54歳	-	-	-	-	-	-
55歳～59歳	1(1)	-	-	1(1)	-	-
60歳～64歳	1(1)	-	-	-	1(1)	-
65歳～69歳	4(2)	-	-	1	3(2)	-
70歳～74歳	3(1)	1(1)	-	1	1	-
75歳～79歳	323	1	42	163	117	-
80歳以上	367(2)	-	30	213(1)	124(1)	-
計	702(10)	2(1)	75(3)	379(2)	246(4)	-

( ) は生活保護世帯の者 (内数)

## イ がん検診

## (ア) 胃がん

区 分	対象者数	受診者数	受診率	要精検者数	精 検 結 果				
					異常なし	胃がん	胃がんの疑い	その他の疾患	未把握
40歳～49歳	人 1,741	人 105	% 6.03	人 2	人 -	人 -	人 -	人 2	人 -
50歳～59歳	2,100	150	7.14	1	-	-	-	-	1
60歳～69歳	2,548	236	9.26	10	-	-	-	6	4
70歳以上	6,218	302	4.86	13	2	-	-	8	3
計	12,607	793	6.29	26	2	0	0	16	8

## (イ) 大腸がん

区 分	対象者数	受診者数	受診率	要精検者数	精 検 結 果				
					異常なし	大腸がん	大腸がんの疑い	その他の疾患	未把握
40歳～49歳	人 1,741	人 190	% 10.9	人 10	人 2	人 -	人 -	人 3	人 5
50歳～59歳	2,100	268	12.8	21	6	-	-	7	8
60歳～69歳	2,548	547	21.5	25	7	1	-	12	5
70歳以上	6,218	1,123	18.1	127	11	-	1	58	57
計	12,607	2,128	16.9	183	26	1	1	80	75

## (ウ) 肺がん

区 分	対象者数	受診者数	受診率	要精検者数	精 検 結 果				
					異常なし	肺がん	肺がんの疑い	肺結核	その他の疾患
40歳～49歳	人 1,741	人 190 (0)	% 10.9	人 1	人 1	人 -	人 -	人 -	人 -
50歳～59歳	2,100	249 (4)	11.9	8	6	-	-	-	2
60歳～69歳	2,548	506 (3)	19.9	9	4	-	1	-	4

70歳以上	6,218	1,149 (19)	18.5	57	14	1	2	-	27	13
計	12,607	2,094 (26)	16.6	75	25	1	2	-	33	14

※（ ）は、喀痰細胞診受診者数で受診者数の内数

(エ) 子宮がん

区分	対象者数	受診者数	前年度受診者数	受診率	要精検者数	精 検 結 果				
						異常なし	子宮がん	子宮がんの疑い	その他の疾患	未把握
20歳～29歳	人 494	人 38 (19)	人 36 (9)	% 15.0	人 4	人 -	人 -	人 1	人 2	人 1
30歳～39歳	564	78 (38)	91 (38)	30.0	2	-	1	-	1	1
40歳～49歳	849	102 (58)	135 (70)	27.9	6	2	-	1	2	1
50歳～59歳	1,073	141 (86)	146 (91)	26.7	3	1	-	-	-	2
60歳～69歳	1,273	160 (119)	183 (128)	26.9	0	-	-	-	-	-
70歳以上	3,655	168 (128)	158 (130)	8.9	1	-	-	1	-	-
計	7,908	687 (448)	749 (466)	18.2	16	3	1	2	5	5

※（ ）は検診車による集団検診の受診者（内数）

※ 受診率＝(前年度受診者数＋当該年度受診者数)／当該年度の対象者数×100（隔年受診のため）

(オ) 乳がん

区分	対象者数	受診者数	前年度受診者数	受診率	要精検者数	精 検 結 果				
						異常なし	乳がん	乳がんの疑い	その他の疾患	未把握
40歳～49歳	人 849	人 120 (98)	人 140 (116)	% 30.6	人 1	人 1	人 -	人 -	人 -	人 -
50歳～59歳	1,073	149 (127)	175 (144)	30.2	3	-	-	-	2	1
60歳～69歳	1,273	168 (154)	248 (209)	32.7	3	-	1	-	2	-
70歳以上	3,655	208 (197)	296 (279)	13.8	7	1	1	-	4	1
計	6,850	645 (576)	859 (748)	22.0	14	2	2	0	8	2

※（ ）は検診車による集団検診の受診者（内数）

※ 受診率＝(前年度の受診者数＋当該年度の受診者数)／当該年度の対象者数×100（隔年受診のため）

※令和5年3月1日 がん検診追加実施（場所：道の駅海の京都宮津）

受診者数：子宮頸がん検診78名、乳がん検診85名、大腸がん検診44名

## (カ) 前立腺がん

区 分	対象者数	受診者数	受診率	要精検者数	精 検 結 果					
					異常なし	前立腺がん	前立腺がんの疑い	前立腺肥大	その他	未把握
55歳～59歳	人 499	人 59	% 11.8	人 1	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 1
60歳～64歳	622	92	14.8	4	1	-	-	1	1	1
65歳～69歳	653	150	23.0	9	-	-	-	5	-	4
70歳以上	2,563	468	18.3	43	2	2	1	20	2	16
計	4,337	769	17.7	57	3	2	1	26	3	22

## (キ) 肝炎ウイルス検診

区 分	受診者数	判 定 結 果					
		H C V抗体検査				H b s 抗原検査	
		①	②	③	④	陰性	陽性
40歳～49歳	人 74	人 -	人 -	人 -	人 74	人 74	人 -
50歳～59歳	47	-	-	-	47	47	-
60歳～69歳	82	-	-	1	81	80	2
70歳以上	49	-	-	1	48	49	-
計	252	0	0	2	250	250	2

※ 肝炎ウイルス検診判定結果H C V抗体検査：①高力価

②中・低力価でH C V 核酸増幅検査が陽性

③中・低力価でH C V 核酸増幅検査が陰性

④陰性

※対象者数の算出方法は、令和4年度から各年代の全人口（R4.4.1時点）とする。

※精検受診の有無がわからないもの及び精検を受診していたとしても精検結果が正確に報告されないもの等は未把握に含む。

## (2) 地域別受診者数

(単位：人)

区 分	健康診査	が ん 検 診					
		胃がん	子宮がん	肺がん	乳がん	大腸がん	前立腺がん
宮 津	341	360	350	982	315	1,019	350
上宮津	54	53	39	154	33	148	56
栗 田	61	84	59	206	63	207	88
由 良	61	39	27	116	24	110	43
吉 津	49	64	50	157	51	148	49
府 中	38	65	74	185	76	197	78
日 置	30	56	32	109	34	103	44
世 屋	2	10	5	17	6	17	7
養 老	54	49	43	140	35	151	49
日ヶ谷	12	13	8	28	8	28	5
計	702	793	687	2,094	645	2,128	769

#### 4 結核検診（事業所を除く）

（単位：人）

対象年齢	対象者数	間接撮影	要精検者数	精 検 結 果					
				正常範囲	結核	結核の疑い	その他の疾患	未把握	未受診
40歳以上	12,607	2,094	49	19	0	0	24	6	0

#### 5 訪問指導

区分	対象者数（人）	訪問回数
40歳～64歳	42	51
65歳以上	92	94
計	134	145

#### 6 医療・健康づくり研究事業

市民の健康寿命延伸を目的に、京都府立医科大学附属北部医療センター等と生き生き健診の連携実施や透析患者の既往歴、生活習慣について分析を行った。

#### 7 献血

実施回数	献血方法	受 付 者 数			献 血 者 数		
		男	女	計	男	女	計
10回	200ml	人 1	人 10	人 11	人 1	人 9	人 10
	400ml	418	152	570	395	121	516
	計	419	162	581	396	130	526

#### 8 骨髄等ドナー支援助成事業

骨髄及び末梢血幹細胞(以下「骨髄等」という。)の提供の推進を図るため、骨髄等の提供を行った者に対し、骨髄等の提供に係る通院、入院又は面談に要した日数に応じて、助成を行った。

対象者数	助成額
1人	140,000円

### 第8節 予防接種

#### 1 結核〈集団接種〉

対象年齢	回 数	接種者数
1歳未満 標準的な接種期間 生後5月～生後8月未満	1回	71人

#### 2 ジフテリア、百日せき、破傷風、急性灰白髄炎（ポリオ）〈個別接種〉

対象年齢	回 数	ワクチンの種類	接種者数
生後3月～生後90月未満 標準的な接種期間 1期初回：生後3月～生後12月未満 1期追加：第1期初回接種終了後12月から18月間での間隔	1期初回	1回目	73人
		2回目	73人
		3回目	76人
	1期追加	四種混合 (ジ、百、破、ポ)	69人

生後3月～生後90月未満 標準的な接種期間 1期初回：生後3月～生後12月未満 1期追加：第1期初回接種終了後12月から18月間での間隔	1期初回	1回目	三種混合 (ジ、百、破)	—
		2回目		—
		3回目		—
	1期追加			—
生後3月～生後90月未満 標準的な接種期間 1期初回：生後3月～生後12月未満 1期追加：第1期初回接種終了後12月から18月間での間隔	1期初回	1回目	急性灰白髄炎 (不活化ポリオ)	—
		2回目		1人
		3回目		—
	1期追加			1人
小学校6年生	2期		二種混合 (ジ、破)	90人

### 3 麻しん、風しん〈個別接種〉

対象年齢	回数		ワクチンの種類	接種者数	
生後12月～生後24月未満	第1期	1回	麻しん、風しん混合	70人	70人
			麻しん	—	
			風しん	—	
5歳以上7歳未満の就学前の 4月1日から3月31日の間	第2期	1回	麻しん、風しん混合	73人	73人
			麻しん	—	
			風しん	—	

### 4 風しん

対象年齢	回数		ワクチンの種類	受検者数・接種者数
昭和37年4月2日～ 昭和54年4月1日生の男性	第5期	抗体検査	—	94人
		接種	麻しん、風しん混合	33人

※第5期は、令和7年3月31日までの時限措置。風しんに係る抗体検査を受けた結果、十分な量の風しんの抗体がないことが判明した者に対して予防接種を行う。

### 5 日本脳炎〈個別接種〉

対象年齢	回数		接種者数
生後6月～生後90月未満 標準的な接種期間 1期初回：3歳～4歳未満 1期追加：4歳～5歳未満	1期初回	1回目	82人
		2回目	63人
	1期追加		111人
9歳～13歳未満 標準的な接種期間：9歳～10歳未満	2期		151人

### 6 ヒブワクチン〈個別接種〉

対象年齢	回数		接種者数
生後2月～生後60月未満 標準的な接種期間：生後2月～生後7月未満	初回	第1回	69人
		第2回	76人
		第3回	70人
	追加		71人

## 7 小児用肺炎球菌（個別接種）

対象年齢	回数	接種者数	
生後2月～生後60月未満 標準的な接種期間：生後2月～生後7月未満	初回	第1回	69人
		第2回	76人
		第3回	70人
	追加	69人	

## 8 B型肝炎（個別接種）

対象年齢	回数	接種者数
1歳未満 標準的な接種期間：生後2月～生後9月未満	第1回	69人
	第2回	74人
	第3回	75人

## 9 水痘（個別接種）

対象年齢	回数	接種者数
生後12月以上～生後36月未満 標準的な接種期間： 1回目：生後12月～生後15月未満 2回目：1回目接種終了後6月から12月間での間隔	1回目	72人
	2回目	77人

## 10 子宮頸がん予防（個別接種）

平成25年6月から令和3年11月まで積極的な接種勧奨が差し控えられていたため、接種機会を逃した平成9年度から17年度生まれの方（キャッチアップ接種対象者）に対しても接種勧奨し、接種を行った。

対象年齢	回数	接種者数
小6～高1相当の女子 標準的な接種期間：中1の間	1回目	21人
	2回目	26人
	3回目	16人
平成9年度～17年度生まれの女性 （キャッチアップ対象者）	1回目	28人
	2回目	9人
	3回目	2人

## 11 ロタ（個別接種）

ワクチンの種類	対象年齢	回数	接種者数
経口弱毒生ヒトロタウイルス ワクチン （ロタリックス）	出生6週0日後～24週0日未満 標準的な接種期間 初回接種は、生後2月～出生14週 6日まで	1回目	49人
		2回目	50人
5価経口弱毒生ロタウイルス ワクチン （ロタテック）	出生6週0日後～32週0日未満 標準的な接種期間 初回接種は、生後2月～出生14週 6日まで	1回目	18人
		2回目	21人
		3回目	19人

## 12 インフルエンザ（個別接種）

実施期間：令和4年10月17日～令和4年12月23日

対象年齢	回数	接種者数	
65歳以上	1回	4,211人	4,214人
60歳以上65歳未満 ※		3人	

※心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者。

## 13 高齢者肺炎球菌（個別接種）

対象年齢	回数	接種者数	
65歳以上	1回	250人	250人
60歳以上65歳未満 ※		—	

※心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能に自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障害を有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障害を有する者。

## 14 風しん予防接種緊急助成事業（任意接種）

出生児の先天性風しん症候群（難聴、白内障、心臓病等）を予防するための緊急母子保健対策として、風しんの予防接種を受けた妊娠を希望する者等に対して費用の助成を行った。

助成対象者（予防接種した日に住所を有する者）	接種者数
妊娠を希望する女性	7人
抗体価の低い妊婦の同居者であって風しん抗体価の低い者	—

## 15 子ども及び妊婦インフルエンザ予防接種助成事業（任意接種）

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念される中、感染による重症化リスクの高い子ども及び妊婦の感染防止を図るとともに、教育現場に及ぼす影響を最小限に抑えるため、インフルエンザ予防接種費用の助成を行った。

実施期間：令和4年10月17日～令和4年12月31日

助成対象者（予防接種した日に住所を有する者）	接種者数	助成額
生後6月から18歳に達する日以降最初の3月31日を迎えるまでの間にある者	344人	773,000円
妊娠中の者	3人	4,500円

※1人1回1,500円を上限として助成。ただし、1回目の接種日において13歳未満であるものは2回目まで助成対象とする。

## 16 予防接種健康被害調査委員会

予防接種法第15条の規定に基づき、以下のとおり予防接種健康被害調査委員会を開催した。

- ・開催日：令和5年2月28日（火）
- ・委員会の意見：予防接種と予防接種後の健康被害との因果関係は否定できない。

当該結果を令和5年3月14日付で厚生労働大臣に京都府を經由して進達した。

## 第9節 令和2年死因統計

### 1 死因別死亡数・死亡率

	感染症及び寄生虫症	新生物	内分泌、栄養及び代謝疾患	神経系の疾患	循環器系の疾患	呼吸器系の疾患	消化器系の疾患	尿路系の疾患(腎不全含)	傷病及び死亡の外因	その他	計
男(人)	3	45	5	7	45	14	5	4	5	20	153
女(人)	2	33	1	5	50	11	2	4	6	51	165
計(人)	5	78	6	12	95	25	7	8	11	71	318
率(%)	0.29	4.46	0.34	0.69	5.44	1.43	0.40	0.46	0.63	4.06	18.20
										京都府 R2	10.7
										全国 R2	11.1

※死亡率=死亡数/人口(令和2年10月1日現在 17,477人)×1,000

府保健福祉統計

### 2 年齢別死亡数・死亡率

年齢区分	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
男(人)	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1
女(人)	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	2
計(人)	-	-	-	-	1	-	-	1	1	3	3
率(%)	-	-	-	-	1.82	-	-	1.38	1.15	2.75	3.03
年齢別人口(人)	440	557	646	704	549	539	607	727	870	1,089	991
55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計	
5	3	8	16	14	25	35	28	12	2	153	
1	2	4	9	8	12	54	41	19	11	165	
6	5	12	25	22	37	89	69	31	13	318	
5.37	3.91	8.12	14.53	16.63	31.65	94.98	127.07	191.36	448.28	18.20	
1,118	1,278	1,478	1,721	1,323	1,169	937	543	162	29	17,477	

※死亡率=死亡数/年齢別人口(令和2年10月1日現在)×1,000

府保健福祉統計

## 第10節 健康づくり運動の推進

### 1 天橋立ツデーウオークの開催支援

健康づくり運動のシンボルイベント「第31回天橋立ツデーウオーク」の開催を支援した。(大会の開催は3年ぶり)

#### (1) 開催概要

○開催日 令和4年9月24日(土)、25日(日)

○コース

9月24日(土)		9月25日(日)	
23km	栗田半島健脚コース	22km	阿蘇海一周コース
14km	雪舟観コース	12km	天橋立松並木コース
6km	金引の滝コース	6km	天橋立散策コース



○参加状況

9月24日(土)				9月25日(日)				総数 (実人数)
コース	事前	当日	計	コース	事前	当日	計	
23km	161	27	188	22km	149	49	198	936 (622)
14km	81	33	114	12km	158	48	206	
6km	106	26	132	6km	80	18	98	
計	348	86	434	計	387	115	502	

(2) 事業費 2,284,602円(市補助金 1,040,000円)

## 第11節 新型コロナウイルス感染症対策

### 1 宮津市新型コロナウイルス感染症対策本部

本部長 宮津市長

設置日 令和2年1月31日 (R4年度は1回の本部会議を開催)

### 2 市内感染者の状況

(単位:人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	R2～累計
82	128	27	270	721	199	1,427	1,683

※R4.9.25まで市町村ごとに公表。9.26から全数把握の見直しにより把握不可。

### 3 主な感染防止対策

#### (1) 新型コロナウイルスワクチン接種事業

##### ア 初回接種・追加接種(対象:12歳以上)

区分	対象者	接種開始時期	接種者数(接種率) [R5.3.31現在累計]
初回接種(1・2回目)	12歳以上	個別接種:通年(R3.5.17~) 集団接種:R3年度で終了	13,972人(90.6%)
追加接種(3回目) ※オミクロン株対応除く	12歳以上	個別接種:通年(R4.2.1~) 集団接種:R4.2.6~4.17(11日間)※R4年度は4日間	12,172人(78.9%)
追加接種(4回目) ※オミクロン株対応除く	・60歳以上 ・18~59歳の基礎疾患等を有する者 ・医療従事者等	個別接種:R4.7.1~ 集団接種:R4.7.10~9.18(11日間)	7,565人 ※接種対象者限定のため接種率不掲載
追加接種 (オミクロン株対応)	12歳以上	個別接種:R4.9.27~ 集団接種:R4.10.15~12.25(12日間)	9,198人(59.7%)
<b>体制整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム改修:健康管理システム、WEB予約システム等</li> <li>・接種券、予診票、案内等の印刷、発送</li> <li>・接種の実施体制の確保:医師会との調整、集団接種会場の運営、集団接種に係る医師・看護師の確保、ワクチン配送、医療消耗品の購入等</li> <li>・相談体制の確保:コールセンターの設置、コールセンター専用電話架設等</li> </ul>			

イ 小児ワクチン（対象：5歳以上12歳未満）

区 分	接種開始時期	接種者数（接種率） 〔R5.3.31現在累計〕
初回接種（1・2回目）	個別接種：通年（R4.3.22～）	177人（25.0%）
追加接種（3回目）	個別接種：R4.10.15～	74人（10.4%）
追加接種（オミクロン株対応）	個別接種：R5.3.25～	1人（0.1%）

ウ 乳幼児ワクチン（対象：生後6月以上5歳未満）

R4.11.25から個別接種で対応 初回接種（3回）完了者数：7人（1.9%）

（2）コロナ感染自宅療養者支援事業

新型コロナウイルスに感染し、自宅療養となった方及びその世帯を支援するため、食品等の支給を実施した。

世帯数	件数	委託料
397世帯	851セット	4,255,000円

（3）その他

- ・感染予防対策、相談窓口等に関する情報の発信
- ・公共施設等における感染予防対策（飛沫用仕切り版、サーマルカメラ設置など）

# 第9章 商工観光課

## 第1節 商工振興

### 1 商工業振興事業

商工会議所経営改善普及活動等運営支援事業

中小企業者の振興と安定に資するため、宮津商工会議所が実施する以下の事業に対する経費の一部を支援した。 (単位：円)

事業	事業費	補助金	備考
商工会議所経営改善普及活動等運営支援事業	52,466,781	12,600,000	府直接補助金 33,724,840 自己資金 6,141,941

### 2 中小企業等制度融資事業

融資制度	件数	利子補給金
日本政策金融公庫小規模事業者経営改善資金融資 (国民生活金融公庫小企業等経営改善資金融資)	16件 (実人数9人)	72,933円

### 3 魅力ある商いづくり事業

#### (1) 創業支援事業

ア 創業支援等事業計画（令和2年4月1日～令和7年3月31日）の進捗

宮津市への創業相談者数（計画目標数）	35名（3名）
宮津商工会議所の創業指導受講者数（計画目標数）	7名（7名）
創業者数（計画目標数）	18名（9名）
創業ゼミ 2022	日時：京丹後会場 令和4年10月28日～12月9日（全7回） 与謝野会場 令和4年9月7日～10月19日（全7回） 主催者：丹後地域ビジネスサポートセンター （京丹後市商工会・伊根町商工会・与謝野町商工会・宮津商工会議所） 宮津市からの参加者：6名（うち修了者3名） ※ 計画の認定を受けた市が認める特定創業支援等事業として位置づけ。当該ゼミを受講した者は登記にかかる登録免許税の軽減等の支援を受けられる。

#### イ 創業等支援事業

市内商工業の振興を図るため、創業・第二創業等をする事業者に対し、事業開始に要する経費の一部を支援した。

補助率 税抜額の1/2以内 補助上限額 50万円（空き家等を活用する場合は150万円）

(単位：円)

事業費	財源内訳			備考
	国庫支出金	その他	一般財源	
4,700,000	2,145,000	—	2,555,000	

#### 【支援の内訳】

業種別	所在地	補助金額（円）
ピラティス教室	惣	500,000
大判焼き屋	難波野	1,500,000
脱毛サロン	小田	500,000
ドッグサロン	小田宿野	410,000
ピラティス教室	宮村	500,000

民宿	中野	1,290,000
合計	6件	4,700,000

(2) 宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト事業

ア 宮津市チャレンジおうえん補助金

市内商工業の振興を図るため、創業・第二創業等、新しいものづくり、事業者連携などの新しいビジネスを創出する事業者に対し、事業開始に要する経費の一部を支援した。

補助率 税抜額の1/2以内 補助上限額 250万円

(単位：円)

事業費	財源内訳			備考
	国庫支出金	その他(基金繰入金)	一般財源	
5,000,000	2,500,000	2,500,000	0	

【支援の内訳】

業種別	所在地	補助金額(円)
寿司屋	新浜	440,000
工房兼小売店舗	上世屋	1,640,000
ダンススクール	惣	360,000
シェアハウス・民宿	喜多	2,120,000
ラーメン屋	漁師	440,000
合計	5件	5,000,000

イ 未来天橋塾

事業化や新商品づくりなどのビジネスにチャレンジする、次代を担う若手人材を育成する「未来天橋塾」を開催した。

(単位：円)

事業費	財源内訳			備考
	国庫支出金	その他(基金繰入金)	一般財源	
1,500,000	750,000	750,000	0	

キックオフセミナーの内容	日時：令和4年5月20日(金) 講師：一般社団法人こゆ地域づくり推進機構 代表理事 齋藤 潤一 テーマ：地域承継と事業創出への挑戦 参加者数：53名
事業期間	令和4年6月13日～10月7日(全6回+特別開催1回)
塾長	合同会社イキナセカイ 代表 安川 幸男
対象者	宮津市に在住もしくは在勤する、満50歳以下の農商工等の経営者、後継者、管理者(候補者を含む)またはそれに準ずる者
参加者数	10名(うち修了者9名)
取組内容	第1回 日時：令和4年6月13日(月) テーマ：開講式 第2回 日時：令和4年6月22日(水) テーマ：地域ビジネスの創り方 第3回 日時：令和4年7月22日(金) テーマ：デザイン経営 第4回 日時：令和4年8月19日(金) テーマ：事業としてのSDGs 第5回 日時：令和4年9月22日(木) テーマ：事業創出・アート思考 特別開催 日時：令和4年10月3日(月) テーマ：成果発表に向けたメンタリング 第6回 日時：令和4年10月7日(金) テーマ：成果発表

(3) その他事業者支援

ア 事業者成長支援補助金（令和3年度繰越事業）

新型コロナウイルス感染症の拡大による厳しい経営環境への対応が求められる中、販路開拓・調査研究やデジタル化など投資・経営改革等を促進する取組を支援した。

補助率 税抜額の1/2以内 補助上限額 15万円

(単位：円)

事業費	財源内訳			備考
	国庫支出金	その他	一般財源	
1,720,000	1,720,000	—	0	

【支援の内訳】

対象者	宮津市内に事業所を有する企業・団体、個人事業主等 ＜補助メニュー＞ ①デジタル化対応（キャッシュレス、Wi-Fi整備、Web会議対応等） ②販路開拓（製品やサービスをPRするための展示会、商談会への出展等） ③副業・兼業人材の活用（経営課題等の解決に資する副業・兼業人材の雇用等） ④複数事業者での調査研究（新商品や新サービスの開発等）
実績	交付決定 18件 1,720千円 （①デジタル化8件775千円、②販路開拓6件521千円、③副業・兼業人材1件150千円、④調査研究3件274千円）
備考	申請期間：令和4年5月20日～令和5年1月31日

イ 新型コロナウイルス対応事業再構築補助金（令和3年度繰越事業）

新型コロナウイルス感染症により影響を受けた経営環境からの改善を図るため、店舗拡充や第二創業等に取り組む市内の事業者に対して、事業実施に要する経費の一部を支援した。

補助率 税抜額の1/2以内 補助上限額 50万円（空き家等を活用する場合は150万円）

(単位：円)

事業費	財源内訳			備考
	国庫支出金	その他	一般財源	
1,000,000	1,000,000	—	0	

【支援の内訳】

業種別	所在地	補助金額（円）
アニマルカフェ・動物飼育	宮町	500,000
簡易宿泊所	宮村	500,000
合計	2件	1,000,000

ウ 副業・兼業人材マッチング事業（北部7市町連携事業）

業態転換や新分野進出等、事業再構築等の課題に直面している事業者に対し、経営課題に取り組むためのアイデアやスキルを提供する手法として「副業・兼業人材の活用」を促すことを目的に副業・兼業人材マッチング事業を実施した。

① マッチングサイトでの求人募集（募集期間：R4.12.16～R5.3.15）

- ・求人掲載企業：29社
- ・マッチング企業：24社

② 副業・兼業によるプロフェッショナル人材確保／活用推進セミナー（開催日：R4.10.13、10.19）

- ・申込企業：89社

#### 4 美食のまちづくり事業

##### (1) 大和学園連携事業

(※歳出予算「魅力ある商いづくり事業」中「丹後地域特産品等開発アドバイザー事業」を含む)

学校法人大和学園との連携協定に基づき、料理や加工食品の開発、改良を行う意欲のある市内事業者には講師を派遣し、指導・アドバイスを実施した。

また、食を中心とした観光資源の開発及び誘客推進のため、大和学園学生による宮津市内の地元食材等を使用した「学生レストラン」を開催するとともに、市内事業者と連携した新たな看板メニューの開発及び開発したメニューの試食会を開催した。

さらに、地元食材等を使用して新たな食材等の価値の発見と普及啓発のため、市民等を対象とした料理教室を開催し、加えてそれらを紹介するレシピカードを作成した。

(単位：円)

事業費	財源内訳			備考
	府支出金	その他(基金繰入金)	一般財源	
4,193,140	2,596,000	1,500,000	97,140	

##### ア 丹後地域特産品等開発アドバイザー事業

事業期間	令和4年5月20日～令和5年1月31日
講師	3人(日本料理、洋菓子)
対象者	3事業者
指導内容	料理や加工食品の開発、改良の取組に関して指導・アドバイス
指導回数	延べ3回
取組内容	(1)新メニューの開発：低利用魚等を活用した寿司レシピ(幸せいなり寿司、しそサメ天にぎり梅肉のせ、ヤンニョム軍艦、焼き鯖寿司、サメ巻き寿司天) (2)新商品の開発：生姜の佃煮 (3)新商品の開発：オリーブグミ

##### イ 食を中心とした誘客推進事業

- ・美食のまちづくり推進事業キックオフシンポジウム「食×観光×まちづくり」開催

開催日	令和4年7月22日(金)
開催場所	前尾記念クロスワークセンターMIYAZU
参加者	76名(うちオンライン40名)

- ・「京都調理師専門学校 学生レストラン in 宮津」の開催

開催日	令和4年9月1日(木)～3日(土)
開催場所	ホテル&リゾート京都宮津
参加者	74名

- ・市内事業者と連携した新たな看板メニューの開発2品(鹿小巻き、ku鹿tu)

- ・開発した看板メニューの無料試食会及び公開イベントの開催

開催日	令和5年2月3日(金)
開催場所	ホテル&リゾート京都宮津
参加者	42名(うちオンライン3名)
提供料理	宮津を和と洋で味わう特別メニュー(日本料理、フランス料理、イタリア料理ほか)

##### ウ 宮津の食・食文化の普及啓発事業

- ・市民等を対象とした料理教室の開催

開催日	令和5年1月25日(水) 午前：ジビエ 午後：和菓子 令和5年1月26日(木) 午前：アカモク 午後：オリーブ
開催場所	宮津市福祉・教育総合プラザ キッキングルーム
参加者	延べ44名
取組内容	(1)開発メニュー

	ジビエ：鹿肉入り白味噌混ぜ麺、鹿肉きんぴら 和菓子：さつまいも餡の薯蕷饅頭 アカモク：アカモクと海老の春巻きスティックバージョン、濡れおかき オリーブ：オリーブフォカッチャ (2)開発メニューを紹介するレシピカードの作成し宮津まごころ市の商品棚に掲示。
--	--

・大和学園運営の学生レストランでの宮津産食材のPR（オイルサーディン、お米サイダー）

## (2) 地産地消の推進等

宮津市地産地消推進店認証制度	認証店舗数(R5.3.31現在) 34店舗
宮津天橋立とり貝昼処	取扱店舗数 12店舗 取組み期間：R4.5.5～R4.7.8 ・情報発信等（専用ホームページを開設）
宮津・天橋立マッピングフェア	開催日：令和5年3月13日（月） 場所：ホテル北野屋 参加者等：出展者 17 事業者、来場者 63 人 商談件数：7 件

## (3) 食の魅力向上の取組み支援

地域の「食」が味わえるイートイン機能や物販機能、情報発信機能、地域食材等の集荷拠点機能など、「食の京都 TABLE」としての施設整備の取組を支援した。

(単位：円)

事業費 (市補助金)	財源内訳			備考
	府支出金	その他	一般財源	
1,600,000	1,600,000	—	0	

### 【支援の内訳】

対象施設	道の駅「海の京都宮津」	宮津天橋立漁師町ととまーと
実施主体 (施設管理者)	ハマカゼプロジェクト株式会社	宮津フードファクトリー合同会社
事業目的 (内容)	道の駅の直売所「宮津まごころ市」における丹後の農産物・畜産物販売力の強化（食肉保存用平型冷凍ショーケースの導入、農産物の収納型陳列棚の設置）	観光商業施設ととまーとのオリジナル商品開発等による海の幸の魅力発信強化（スチームコンベクションオープンの導入、広告看板の設置）
事業費	1,202,960 円	2,319,900 円
補助金額	546,000 円	1,054,000 円

## 5 宮津まちなか地域振興拠点施設の運営

観光案内所、農産物等直売所、飲食物等販売所、屋外駐車場及び立体駐車場の管理運営を実施した。道の駅「海の京都 宮津」として登録されている立体駐車場を除く他の施設については、指定管理者制度による管理運営を実施した。

また、立体駐車場について、公共施設マネジメントに基づく長寿命化対策として、劣化度調査及び改修・中長期修繕計画作成、改修工事実施設計を実施した。

### (1) 道の駅の管理運営

- ・指定管理者 : ハマカゼプロジェクト株式会社
- ・指定期間 : 令和2年8月1日～令和7年3月31日（4年8カ月）

(単位：円)

指定管理料	財源内訳			備考
	府支出金	その他	一般財源	
11,000,000	5,500,000	—	5,500,000	

- ・指定管理者納付金：720,000 円

ア 観光案内所（観光交流センター）の入込状況

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
来場者数	45,225人	37,447人	39,044人
レンタサイクル利用台数	4,733台	3,173台	2,784台

イ 農産物等直売所（宮津まごころ市）の入込状況

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
レジ通過人数	84,361人	78,417人	79,048人
売上	128,125千円	109,937千円	108,438千円

ウ 飲食物等販売所（おさかなキッチンみやづ）の入込状況

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度
レジ通過人数	20,962人	19,370人	22,100人
売上	36,377千円	31,668千円	31,666千円

エ 屋外駐車場多目的広場利用件数：1件

オ 観光客の受入体制整備

島崎公園の多目的広場を休日等に臨時駐車場として開放するとともに、大型連休等の歩行者の安全確保及び屋外駐車場を含む駐車場利用者の利便性確保のため警備員を配置した。

(単位：円)

事業費	財源内訳			備考
	府支出金	その他	一般財源	
1,435,500	717,500	—	718,000	

警備員配置日数：39日

(2) 立体駐車場等の運営

ア 駐車台数

(単位：台)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一時利用駐車 (無料含む)	11,277	13,194	13,164	14,988	16,574	13,634
定期利用駐車	4,747	4,346	4,924	4,543	4,484	4,399
計 (前年度)	16,024 (14,879)	17,540 (15,552)	18,088 (15,797)	19,531 (19,396)	21,058 (19,244)	18,033 (15,763)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
13,375	12,737	12,273	10,939	10,024	11,919	154,098
4,510	4,495	4,719	4,344	4,432	4,996	54,939
17,885 (17,389)	17,232 (16,004)	16,992 (17,492)	15,283 (14,958)	14,456 (15,665)	16,915 (16,235)	209,037 (198,374)

イ 使用料収納状況

(単位：円)

区分	立体駐車場使用料	行政財産使用料		合計
	一時駐車料金	定期駐車利用者	その他	
金額 (前年度)	3,040,000 (3,107,600)	16,860,000 (16,765,578)	10,050,340 (8,441,646)	29,950,340 (28,314,824)

ウ 長寿命化対策

平成8年に竣工した立体駐車場について、利用者の安全性の確保と利便性の改善を図るため、公共施設マネジメントに基づく長寿命化対策として、劣化度調査及び改修・中長期修繕計画作成、改修工事実施設計を実施した。



(単位：円)

区分	事業費	財源内訳			備考
		府支出金	その他 (地方債)	一般財源	
立体駐車場劣化度調査及び改修・中長期修繕計画作成	3,666,300	1,831,500	—	1,834,800	
立体駐車場長寿命化改修工事実施設計	7,326,000	—	7,300,000	26,000	

## 6 観光商業施設

宮津漁師町観光商業センター（宮津天橋立漁師町ととまーと）について、指定管理者制度による管理運営を実施した。

### (1) 施設の管理運営

- ・ 指定管理者 : 宮津フードファクトリー合同会社
- ・ 指定期間 : 平成30年10月1日～令和5年3月31日まで  
(なお、令和5年4月1日～令和10年3月31日までで新たに指定)
- ・ 指定管理料 : なし
- ・ 指定管理者納付金 : 50,757円

### ア 宮津漁師町観光商業センターの入込状況

施設名	令和4年度	令和3年度
来場者数	42,219人	34,242人
売上	82,684千円 (264千円/日)	68,705千円 (222千円/日)

## 7 産業創出

### (1) 企業誘致推進事業

事業	事業費(円)	備考
使用料及び賃借料	2,701,116	企業誘致土地借上料
事務費	284,769	京都府市町村企業誘致推進連絡会議分担金ほか誘致活動経費
合計	2,985,885	

## 8 和装振興事業

### (1) 講習会等

和装に対する関心を高め、着物愛好者の増大を促し和装の需要喚起・振興を図るため、着付教室を実施した。

ゆかた教室 in 宮津	開催：7月21日～8月5日（全3回×2部(朝夜)） 参加者：延32人(実13人)
きものおしゃれ塾 in 宮津	(秋開催) 開催：11月18日～12月9日（全4回(朝)） 参加者：延40人(実18人) (冬開催) 開催：3月10日～24日（全3回(昼)） 参加者：延26人(実16人)

## 9 消費者行政活性化事業

宮津与謝消費生活センターを設置（平成 23 年 4 月 1 日）

（単位：円）

事業費	財源内訳			備考
	府支出金	その他(町分担金)	一般財源	
3,472,852	77,000	1,937,094	1,458,758	

事業	内容
消費生活相談 (相談員 2 人配置)	(1) 相談件数：153 件 (2) 被害防止額：3,027,326 円 (3) 事業相談内容 主な相談：架空請求、通信契約や健康食品の契約トラブル (4) 相談窓口：月～金曜日 9 時～16 時（12 時～13 時は除く）
啓発活動等	(1) 特殊詐欺被害防止啓発展示 開催期間：5 月 2 日～6 日、10 月 24 日～27 日 場 所：宮津市福祉・教育総合プラザ 3 階掲示板 (2) 特殊詐欺被害防止街頭啓発 開催期間：4 月 15 日、5 月 27 日、10 月 21 日、12 月 15 日 場 所：宮津市内 (3) 宮津市成人式において「くらしの豆知識2023」等を配布し啓発 (4) 各種団体への啓発グッズ配布及び宮津消費生活センターの紹介

## 第 2 節 労働政策

### 1 雇用対策

#### (1) 宮津市雇用対策協定に基づく事業

雇用や労働環境等に係る地域課題について、宮津市と京都労働局が緊密に連携し、一体的かつ総合的な雇用対策に取り組むため締結した宮津市雇用対策協定に基づき、市内事業所の労働環境の改善や人材確保、市民の雇用の安定等を図る事業を実施した。

就職面接会の開催	(1) 海の京都 宮津就職フェア（北部会場）の開催 開催日：令和 4 年 9 月 7 日（水）、令和 5 年 2 月 17 日（金） 場 所：宮津市民体育館 柔剣道場 事業所：41 社（延べ数） 参加者：75 人（延べ数） 就職者：11 人（延べ数）
市内企業等の魅力発信等により若者の地元定着や UIJ ターンの促進	(1) 海の京都 宮津就職フェア（南部会場）の開催 開催日：令和 4 年 9 月 13 日（火） 場 所：京都テルサ 中会議室 事業所：6 社 参加者：6 人 就職者：0 人 (2) 市ホームページにおける地元企業の魅力発信 掲載エントリー事業所数：21 社 (3) 就職フェアにおける UIJ ターン相談ブースの出展
あらゆる労働者が働きやすい労働環境に向けた働き方改革の推進・就職支援	(1) 企業向けセミナー（働き方改革、副業人材の活用）の開催 開催日：令和 4 年 12 月 21 日（水） 場 所：福祉・教育総合プラザ第 1 コミュニティルーム 事業所：8 社 (2) 個別就職相談会の実施 参加者：45 人（年間 12 回開催） 会 場：みやづ歴史の館 談話室
運営協議会の開催	(1) 宮津市雇用対策協定運営協議会の開催 開催日：令和 4 年 7 月 19 日（火） 場 所：福祉・教育総合プラザ第 2 コミュニティルーム 構成員：宮津市、京都労働局、ハローワーク峰山、宮津商工会議所

(2) 京都北部7市町合同企業説明会

京都府北部圏域内事業所の人材不足の解消を図るとともに、北部圏域への移住・定住を促進するため2023年卒業予定者、U・Iターン希望者及び一般求職者等を対象に、京都北部7市町合同企業説明会を開催した。

京都北部5市2町 合同企業説明会 海の京都Work&Life フェア2022	開催日：令和4年5月25日(水) 場 所：京都産業会館ホール（京都経済センター） 事業所：80事業所 参加者：46人（延べ数） 主 催：京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会
---	---

2 宮津与謝広域シルバー人材センター補助事業

(1) 高齢者就業機会確保事業（公益社団法人宮津与謝広域シルバー人材センターへの運営支援）

（単位：円）

支 援 額	財源内訳		備 考
	宮津市	与謝2町	
7,405,000	3,125,000	4,280,000	

区 分	合 計	市 町 別 内 訳		
		宮津市	伊根町	与謝野町
正会員数(人) (R5.3.31現在)	353 (348)	166 (164)	24 (30)	163 (154)
	男	247	112	117
	女	106	54	46
就業延人員(人)	31,240 (31,447)	17,419 (17,929)	3,914 (4,448)	9,907 (9,070)
職種別受注件数 (件)	4,474 (4,653)	2,361 (2,602)	396 (385)	1,717 (1,666)
	技 術	2	0	0
	技 能	830	12	288
	事 務	37	0	1
	管 理	341	58	101
	外 交	6	6	0
	軽作業	2,624	295	1,078
サービス	634	360	25	249
事業収入(円)	154,254,585 (147,009,797)	93,820,675 (92,321,813)	11,232,428 (11,313,965)	49,201,482 (43,374,019)

※（）は前年度末の数値

第3節 観光振興

1 観光入込客数推計（シーズン別）

宿泊施設ほか観光関連施設を対象とした観光入込客数調査により推計した結果、年間総入込客数は2,318千人で、対前年比630千人の増となった。

入込客数	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	合 計
令和4年	287千人	446千人	1,087千人	498千人	2,318千人
令和3年	239千人	234千人	797千人	417千人	1,688千人
令和2年	413千人	161千人	1,096千人	474千人	2,144千人
令和元年	464千人	633千人	1,496千人	612千人	3,205千人

## 2 日本の顔となる観光地づくり推進事業

### (1) 魅力ある観光地づくり支援事業

観光入込客の増大、観光消費額の拡大及び周遊型・滞在型観光への転換を図るため、天橋立観光協会や一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社などの観光団体が行う観光振興事業等に対して支援を行った。

ア 天橋立観光協会への支援 事業費 34,052,189 円（市補助金：17,349,420 円）

事業	市補助金 (事業費)	内容
宮津市観光振興交付金	6,195,000 円 (21,737,049 円)	企画商品の造成や販売、外国人観光客への対応、観光情報の発信、各地域の観光イベント助成など
天橋立駅観光案内事業補助金	9,993,700 円 (9,993,700 円)	天橋立駅構内の観光案内所職員の人件費への支援 案内件数：47,914 件（内、外国人 4,194 件）
観光情報発信事業補助金	1,160,720 円 (2,321,440 円)	・旬の観光情報や旅行商品を掲載したパンフレット作成 ・インターネットや SNS 等での広報

イ 一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社（海の京都DMO）への支援

・事業費：207,372,000 円（市分担金：17,746,000 円）

・内容 ①情報発信・プロモーション事業

- ・各種メディア、自社 HP、SNS を活用した「海の京都」の認知度 UP 施策
- ・他社 Instagram を活用した「認知」→「訴求」による誘客促進
- ・日本最大総合観光イベント「ツーリズム EXPO2022」への出展

②地域づくり支援事業

- ・京阪神地区の企業を対象とした企業研修の誘致
- ・体験プログラムを活用した社員研修の受託
- ・地域文化を活用した地域活性化プロジェクト
- ・企業提案型持続可能な地域づくり推進事業（3 事業を採択）
- ・丹後郷土資料館 Innovate Museum 事業

③デジタルマーケティング調査・分析事業

- ・海の京都コイン事業（旅先納税）の開始
- ・京都府観光客動向調査

④旅行商品造成・販売促進事業

- ・E-Bike の聖地化事業（観光庁補助事業）
- ・ナイトコンテンツ造成事業
- ・旅行会社との商談

⑤インバウンド推進事業

- ・パートナーシップ協定企業によるファムツアーの受入
- ・インバウンドツアー受入に向けたガイド養成

⑥食の魅力向上事業

- ・特産品開発及び EC サイト運営の実証
- ・食育ツアーの造成及び販売

(2) 持続可能な観光地域づくり事業

ア 地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業（観光庁補助事業）

各観光関連事業者が事業主体となった、事業者の投資による宿泊施設、観光施設（飲食店等）高付加価値化に資する改修を支援するとともに、これら民間事業者が実施する改修事業の効果を最大化するための、地域が一体となって観光誘客を図ることを目的とした実証事業を実施した。

(ア) 事業者の投資による宿泊施設、観光施設（飲食店等）高付加価値化に資する改修

- ・ 参画施設数 28 施設（宿泊施設：18 施設、観光施設：10 施設）
- ・ 投資総額：1,082,041,482 円（内、国庫補助：522,985,404 円）

(イ) 実証事業

①宮津天橋立ナイトウォーク

- ・ 事業内容：参加型×鑑賞型ライトアップによる無料イベントの実施  
(ライトアップ、プロジェクションマッピング、サウンド演出など)
- ・ 実施場所：天橋立駅、天橋立内（大天橋、天橋立神社ほか）
- ・ 実施期間：令和4年10月14日～令和4年11月13日
- ・ 事業費：22,000,000 円（内、国庫補助：10,000,000 円、観光事業者負担：6,534,750 円）
- ・ 委託先：株式会社ネイキッド
- ・ 参加者数：1,758 人（満足度：82.6%）

②天橋立サウナ×マルシェ

- ・ 事業内容：「アウトドアサウナ」と「フードマルシェ」を組み合わせ、天橋立のポテンシャルを最大限に発揮する自然体験型コンテンツとしてのイベントを実施。
- ・ 実施場所：天橋立小天橋広場 砂浜（文珠エリア）
- ・ 実施期間：令和4年11月19日・20日
- ・ 事業費：22,000,000 円（内、国庫補助：10,000,000 円、観光事業者負担：6,534,750 円）
- ・ 委託先：株式会社乃村工藝社
- ・ 参加者数：2,310 人（満足度：97.3%）

③海色タイムカプセル

- ・ 事業内容：DXを活用した観光リピート促進事業の実施  
(一定期間後にデジタル写真を本人若しくは友人に送付できるサービス)
- ・ 実施場所：宮津市内全域
- ・ 実施期間：令和4年10月8日～令和5年1月31日
- ・ 事業費：22,000,000 円（内、国庫補助：10,000,000 円、観光事業者負担：6,534,750 円）
- ・ 委託先：株式会社JTB京都中央支店
- ・ 参加者数：308 人（満足度：56.6%）

④周遊まるっぽパス（市内温泉周遊パスポート）

- ・ 事業内容：市内宿泊施設の温泉施設を自由に入浴できる周遊パスの販売
- ・ 実施場所：宮津市内全域
- ・ 実施期間：令和4年10月8日～令和4年12月25日
- ・ 事業費：22,000,000 円（内、国庫補助：10,000,000 円、観光事業者負担：6,534,750 円）
- ・ 委託先：株式会社JTB総合研究所

- ・参加者数：1,085人（満足度：85.9%）

⑤周遊まるっばパス（市内周遊バスの運行）

- ・事業内容：④事業と連携した市内周遊バスの運行を支援
- ・実施場所：宮津市内全域
- ・実施期間：令和4年10月8日～令和4年12月25日
- ・事業主体：丹後海陸交通株式会社
- ・事業費：20,933,460円（内、市補助金：10,897,660円、事務手数料：36,260円）
- ・参加者数：④と同じ

イ 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業（観光庁事業）

既に実施している金引の滝での「滝行」体験に癒しの体験「サウナ」を組み合わせることにより、高付加価値化・収益性の向上を図るとともに、より誘客性の強いプレミアムな体験コンテンツに磨き上げを行った。

- ・実施期間：令和5年10月22日～令和5年10月30日（1日あたり4回の実施）
- ・事業費：9,180,000円（内、国庫補助：7,090,000円、コンテンツ販売：2,090,000円）
- ・委託先：株式会社ディーファクトリー（現地における設備設営）  
株式会社JTB京都中央支店（コンテンツの企画、運営、広報の実施）
- ・参加者数：97人（満足度：100%）

ウ 持続可能な観光地域づくり

（ア）日本「持続可能な観光」地域協議会への支援

- ・事業費：32,000,000円（市分担金：4,000,000円）
- ・内容：①持続可能な観光の国際基準GSTC研修会の開催

<本市での取組>

- ・令和4年7月11日～14日の間で研修会を実施。計4名が受講。

②持続可能な観光の専門家派遣

<本市での取組>

- ・令和5年1月27日 市内事業者を対象とした講演会を実施。
- ・持続可能な観光に向けた実践的な取組事例の紹介

③サステナビリティ・コーディネーター合同研修会（宮津市から3名参加）

④セールス・プロモーション事業

- ・地域協議会公式ウェブサイトの構築、運営
- ・観光専門WEBメディアとのタイアップによる記事連載
- ・協議会専門誌の制作、発行

（イ）宮津市観光戦略推進チームへの支援

- ・事業費：7,511,082円（市補助金：7,511,082円）
- ・内容：①観光地域づくり体制事業

- ・持続可能な観光地域づくりの体制強化を図るため、「日本版持続可能な観光ガイドライン」に取り組む人材を育成。

②観光指標モニタリング調査事業

- ・じゃらんリサーチセンターとの共同開発事業を通して、市内各地域と協業し、新たな観光周遊を可能とする体験を提案し、その事業でのモニタリング調査

を実施し分析等をおこなった。

③観光地域プログラム開発事業

- ・稼ぐ観光の実現に向け、副業人材の提案なども加味し、実施エリア等における地域資源を活用したコンテンツの制作を行い、持続可能な体験プログラムの開発等を実施した。

(文珠・府中地区) 股のぞき☆一龍万倍体験

(由良地区)「浜買いと食事ツアー」など6項目

④e-Bike の購入

- ・ブリジストン TB1-E (e-Bike 街乗りタイプ) 10台
- ・OGK Kabuto (ヘルメット) 10個
- ・フロントライト 10個
- ・サイドスタンド 10個
- ・スマートフォンホルダー 10個

エ 宮津市観光戦略の推進

外部人材 (JTB 社員) を商工観光課観光戦略担当課長として配置し、令和3年度に策定した宮津市観光戦略の推進を図るとともに、観光地の高付加価値化を図るための地域計画等を策定した。

- ・事業費：5,624,520円

オ 天橋立周辺渋滞対策及び水上バイク対策

(ア) 天橋立パーク&クルーズ

ゴールデンウィークや夏季期間等の渋滞緩和を図り、海の京都観光のゲートウェイとして、海上交通を活用した天橋立周遊観光ルートの構築、定着に向けた取組みを実施した。

事業 (委託先)	委託料	内容
宮津天橋立周遊観光推進事業 (天橋立観光協会)	1,650,000円	GWや盆等、車両集中期間において、文珠地区に交通整理員を配置。またHPや広報誌などによる初詣クルーズの運航情報を発信した。

(イ) 渋滞対策 (府中地区)

府中地区における正月三が日の観光客や初詣客等による渋滞を緩和するため、府中地区渋滞対策協議会が取り組む事業に対して支援した。

事業 (交付先)	市補助金	内容
府中地区渋滞対策協議会事業補助金 (府中地区渋滞対策協議会)	249,000円 (498,500円)	・GWに府中小学校グラウンドを臨時駐車場として開放 (5/3~5/5) ・正月に府中公園グラウンドを臨時駐車場として開放 (1/1~1/3)

(ウ) 天橋立海面利用安全対策推進事業

地域団体、関係団体、事業者及び行政が連携し、天橋立エリアにおける水上オートバイ等の安全な航行を促進することにより、地元住民や観光客にとって安心、安全な環境を実現していくため、天橋立海面利用安全対策推進協議会が取り組む事業に対して支援した。

事業 (交付先)	市補助金	内容
天橋立海面利用安全対策推進事業補助金 (天橋立海面利用安全対策推進協議会)	944,627円	「天橋立エリア」における海面利用自主ルールの策定、啓発看板、横断幕の設置、水上バイク航行台数調査など

カ 地域おこし協力隊員の配置による活動支援

天橋立プラスワンの魅力を発信するため、観光地魅力創造隊員として「天橋立アクティビティセンター」で活動する地域おこし協力隊員について、2名の委嘱を継続するとともに、地域資源を活用した体験商品の企画、造成、催行、インストラクトを実施した。

- ・事業費：7,746,231円

(3) インバウンド推進事業

世界の観光地とのネットワークを活用した外国人観光誘客を推進するため、ユネスコの後援を受ける非政府組織（NGO）「世界で最も美しい湾クラブ」に参画するとともに、地域組織「京都宮津湾・伊根湾クラブ」において啓発やPR活動を行っている。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、湾クラブ全体の活動としては、2022年度会費半額免除のほか、Webによる臨時会議での対応となった。

また、地域組織としての活動は行わなかった。

- ・世界で最も美しい湾クラブ年会費：176,194円

(4) もう一つの京都「光のアトリエ」支援事業（夜の賑わい創出）

昨年度に引き続き、夜間観光の魅力づくりを創出するため、天橋立、智恩寺及び元伊勢籠神社のライトアップ事業に取り組んだ。

また、京都府事業「日本博京都府域展開アートプロジェクト『もうひとつの京都 光のアトリエ』」と連携し、夜の散策コンテンツとしての充実を図り、滞在時間の延長を図った。

○主催 「海の京都」天橋立地区協議会（天橋立文珠地区ライトアップ実行委員会・天橋立府中地区ライトアップ実行委員会）

○事業費 57,048,545円（市補助金2,000,000円）

○期間 令和4年7月9日～10月23日

イベント名 (開催日)	実施内容	参加者
天橋立砂浜ライトアップ (7月9日～10月23日)	天橋立の砂浜約600mを音楽家と照明デザイナーが光と音で演出。 ナイトクルーズを同時開催したほか、民間事業者による京都市内からの送客も実施。	12,460人
『京都府域展開アートプロジェクト「ALTERNATIVE KYOTO - もうひとつの京都-」in 宮津天橋立』 (9月23日～10月23日)	①中山晃子&澤渡英一「泡沫（うたかた）の形」 ②Shohei Fujimoto「dynamic light statics」 ③THINK AND SENSE & Intercity-Express「Stillness」 開催場所：天橋立公園内小天橋広場 ④Iregular「CONTROL NO CONTROL」 開催場所：元伊勢籠神社 ⑤SPEKTRA「Emissivescapes」 開催場所：天橋立公園内	8,470人



### 3 歴史・文化を活かした観光誘客推進事業

#### (1) 最先端技術を活用した歴史文化資源の発信

歴史文化を活かした観光まちづくりの実現に向け、文化財等の歴史文化資源を観光活用するため、歴史文化資源及び体験コンテンツを紹介する高画質映像及びVR映像等を制作した。

業 務（委託先）	事業費	内 容
宮津市「最先端技術を活用した歴史文化資源の発信」業務 （エヌ・ティ・ティラーニングシステムズ株式会社）	4,400,000 円	<高画質映像> ・宮津燈籠流し花火大会 <VR映像> ・金引の滝（滝行） ・天橋立（シーカヤック） ・宮津踊り

#### (2) 文化財等の観光コンテンツ化による賑わいづくり

「重要文化財旧三上家住宅」を市民や観光客の交流拠点として整備し、市民の文化活動を充実や観光コンテンツ化を目的に、必要な施設の整備や、魅力的で時速可能な、新たな利活用の実証事業を実施した。（詳細は、社会教育課の項目で記述）

#### (3) 郷土芸能保存伝承補助事業

地方衆や踊り手の養成や、宮津おどりの演奏を支える地方の担い手の人材育成の取組に支援した。

- ・事業費：696,878 円（市補助金：300,000 円）

### 4 天橋立名勝 100 年・特別名勝 70 年記念事業

#### (1) 城下町宮津七万石 和火 2022

天橋立が特別名勝に指定された記念日である 11 月 22 日にあわせ、城下町で栄えた宮津の市街地に再び光を当て、参加型の手作り賑わいイベントを開催することにより、歴史文化の周知と地域の活性化を図った。

- ・実 施 日：令和 4 年 11 月 23 日

#### ・事業内容

##### ①和火（ライトアップ）

- ・保育園児、幼稚園児による手作りペットボトル灯籠によるライトアップ（大頂寺）
- ・散策をサポートする NAKED ディスタンス提灯®の貸出し（小川湯前）
- ・大手川白壁及び大手川ふれあい広場をライトアップ  
※令和 4 年 11 月 14 日から令和 5 年 2 月 28 日まで（17：00～21：30）
- ・お寺、通り等において、実行委員会参画団体等によるライトアップを実施

##### ②催し

- ・寺内を舞台とした演奏や踊り等の披露（大頂寺、妙照寺、佛性寺）

##### ③食事

- ・宮津や丹後の食材を使った飲食コーナーの設置（亀ヶ丘児童遊園）計 9 店舗
- ・来場者数：約 1,500 名

#### (2) 冬の宮津満腹祭

宮津市の食に特化した産品等を「食べる」「買う」機会を創出し、近隣住民や観光客にアピールすることにより、にぎわいの創出及び販売促進に資するとともに、食による観光振興を図った。また日本三景のPRもあわせて実施した。

- ・実施日：令和5年2月26日（日）
- ・実施場所：①道の駅「海の京都宮津」会場 ②宮津天橋立漁師町ととまーと会場  
※臨時駐車場として西宮津公園グラウンドを無料開放

・事業内容

①道の駅「海の京都宮津」会場

- ・芝生スペースで「真冬の屋台村」と題し、海の京都エリアの食が大集合した。
- ・日本三景物産展とスタンプラリーを開催
- ・日本三景観光親善大使による日本三景PR
- ・宮津おどり振興会による踊り披露

②宮津天橋立漁師町ととまーと会場

- ・特別販売として文珠かきの販売、ぶりの解体ショー、日本三景物産展を開催
- ・日本三景物産展とスタンプラリーを開催
- ・日本三景観光親善大使による日本三景PR

(3) 天橋立名勝100年・特別名勝70年記念花火の打ち上げを支援

市内宿泊者への満足度向上、観光誘客に繋げるため、宮津市観光戦略推進チームが実施する花火の打上げに補助を行った。

事業費 4,778,940円（市補助金：4,778,940円）

内容 令和4年7月17日～10月16日の土日祝日等 20：30から5分間 計75発の花火を打上げた。

※宮津湾、天橋立、田井、由良、日置にてランダムに打上げ（延18回）

5 広域協議会等による観光宣伝事業

北近畿広域観光連盟、日本三景観光連絡協議会、公益社団法人京都府観光連盟等と連携し、国内旅行誘客のための事業、観光パンフレット等を作成し、京都駅総合観光案内所、旅行会社、道の駅などに配布や掲出、また、インターネットを活用した情報発信などを行い誘客宣伝に努めた。

- ・広域宣伝事業分担金等：2,311,000円

6 海水浴場の開設

(1) 海水浴場（開設：市、管理運営受託者：天橋立観光協会）

ア 海水浴場の状況

場 所	期 間	入込客数	管理運営委託料
天橋立海水浴場	令和4年7月16日から 令和4年8月16日まで	301,900人	5,312,548円
天橋立府中海水浴場	令和4年7月16日から 令和4年8月16日まで	72,100人	
丹後由良海水浴場	令和4年7月16日から 令和4年8月16日まで	36,300人	
合 計		410,300人	

## 7 駐車場

### (1) 天橋立駐車場（管理運営受託者：文珠自治会）

#### ア 利用状況 (単位：台)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
バス等大型	4	8	1	1	3	2
普通乗用車	978	3,172	398	1,032	2,957	1,376
自動二輪	55	188	48	45	58	68
計	1,037	3,368	447	1,078	3,018	1,446

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7	4	0	0	0	5	35
925	768	170	588	155	872	13,391
49	25	1	0	1	20	558
981	797	171	588	156	897	13,984

#### イ 使用料収納状況 (単位：円)

区分	バス等大型	普通乗用車	自動二輪	合計
金額	54,500	9,374,100	223,200	9,633,200

#### ウ 管理運営

宮津市営天橋立駐車場管理運営業務委託：3,774,353円

### (2) 宮津駅前駐車場（管理運営受託者：株式会社富士ダイナミクス）

#### ア 利用状況及び使用料収納状況

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
台数（単位：台）	959	1,098	1,053	1,097	1,388	1,057
金額（単位：円）	248,000	291,700	305,600	284,900	254,700	225,300

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,025	1,138	842	623	716	1,129	12,125
293,500	338,400	272,700	221,000	211,500	309,700	3,257,000

※丹鉄利用促進のための『得とく駐車場券』利用台数145台を含み、別途宮津駅前駐車場駐車料金負担金としてWILLER TRAINS株式会社から55,000円を受け入れた。

#### イ 管理運営

宮津市営宮津駅前駐車場管理業務委託：2,048,640円

## 第4節 放置竹林対策

森林環境の改善を図るため、放置竹林の整備を実施するとともに、地域竹林整備隊を編成した。

事業	事業費(円)	財源内訳(円)		備考
		府支出金	一般財源	
放置竹林の整備 A=1.20ha	1,716,000	1,952,680	89,500	獅子崎、国分
貸与機器の修繕等	147,180			樹木粉碎機用消耗品の購入及び修理
地域竹林整備隊の編成 地域竹林整備隊登録数 (個人42、団体1、法人5)	179,000			樹木粉碎機利用者に係る損害保険
合計	2,042,180	1,952,680	89,500	

## 第5節 新型コロナウイルス感染症対策及び原油価格・物価高騰等対策

### 1 経済対策会議

新型コロナウイルス感染症による影響及びウクライナ情勢の緊迫化等を背景とした原油・物価高騰等が地域経済に深刻な影響を与える中、現状について情報共有するとともに、今後の対策について協議を行うため、宮津市新型コロナウイルス感染症経済対策会議を開催した。

日時	第7回 令和4年7月5日(火)
場所	宮津商工会議所 大会議室
出席団体	ハローワーク峰山、京都府丹後広域振興局、宮津商工会議所、天橋立観光協会、宮津天橋立観光旅館協同組合、宮津市農業委員会、京都銀行宮津支店、京都北都信用金庫、宮津市
内容	現在の状況及び取組等の報告について 今後の対応について

### 2 商工業支援

#### (1) 資金繰り支援

##### ア 新型コロナウイルス対応資金特別支援事業

新型コロナウイルスの影響を受けて経営状況が悪化した市内の中小企業者を支援するため、新型コロナウイルス対応に要する融資に係る利子補給を行った。

(単位：円)

事業費	財源内訳			備考
	国庫支出金	その他(基金繰入金)	一般財源	
1,423,891	—	1,423,891	0	

対象者	本市に住所又は事業所を有する市内中小事業者であって、R2.1.29～R3.3.31の間に新型コロナウイルス対応に要する融資を実行したもの ※市税滞納者は除く
対象融資	政府系金融機関の融資制度又は京都府中小企業融資制度であって、新型コロナウイルス対応のもの(上限3,000万円 ※R2.7より4,000万円に見直し) ※国府制度により実質無利子化となる要件を満たす者等は除く
利子補給	支払利息の10/10(融資実行から3年間)
実績	利子補給 14件(13事業者) 1,420,511円 事務費 3,380円(手数料)
備考	*新型コロナウイルス感染症対応資金利子補給基金1,423,891円を充当 (年度末基金残高646,109円)

#### イ セーフティネット保証制度等に基づく認定(新型コロナウイルス感染症に係るもの)

- ・セーフティネット保証4号による認定(R2.3.2～全都道府県対象) 7件(累計69件)
- ・セーフティネット保証5号による認定(R3.7.1～指定業種対象) 13件(累計84件)

(2) 事業者等原油・物価高騰対策支援金

急激な原油価格等の高騰により、経費負担の上昇及び適切な価格転嫁が困難な状況にある中、原油価格等の高騰の激変緩和措置として支援金を支給した。

(単位：円)

事業費	財源内訳			備考
	国庫支出金	その他	一般財源	
44,645,000	44,645,000	—	0	

制度概要	<支給金額> 市内事業者等が対象月に支払った光熱費等の10%を支給 ※対象月：令和4年2月～12月のうち、任意の6か月 ※光熱費等：電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油、混合油（農業者については肥料代についても対象） <支給上限額> 法人20万円・個人10万円／市内の事業所の数		
実績	<農業者>	101件	4,246,000円
	<農業者以外>	353件	40,399,000円

(3) 事業者成長支援補助金（第1節3(3)アの再掲・令和3年度繰越事業）

新型コロナウイルス感染症の拡大による厳しい経営環境への対応が求められる中、販路開拓・調査研究やデジタル化など投資・経営改革等を促進する取組を支援した。

補助率 税抜額の1/2以内 補助上限額 15万円

(単位：円)

事業費	財源内訳			備考
	国庫支出金	その他	一般財源	
1,720,000	1,720,000	—	0	

【支援の内訳】

対象者	宮津市内に事業所を有する企業・団体、個人事業主等 <補助メニュー> ①デジタル化対応（キャッシュレス、Wi-Fi整備、Web会議対応等） ②販路開拓（製品やサービスをPRするための展示会、商談会への出展等） ③副業・兼業人材の活用（経営課題等の解決に資する副業・兼業人材の雇用等） ④複数事業者での調査研究（新商品や新サービスの開発等）		
実績	交付決定 18件 1,720千円 （①デジタル化8件775千円、②販路開拓6件521千円、③副業・兼業人材1件150千円、④調査研究3件274千円）		
備考	申請期間：令和4年5月20日～令和5年1月31日		

(4) 新型コロナウイルス対応事業再構築補助金（第1節3(3)イの再掲・令和3年度繰越事業）

新型コロナウイルス感染症により影響を受けた経営環境からの改善を図るため、店舗拡充や第二創業等に取り組む市内の事業者に対して、事業実施に要する経費の一部を支援した。

補助率 税抜額の1/2以内 補助上限額 50万円（空き家等を活用する場合は150万円）

(単位：円)

事業費	財源内訳			備考
	国庫支出金	その他	一般財源	
1,000,000	1,000,000	—	0	

【支援の内訳】

業種別	所在地	補助金額（円）
アニマルカフェ・動物飼育	宮町	500,000
簡易宿泊所	宮村	500,000
合計	2件	1,000,000

(5) 地域内消費拡大事業（令和3年度繰越事業）

低調基調が続く市内消費の喚起・拡大を図るとともに、市民生活支援を行うため、市内で利用できるプレミアム付き商品券を発行する宮津商工会議所を支援した。

（単位：円）

事業費	市補助金	市補助金の財源内訳		備考
		国庫支出金	一般財源	
269,685,000	64,685,000	64,685,000	0	府補助金 5,000,000 事業収入 200,000,000

プレミアム付き商品券の概要

発行内容	商品券13,000円分を10,000円で販売（プレミアム率30%） 発行総額2億6,000万円（2万セット）
商品券の内容	2種類の額面1,000円券を13枚1セットとする ・個店限定券（5,000円）：店舗面積1,000㎡を超える小売店舗を除く店舗で使用 ・全店共通券（8,000円）：全ての店舗で使用
購入制限等	1人当たり5セット（5万円）まで購入可能 ※市民に限り同居家族及び同居以外の市民1人分の代理購入可能
販売方法	特設会場販売：6月4日（土）、5日（日）宮津市民体育館、日置小学校体育館 市内販売：6月6日（月）市内12箇所（宮津商工会議所ほか）
有効期間	令和4年6月4日（土）～9月5日（月）
取扱店舗	本事業の趣旨に賛同した288事業所（市内330店舗）
回収額	259,685千円（回収率：99.88%）
その他	お楽しみ抽選会の実施（地元産品など54品） 商品券利用者に対する店舗独自の特典、サービスの実施（77事業所）

※ 令和5年度に繰越を行った事業

プレミアム付き商品券発行事業（プレミアム付商品券発行に対する支援）

令和4年度決算額97,020円 令和5年度への繰越額69,902,980円

### 3 観光業支援

(1) 観光施設の感染予防対策(海水浴場)

ア 感染防止対策ガイドラインの作成

昨年度に引き続き、海水浴場の開設に携わる事業者が行うべき感染予防及び感染拡大防止策について、「宮津市海水浴場における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策ガイドライン」として取りまとめ、天橋立観光協会及び関係事業者等へ配布した。

イ ガイドラインに基づく、感染予防対策の強化

開設する全ての海水浴場(天橋立・天橋立府中・丹後由良)において、場内放送や看板設置による注意喚起を行ったほか、感染予防業務に従事する連絡員（監視員）を1名配置し、施設の消毒や場内巡回による感染防止対策の徹底に取り組んだ。

(2) 緊急事態宣言解除後の観光誘客に対する支援

早期の観光需要の回復に向け、観光関連事業者で構成する「宮津市観光戦略推進チーム」が行う観光誘客等の取組みに対し支援を行った。

ア 宮津市教育旅行支援キャンペーン（1,825,000円）

期間：令和4年6月1日～令和4年12月31日

内容：宮津市内の観光施設を訪れる教育旅行を行う学校に対し、バス借り上げ料の一部を補助（日帰り25,000円/台、宿泊50,000円/台）

実績：14件（京都府2件、大阪府2件、奈良県10件）

イ 宮津天橋立旅得キャンペーン（10,489,000円）

期間：令和4年6月15日～令和4年7月31日

内容：①利用料金に応じた宿泊割引クーポン（2,000円、5,000円、10,000円/件）の発行

②宿泊者に飲食、土産物店等で使えるクーポンを配布（500円×2枚/人）

実績：①使用枚数：1,686枚（消化率：99.4%） 参画施設：49施設

②使用枚数：4,195枚（消化率：83.9%） 参画店舗：113店舗

ウ 宮津天橋立旅得キャンペーン【秋・冬版】（16,942,000円）

期間：令和4年10月11日～令和4年12月25日

内容：①利用料金に応じた宿泊割引クーポン（3,000円、9,000円、15,000円/件）の発行

②宿泊者に飲食、土産物店等で使えるクーポンを配布（500円×2枚/人）

実績：①使用枚数：2,129枚（消化率：97.7%） 参画施設：49施設

②使用枚数：8,391枚（消化率：83.9%） 参画店舗：114店舗

エ 宮津天橋立「カニぶり」キャンペーン（5,312,500円）

期間：令和5年1月4日～令和5年2月28日

内容：①カニ料理又はぶり料理プラン付の宿泊旅行に対する宿泊割引クーポンの発行

②宿泊者に飲食、土産物店等で使えるクーポンを配布（500円×2枚/人）

実績：①使用枚数：570枚（消化率：60.3%） 参画施設：30施設

②使用枚数：2,847枚（消化率：64.3%） 参画店舗：114店舗

# 第10章 農林水産課

## 第1節 農業振興

### 1 農山漁村コミュニティ活性化事業

#### (1) 人・農地プランの策定等

農地中間管理事業の推進に関する法律に位置付けられた人・農地プランとして、集落単位で「京力農場プラン」を策定及び更新し、担い手と農地の集約化に関する将来方針を公表した。

#### ア 人・農地プラン（京力農場プラン）の策定等

プラン名称	地区(集落)	策定(更新)日	主な内容
山中地域 京力農場プラン	山中	策定 R5.3.30	・産地づくり(水稲) ・中核的担い手(6人) ・他集落との連携、新規就農促進、粗放的管理等
滝馬地域 京力農場プラン	滝馬	策定 R5.3.30	・産地づくり(水稲) ・中核的担い手(9人) ・新規就農の促進、体験農園の検討等
辛皮、中ノ茶屋、 岩戸・平石、関ヶ 淵・竹の本地域 京力農場プラン	小田1～4 区	策定 R5.3.30	・産地づくり(水稲) ・中核的担い手(18人) ・他集落との連携、営農組織の検討、粗放的管理等
喜多・今福地域 京力農場プラン	喜多8～12 区、今福13 ～14区	策定 R5.3.30	・産地づくり(水稲、ストック、ネギ、ニンニク等) ・中核的担い手(1法人、2組織、24人) ・営農体制見直し、新規就農促進、高収益作物導入
矢原・脇の浜地 域京力農場プラン	矢原、獅子 の一部	更新 R5.3.30	・近い将来農地の出し手となる者の農地を追加
中津地域 京力農場プラン	中津	策定 R5.3.30	・産地づくり(水稲) ・中核的担い手(14人) ・他集落との連携、後継者確保、組織の機能強化等
小寺地域 京力農場プラン	小寺	策定 R5.3.30	・産地づくり(水稲、イチゴ、山の芋、生姜) ・中核的担い手(6人) ・他集落との連携、後継者確保、企業参入等
中村地域 京力農場プラン	中村	策定 R5.3.30	・産地づくり(水稲、山の芋、イチゴ、生姜等) ・中核的担い手(1組織、10人) ・他集落との連携、新規就農促進等
府中東部地域 京力農場プラン	江尻、天橋、 難波野、大 垣	策定 R5.3.30	・産地づくり(水稲) ・中核的担い手(7人) ・他集落との連携、新規就農促進、機械共同利用等
日ヶ谷地域 京力農場プラン	立、大西、 厚垣、落山、 藪田	策定 R5.3.30	・産地づくり(水稲、ゴボウ、コンニャク、蕎麦等) ・中核的担い手(11人) ・多様な人材の確保、農産加工の継続等

#### イ 京力農場プラン将来ビジョン確立・実現支援事業

取組内容	事業費 (円)	財源内訳(円)			備考
		国府支出金	その他	一般財源	
・地域でのプラン策定等に係る話し合い 40回 ・関係機関等とプラン検討会を開催 1回	304,284	302,397	—	1,887	



## ウ 集落支援員の配置

人・農地プランの策定及び更新を支援するため、集落支援員を配置し、話し合いを推進した。

取組内容	事業費 (円)	財源内訳(円)			備考
		国府支出金 (きょうと地域連携交付金)	その他	一般財源	
・集落支援員の配置 1名	1,228,800	572,500	—	656,300	

### (2) 新たな担い手受入体制構築支援

農山漁村の新たな担い手の確保に向け、集落紹介パンフレット作成等の新たな担い手の受入体制構築を支援した。

実施地区	事業内容	事業費 (円)	財源内訳(円)			備考
			国府支出金	その他	一般財源	
畑	・農業体験の実施 ・集落紹介パンフレットの作成等	50,000	—	—	50,000	
日ヶ谷	・農業体験の実施 ・集落紹介パンフレットの作成等	49,945	—	—	49,945	
矢原・脇の浜	・農業体験の実施 ・集落紹介パンフレットの作成等	50,000	—	—	50,000	

### (3) 半農半Xインターンシップ事業

新たな担い手受入体制構築に取り組む3地区において、農業体験・地域交流プログラム「宮津農旅インターンシップ」を実施し、新たな担い手候補の呼び込みを行った。

○畑地区 令和4年9月18日～24日 参加人数：2名

○日ヶ谷地区 令和4年10月16日～22日 参加人数：3名

○矢原・脇の浜地区 令和4年10月23日～26日 参加人数：1名

※商工観光課「第3節 観光振興」「2 日本の顔となる観光地づくり推進事業」「(2) 持続可能な観光地域づくり事業」の一環として実施

## 2 農地中間管理事業

### (1) 農地中間管理事業事務受託

農地中間管理機構が貸し手から農地を借り受け、集約化を図りながら担い手に貸し付ける農地中間管理事業の事務を受託し、農地の有効利用や農業経営の効率化を促進した。

取組内容	事業費 (円)	財源内訳(円)			備考
		国府支出金	その他 (機構委託金)	一般財源	
・窓口業務 ・連絡調整業務 ・説明会、調整会議の開催 18回	1,899,000	—	1,899,000	—	

### (2) 機構集積協力金

京力農場プランに基づき、農地中間管理機構を通じて担い手等に農地を集積した地域に対して機構集積協力金を交付した。

地域名	交付面積 (a)	交付金額 (円)	財源内訳(円)			備考
			国府支出金	その他	一般財源	
日置	3,430	9,604,000	9,604,000	—	—	
須津	828	2,815,200	2,815,200	—	—	

### 3 担い手農家育成支援事業

「宮津市地域農業担い手認定制度」に基づく担い手農家の育成・確保を図るため、経営改善計画及び青年等就農計画の策定を推進した。

(令和5年3月31日現在)

区 分	法人	団体 (営農組合等)	個人	計
認定農業者（法認定）	4	0	12	16
認定新規就農者（法認定）	0	0	11	11
地域認定農業者（市独自基準に基づく認定）	0	0	0	0
合 計	4	0	23	27

※法認定は、農業経営基盤強化促進法の基準に基づく認定

### 4 新規就農者育成支援事業

49歳以下で新規就農した青年農業者に対して、農業次世代人材投資資金を給付し、経営が不安定な就農直後の新規就農者を支援した。また、就農研修資金を活用して就農した青年農業者が行う資金の償還を支援した。

#### (1) 農業次世代人材投資資金

就農場所等	事業内容	交付金額 (円)	財源内訳(円)			備考
			国府支出金	その他	一般財源	
喜多、由良、脇、矢原、宮村、須津、国分、日置、松尾地区	農業次世代人材投資資金 12名（うち夫婦1組）	16,563,961	16,563,961	—	—	

#### (2) 就農研修資金償還助成

就農場所等	事業内容	補助金額 (円)	財源内訳(円)			備考
			国府支出金	その他	一般財源	
波路	就農研修資金償還助成 1名	480,000	240,000	—	240,000	

### 5 強い農業づくり支援事業

#### (1) 農業機械の整備支援

農業経営の安定を図るため、地域営農組織等が行うAI・ICT等先端技術を用いた農業用機械の実装等を支援した。

事業実施主体	事業内容	事業費 (円)	財源内訳(円)			備考
			国府支出金	その他	一般財源	
日置の蓮華米生産者の会	ラジコン草刈り機の導入	3,003,000	1,365,000	—	—	自己資金(円) 1,638,000
栗田地区営農組合	遠赤乾燥機の導入	2,000,000	800,000	—	—	自己資金(円) 1,200,000
有限会社たんごワイナリー	マニアスプレッダ、剪定機、株元除草機及び耕運機等の導入	7,073,733	2,899,000	—	—	自己資金(円) 4,174,733
合計	3件	12,076,733	5,064,000	—	—	

(2) オリーブの生産拡大支援

オリーブの産業化を進めるため、「宮津オリーブ生産者の会」が行う栽培技術の向上を目的とした研修会の開催や広報活動等を支援し、生産者の栽培技術等の向上を図るとともに、市民や観光客に対して宮津産オリーブオイルの知名度の向上を図った。

○研修会

令和5年2月14日、25日、27日（3日間）剪定実技講習 参加人数：延べ30人

令和5年3月27日 栽培技術等の研修 参加人数：16人

○広報活動 令和5年2月26日 「2023冬の宮津満腹祭」と同時開催

オリーブオイル試食会 来場者：延べ300名

○市補助金 300,000円

(3) 環境にやさしい農業の普及

農業において、環境負荷の軽減を意識した取組を拡げるにあたり、有機農業に取り組んでいる農業法人等の先進地の視察を行った。

日 時：令和4年12月9日

参加者：宮津市農業委員等 20名

視察先：ビオ・ラビッツ（株）（京丹後市。有機野菜の魅力について）

（株）坪口農事未来研究所（豊岡市。コウノトリ育む農法・営農型太陽光発電など）

6 中山間地域等直接支払交付金事業

中山間地域における生産面での不利な環境を補正するため、耕作放棄地の発生防止や機械・農作業の共同化などの農業生産活動を行う集落に対して交付金を交付した。

集落協定数	区分	面積 (ha)		交付金額 (円)	財源内訳 (円)			備考
					国府支出金	その他	一般財源	
31 (内訳) 通常単価 25 基礎単価 6	通常 単価	田	急傾斜	94.8	37,760,509	28,320,369	-	9,440,140
			緩傾斜	119.1				
		畑	緩傾斜	-				
		小計		213.9				
	基礎 単価 (8割)	田	急傾斜	25.3				
			緩傾斜	12.7				
		畑	緩傾斜	-				
		小計		38.0				
	計		251.9					
	加 算 措 置	超急傾斜農地保全管理		1.5				
		生産性向上		15.4				
		集落機能強化		8.1				
		棚田地域振興活動		18.0				

## 7 多面的機能支払交付金等事業

農地法面の草刈や水路の泥上げ等の基礎的な保全活動、環境保全等の共同活動や、水路、農道等を補修・改修する長寿命化のための活動、有機農業等環境保全に効果の高い営農活動など、農業者等で構成される組織が実施する取組に対して交付金を交付した。

### (1) 農地維持支払交付金

活動組織数	面積 (ha)		交付金額 (円)	財源内訳 (円)			備考
				国府支出金	その他	一般財源	
23	田	280.2	8,795,700	6,596,775	-	2,198,925	
	畑	19.4					
	計	299.6					

### (2) 資源向上支払交付金 (共同)

活動組織数	面積 (ha)		交付金額 (円)	財源内訳 (円)			備考
				国府支出金	その他	一般財源	
22	田	278.4	5,201,796	3,901,343	-	1,300,453	
	畑	18.9					
	計	297.3					

### (3) 資源向上支払交付金 (長寿命化)

活動組織数	面積 (ha)		交付金額 (円)	財源内訳 (円)			備考
				国府支出金	その他	一般財源	
21	田	274.0	9,022,755	6,767,055	-	2,255,700	
	畑	18.9					
	計	292.9					

### (4) 環境保全型農業直接支払交付金

農業者団体数	面積 (ha)	交付金額 (円)	財源内訳 (円)			備考
			国府支出金	その他	一般財源	
3	14.75	1,693,000	1,269,750	-	423,250	

## 8 経営所得安定対策推進事業

国が実施する経営所得安定対策について、水田活用の直接支払交付金等の交付事務を行った。

交付対象者	戦略作物助成金	産地交付金
70人	1,063,225円	6,634,420円

## 9 農業経営安定化対策事業

農業者の経営安定と規模拡大を図るため、農業者が借入れた農業経営基盤強化資金に対する利子助成を行った。

事業内容	事業費 (円)	財源内訳 (円)			備考
		国府支出金	その他	一般財源	
1経営体 計2件	30,348	15,174	-	15,174	

## 10 農産物等流通促進事業

### (1) 地元農産物の販売力強化

宮津まごころ市を中心として、地元農産物の集荷や販売機会等の強化につながる取組を道の駅指定管理者への委託により実施した。

事業内容	事業費(円)	財源内訳(円)			備考
		国府支出金	その他	一般財源	
以下アからエのとおり	1,000,000	1,000,000	—	—	

ア 農産物集荷便の試行

(ア) 令和4年10月17日～29日 車両による野菜等の集荷

(イ) 令和4年12月5日～17日 車両及び丹後海陸交通(株)の観光船を使った野菜等の集荷

イ 野菜セットの販売

専用ダンボールを作成し、ふるさと納税返礼品に野菜セットを登録(返礼実績1セット)

ウ 出張まごころ市

市内で開催されたイベントに軽トラ市として出店(浜町地区3回、文珠地区1回)

エ 宮津まごころ市の魅力向上

農産物の魅力発信動画及び宮津まごころ市のPR冊子の作成(500部)

(2) 地元農産物の域内流通促進に向けた調査

地元農産物の域内での流通促進の仕組みを構築するため、地元農産物の流通実態や需要量、供給可能量等の調査を一般社団法人農業開発研修センターへの委託により実施した。

事業内容	事業費(円)	財源内訳(円)			備考
		国府支出金	その他	一般財源	
以下を対象にヒアリング調査を実施 ・需要施設 15箇所(宿泊施設、飲食店、福祉施設、学校給食) ・生産者 11名 ・流通事業者 卸売5社	1,980,000	1,980,000	—	—	

## 第2節 畜産業振興

### 1 畜産業経営安定化対策事業

飼料作物の増産を図り、畜産経営の安定化に資するため、飼料作物を栽培した農家に対して支援した。

事業実施主体	事業内容	事業費(円)	財源内訳(円)			備考
			国府支出金	その他	一般財源	
1人	冬・夏作物60a	18,000	—	—	18,000	

## 第3節 農地

### 1 農業基盤整備事業

営農に不可欠な用水確保のための水路の改修等、農業生産基盤の保全を図るとともに、農業者等が共同で直接行う農道、水路の補修等に対し、必要な原材料を支給し、元気な里づくりに向けて生産基盤整備を支援した。

(1) 市単独事業

施行地区	事業概要	事業費(円)	財源内訳(円)			
			国府支出金	市債	その他(受益者分担金)	一般財源
小田	小香河用排水路1式	594,000	—	200,000	297,000	1,012,699
その他	修繕(農道・水路3件)	495,330				

	機械等使用料	93,500				
	原材料支給 8 件等	227,869				
	備品購入(積算用 P C)	99,000				
	合 計	1,509,699	—	200,000	297,000	1,012,699

(2) 業務委託

施行地区	事業概要	事業費(円)	財源内訳(円)		
			国府支出金	その他	一般財源
小田	竹ノ本用地調査業務 1 式	643,500	—	—	643,500

第 4 節 林業振興

1 緑の担い手等支援事業

地域林業の担い手である宮津地方森林組合が実施する組織強化及び作業員等の確保定着を図る取組を支援した。

(1) 林業労働者新共済事業

事業実施主体	事業内容	事業費(円)	財源内訳(円)			備考
			国府支出金	その他	一般財源	
宮津地方森林組合	長期事業 対象者 2 人	319,800	79,950 (府直接支払分)	—	79,950	自己資金(円) 159,900
	林業退職金助成事業 対象者 2 人	168,730	12,564	—	12,566	自己資金(円) 143,600
	合 計	488,530	92,514	—	92,516	303,500

(2) 緑の担い手育成事業

事業実施主体	事業内容	事業費(円)	財源内訳(円)			備考
			国府支出金	その他	一般財源	
宮津地方森林組合	新規就業者支援事業 対象者 1 人	61,300	27,333	—	13,667	自己資金(円) 20,300
	林業労働者就労環境支援事業 対象者 2 人	94,018	60,557	—	30,278	自己資金(円) 3,183
	合 計	155,318	87,890	—	43,945	23,483

2 林道等維持管理事業

林道の維持管理等を実施し、林業生産基盤の整備に努めた。

施行地区	事業概要	事業費(円)	財源内訳(円)	
			国府支出金 (きょうと地域連携交付金)	一般財源
丹後縦貫林道	除草工、側溝清掃工	1,980,000	990,000	990,000
	合 計	1,980,000	990,000	990,000

### 3 林道等整備事業

林道の改良工事等を行い、林業生産基盤の整備に努めた。

#### (1) 豊かな森を育てる府民税市町村交付金事業

施行地区	事業概要	事業費 (円)	財源内訳 (円)			
			国府支出金	市債	その他	一般財源
小田	杉山線 W=3.0m、L=182.0m アスファルト舗装工 A= 546 m <sup>2</sup>	1,900,800	1,882,320	—	—	18,480

### 4 森林整備事業

#### (1) 市有林管理等

事業内容	事業費 (円)	財源内訳 (円)			
		国府支出金	市債	その他	一般財源
宮津市字奥波見小字新宮 172 (保育間伐)	233,000	164,419	—	—	68,581
宮津地方森林組合事務手数料	16,441	—	—	—	16,441
合計	249,441	164,419	—	—	85,022

#### (2) モデルフォレスト運動

未来に向けて自然豊かな美しい森林を引き継ぐことを目的に、市内の企業・団体が参画した「宮津ふるさとの森を育てる協議会」(平成20年6月設立)により、植林・下草刈りなどの森林を守り育てるための活動を計画されたが、新型コロナウイルス感染症の影響で全て中止された。

### 5 森林管理事業

森林経営管理法に基づく新たな森林経営管理の取組みについて、適切な森林の経営管理が円滑に行われるよう、試行的に、1自治会を単位とするモデル区を1区設定し、意向調査や森林境界の明確化等を実施した。

事業内容	事業費 (円)	財源内訳 (円)			
		国府支出金	市債	その他 (基金繰入)	一般財源
森林境界明確化業務 (栗田新宮地区)	1,980,000	—	—	1,980,000	—
需用費 (消耗品図面コピー等)	5,093	—	—	5,000	93
合計	1,985,093	—	—	1,985,000	93

※令和4年度森林環境譲与税 13,900,000円

### 6 有害鳥獣防護対策事業

#### (1) 鳥獣被害防止総合対策事業への支援

農家組合の代表者、JA京都、猟友会、京都府、宮津市などで構成する宮津市野生鳥獣被害対策運営協議会が、国の支援制度(鳥獣被害防止総合対策交付金)を活用し、宮津市鳥獣被害防止計画に基づき実施する事業を支援した。

ア 推進（ソフト）事業

事業内容	事業費 (円)	財源内訳(円)		
		国府支出金	市補助金	関係者負担金
個体数調整 狩猟免許試験初心者講習受講料支援(1名) イノシシ・シカ捕獲用箱わな(4基)	286,840	139,000	7,000	140,840
実施隊特定活動 小動物捕獲用わな(10基)	99,000	99,000	—	—
ジビエ利用拡大 ジビエ活用研修会(1回)	170,949	170,000	949	—
その他 大型サル檻遠隔捕獲装置通信費ほか	133,370	—	133,370	—
合計	690,159	408,000	141,319	140,840

イ 整備（ハード）事業

区分	地区名	事業内容	事業費 (円)	財源内訳(円)		
				国府支出金	市補助金	関係者負担金
侵入防止策の整備	皆原	金網柵(H=2m) L=315m	794,167	794,000	—	167
	小田宿野	金網柵(H=2m) L=250m	580,833	580,000	—	833
	大西	メッシュ柵(H=2m) L=1,206m	2,466,688	2,466,000	—	688
	中津	メッシュ柵(H=2m) L=500m	1,009,256	1,009,000	—	256
	上世屋	メッシュ柵(H=2m) L=146m	312,442	312,000	—	442
	新宮	メッシュ柵(H=2m) L=2,324m	4,821,427	4,821,000	—	427
	皆原	メッシュ柵(H=1m) +電気柵3段 L=606m	1,074,668	1,074,000	—	668
	大西	メッシュ柵(H=1m) +電気柵3段 L=510m	951,753	951,000	—	753
	小田宿野	電気柵5段 L=160m	114,433	114,000	—	433
	今福	電気柵5段 L=1,532m	740,311	740,000	—	311
	須津	電気柵5段 L=602m	291,753	291,000	—	753
	喜多	電気柵5段 L=395m	197,450	197,000	—	450
	奥波見	既存メッシュ柵(H=1m) +電気柵3段 L=730m	236,797	236,000	—	797
合計	10地区13か所 L=9,276m	13,591,978	13,585,000	—	6,978	

7 有害鳥獣駆除対策事業

(1) 捕獲許可

京都府からの事務委任を受け、鳥獣（一部を除く）の捕獲許可業務を行った。

許可件数 350件

(2) 駆除委託

有害鳥獣捕獲許可に合わせ、市から一般社団法人京都府猟友会宮津支部猟友会及び上世屋獣



肉店へ捕獲個体の駆除・個体処分(ジビエ利用含む)の委託を行った。

事業内容	事業費 (円)	財源内訳(円)			備考
		国府支出金	その他	一般財源	
有害鳥獣駆除業務委託事業	6,806,000	4,845,000	—	1,961,000	
有害鳥獣駆除(ジビエ活用) 業務委託事業	1,200,000	900,000	—	300,000	シカ 100 頭
合 計	8,006,000	5,745,000	—	2,261,000	

○有害鳥獣駆除実績

種類	イノシシ	シカ	クマ	サル	アナグマ	アライグマ	ヌートリア	カラス	その他	計
捕獲数	71	514	10	6	35	2	2	0	44	684

(3) 有害鳥獣処理施設等の運営、整備

宮津市有害鳥獣処理施設及び宮津市有害鳥獣中間保管施設を運営し、捕獲個体の減容化処理を行った。また、有害捕獲個体の適正かつ効率的な処分を行うため、新たに宮津市有害鳥獣北部保管庫(大型冷凍庫)を設置した(令和5年度稼働)。

○処理実績 処理頭数：648頭(19,515kg)、処理回数：181回

○運営経費

支出内容	金額	備考
処理業務委託料	3,121,000円	宮津支部猟友会へ委託
施設運営費	8,619,081円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需用費(電気料、水道料、消耗品、修繕) 4,877,050円</li> <li>・手数料(くみ取り手数料、水質検査手数料) 109,011円</li> <li>・委託料(機械警備、臭気測定検査ほか) 3,611,520円</li> <li>・賃借料(施設借地料) 21,500円</li> </ul>
計	11,740,081円	

○北部保管庫整備

事業内容	事業費 (円)	財源内訳(円)			備考
		国府支出金	市債	一般財源	
コンテナ式冷凍庫、コンテナボックスほか	9,265,102	4,484,000	4,700,000	81,102	

(4) 宮津市鳥獣被害対策実施隊の活動等

狩猟免許所持者19名を宮津市鳥獣被害対策実施隊の隊員に委嘱し、銃器によるシカの捕獲対策強化及びサルの出没地域での追払い、パトロール、檻での捕獲対策等を図った。

また、有害鳥獣捕獲を行う担い手の育成を図るため、狩猟事故共済への加入支援を行った。

ア シカ及びサルの捕獲対策強化

事業内容	事業費 (円)	財源内訳(円)			備考
		国府支出金	その他	一般財源	
出動報奨金(シカ) 実施回数1回、16人	335,200	—	—	335,200	
出動報奨金(ニホンザル) 98日、延べ195人	975,000	—	—	975,000	
捕獲報奨金 ニホンザル捕獲6頭	12,000	—	—	12,000	
合 計	1,322,200	—	—	1,322,200	

イ 有害鳥獣捕獲の担い手育成

事業内容	事業費 (円)	財源内訳(円)			備考
		国府支出金	その他	一般財源	
狩猟事故共済等加入支援事業	48,540	24,000	—	24,540	

(5) シカ捕獲強化事業

急増するニホンジカについて、狩猟期間中の狩猟でニホンジカを捕獲した狩猟者に対して捕獲報奨金を給付し、捕獲活動の強化を図った。

事業内容	事業費(円)	財源内訳(円)			備考
		国府支出金	その他	一般財源	
捕獲報奨金 ニホンジカ捕獲 173 頭	1,297,500	692,000	—	605,500	

第5節 水産業振興

1 漁業の担い手の育成・支援事業

(1) 新規就業者の育成

漁業団体、京都府、沿岸市町などで構成する海の民学舎運営協議会において、7期生を対象に実践的な研修を行うとともに、8期生を対象に漁業就業に必要な基礎知識・技術習得に係る研修を行った。また、9期生の募集に向けてパンフレット・ポスター等を用いた広報PR、漁業就業支援フェアなどの活用を行い、募集活動を実施した。

○内 容 新規就業者育成講座事業(研修期間2年)

第7期生(R3～):7名 第8期生(R4～):2名

○負担金 120,000円

(2) 経営力の向上

海の民学舎生などの新規就業者の経営力を高めるとともに、新規就業者の漁村定着、漁業の経営開始を円滑に進めていく取組を実施した。

○内 容 経営力向上講座等事業

- ・帳簿付けや経営計画づくり講座(計5回)
- ・新技術導入等講座(計1回)
- ・経営安定化等研修(計1回)
- ・チューター(指導役)の配置(栗田地区1名)

○負担金 310,000円

2 強い水産業づくり支援事業

京都府漁業協同組合が実施する原木魚礁の設置及び漁場整備の支援、漁業者団体が実施する養殖アカモクの加工品開発及び販売促進を支援し、沿岸漁業の振興とつくり育てる漁業の推進に努めた。

(1) 漁業振興対策事業(府補助事業)

実施主体	事業名	施 工 場所等	事業内容	事業費 (円)	財源内訳(円)			備考
					国府支出金	その他	一般財源	
京都府 漁協	原木魚礁 設置事業	黒崎沖合 宮津湾内 阿蘇海	原木魚礁 534セット	2,071,300	932,000 (府直接支払分)	—	440,000	自己資金(円) 699,300

(2) 漁業振興対策事業（市補助事業）

実施主体	事業名	施工場所等	事業内容	事業費 (円)	財源内訳(円)			備考
					国府支出金 (きょうと地域連携交付金)	その他	一般財源	
京都府漁協	漁場整備事業	宮津湾内	備船 90 隻	900,000	225,000	—	225,000	自己資金(円) 450,000
京あかもく	養殖アカモク販売促進事業	養老地区	養殖アカモク加工品の開発、販売促進	417,574	105,000	—	105,000	自己資金(円) 207,574
合 計				1,317,574	330,000	—	330,000	657,574

3 水産業経営安定化対策事業

漁業者の経営安定を図るとともに、必要な資本整備を促すため、漁業者が借入れた漁業近代化資金に対する利子補給を行った。

事業内容	事業費(円)	財源内訳(円)			備考
		国府支出金	その他	一般財源	
3 経営体 計 7 件	404,469	—	—	404,469	

4 水産業施設指定管理

(1) 海洋釣り場

令和4年4月23日から11月28日までを営業期間としたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実質営業日を95日間とした。営業に当たっては、前年度に引続き、営業時間を30分短縮し、施設の消毒や手洗いの励行など対策を講じた。

営業日：土・日・月曜日の週3日

ア 指定管理者：小田宿野自治会

イ 利用状況等

利用区分		利用人員 (人)	指定管理料 (円)	利用料金収入等 (円)	管理経費 (円)	管理納付 金 (円)
釣り	大人	3,168	1,150,709	3,850,999	5,001,708	—
	小・中学生	563				
釣り以外	大人	248				
	小・中学生	18				
合 計		3,997				

## 第6節 水産業基盤整備

### 1 漁港管理事業

漁港施設等の維持管理を行い、漁港の適正管理に努めた。

漁港名	事業概要	事業費 (円)	財源内訳(円)			
			国府支出金 (きょうと地域連携交付金)	市債	その他 (受益者分担金)	一般財源
養老	岩ヶ鼻・大島・里波見 修繕(4か所)	181,725	289,000	-	82,582	1,832,218
栗田	島陰修繕	209,275				
田井	放置ごみ処理1式	438,900				
栗田	中津放置ごみ処理1式他	410,300				
その他	裁判費用他	963,600				
合計		2,203,800	289,000	-	82,582	1,832,218

### 2 海岸漂着物回収・処理事業

海岸における漂着物の回収及び処理を行い、海岸の環境保全に努めた。

施工場所等	事業概要	事業費 (円)	財源内訳(円)			
			国府支出金	市債	その他	一般財源
養老漁港海岸	海岸漂着物処分 手数料1件	46,335	564,000	-	-	169,215
田井・島陰漁港海岸	海岸漂着物処分 手数料3件業務2件	345,880				
漁港海岸全域	漁港海岸運搬処理 一括処分	341,000				
合計		733,215	564,000	-	-	169,215

### 3 海岸保全施設整備事業

高潮や波浪等から海岸を防護し、背後住民の生命・財産の安心・安全を図るため、海岸保全施設の整備を行った。

#### (1) 国庫補助事業

事業名	施工場所	事業概要	事業費 (円)	財源内訳(円)			
				国府支出金	市債 (過疎対策事業債)	その他 (受益者分担金)	一般財源
海岸保全 施設整備 事業 (R5へ繰越)	小田 宿野	小田宿野離 岸堤 L=50.0m	28,100,000 (51,900,000)	18,733,000 (34,600,000)	9,300,000 (17,300,000)	-	67,000 (0)
合計			28,100,000 (51,900,000)	18,733,000 (34,600,000)	9,300,000 (17,300,000)	-	67,000 (0)

## 第7節 災害復旧事業

### 1 農地農業用施設災害復旧事業

令和3年8月3日発生8月豪雨及び令和3年8月13日から15日発生8月前線豪雨により被災した農地について、復旧整備を行った。

#### (1) 国庫災害事業（3年災害 繰越分）

工事名	施行場所	事業概要	事業費 (円)	備考
岩戸農地災害復旧工事 農地:333-1	小田	農地:2工区 延長 L=14.0m 法面工 1式	1,730,300	
竹ノ本農地災害復旧工事 農地 333-2	小田	農地:1工区 延長 L=18.0m 法面工 1式	1,980,000	
夕子農地災害復旧工事 農地 333-3	奥波見	農地:2工区 延長 L=20.0m 法面工 1式	1,491,600	
合 計			5,201,900	財源内訳
集計 工事数: 3 工区数: 農地 5		補助金 4,559,749 分担金 250,175 市費 391,976		

## 第8節 自治振興交付金事業

### 1 自治振興交付金事業

各財産区特別会計から繰入を行い、地域振興のための取組みに対し、交付金を交付した。

交付先	区分	交付額(円)	概要
上宮津自治会	経常	114,896	地域振興（電柱占用料分）
	経常	1,850,000	地域振興（太陽光発電事業土地使用料分）
松尾自治会	経常	44,400	地域振興（電柱占用料分）
中津自治会	臨時	7,574,528	地域振興（山土採取補償金）
合 計（3地区）		9,583,824	※財源は、すべて財産区特別会計からの繰入金

## 第9節 財産区管理事業

### 1 上宮津財産区

分収造林事業を実施し、森林資源の保全、水源かん養及び土砂流出の防備等を行った。

#### (1) 分収造林事業（三者契約分）

施業場所	種別	植栽年度	延長・面積	事業費 (円)	備考
宮津市字喜多小字杉山 10392番地他	作業道	—	231m	330,000	
	除伐Ⅱ	S62・63年	8.46ha	1,854,600	
合 計	1団地			2,184,600	

※事業費は、すべて森林研究・整備機構から受託

## 2 吉津財産区

直営林の保育事業を実施し、森林資源の保全、水源かん養及び土砂流出の防備等に行った。

### (1) 直営林造林事業

施 業 場 所	種 別	面積 延長	事 業 費 (円)	財源内訳(円)	
				森林整備事業費補助金	一般財源
宮津市字須津 小字霞 172	搬出間伐	4.34ha	6,028,000	4,107,094	1,920,906
	作業道新設	650m			
事務手数料			410,707	—	410,707
合 計			6,438,707	4,107,094	2,331,613
立木売払い収入			1,504,359	—	

## 3 養老財産区

直営林の保育事業を実施し、森林資源の保全、水源かん養及び土砂流出の防備等に行った。

### (1) 直営林造林事業

施 業 場 所	種 別	面積 延長	事 業 費 (円)	財源内訳(円)	
				森林整備事業費補助金	一般財源
宮津市字里波見中畑 144 宮津市字田原真土 29 宮津市字大島向山 98-1	保育間伐	3.98ha	1,467,000	975,833	491,167
	枝打ち	3.74ha			
事務手数料			97,582	—	97,582
合 計			1,564,582	975,833	588,749

# 第11章 土木管理課

## 第1節 道路

### 1 道路・橋梁

#### (1) 道路現況総括表

区		分		数	量		
路		線		数			
				524 路線			
総		延		長			
				282,410m			
重		用		延			
				長			
				11,879m			
実		延		長			
				270,531m			
実 延 長 の 内 訳	改良済・未改良内訳		規格改良済延長		131,871m		
			未改良延長		138,660m		
	種類別 内訳	道路		延長		269,156m	
		橋梁	箇所数	永久橋		129箇所	
				非永久橋		17箇所	
				計		146箇所	
		延長		永久橋		1,161m	
				非永久橋		88m	
				計		1,249m	
		トンネル	箇所数		1箇所		
	延長		126m				
	幅員別 内訳	規格 改良済		車道 13.0m以上		330m	
				車道 5.5m以上		31,217m	
				車道 5.5m未満		100,324m	
		未改良		車道 3.5m以上		2,445m	
				車道 3.5m未満		136,215m	
うち自動車交通不能				51,049m			
路面別 内訳	砂利道				54,577m		
	舗装道	セメント系				58,894m	
		アスファルト系	高級				71,242m
			簡易				85,818m
		計				215,954m	
鉄道との交差箇所数				46箇所			
歩道延長				10,169m			

(資料：R4.3.31時点 道路台帳)

$$\text{改良率} = \frac{131,871\text{m}}{270,531\text{m}} \times 100 = 48.75\%$$

$$\text{舗装率} = \frac{215,954\text{m}}{270,531\text{m}} \times 100 = 79.83\%$$

(2) 市道路線の道路占用

・道路占用許可件数 87件

## 2 道路維持修繕事業

(単位：円)

事業費	財 源 内 訳		
	国府支出金	地 方 債	一般財源
28,736,979	11,209,500	—	17,527,479

・事業内訳

(単位：円)

事業名	施工場所	事業費	事業概要
工事請負費		12,618,100	
白柏川向線 道路維持工事	白柏	1,129,700	工事延長 L=15.4m 小型水路工 一式
須津線 舗装工事	須津	3,335,200	工事延長 L=75m 舗装工 一式
中津獅子線 舗装工事	獅子	3,077,800	工事延長 L=288.0m 舗装工 一式
小松浜1号線 道路維持工事	日置	2,168,100	工事延長 L=10.0m 小型水路工ほか 各一式
六反田ミサキ横道線 道路維持工事	矢原	2,907,300	工事延長 L=45.2m コンクリート舗装工 一式
委託料		1,694,306	道路除草
修繕料		8,348,619	小規模修繕
原材料費		126,929	
使用料及び賃借料		62,161	
負担金、補助 及び交付金		831,000	法定外公共物等整備事業費補助 1件
その他		5,055,864	会計年度任用職員報酬ほか
合計		28,736,979	



### 3 除雪事業

(単位：円)

事業費	財源内訳		
	国府支出金	地方債	一般財源
69,438,066	25,270,270	—	44,167,796

・事業内訳

(単位：円)

事業名	事業費	事業概要
委託料	49,593,910	・除雪期間 <山間部> 12月1日～3月15日 ※日ヶ谷・世屋・成相寺・辛皮地区 <準山間部> 12月1日～2月28日 ※養老・日置地区 <平野部> 12月15日～2月28日 ※その他の地区 ・除雪路線延長 125.6km ・作業日数 16日間 ・除雪機械 64台出動
使用料及び賃借料	19,610,760	
その他	233,396	
合計	69,438,066	

### 4 道路新設改良事業

(単位：円)

事業費	財源内訳 (( )は内R3繰越事業費)			
	国府支出金	地方債	その他	一般財源
(58,519,300)	(26,306,242)	(31,500,000)	—	(713,058)
128,149,197	55,850,159	68,600,000	—	3,699,038

・事業内訳

(単位：円)

事業名	施工場所	事業費 ( )はR3繰越事業費	事業概要
工事請負費		(53,910,300)	明許繰越分 53,910,300円
		92,805,200	令和4年度分 38,894,900円
鶴賀病院線 道路改良工事	外側・ 中ノ丁	(7,547,400) 11,129,000	工事延長L=114.9m 小型水路工ほか 各一式
浜坂線寺下橋ほか 橋梁保全工事	里波見他	(1,498,400) 1,498,400	橋梁保全工 N=2橋
宮津中学校線 舗装工事	小川	(17,443,800) 17,443,800	工事延長L=431.9m 舗装工 一式
宮津中学校線 道路改良工事(その2)	小川	(888,800) 888,800	工事延長L=25.6m 防護柵工 一式
上司脇線大雲橋 橋梁保全工事	脇	(1,751,200) 1,751,200	橋梁保全工 N=1橋
中田橋ほか1橋 橋梁撤去工事	里波見	(7,255,600) 14,053,600	橋梁撤去工 N=2橋

役場西山線 道路改良工事	中野	(1,252,900) 3,161,400	工事延長 L=22.3m ブロック積工 一式
島崎京口線ほか 通学路安全対策工事	市内 一円	(6,724,300) 6,724,300	工事延長 L=1383.0m 舗装工 一式
鶴賀病院線歩道拡幅工事に 伴う水道管移設工事	中ノ丁	1,201,200	水道管移設工 一式
鶴賀病院線 道路改良工事(その1)	中ノ丁	6,353,600	工事延長 L=63.8m 小型水路工 一式
役場西山線 道路改良工事	国分	3,226,300	工事延長 L=44.8m 小型水路工 一式
奥山西線薬師橋 橋梁保全工事	須津	797,500	橋梁保全工 N=1 橋
小田辛皮線 道路改良工事	小田	(9,547,900) 9,547,900	工事延長 L=40.0m ブロック積工 一式
小田辛皮線 道路改良工事	小田	15,028,200	工事延長 L=112.9m ブロック積工ほか 各一式
委 託 費		(4,609,000) 33,732,600	明許繰越分 4,609,000 円 令和4年度分 29,123,600 円
髪屋敷家ノ堂立線 測量設計業務	須津	(4,609,000) 4,609,000	測量設計 一式
上司脇線(大雲橋) 橋梁詳細設計業務	脇	15,701,400	橋梁詳細設計 一式
上司脇線(大雲橋) 土質調査業務	脇	4,037,000	土質調査 一式
橋梁定期点検業務	市内一円	6,359,100	市道橋梁点検 22 橋
中橋惣線ほか 用地測量業務	中ノ丁 ・吉原	2,379,300	用地測量 一式
中橋惣線ほか道路改良工事 に伴う用地調査業務	中ノ丁 ・吉原	646,800	用地調査 一式
そ の 他		1,611,397	需用費(消耗品・燃料) 使用料及び賃借料
合 計		(58,519,300) 128,149,197	明許繰越分 58,519,300 円 令和4年度分 69,629,897 円

## 5 交通安全施設整備事業

(単位：円)

事業費	財源内訳			
	国府支出金	地方債	その他	一般財源
3,029,916	910,500	—	—	2,119,416

・事業内訳

(単位：円)

事業名	施工場所	事業費	事業概要
修繕料		1,821,505	小規模修繕
その他		1,208,411	需用費(電気料、消耗品)
合計		3,029,916	

## 第2節 河川・砂防

## 1 河川管理事業

(単位：円)

事業費	財源内訳			
	国府支出金	地方債	その他	一般財源
9,637,877	3,140,620	4,500,000	—	1,997,257

・事業内訳

(単位：円)

事業名	施工場所	事業費	事業概要
工事請負費		1,663,200	
一本松川 河川改修工事	小田	1,663,200	工事延長L=40.0m 護岸工ほか 一式
委託料		3,633,500	
一本松川 用地測量業務	小田	2,150,500	用地測量 一式
河川改修工事に伴う 一本松川用地調査業務	小田	693,000	用地調査 一式
大手川除草業務	小田ほか	790,000	除草 一式
修繕料		4,224,577	小規模修繕
その他		116,600	使用料及び賃借料
合計		9,637,877	

## 2 河川整備事業

(単位：円)

事業費	財 源 内 訳 (( )は内 R3 繰越事業費)			
	国府支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
(118,810,432)	—	(118,800,000)	—	(10,432)
187,150,109	—	180,000,000	—	7,150,109

・事業内訳

(単位：円)

事業名	施工場所	事業費 ( )は R3 繰越事業費	事業概要
工事請負費		(115,423,500) 180,530,900	明許繰越分 115,423,500 円 令和4年度分 65,107,400 円
滝馬川 河川整備工事	滝馬	(101,263,800) 159,271,200	工事延長 L = 142.0m 護岸工ほか 各一式
滝馬川関連 迂回路整備事	滝馬	(14,159,700) 14,159,700	工事延長 L = 144.7m 舗装工ほか 各一式
滝馬川関連 道路改良工事	滝馬	7,100,000	前払金
委託料		(3,007,400) 5,009,400	
滝馬川河川整備に伴う防災行 政無線拡声子局移設業務	滝馬	2,002,000	防災無線移設 一式
滝馬川 用地測量業務	滝馬	(1,870,000) 1,870,000	用地測量 一式
滝馬川 用地調査業務	滝馬	(1,137,400) 1,137,400	用地調査 一式
公有財産購入費	滝馬	379,532	用地取得 6筆 119.99 m <sup>2</sup>
その他		1,230,277	用地補償費 一式
合計		(118,810,432) 187,150,109	明許繰越分 118,810,432 円 令和4年度分 68,339,677 円

## 3 急傾斜地崩壊対策事業

(単位：円)

事業名	施工場所	事業費	左 の 財 源 内 訳			事業概要
			地方債	その他	一般財源	
急傾斜地崩 壊対策事業 負担金	小田 宿野	8,000,000	—	800,000	7,200,000	工事費 事業費 40,000,000 円 市負担金 8,000,000 円 (40,000,000 円×20%) 地元分担金 800,000 円 (8,000,000 円×10%)
合計		8,000,000	—	800,000	7,200,000	

### 第3節 都市下水路等

#### 1 都市下水路管理事業

(単位：円)

事業費	財源内訳			
	国府支出金	地方債	その他	一般財源
9,329,401	1,444,500	5,500,000	—	2,384,901

・事業内訳

(単位：円)

事業名	施工場所	事業費	事業概要
工事請負費		6,405,300	
小川沈砂池他 浚渫工事	小川他	690,800	浚渫工 一式
東堀川下水路 整備工事	宮本	2,334,200	工事延長 L=40.6m 小型水路工 一式
中津下水路 整備工事	中津	3,380,300	工事延長 L=36.8m 小型水路工 一式
修繕料		2,819,101	小規模修繕
負担金、補助 及び交付金		105,000	雨水タンク購入費補助金 3件
合計		9,329,401	

#### 2 排水機場維持管理事業

(単位：円)

事業費	財源内訳		
	国府支出金	地方債	一般財源
6,147,779	—	—	6,147,779

・事業内訳

(単位：円)

事業名	事業費	事業概要
委託料	5,039,320	
保守点検及び運転管理業務	4,840,000	保守点検、運転管理
電気工作物保安管理業務	199,320	電気工作物保安管理
修繕料	55,000	放流ゲート表示ランプ交換
その他	1,053,459	需用費ほか
合計	6,147,779	

### 3 排水機場整備事業

(単位：円)

事業費	財源内訳			
	国府支出金	地方債	その他	一般財源
10,879,000	—	10,800,000	—	79,000

・事業内訳

(単位：円)

事業名	施工場所	事業費	事業概要
工事請負費		10,879,000	
浜町排水機場施設整備工事(その1)	浜町	10,010,000	小口径ポンプ更新ほか 各一式
浜町排水機場施設整備工事(その2)	浜町	869,000	電気配管更新 一式
合計		10,879,000	

## 第4節 土地利用等

### 1 地籍調査事業

(単位：円)

事業費	財源内訳		
	国府支出金	地方債	一般財源
5,032,204	—	—	5,032,204

・事業内訳

(単位：円)

事業名	事業費	事業概要
委託料	2,769,580	継続調査業務(府中・城南地区 0.47 km <sup>2</sup> ) 復元測量業務(府中・城南地区)
報酬等	2,025,274	会計年度任用職員報酬ほか
報償費	186,000	地籍調査実施推進委員会出席謝礼
その他	51,350	需用費ほか
合計	5,032,204	

### 2 法定外公共物(里道・水路等)の管理

#### (1) 占用許可状況

	里道	水路・河川等	計	占用料
継続	65件(23件)	107件(16件)	172件(39件)	371,160円
新規	1件(1件)	11件(10件)	12件(11件)	5,860円
廃止	0件(0件)	3件(0件)	3件(0件)	—
差引	66件(24件)	115件(26件)	181件(50件)	377,020円

( )は無償件数 内数

## (2) 境界確定状況

里 道	水路・河川等	計
2 件	0 件	2 件

## 第5節 災害復旧事業

## 1 公共土木施設災害復旧事業

(単位：円)

事 業 費	財 源 内 訳			
	国府支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
3,781,600	2,522,327	1,200,000	—	59,273

・事業内訳

(単位：円)

事 業 名	施工場所	事 業 費	事 業 概 要
工 事 請 負 費		3,781,600	
竹の本川 河川災害復旧工事	小田	(3,781,600) 3,781,600	工事延長 L=11.0m ブロック積工 一式
合 計		3,781,600	

# 第12章 都市住宅課

## 第1節 都市計画

### 1 宮津市都市計画審議会

都市の健全な発展と秩序ある整備により、国土の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与することを目的とした「都市計画」に関する審議組織として「宮津市都市計画審議会」を設置しているもの。

審議件数 0件

### 2 都市計画法の規定による許可及び届出

区 分	件数
都市計画施設の区域内の建築の許可（法第53条第1項）	0件
認可を受けた都市計画事業地内の建築等の許可（法第65条第1項）	0件
地区計画区域内の建築等の届出（法第58条の2第1項）	7件
地区計画区域内の建築等の変更届出（法第58条の2第2項）	0件

### 3 駐車場法に関する届出

駐車場法の規定による届出受理件数 0件

### 4 開発行為等

開発指導要綱に基づく指導

区 分	開発面積 1,000 m <sup>2</sup> 以上 3,000 m <sup>2</sup> 未満の開発行為	開発面積 3,000 m <sup>2</sup> 以上 の開発行為	中高層建築物 の建築	計
事前協議件数	0件	0件	0件	0件
同意又は許可件数	0件	0件	0件	0件

## 第2節 景観

### 1 宮津市景観審議会

良好な景観形成に関する審議組織として「宮津市景観審議会」及び「宮津市景観デザイン委員会」を設置しているもの。

名 称	審議件数
宮津市景観審議会	0件
宮津市景観デザイン委員会	1件

### 2 景観法の規定による届出等

区 分	件数
景観計画区域内の建築等の届出（法第16条第1項）	16件
景観計画区域内の建築等の変更届出（法第16条第2項）	0件
国、地方公共団体が行う第1項の行為の通知（法第16条第5項）	0件



### 3 景観まちづくり

#### (1) 景観まちづくり推進事業

宮津市まち景観形成協議会が行う普及啓発活動に対し支援した。

(単位：円)

事業費	財源内訳			
	国府支出金	地方債	その他	一般財源
30,000	—	—	—	30,000

#### (2) 界限景観まちづくり協定

締結時期	協定名称
H26.8	文珠メソッド
H27.8	大垣界限景観まちづくり協定
H28.6	溝尻界限景観まちづくり協定

#### (3) 街なみ修景助成事業

「界限景観まちづくり協定」に基づく民間建物の修景整備に対し助成した。

(単位：円)

事業費	財源内訳			
	国府支出金	地方債	その他	一般財源
3,000,000	1,500,000	—	—	1,500,000

修景助成活用状況

文珠地区	大垣地区	溝尻地区	計
1件	1件	0件	2件

## 第3節 公園

### 1 公園管理

#### (1) 宮津運動公園

ア 指定管理者制度による管理運営

指定管理者：公益財団法人宮津市民実践活動センター

指定管理料	管理経費	利用料金
15,301,942円	16,555,569円	1,253,627円

イ 利用状況

区分	開場日数	利用日数	利用日数 開場日数	件数	人数
	日	日	%	件	人
宮津市民球場	236	82	34.7	84	6,330
宮津市民グラウンド	308	103	33.4	110	8,375
宮津市民第1テニスコート	308	180	58.4	308	1,943
宮津市民第2テニスコート	308	0	0.0	0	0
合計	—	—	—	502	16,648

ウ 利用料金収納状況

区 分		件 数	利 用 料 金
施 設	宮津市民球場	84 件	566,820 円
	宮津市民グラウンド	99	242,331
	宮津市民第1テニスコート	289	285,480
	宮津市民第2テニスコート	0	0
	小 計	472	1,094,631
設 備	宮津市民グラウンド夜間照明	4	53,900
	宮津市民テニスコート夜間照明	22	28,392
	付属設備	72	76,704
	小 計	98	158,996
合 計		570	1,253,627

エ 利用区分

区 分	件 数	人 数
児童・生徒	167 件	9,328 人
一 般	335	7,320
合 計	502	16,648

(2) 府中公園

利用状況

区 分		件 数	利 用 人 数	使 用 料
施 設	テニスコート	0 件	0 人	0 円
	小 計	0	0	0
設 備	のびのび広場夜間照明	38	890	72,000
	テニスコート夜間照明	—	—	—
	自由広場夜間照明	—	—	—
	小 計	38	890	72,000
合 計		38	890	72,000

(3) 西宮津公園

利用状況

区 分	件 数	利 用 人 数	使 用 料
ゲートボール場(屋根付き)	76 件	811 人	59,430 円

2 公園改修等

安心・安全な公園管理を行い、計画的に施設の更新等を進めるため、14箇所の都市公園の長寿命化計画を策定するとともに、老朽化設備の取替を行った。

(単位：円)

事 業 費	財 源 内 訳			
	国府支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
9,246,600	4,147,000	600,000	—	4,499,600

事業内訳

(単位：円)

事業名	事業費	事業概要
宮津市都市公園施設長寿命化計画策定業務	8,294,000	調査及び長寿命化計画の策定
宮津運動公園第2高圧機器改修工事	660,000	変圧器1基取替
西宮津公園汚水用水中ポンプ取替	292,600	水中ポンプ2基取替
合計	9,246,600	

## 第4節 土地利用等

## 1 国土利用計画法の規定による土地取引の届出・処理状況

区分	届出照会 件数	内 訳			遊休土地 調査件数	無届調査 件数
		不勧告	取下	無届処理		
5,000㎡以上	0件	0件	0件	0件	0件	0件

## 2 公有地の拡大の推進に関する法律の規定による届出等

区 分	件数
土地を譲渡しようとする場合の届出（法第4条第1項）	0件
地方公共団体等に対する土地の買取り希望の申出（法第5条第1項）	0件

## 第5節 住宅

## 1 市営住宅等の管理戸数

(単位：戸)

区 分		令和3年度末 管理戸数	令和4年度中 増減戸数	令和4年度末 管理戸数
公 営 住 宅	木 造	49	0	49
	準耐火構造	208	△15	193
	耐火構造	117	0	117
そ の 他 住 宅	木 造	45	0	45
	準耐火構造	8	0	8
	耐火構造	52	0	52
合 計		479	△15	464

※タヶ丘団地の建替え工事に伴い、旧住宅15戸を除却

## 2 市営住宅入居者の募集状況と入居戸数の状況

公告年月日	公 募 団 地	募集戸数 (件)	入居申込 (件)	入居戸数 (戸)	備 考
R4.5.20	タヶ丘団地	1	3	1	
	東波路団地	1	1	1	
	宮村上団地	2	1	1	
	鳥が尾団地	2	0	0	
R4.7.28 (随時募集)	宮村上団地	1	1	1	
	鳥が尾団地	2	0	0	

R4. 10. 13	みやづ城東タウン (リノベーション住戸)	6	2	2	
R4. 10. 17	タヶ丘団地	1	2	1	
	宮村上団地	1	0	0	
	鳥が尾団地	3	0	0	
R4. 12. 20 (随時募集)	宮村上団地	1	1	1	
	鳥が尾団地	3	0	0	
R5. 1. 6 (随時募集)	みやづ城東タウン (リノベーション住戸)	4	4	4	
R5. 1. 17	みやづ城東タウン (リノベーション住戸)	6	6	4	2件辞退
R5. 3. 22 (随時募集)	みやづ城東タウン (リノベーション住戸)	2	2	2	
合 計		36	23	18	

### 3 市営住宅使用料

#### (1) 収納状況(駐車場使用料含む)

区 分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	
					R4年度	R3年度
現年度分	円 48,464,846	円 48,040,596	円 0	円 424,250	% 99.1	% 99.4
滞納繰越分	10,693,291	679,280	0	10,014,011	6.4	3.8
合 計	59,158,137	48,719,876	0	10,438,261	82.4	71.8

#### (2) 減免の状況

人 員	減免金額
155人	17,252,825円

### 4 市営住宅管理事業(みやづ城東タウン除く)

(単位:円)

区 分	事業費	財源内訳			事業概要
		国府支出金	地方債	一般財源	
管理経費	9,915,196	2,193,500	—	7,721,696	修繕料 5,047,848円 保守委託料ほか 4,867,348円

### 5 定住促進住宅管理事業(みやづ城東タウン)

(単位:円)

区 分	事業費	財源内訳			事業概要
		国府支出金	地方債	一般財源	
土地賃借料	3,022,462	—	—	3,022,462	7,890.26㎡
管 理 経 費	1,307,976	376,000	—	931,976	修繕料 817,572円 保守委託料ほか 490,404円
合 計	4,330,438	376,000	—	3,954,438	

## 6 定住促進住宅整備事業（みやづ城東タウンリノベーション）

移住・定住促進に向けた住環境を整えるため、住戸の間取り変更や設備更新などのリノベーションを実施。また、入居者資格を拡充して、単身者の入居も可能とし、福祉分野（医療、介護、保育）の就労者や40歳未満の若者が入居した。

（単位：円）

区 分	事業費	財源内訳				事業概要
		国府支出金	地方債	その他	一般財源	
工事請負費	40,964,000	—	30,700,000	10,000,000	264,000	12戸分
プロモーション経費	121,780	—	—	—	121,780	賃貸住宅情報サイト掲載料 入居者募集のぼりなど
そ の 他	1,733,600	—	—	—	1,733,600	エアコン、IH器具購入
合 計	42,819,380	—	30,700,000	10,000,000	2,119,380	

## 7 市営住宅環境整備事業

（単位：円）

事 業 名	事 業 費	財 源 内 訳			事業概要
		国府支出金	地方債	一般財源	
タヶ丘団地建替事業 （繰越明許分）	23,848,000	11,800,000	—	12,048,000	旧市営住宅解体工事

## 8 建 築

### （1）確認申請

建築基準法第6条第1項の規定による確認申請に必要な事前協議件数 63件

### （2）木造住宅の耐震化促進事業

（単位：円）

事 業 名	事 業 費	財 源 内 訳			事業概要
		国府支出金	地方債	一般財源	
木造住宅耐震診断事業	495,000	360,000	—	135,000	耐震診断 9件
木造住宅耐震改修助成事業	2,400,000	1,680,000	—	720,000	耐震改修助成等 本格改修 1件 簡易改修 2件
合 計	2,895,000	2,040,000	—	855,000	

# 第 13 章 上下水道課

## 第 1 節 水道

### 1 給水・水質の状況

#### (1) 施設数・人口・普及率

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

施設数	行政区域内人口 (A)	給水人口 (B)	普及率 (B) / (A)
28 箇所	16,554 人	16,553 人	99.99%

・内 訳

区 分	水道事業	その他給水施設	合 計
施設数	25 箇所	3 箇所	28 箇所
給水人口	16,533 人	20 人	16,553 人

#### (2) 量水器口径別設置数の状況

(単位:個)

口径 項目	13 ㍉	20 ㍉	25 ㍉	30 ㍉	40 ㍉	50 ㍉	75 ㍉	100 ㍉	合計
前年度末設置数	7,878	1,347	413	6	113	61	16	1	9,835
新規加入設置数	53	6	4	0	0	0	0	0	63
既設水道開栓数	352	139	15	0	3	2	1	0	512
既設水道閉栓数	536	166	26	0	3	5	2	0	738
年度末設置数	7,747	1,326	406	6	113	58	15	1	9,672

#### (3) 配水量の状況分析

年間配水量	2,664,288 m <sup>3</sup>
年間有収水量	2,245,576 m <sup>3</sup>
1日平均有収水量	6,152 m <sup>3</sup>
1人1日平均有収水量	372 ㍓
1日最大配水量	9,754 m <sup>3</sup>
有収率	84.28%

(4) 水質検査

水質検査は、水道法に基づく水質検査計画を策定し、水道事業 25 施設において実施しており、その結果はすべて水質基準に適合した水道水であった。また、水質検査の透明性を確保するため、水質検査計画と水質検査結果の公表を行った。

法定検査	種類 項目	毎日検査	毎月検査	3ヶ月検査	全項目検査
	検査項目数	3項目	9項目	21項目	原水：39項目 浄水：51項目
	箇所	浄水：25箇所	浄水：25箇所	浄水：25箇所	原水：46箇所 浄水：25箇所
	時期	毎日	毎月	4、7、10、1月	7月
独自検査	種類 項目	水質管理目標設定項目検査		指標菌検査	クリプトスポリジウム等検査
	検査項目数	原水：19項目 浄水：7項目	農薬類 原水：16項目	2項目	—
	箇所	1河川(大手川)	1河川(世屋川)	原水：46箇所	原水：7箇所
	時期	9月		4、7、10、1月	9月

2 経営概況

(1) 決算状況

ア 収益的収支・資本的収支

(単位：円)

収益的収支			資本的収支		
収入	支出	差引	収入	支出	差引
743,964,752	569,928,408	174,036,344	449,192,600	772,660,793	△323,468,193

※ 消費税及び地方消費税込みの金額

※ 資本的収支不足額は、建設改良積立金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補てん

イ 損益計算

(単位：円)

経常収支			特別損失	純利益
収益	費用	経常損益		
683,770,045	552,149,863	131,620,182	135,112	131,485,070
前年度繰越利益剰余金		その他未処分利益剰余金変動額	当年度末未処分利益剰余金	
6,107,270		40,000,000	177,592,340	

※ 消費税及び地方消費税抜きの金額

## (2) 経営・財務分析

区 分	算 出 方 法	数 値
総収支比率	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}}$	123.8 %
営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費}}$	102.5 %
供給単価(税抜)	$\frac{\text{給 水 収 益}}{\text{年間総有収水量}}$	229.21 円/m <sup>3</sup>
給水原価(税抜)	$\frac{\text{経常費用}-\text{受託工事費}-\text{材料売却原価}-\text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	215.53 円/m <sup>3</sup>

## (3) 水道使用料の収納状況 (上段：件数(件) 下段：金額(円))

区 分	調 定	収 入	徴収停止等	未 収	収納率 (%)
現年度	(121,464)	(111,208)	(-)	(10,256)	92.20
	566,096,224	521,935,926	-	44,160,298	
滞納 繰越	(13,183)	(10,640)	(123)	(2,420)	74.26
	64,062,953	47,576,195	182,354	16,304,404	
合 計	(134,647)	(121,848)	(123)	(12,676)	90.38
	630,159,177	569,512,121	182,354	60,464,702	

## &lt;参考&gt;現年度分で令和5年5月末までの水道使用料の収納状況 (上段：件数(件) 下段：金額(円))

調 定	収 入	徴収停止等	未 収	収納率 (%)
(121,464)	(121,255)	(-)	(209)	99.87
566,096,224	565,343,603	-	752,621	

## (4) 企業債・地方債の借入状況 (単位：円)

令和3年度末借入残高	令和4年度借入額	令和4年度償還額	令和4年度末借入残高
4,010,110,398	411,300,000	245,087,657	4,176,322,741

## 3 水道工務

## (1) 給水装置工事の承認件数 (単位：件)

新 設	全面改造	一部改造 (修繕)	撤 去	合 計
41	40	34	5	120

## (2) 配水管等の布設状況

令和4年度末 導送配水管総延長			
導水管	送水管	配水管	合計
km	km	km	km
17.5	6.1	184.0	207.6



#### 4 水道施設建設改良事業の状況

##### (1) 事業費と財源内訳

(単位:円)

事業費	財源内訳		
	国府支出金	地方債	その他
527,374,773	31,868,000	411,300,000	84,206,773

##### ・事業内訳

(単位:円)

事業名	施工場所	事業費	事業概要
<b>【拡張改良事業】</b>			
滝馬川河川改修に伴う水道管移設工事 <繰越事業>	滝馬	836,000	仮設給水管設置 L=256.0m 給水管工 N= 6 箇所
配水管布設替関連舗装工事 <繰越事業>	島陰	17,316,200	アスファルト舗装工 A= 1,705.3 m <sup>2</sup>
配水管布設替工事 <繰越事業>	獅子崎	20,790,000	DIP-GX φ 150 L=267.0m 給水管工 N=6 箇所
配水管布設工事	島崎	38,405,400	DIP-GX φ 150 L=153.0m DIP-GX φ 100 L= 15.0m DIP-GX φ 75 L= 75.0m
配水管布設及び布設替工事	須津	9,205,900	DIP-GX φ 75 L= 75.0m DIP-GX φ 100 L= 14.4m 給水管工 N= 8 箇所
府道舞鶴宮津線改良に伴う配水管布設工事	皆原	3,340,700	DIP-GX φ 100 L= 70.5m 給水管工 N= 1 箇所
中田橋橋梁撤去に伴う配水管撤去工事	里波見	3,342,900	不断水バルブ設置 N= 2 箇所 給水管工 N= 9 箇所
配水管布設替関連舗装工事	喜多 (鳥が尾)	16,165,600	アスファルト舗装工 A=2,805.4 m <sup>2</sup>
配水管布設替関連舗装工事	獅子崎	8,082,800	アスファルト舗装工 A=1,094.3 m <sup>2</sup>
<b>【浄水場整備事業】</b>			
上宮津浄水場改修工事 (その 3) <事故繰越・繰越事業>	小田	125,741,000	急速攪拌機設備 1 式 沈殿池気圧式排泥設備 1 式 電気計装設備工事 1 式 ほか
上宮津浄水場改修工事 (その 4) <繰越事業>	小田	93,228,300	耐震補強工事 1 式 沈砂池改修工事 1 式 配管布設工事 1 式 ほか

上宮津浄水場改修工事 (その4の2) ＜繰越事業＞	小田	54,793,200	取水ポンプ整備工事 1式 灌漑用ポンプ整備工事 1式 排砂ポンプ設備工事 1式 ほか
浄水場浄水処理改良工事	奥波見 日ヶ谷	1,039,500	薬品注入設備改良工事 1式
工 事 費 計 (A)		392,287,500	
上宮津浄水場改修工事施工監理 業務委託 ＜事故繰越＞	小田	4,950,000	施工監理業務 1式
上宮津浄水場改修工事(その4) 施工監理業務委託 ＜繰越事業＞	小田	7,480,000	施工監理業務 1式
惣踏切軌道下推進工他詳細設計 業務委託 ＜繰越事業＞		11,913,000	詳細設計業務 1式
由良水脈ボーリング調査業務委託	由良	9,218,000	ボーリング調査業務 1式
水道標準プラットフォームによる 台帳アプリケーション提供業務		267,520	台帳データ構築業務 1式
宮津市水道施設情報管理システム 構築業務委託		55,979,000	基本設計業務 1式 管路データ構築業務 1式 管網解析業務 1式 ほか
宮津市遠隔監視、遠隔操作システム 実施設計業務委託		20,020,000	詳細設計業務 1式
委 託 費 計 (B)		109,827,520	
資 産 購 入 費 (C)		1,301,960	量水器購入
他会計負担金 (D)		5,296,540	
事 務 費 (E)		18,661,253	
合 計 (A)+(B)+(C)+(D)+(E)		527,374,773	

5 水道事業に係る主な委託業務の状況

(単位：円)

費目	委託業務名	委託金額	委託業務の内容
原水及び浄水費	ろ過池砂削り取り等業務	9,338,916	浄水場ろ過池の砂削り取り等
	ろ過砂補充業務	9,508,400	浄水場ろ過池の砂補充
	浄水場管理業務 ほか	24,583,086	浄水場の運転管理等
	水質検査業務	5,500,000	原水及び浄水の水質検査
	井戸孔内洗浄業務	3,083,300	取水用井戸の洗浄
配水及び給水費	量水器取替業務	4,511,166	量水器（水道メーター）の取替
	給水装置工事検査等 補助業務	1,584,000	給水装置工事に係る検査補助業務
総係費	水道事業窓口業務等	30,096,000	窓口、開閉栓、検針、調定、収納に係る業務等

第2節 下水道

1 整備及び水洗化状況

(1) 面積整備率・人口普及率の状況

区分	面積整備率			人口普及率		
	計画面積	整備面積	整備率	行政区域内人口	処理人口	普及率
令和4年度末の状況	504.6ha	475.3ha	94.2%	16,554人	11,978人	72.4%

(2) 処理水量等の状況分析

年間総処理水量	1,299,350 m <sup>3</sup>
年間有収水量	1,279,850 m <sup>3</sup>
1日平均有収水量	3,506 m <sup>3</sup>
1人1日平均有収水量	341ℓ
有収率	98.50%

(3) 水洗化促進対策

宮津市に住所を有し 65 歳以上の者で構成される世帯を対象として、供用開始から 3 年以内に下水道に接続するための排水設備工事を行った者に対し、10 万円/件を限度とした高齢者世帯排水設備整備費補助金を交付した。

補助限度額	交付件数	補助金交付総額
10 万円/件	4 件	400,000 円

(4) 水洗化の状況

区 分	宮津・ 上宮津	栗 田	須津・文珠	府 中	計
令和 4 年度排水設備工事件数	43	1	6	7	57
令和 4 年度末水洗化世帯	3,875	124	542	275	4,816
令和 4 年度末水洗化率	86.7%	95.4%	82.2%	40.5%	85.9%

2 経営概況

(1) 決算状況

ア 収益的収支・資本的収支

(単位：円)

収 益 的 収 支			資 本 的 収 支		
収 入	支 出	差 引	収 入	支 出	差 引
859,638,932	866,406,617	△6,767,685	499,866,960	791,889,238	△292,022,278

※ 消費税及び地方消費税込みの金額

※ 資本的収支不足額は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補てん

イ 損益計算

(単位：円)

経 常 収 支			特別利益	特別損失	純 損 失
収 益	費 用	経常損益			
833,897,727	845,360,719	△11,462,992	0	0	11,462,992
前年度繰越欠損金		その他未処分利益剰余金変動額	当年度末未処理欠損金		
△1,005,558,510		0	△1,017,021,502		

※ 消費税及び地方消費税抜き金額

(2) 経営・財務分析

区 分	算 出 方 法	数 値
総収支比率	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}}$	98.6 %
営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費}}$	32.9 %
使用料単価(税抜)	$\frac{\text{使 用 料 収 益}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	191.99 円/m <sup>3</sup>

## (3) 下水道使用料の収納状況

(上段:件数(件) 下段:金額(円))

区 分	調 定	収 入	不納欠損処分	未 収	収納率 (%)
現年度	(62, 187)	(56, 864)	(-)	(5, 323)	92.07
	270, 259, 979	248, 815, 650	-	21, 444, 329	
滞 納 繰 越	(6, 569)	(5, 467)	(47)	(1, 055)	78.13
	30, 622, 639	23, 925, 607	80, 071	6, 616, 961	
合 計	(68, 756)	(62, 331)	(47)	(6, 378)	90.65
	300, 882, 618	272, 741, 257	80, 071	28, 061, 290	

&lt;参考&gt;現年度分で令和5年5月末までの下水道使用料の収納状況 (上段:件数(件) 下段:金額(円))

調 定	収 入	不納欠損処分	未 収	収納率 (%)
(62, 187)	(62, 047)	(-)	(140)	99.84
270, 114, 155	269, 679, 566	-	434, 589	

## (4) 企業債・地方債の借入状況

(単位:円)

令和3年度末借入残高	令和4年度借入額	令和4年度償還額	令和4年度末借入残高
9, 120, 920, 857	386, 900, 000	700, 285, 650	8, 807, 535, 207

## (5) 他会計借入金の借入状況

(単位:円)

令和3年度末借入残高	令和4年度借入額	令和4年度償還額	令和4年度末借入残高
0	48, 200, 000	0	48, 200, 000

## 3 受益者負担金の賦課等・収納状況

## (1) 賦課等の状況

区 分		件数(件)	面 積 (㎡)	金 額 (円)
対象区域 (賦課)	今 年 度 分	13	13, 619. 52	3, 321, 770
	4 年 度 末 合 計	14, 877	3, 278, 467. 17	1, 307, 601, 980
減 免	今 年 度 分	3	5, 900. 12	1, 297, 040
	4 年 度 末 合 計	3, 324	795, 276. 21	296, 553, 670
猶 予	今 年 度 分	0	0	0
	4 年 度 末 合 計	2, 485	738, 492. 63	295, 377, 060
徴収対象	今 年 度 分	10	7, 719. 40	2, 024, 730
	4 年 度 末 合 計	9, 068	1, 744, 698. 33	715, 671, 250

## (2) 収納状況

(上段：件数(件) 下段：金額(円))

区分	調定	収入	不納欠損処分	未収	収納率(%)
現年度	(326) 6,117,420	(303) 5,686,480	(-) -	(23) 430,940	92.96
滞納繰越	(51) 808,375	(23) 476,684	(-) -	(28) 331,691	58.97
合計	(377) 6,925,795	(326) 6,163,164	(-) -	(51) 762,631	88.99

## 4 宮津湾流域関連宮津市公共下水道事業

## (1) 事業費と財源内訳

(単位：円)

事業費	財源内訳		
	国府支出金	地方債	その他
91,603,588	0	82,600,000	9,003,588

## ・事業内訳

(単位：円)

事業名	施工場所	事業費	事業概要
宮津第7処理分区滝馬川改修関連宅内ポンプ設置工事 <繰越事業>	滝馬	5,500,000	汚水ポンプφ50 N=2台 電気設備 N=1式
府中第1処理分区管渠整備工事 <繰越事業>	大垣	4,397,800	管渠工 (PRPφ150) L=65.2m マンホール工 N=8箇所 取付管及びます工 N=2箇所
宮津第6処理分区宅内ポンプ設置工事 <繰越事業>	今福	5,390,000	汚水ポンプφ50 N=2台 電気設備 N=1式
滝馬川改修に伴う下水道管移設工事 <繰越事業>	滝馬	24,400,200	仮設配水管 N=1式 管渠工 (VUφ100) L=4.0m マンホール工 N=1箇所
府中第1処理分区管渠整備工事 <繰越事業>	天橋	3,936,900	管渠工 (VUφ100) L=38.7m マンホール工 N=1箇所 取付管及びます工 N=1箇所
宮津第2-1処理分区管渠整備工事	問屋町	3,778,500	管渠工 (VUφ150) L=30.0m マンホール工 N=1箇所 取付管及びます工 N=1箇所
宮津第9処理分区関連舗装工事	杉末	3,302,200	アスファルト舗装工 A=242.9m <sup>2</sup>
公共汚水柵設置工事	下水区域内	3,135,550	公共汚水柵設置工 7箇所
工事費計(A)		53,841,150	
委託費計(B)		0	
負担金(C)		28,861,234	宮津湾流域下水道建設負担金
事務費(D)		8,901,204	
合計 (A)+(B)+(C)+(D)		91,603,588	

## 5 京都府宮津湾流域下水道事業

(単位：円)

事業名	負担金	左 の 財 源 内 訳	
		地方債	その他
宮津湾流域下水道維持 管理負担金	276,008,218	0	276,008,218

## 6 下水道事業に係る主な委託業務の状況

(単位：円)

費 目	委 託 業 務 名	委 託 金 額	委 託 業 務 の 内 容
管渠費	管渠清掃・点検業務	1,650,000	下水道管渠の清掃及び点検
	排水設備工事検査等 補助業務	1,584,000	排水設備工事に係る検査補助業務
ポンプ場費	マンホールポンプ清掃業務	499,400	マンホールポンプ清掃
	マンホールポンプ設備維持 管理業務委託	2,921,232	マンホールポンプの点検 ※臨時点検分を含む
総係費	公共下水道使用料徴収事務	12,436,441	公共下水道使用料に係る賦課及び収 納業務

## 第14章 会計課

宮津市会計課設置規則(昭和60年規則第6号)第3条の規定に基づき、現金・有価証券の出納保管、収入・支出命令の審査、支出負担行為の確認及び決算調製等を行った。

### 1 歳計現金及び基金

歳計現金及び基金に属する現金の出納及び保管を行った。

#### (1) 歳計現金の運用状況

歳計現金について、支払いまでに余裕のある間、資金を定期預金等で運用した。

金融商品	運用回数	延運用金額	延運用日数
定期預金	3回	22.0億円	104日
譲渡性預金	3回	13.0億円	68日
計	6回	35.0億円	172日

### 2 歳入歳出外現金

宮津市財務規則第171条の規定に基づき、保管金等の区分により出納及び保管を行った。

### 3 指定金融機関等の検査

地方自治法施行令第168条の4の規定に基づき、指定金融機関等の検査を行った。

実施日	金融機関
令和5年2月14日	(株)京都銀行宮津支店・京都北都信用金庫本店・宮津郵便局



# 第15章 学校教育課

## 第1節 管理運営

### 1 教育委員会教育委員

教育長職務代理者 伊藤 正

教育委員 伊藤 正、田崎浩二、尾崎里花子、藤井陽子

### 2 委員会の審議状況

会議	開催日	主な内容
第6回定例会	R4. 4. 26	宮津市社会教育委員の委嘱についてほか
第7回定例会	R4. 5. 24	専決処分の承認を求めることについてほか
第8回定例会	R4. 6. 29	教育長報告ほか
第9回定例会	R4. 7. 21	委員会及び学校その他の教育機関の職員（府費負担教職員を除く。）で、臨時的任用及び会計年度任用職員の任免についてほか
第10回定例会	R4. 8. 25	令和5年度宮津市立小学校使用教科用図書の採択についてほか
第11回定例会	R4. 9. 29	教育長報告ほか
第12回定例会	R4. 10. 26	教育長報告ほか
第13回定例会	R4. 11. 24	令和4年度宮津市一般会計補正予算（第7号）（教育委員会関係分）についてほか
第14回定例会	R4. 12. 22	令和5年度事務局及び学校その他の教育機関の職員（府費負担教職員を除く。）の定期人事異動方針についてほか
第1回定例会	R5. 1. 26	教育長報告ほか
第2回定例会	R5. 2. 16	宮津市育英資金貸付基金条例の廃止についてほか
第3回臨時会	R5. 2. 24	宮津市立小中学校の校長及び教頭の任免内申についてほか
第4回臨時会	R5. 3. 10	宮津市立小中学校の教職員（一般職）の任免内申についてほか
第5回定例会	R5. 3. 28	令和5年度宮津市教育の重点についてほか

### 3 宮津市総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第1条の4第1項の規定に基づき、宮津市総合教育会議を開催した。

[宮津市総合教育会議メンバー：市長、教育長、教育長職務代理者、教育委員]

開催日	主な内容
R5. 1. 26	宮津の新しい教育の創造に向けて <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度教育委員会事務事業点検評価について</li> <li>・明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成</li> <li>・豊かな心と体を育む文化芸術・スポーツの推進</li> </ul>

## 第2節 学校教育

### 1 児童生徒数（令和4年度学校基本調査）

#### (1) 幼稚園 (単位：人)

区 分	3歳児	4歳児	5歳児	計
宮津幼稚園	6	10	5	21
栗田幼稚園	2	8	3	13
由良幼稚園	(平成25年4月1日付けで休園中)			
計	8 (16)	18 (8)	8 (17)	34 (41)

#### (2) 預かり保育 (単位：人日)

区 分	3歳児	4歳児	5歳児	計
宮津幼稚園	427	1,200	402	2,029
栗田幼稚園	23	840	267	1,130
由良幼稚園	(平成25年4月1日付けで休園中)			
計	450 (1,140)	2,040 (655)	669 (1,633)	3,159 (3,428)

#### (3) 小学校 (単位：人)

区 分	通常学級							特別支援学級						合計	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年		計
宮津小学校	55	66	59	73	73	79	405	-	-	2	-	-	4	6	411
栗田小学校	11	12	13	17	6	11	70	-	-	-	1	-	1	2	72
吉津小学校	8	6	10	5	9	8	46	3	-	-	2	1	-	6	52
府中小学校	13	13	13	8	14	12	73	-	2	-	4	-	-	6	79
日置小学校	8	4	4	4	4	5	29	-	1	1	-	-	-	2	31
養老小学校	2	1	-	1	5	6	15	-	-	-	-	1	-	1	16
計	97 (99)	102 (100)	99 (108)	108 (109)	111 (121)	121 (104)	638 (641)	3 (5)	3 (2)	3 (6)	7 (3)	2 (5)	5 (5)	23 (26)	661 (667)

#### (4) 中学校 (単位：人)

区 分	通常学級				特別支援学級				合計
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
宮津中学校	65	71	81	217	3	2	4	9	226
栗田中学校	11	17	17	45	1	-	-	1	46
計	76 (88)	88 (97)	98 (93)	262 (278)	4 (2)	2 (4)	4 (3)	10 (9)	272 (287)

※各表中下段（ ）は、前年度の人数

### 2 幼稚園保育料等収納状況

#### (1) 預かり保育料 (単位：円)

区 分	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額
現 年 分	57,150 (15,750)	57,150 (15,750)	- (-)	0 (0)
計	57,150 (15,750)	57,150 (15,750)	- (-)	0 (0)

※表中下段（ ）は、前年度の保育料。令和元年10月より幼児教育・保育の無償化開始。

### 3 教材教具充実状況

(単位:円)

小 学 校				中 学 校			
区 分	金 額		国庫補助金	区 分	金 額		国庫補助金
教材備品	6校	1,925,658		教材備品	2校	1,076,195	
理科教材等備品	内訳	理科	算数	理科教材等備品	内訳	理科	数学
	宮津	0	0		宮津	694,320	0
	栗田	293,150	38,280		栗田	0	0
	吉津	72,600	0				
	府中	86,900	0				
	日置	169,950	0				
	養老	0	0				
	小計	622,600	38,280		323,000	小計	694,320
計	2,586,538 (4,860,298)		323,000 (325,000)	計	1,770,515 (1,651,100)		352,000 (352,000)

※表中下段( )は、前年度の金額

### 4 就学援助費

経済的理由等によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行った。また、令和4年度からオンライン学習通信費を新たに支給品目に追加した。なお、準要保護世帯に係る就学援助費について、平成28年度から支給割合を国単価の90%から100%に引き上げるとともに、平成31年4月の小・中学校入学予定者から新入学児童生徒学用品費の入学前支給を行っている。

区 分	小 学 校			中 学 校			
	人員	金 額	国庫補助金	人員	金 額	国庫補助金	
要・準要保護就学援助費	新入学学用品費	5人	256,822円	0	1人	60,000円	0
	学用品費	169	1,882,747		85	1,898,047	
	体育実技用具費	-	-		7	34,000	
	修学旅行費	46	1,447,047		28	1,933,334	
	校外活動費(宿泊を伴うもの)	-	-		-	-	
	校外活動費(宿泊を伴わないもの)	167	267,200		84	194,040	
	通学用品費	147	333,690		60	136,200	
	学校給食費	169	7,578,107		85	4,111,110	
	クラブ活動費	5	900		83	904,036	
	PTA会費	131	260,900		77	183,900	
	生徒会費	-	-		85	38,760	
	医療費・通院費	5	2,600		3	1,000	
	卒業アルバム代	33	270,920		32	281,600	
	オンライン学習通信費	105	745,732		77	563,909	
	小 計	995[183]	13,749,445		0	739[117]	
特別支援教育就学奨励費	新入学学用品費	3	76,665	127,000	2	57,980	67,000
	学用品費等	5	29,100		2	22,740	
	体育実技用具費	-	-		-	-	
	修学旅行費	-	-		-	-	
	校外活動費(宿泊を伴うもの)	-	-		-	-	
	校外活動費(宿泊を伴わないもの)	-	-		2	2,310	

学校給食費	5	117,500		2	50,605	
オンライン学習通信費	2	14,000		-	-	
通級費	7	17,411		-	-	
小 計	22 [12]	254,676	127,000	8 [2]	133,635	67,000
合 計	1,017[195] (948[214])	14,004,121 (13,748,400)	127,000 (133,000)	747 [119] (801[128])	12,489,571 (13,445,242)	67,000 (61,000)

※[ ]内は実人員

※表中下段( )は、前年度の実績

## 5 遠距離通学費

宮津市立小中学校等へ遠距離通学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な運営に資するため、次のとおり補助を行った。

- (1) 徒歩又は自転車で通学する児童生徒で、当該児童生徒の住居から学校所在地までの通学距離が、小学校にあつては4キロメートル以上、中学校にあつては6キロメートル以上であること。
- (2) 小学校児童の住居から登校班等の集合場所までの距離が1キロメートル以上であり、かつ、学校長が児童の通学安全対策上、登校班等の集合場所まで保護者による自動車等での送迎が必要であると認めたものであること。
- (3) 学校長が、児童生徒の通学安全対策上、公共交通機関の利用を認めたものであること。

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
保護者送迎	2 人	1,434 円	- 人	- 円
鉄道通学費	-	-	9	424,170
バス通学費	29	748,610	-	-
計	31	750,044	9	424,170

## 6 私学振興補助事業

私立幼稚園等の振興を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減を図るため、次のとおり助成した。(単位:円)

事 業 名	金 額	左 の 財 源 内 訳			
		国府支出金	地方債	その他	一般財源
私立幼稚園振興補助金	120,000	-	-	-	120,000
施設等利用費等	9,696,787	7,437,675	-	-	2,259,112
実費徴収に係る補足給付事業 (副食費の補足給付)	172,379	114,000	-	-	58,379

※令和元年10月より幼児教育・保育の無償化開始。

## 7 育英資金貸付状況

学校教育法に定める高等学校等に在学する生徒等で、経済的負担の軽減を必要とし、かつ、学業成績が良好なものに対し貸付を行う育英資金貸付事業について、令和2年度から高等学校授業料が実質無償化とされたこと及び府等の貸付制度が拡充されたことを踏まえ、本市の貸付事業を廃止し、基金の残余財産を「子ども若者未来応援基金」に積み立てた。

- ・令和4年度末基金残余財産 16,403,117円

・育英資金貸付残高

	件数	金額
貸付総数	63件	78,399,500円
完納	23件	61,431,200円
返還中	40件	16,968,300円

## 8 基礎学力充実支援事業

基礎学力の定着を図る学習指導の資料とするため、全国学力・学習状況調査に取り組むほか、市の独自措置として、総合学力調査を実施した。これらの調査結果を踏まえ、各校において学力向上を図るため、授業の指導改善を実施した。

(1) 全国学力・学習状況調査（該当児童生徒全員）

小学6年生	中学3年生
126人	102人

(2) 総合学力調査（該当児童生徒全員）

小学2年生	小学3年生	小学5年生	中学2年生
105人	102人	113人	90人

## 9 漢字・英語検定料助成事業

小中学校が取り組む漢字・英語検定について、保護者の負担を軽減し、もって児童生徒の国語・英語力及び学習意欲の向上を図るため、検定の受検に要する経費を全額助成した。

漢字検定料の助成について、令和3年度から小学生のみを対象とした。

(1) 漢字検定料助成（対象：小学4年生・6年生）

小学4年生	補助金交付額	小学6年生	補助金交付額
115人	223,500円	123人	245,500円

(2) 英語検定料助成（対象：中学1年生・3年生）

中学1年生	補助金交付額	中学3年生	補助金交付額
78人	212,800円	95人	360,100円

※英語検定は中学校のみ実施

## 10 教育実践研究事業

(1) 学力向上プログラム

各小中学校において「宮津市学力向上プログラム」に基づき、児童生徒の学力向上を図るため、小中一貫教育を通して「質の高い学力の充実・向上」を目標にし、取組を進めた。基礎・基本の徹底、論理的思考力や表現力の育成、ICTを活用した学習意欲の喚起、個別最適な学びと協働的な学びの実現を推進した。

実施校	取組内容	取組成果
全小中学校	単元を通した「身に付けたい力」の明確化、小中一貫教育カリキュラムの活用、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善、語彙力・英語力の向上、「ふるさとみやづ学」の実践、ICT機器を活用した授業改善等	組織的・系統的な指導と評価活動を通して、児童生徒の目的意識や挑戦する意欲が向上し、認知能力と非認知能力の一体的な育成が進められた。また、授業改善による教師の指導力向上、家庭と連携した学習の取組が図られた。

(2) 豊かな学び・文化体験活動推進授業

大学や研究機関との連携などにより、子ども達の学習に対する興味・関心を喚起するととも

に、地域の伝統や文化を大切にする心や豊かな人間性を育み、未来の作り手となる子ども達を育成するため体験授業に取り組んだ。

実施校	取組内容	取組成果
府中小学校	出前授業「星・太陽・地球」 京都大学大学院理学研究所附属天文台 元准教授 北井 礼三郎 先生	3次元眼鏡をかけて宇宙を立体的に眺め、時間を進めたり遅らせたりする4次元デジタルシアターによる星の動きの確認など、子ども達の学習意欲を高め、宇宙や星に高い感心を持たせる結果となった。
吉津小学校 府中小学校 日置小学校 養老小学校	出前授業「世界の魚を追いかける」 京都大学フィールド科学教育研究センター 教授 三田村 啓理 先生	小型の発信機や記録計を海や川の生き物につけて行動調査を行う様子や、その調査から分かった魚の行動などを学び、子ども達の学習意欲が高まった。また、4小学校同時のリモート授業としたことにより学校間の交流も図られた。

### (3) 環境教室実施事業

小学校の児童が自分たちの居住地域の自然環境について理解するため、特定非営利活動法人地球デザインスクールに委託し、インストラクターによる環境教育プログラム等に基づく環境教室に取り組んだ。

実施校	対象学年	取組内容	取組成果
栗田、吉津、府中、日置小学校	4年生	ビジットプログラム等（訪問授業）の実施	環境をテーマとした授業実践を通して人間と環境との関わりの大切さを学んだ。

## 11 宮津市教育支援センター

「宮津市教育支援センター」として、子どもや保護者、幼稚園や小中学校の教職員等の教育相談に応じ、問題解決に向けた支援を行う教育相談室「こころのまど」と、不登校及び不登校傾向にある児童生徒を対象に支援を行う適応指導教室「こころのひろば」を継続実施した。

### (1) 教育相談室「こころのまど」

#### ア 相談件数

(単位：件)

相談件数			相談形態			校種別				
			来室	電話	訪問	保・幼	小学生	中学生	高校生	大学・一般
23	新規相談	継続相談	47	152	22	0	12	7	3	1
	10	13								

#### イ 主訴別

(単位：件)

不登校	いじめ	学校生活	情緒不安定	家庭内暴力	職場・就労	その他	計
21	0	0	0	0	1	1	23

### (2) 適応指導教室「こころのひろば」

適応指導教室通室生を対象に、「自然体験活動」（上世屋散策等）・「社会活動」（清掃活動・調理実習等）・「教科指導」を通じて自主性や学習意欲を高め、集団への適応力を培い、学校復帰に向かえるよう活動を行うとともに、保護者への支援及び学校との連携を行った。

### (3) 不登校児童生徒支援拠点整備事業

京都府教育委員会の施策である「不登校児童生徒支援拠点整備事業」を活用し、適応指導教室「こころのひろば」に専門スタッフを配置した。

#### ○スクールカウンセラー

通室児童生徒のアセスメント、児童生徒及び保護者面談、教員へのコンサルテーション、教育支援センター相談員への指導助言

#### ○まなび・生活アドバイザー

福祉の視点に立った通室児童生徒のアセスメント、保護者面談を中心とした家庭支援、学校との連携及び教員へのコンサルテーション、教育支援センター相談員への指導助言

#### ○心の居場所サポーター

通室児童生徒の学習支援及び興味・関心に応じた学習支援以外の支援

<支援状況>

(単位：人・回)

児童生徒支援		卒業生支援		保護者等支援		学校訪問	
実人数	通室回数	実人数	来室回数	面談・電話回数	家庭訪問	登校支援	会議等参加
10	155	4	60	150	22	0	83

## 12 国際理解教育推進事業

AET2名を招致し、中学校の英語教育及び小学校・幼稚園・保育所（園）等の国際理解教育を推進した。

中学校では、「聞く」「話す」に重点を置いた学習や外国文化に触れながら生きた英語を通して学力の向上に取り組み、また、小学校・幼稚園・保育所（園）等では、歌やゲームなどの発達段階に応じた活動を通してあいさつや簡単な日常会話のやりとりなど、コミュニケーション能力の育成に取り組んだ。

○全小学校（6校）派遣（年間179日）

○全中学校（2校）派遣（年間172日）

○市内12幼稚園・保育所等派遣（年間33日）

## 13 指導主事設置事業

指導主事2名により、幼稚園2園、小学校6校及び中学校2校の教育課程、学習指導、生徒指導、人権教育及びその他学校教育に関する事項について指導助言を行った。

また、児童生徒間でのいじめ問題に関する定期的な調査の実施とあわせ、その問題解決や未然防止等に向けた指導助言を行った。

## 14 いじめ防止対策推進事業

いじめの未然防止・早期発見・早期対応を図るとともに、地域社会や関係機関との連携を深めた。また、「宮津市いじめ防止基本方針」に基づき、教育活動全体を通じた豊かな心の育成といじめに関する調査研究を実施し、正しい理解の普及啓発を図った。

### (1) 令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果

(小学校、中学校におけるいじめの状況等 在籍児童生徒 小学生661人 中学生272人)

区 分	いじめの 認知件数	様 態	解消しているもの (日常的に観察継続中)	解消に向けて取 組み中
小学校	220 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。</li> <li>・仲間はずれ、集団による無視をされる。</li> <li>・軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりするほか。</li> </ul>	129 件	91 件
中学校	36 件		17 件	19 件

※解消している状態とは、①いじめに係る行為の解消（行為が止んでいる状態が3か月継続）、  
②被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないことをいう。

## 15 日本スポーツ振興センター共済事業

学校や幼稚園の管理下で発生した幼児児童生徒の災害（負傷、疾病等）に対し、独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度による給付を行った。

○災害件数等[令和4年度給付分]

区 分	給付件数(件)	給付金額(円)
小 学 校	115	349,106
中 学 校	126	299,145
幼 稚 園	4	4,609
合 計	245	652,860

## 16 スクールバス運行事業

小・中学校に遠距離通学している児童生徒の安全を確保するため、宮津地区の宮津小学校児童、田井方面の栗田小学校児童及び栗田中学校生徒を対象に1台、島陰新宮方面の栗田小学校児童を対象に1台、由良地区の栗田小学校児童及び栗田幼稚園園児を対象に1台、世屋地区の日置小学校児童を対象に1台、波見方面と日ヶ谷方面の養老小学校児童を対象に2台、日置・養老・日ヶ谷地区の橋立中学校生徒を対象に2台の宮津市スクールバスを運行した。また、スクールバス一般混乗型で1路線を運行するとともに、令和4年度から上宮津地区の福祉有償運送の利用を開始した。

(1) スクールバス運行委託

ア 専用スクールバスの運行（令和4年4月）

対象地区	運行委託業者	事業費
宮津地区・栗田地区（田井方面）	丹後橋立交通株式会社	761,200 円
栗田地区（島陰新宮方面）	丹後橋立交通株式会社	346,500 円
由良地区	株式会社コスモ観光	288,002 円
世屋地区	丹後橋立交通株式会社	473,000 円
養老地区（波見方面）	丹後橋立交通株式会社	346,500 円
養老・日ヶ谷地区（日ヶ谷方面）	丹後橋立交通株式会社	346,500 円
日置・養老・日ヶ谷地区	丹後橋立交通株式会社	1,495,560 円



イ 専用スクールバスの運行（令和4年5月～令和5年3月）

対象地区	運行委託業者	事業費
宮津地区・栗田地区（田井方面）	有限会社慶和	6,545,454円
栗田地区（島陰新宮方面）	有限会社慶和	2,947,945円
由良地区	株式会社コスモ観光	4,367,144円
世屋地区	有限会社慶和	3,068,120円
養老地区（波見方面）	有限会社慶和	3,008,049円
養老・日ヶ谷地区（日ヶ谷方面）	有限会社慶和	2,803,328円
日置・養老・日ヶ谷地区	有限会社慶和	11,208,716円

ウ スクールバス一般混乗型の運行

対象地区	運行委託業者	事業費
上宮津地区	丹後海陸交通株式会社	1,249,440円

[スクールバス一般混乗型の運行における児童生徒の利用実績]

路線名	上宮津線
延べ人数	4,608人

## 17 学校の安全対策

地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整備するために、元警察官2名をスクールガード・リーダーに任命し、巡回指導及び学校安全体制の評価、確認を行った。

また、宮津市通学路交通安全プログラムに基づき、各関係機関の連携の下、小中学校の通学路等の安全確保に向けた取組を行った。

(1) スクールガード・リーダーによる巡回指導状況等

対象学校	巡回日数
全小学校	108日

(2) 小中学校通学路等の安全対策の状況（令和4年度対策検討箇所）

新規の対策検討箇所なし

(3) 小中学校通学路等の安全対策の推進状況と効果検証（令和3年度・令和4年度対策実施箇所）

対象学校	学校数	対策実施箇所	主な対策効果の内容
小中学校 幼稚園等	6小学校 2中学校 2就学前 施設	16箇所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交差点のカラー舗装化により安全性が高まった。（大垣難波野線ほか）</li> <li>・路肩整備により歩行時の安全性が高まった。（鶴賀病院線ほか）</li> <li>・イメージランプの導入により運転者への視覚効果が高まった。（安智病院線ほか）</li> <li>・路側帯カラー舗装化により歩行者の安全性が高まった。（島崎京口線ほか）</li> <li>・横断歩道の及び路面標識の引き直しにより安全性が高まった。（府道605号線ほか）</li> <li>・ガードレールの設置により安心して通行できるようになった。（国道178号線ほか）</li> <li>・水路の溝蓋更新により安全に通行できるようになった。（須津線ほか）</li> </ul>

## 18 学校給食運営事業

平成30年度2学期から民間委託によるセンター方式給食を導入する中、年間を通して運営を行い、学校給食の充実、学校教育全体を通じた食育の推進を行った。また、令和3年4月から幼稚園給食を開始し、就学前の教育・保育を充実した。

なお、センター方式給食の4小学校、2中学校、2幼稚園においては、学校給食費を給食費管理システムにより管理した。

### (1) センター方式給食等に係る委託ほか

ア 学校給食調理等業務委託(委託期間：平成30年8月1日～令和5年3月31日)

委託料：141,208,320円(5年総額655,976,832円) 事業者：ハーベスト(株)

イ 学校給食配膳等業務委託(委託期間：令和4年4月5日～令和5年3月31日)

委託料：2,632,564円 事業者：(公社)宮津与謝広域シルバー人材センター

ウ 給食費管理システム保守管理等業務委託(委託期間：平成30年5月15日～令和5年7月31日)

委託料：2,075,760円(5年総額10,338,480円) 事業者：(株)ケーケーシー情報システム

【学校給食費保護者等負担金収納状況】 (単位：円)

区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
現年分	52,096,796	52,043,296	0	53,500
滞納繰越分	174,350	109,390	0	64,960
計	52,271,146	52,152,686	0	118,460

### (2) 給食費高騰への支援

急激な物価高騰により給食食材費の高騰が深刻化する中、令和4年9月から令和5年3月までの期間(2・3学期)の給食食材費の高騰による給食費の値上必要額(保護者負担額)の全額を支援した。

ア 自校給食実施校への支援 養老小学校 21,606円

イ センター方式給食の幼稚園・小・中学校の賄材料費の追加 2,317,769円

### (3) 宮津市学校給食委員会の開催

学校給食を適正かつ円滑に実施するため、食材調達部会、献立作成部会を中心に、その管理・運営について、必要な事項の調査・審議を行った。(平成30年6月30日設置 / 委員総数28名)

#### ア 委員会等の開催

会議	開催時期	議題	備考
第1回委員会	令和4年6月	会長・副会長の選任、部会の編成、令和4年度事業	書面会議
第1回食材調達部会	令和4年8月	給食食材費物価高騰に係る学校給食費について	
第2回食材調達部会	令和4年12月	学校給食費の見直しについて、教職員の学校給食費について	
第2回委員会	令和5年3月	宮津市学校給食委員会(食材調達部会、献立作成部会)活動報告	書面会議

#### イ 宮津市学校給食食材調達制度

センター方式給食に係る食材調達に当たり、適正かつ安定的な調達と食材の安全性、地産地消の促進等を図るため当該制度を運用した。

令和5年3月末時点登録件数 43件(新規登録0件、廃業による取消0件)

## ウ 宮津市食育推進事業の取組

宮津市立小中学校及び幼稚園の園児児童生徒を対象とし、学校給食の充実、学校教育全体を通じた食育の推進に取り組んだ。

### ○各教科における食に関する指導の充実のための取組

- ・栄養教諭等による「食育及び給食指導巡回車両（通称：もぐもぐ号）」を活用した全小中学校、幼稚園への巡回、指導（各校の給食主任、担任の指導サポート）
- ・「みやづ食の日」を年9回、「もぐもぐだより」を年16回発行
- ・11月の「和食の日」にちなんだ学校給食の提供

### ○地場産物を活用し、地域の特徴（食材）を活かした学校給食の取組

- ・毎月19日前後を「みやづ食の日」として、地元食材を活用した統一献立による給食を実施（実えんどう、サゴシ、オイルサーディン、オリーブオイル、やまのいも、黒ちくわなど）  
また、新たな取組として、栄養教諭により、各月の「みやづ食の日」食材に合わせた動画（5～6分間）を作成、各校園において給食時間等に視聴

### ・「宮津を食べようコンテスト」の実施

市立小学校6年生から給食献立を募集し、最優秀作品を給食として提供

最優秀作品：日置小学校 「宮津のあんばよ～ランチ」

令和5年2月17日の「みやづ食の日」の給食に提供（2/20デザートを提供）し、他の小学校の作品からは1品ずつ2月の給食で提供した。

また、3月3日から3月16日まで「宮津を食べようコンテストギャラリー」を宮津市福祉・教育総合プラザコミュニティスペースにて開催した。

### ・京都府立海洋高等学校との交流給食の実施

栗田漁業生産組合から提供を受け、京都府立海洋高等学校の生徒が捌いた魚を使った給食を3回実施した。令和4年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、メッセージボード、動画配信により栗田漁業生産組合や海洋高校生の想いを伝える取組に加え、一部の学校の児童生徒と海洋高校生との交流をリモートにより実施した。

### ○学校と家庭との連携による食に関する指導の充実のための取組

- ・食生活実態調査の実施
- ・リーフレット「知っていますか？1日に必要なエネルギー量／令和4年度給食週間は1/23～1/27です」の作成・配布

## （4）学校給食・食育に関連したその他の取組

### ア 情報発信

#### ○宮津市公式ホームページ

- ・各種おたより、毎月の献立表、学校給食費、ハーベスト(株)宮津工場の施設等の案内などの情報を掲載した。

#### ○宮津市すくすく子育てLINE

- ・学校給食・食育に関わる取組について、年10回発信した。

## 19 放課後児童健全育成事業

### （1）のびのび放課後児童クラブ実施状況

放課後に留守家庭となる児童の安全確保と健全に過ごすことができる場を提供した。

(単位：人)

	クラブ名称	開設場所	職員	定員	実利用児童数	前年度	事業内容
市設置クラブ	宮津のびのび放課後児童クラブ	宮津小学校	支援員 指導員 (10人)	112	119	116	・宿題や遊びの指導 ・料理教室、遠足、お楽しみ会等を開催
	栗田のびのび放課後児童クラブ	栗田小学校	支援員 指導員 (2人)	35	22	19	
	吉津のびのび放課後児童クラブ	吉津小学校	支援員 指導員 (2人)	35	20	14	
	府中のびのび放課後児童クラブ	府中小学校	支援員 指導員 (2人)	35	38	36	

## (2) 放課後児童健全育成事業利用者負担金収納状況

区分	調定額		収入額		不納欠損額		未収額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
現年度分	1,751件	6,054,860円	1,740件	6,006,860円	—	—	11件	48,000円
滞納繰越分	162件	566,000円	8件	34,000円	—	—	154件	532,000円

## (3) 放課後児童健全育成事業利用者負担金の減免等の状況

ア 減免対象：生活保護世帯、当該年度分の市町村民税非課税世帯に属するひとり親世帯など

減免人数	9人(実人数)
減免額計	175,000円

イ 還付対象：各学校における学級閉鎖や臨時休業に伴うクラブの未利用分

還付件数	125人(実人数)
還付額計	156,640円

## (4) 放課後児童支援員等処遇改善

コロナ禍において最前線で働く放課後児童支援員等に対する処遇改善を支援した。

対象職員数	40名
交付額計	2,483,800円

## (5) 放課後児童クラブ環境整備

対象	整備内容	事業費
宮津 栗田 吉津 府中	・Wi-Fi環境の整備 学習用タブレット端末の持ち帰り学習に向けて、全放課後児童クラブにWi-Fi接続環境を整備した	2,492,930円
府中	・小学校特別教室エアコン整備 3密防止の分散活動のため小学校の特別教室にエアコンを設置した	542,300円

## 20 子育て親子の交流促進事業

宮津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、親の子育て力を高め、子どもを生み育てることに楽しさを感じられる環境づくりを進めるため、幼稚園ひろばとして幼稚園を開放し、未就園児童と在園児との交流や子育て親子の交流を促進するとともに、様々な子育て相談に応じた。

## 【幼稚園ひろばの開催状況】

開設場所	開催回数	参加延べ人数		計
		子ども	保護者等	
みやづわくわくひろば（宮津幼稚園）	11回	53人	43人	96人
くんだにこにこひろば（栗田幼稚園）	5回	14人	14人	28人
にこにこ広場（宮津暁星幼稚園）	10回	56人	49人	105人
合計	26回	123人	106人	229人

## 21 宮津の新たな学び創造事業

小中一貫教育、コミュニティ・スクールを基盤に「明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成」を目指して、保幼小中高連携や学力向上対策を進めた。

### (1) 保幼小中高連携の推進

#### ○小中一貫教育と保幼小中高連携の推進

- ・栗田学院、宮津学院、4小連携やコミュニティ・スクールに係る、学校・家庭・地域の情報共有等

#### ○保幼小接続等の取組推進

- ・保幼小中が連携して取り組む認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ実践的研究（就学前からの非認知能力の向上、学院合同研修の実施、学院合同行事の実施など）

#### ○高校との連携推進

- ・ふるさとみやづ学、高校生による学習ボランティア

#### ○宮津市教育フォーラムの開催

日時：令和5年1月28日（土） 13時30分～16時00分

内容：実践報告「宮津市の教育について～小中一貫×コミュニティ・スクール×GIGA」  
フリートーク「学校で学びたいこと、地域で学びたいこと」

### (2) 学力向上対策の推進（『宮津市学力向上プラン』（R3～R7）に基づく取組みの推進）

#### ○基礎・基本の徹底（算数の学力課題解決）

- ・算数学び定着サポーターによるA Iドリル活用時を中心とした小学3・4年生児童への個別支援等

#### ○論理的思考力や表現力の育成

- ・「日本漢字能力検定」を活用した（小4:7級、小6:5級の全員受検）語彙力の向上と国語教育の推進
- ・「英語検定」を活用した（中1:5級、中3:4級の全員受検）表現力の向上と英語教育の推進

#### ○ICTを活用した学習意欲の喚起と個別最適な学びの実現

- ・学びに向かう力をはぐくむICT利活用の実践的研究（吉津小学校）  
※京都府教育委員会研究委託事業「学びの深化プロジェクト」研究指定（R3～R4）
- ・「ふるさとみやづ学」において副読本『わたしたちのまち宮津市（新訂版）』の活用
- ・日常的にICTを活用できる環境の構築
- ・A Iドリル（1人1台タブレットでの個別学習ドリル）の活用
- ・中学校向けプログラミング指導教材の活用
- ・家庭のインターネット環境を確保するためのモバイルルーターの貸し出し

#### ○小中一貫教育導入と合わせて取り組む「宮津市学力向上プラン」に基づく主な取組

- ・課題解決型学習の実践的研究（府中小学校）  
※京都府教育委員会研究委託事業「絆の作り手育成プログラム」研究指定（R3～R5）
- ・専科教員による小学校外国語科・外国語活動の実施（5・6年：70h、3・4年：35h）
- ・家庭と連携した学習習慣の定着
- ・中学校教員の専門性を活かした乗り入れ授業の実施
- ・「ふるさとみやづ学」の実践

## 22 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）及び地域学校協働活動の取組

学校・保護者・地域住民が協働しながら学校運営に取り組み、どのような子どもを育てるのかについて学校運営協議会で共有し、「地域とともにある学校づくり」を進めるため、学校と地域をつなぐ地域コーディネーター（推進員）が中心となり、地域学校協働活動を展開した。

宮津市内小中学校においては、学院（栗田・宮津）単位、また4小（吉津・府中・日置・養老）それぞれに学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて取組を進めた。

○学校運営協議会（宮津学院・栗田学院・4小学校）の開催状況

	宮津学院	栗田学院
第1回	令和4年5月9日	令和4年4月28日
第2回	令和4年7月27日	令和4年5月26日
第3回	令和4年9月15日	令和4年8月5日
第4回	令和4年10月17日	令和4年10月21日
第5回	令和4年12月8日	令和4年11月29日
第6回	令和5年1月26日	令和5年1月31日
第7回	令和5年3月6日	令和5年3月16日

	吉津小学校	府中小学校	日置小学校	養老小学校
第1回	令和4年4月26日	令和4年5月12日	令和4年5月10日	令和4年5月16日
第2回	令和4年6月29日	令和4年6月9日	令和4年6月7日	令和4年7月28日
第3回	令和4年10月4日	令和4年9月1日	令和4年10月18日	令和4年9月28日
第4回	令和4年12月6日	令和4年12月2日	令和4年12月19日	令和5年2月2日
第5回	令和5年3月13日	令和5年1月27日	令和5年2月2日	
第6回		令和5年3月7日	令和5年3月15日	

○地域学校協働活動の取組状況

	取組状況
宮津学院	マラソン大会安全監視ボランティア、学習支援（そろばん、ミシン、書初め）、杉山観察会等
栗田学院	図書室環境整備、読み聞かせボランティア、学習支援（ミシン、陸上指導）、草刈ボランティア等
吉津小学校	地域学習（地域史跡等探索）、老人会とのグランドゴルフ交流、運動会での太刀振り披露等
府中小学校	読み聞かせボランティア、あいさつ運動、サツマイモ掘り体験、草刈ボランティア等
日置小学校	地域探検、農作物収穫等体験（こんにゃく、オリーブ収穫、干し柿、味噌づくり等）
養老小学校	地域探検（犀川）、アカモク植付・収穫体験、マラソン大会安全監視ボランティア等

○コミュニティ・スクール推進コーディネーター（指導主事）の配置

## 23 教育効果向上のための教職員の働き方改革に係る取組

教職員が心身ともに健康で、しっかりと児童生徒に向き合うための時間を確保し、教育効果を向上する上で、教職員の勤務時間の適正化は喫緊の課題であることから、その解決に向けた教職員の働き方改革に係る実態把握と取組を推進した。

### ○宮津市立小中学校教職員の勤務時間適正化検討会議の開催

- ・校長、教頭、教諭、事務職員を会議のメンバーに小・中学校の実態把握、課題共有。
- ・宮津市全体で取り組むキャンペーン（教員の働き方改革に係る地域や保護者への理解の啓発）を継続実施、学校における ICT を活用した働き方改革に係る取組の推進、各校の「校内働き方改革推進委員会」を中心とした業務改善に係る意見交流の実施。宮津市内の教職員の勤務実態調査をもとに学校の現状や今後に向けた改善策などを検討

### ○衛生推進者担当者会議の開催

- ・小中学校の衛生推進者の役割の認識と意識向上の推進
- ・各校の衛生推進者が自校の状況について実態交流を行い、メンタルヘルス対策などを中心としたテーマをもとに今後の具体的方策について協議

### ○教職員の勤務実態調査による勤務実態の把握と各校への啓発

- ・勤務実態調査を 2 回（7 月・2 月）実施。校種ごとの年度末の状況把握を通して新年度からの各校園の状況に合わせた業務改善の推進につなげる。
- ・各小中学校で「校内働き方改革推進委員会」をもとにした 1 校 3 項目以上の業務改善の実施

### ○「教育効果向上のための教職員の働き方改革実行計画」の策定

### ○教職員の勤務時間を適正に把握するための出退勤時刻記録の実施

### ○英語専科教員の配置（2 名）

### ○教員の事務作業を支援する教員業務支援員の配置（6 校に配置）

### ○宮津市における部活動方針及び各中学校における部活動方針に沿った取組の実施（平日週 1 回の「ノー部活デー」や週休日のうち 1 日の「部活動休止日」の実施など）

### ○部活動指導員の配置（宮津中 1 名、栗田中 1 名）

### ○部活動外部指導者の配置（宮津中 1 名）

## 24 教育施設の整備

### (1) 学校教育施設整備

#### ア 施設整備の状況（令和4年度末現在）

	構造体耐震化	非構造部材耐震化	エアコン設置	トイレ洋式化
幼稚園	100.0% 〔 7 棟/ 7 棟〕	57.1% 〔 4 箇所/ 7 箇所〕	77.3% 〔17 室/ 22 室〕	100.0% 〔 32 基/ 32 基〕
小学校	100.0% 〔20 棟/20 棟〕	45.0% 〔 9 箇所/20 箇所〕	82.8% 〔130 室/157 室〕	52.7% 〔98 基/186 基〕
中学校	100.0% 〔 7 棟/ 7 棟〕	42.9% 〔 3 箇所/ 7 箇所〕	60.3% 〔38 室/ 63 室〕	22.8% 〔21 基/92 基〕

## イ 学校教育施設整備事業

(単位：円)

事業名	事業費	左の財源内訳				備考
		国府支出金	地方債	その他	一般財源	
府中小学校バリアフリー整備工事	6,050,000	-	7,700,000	-	0	
バッテリー式電動階段昇降車	1,650,000					
合計	7,700,000	-	7,700,000	-	0	

## ウ その他学校教育施設営繕等事業

(単位：円)

区分	内容	事業費
小学校分	栗田小学校教室棟漏水修繕ほか	1,229,193
中学校分	栗田中学校受水槽塩素注入設備取替え修繕ほか	1,079,210
幼稚園分	宮津幼稚園トイレ天井修繕ほか	578,630

## エ 学校教育施設使用料

学校名	体育館・遊戯室		グラウンド		ナイター照明		合計	
	件数	収納額	件数	収納額	件数	収納額	件数	収納額
	件	円	件	円	件	円	件	円
宮津小学校	432	209,660	9	5,580	-	-	441	215,240
栗田小学校	121	62,660	1	620	-	-	122	63,280
吉津小学校	99	95,940	1	620	1	2,080	101	98,640
府中小学校	58	15,080	-	-	-	-	58	15,080
日置小学校	26	13,520	-	-	-	-	26	13,520
養老小学校	115	29,900	-	-	-	-	115	29,900
小計	851	426,760	11	6,820	1	2,080	863	435,660
宮津中学校	157	81,120	1	620	-	-	158	81,740
栗田中学校	99	95,940	-	-	-	-	99	95,940
小計	256	177,060	1	620	0	0	257	177,680
宮津幼稚園	1	260	-	-	-	-	1	260
栗田幼稚園	-	-	-	-	-	-	0	0
小計	1	260	0	0	0	0	1	260
合計	1,108	604,080	12	7,440	1	2,080	1,121	613,600

## (2) 学校施設の長寿命化計画

児童等の数が減少傾向にある中、老朽化が進みつつある本市の学校施設の整備を長寿命化の観点から中長期的な財政負担の低減及び平準化を図るため、将来に向けた維持管理・更新等の整備方針を定めた「宮津市学校施設長寿命化計画」を令和3年度から令和4年度の2箇年をかけて策定した。

## ア 宮津市学校施設長寿命化計画策定業務

(単位：円)

委託業者	事業費	備考
有限責任監査法人トーマツ	1,467,999	総事業費 5,467,999 【内訳】 令和3年度 4,000,000 令和4年度 1,467,999

履行期間：令和3年7月15日から令和5年3月31日まで

(R4業務期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(参考) 令和2年度 宮津市学校施設長寿命化調査・点検等業務 委託料 5,995,000円

学校施設の長寿命化計画の策定に向けた施設等の劣化状況等の実態把握



## 25 GIGA スクール構想の推進

社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなっているSociety5.0時代に生きる子供たちに、誰一人取り残すことなく一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育 ICT 環境を目指す GIGA スクール構想の推進のための取組を行った。

### (1) 家庭学習のための通信機器貸出

インターネットを利用した効果的な家庭学習を進めることを目的に、インターネット回線への接続環境が自宅に整っていない児童生徒へ通信機器の貸与を行った。

(単位：円)

事業名	総事業費	財源内訳		
		国府支出金	その他	一般財源
モバイルルーター貸出 ・クラウドSIM対応型モバイルルーター 35台	612,535	—	535,755	76,780

### (2) タブレット学習の推進

タブレットを活用した効果的な学習を進めるための取組を行った。

(単位：円)

事業名	総事業費	財源内訳		
		国府支出金	その他	一般財源
・算数学び定着サポーター人件費 ・タブレット端末運用保守業務 ・インターネット回線使用料ほか	3,331,232	3,331,232	—	—

## 26 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に係る取組

### (1) 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策

- ・のびのび放課後児童クラブの利用者負担金の還付

放課後児童クラブについて小学校の学級閉鎖に応じて、感染拡大防止のための利用自粛に係る利用者負担金の還付を行った。

- ・小中学校及び幼稚園において感染症拡大防止に伴う物品購入等を行った。

(単位：円)

事業名	金額	左の財源内訳				備考
		国府支出金	地方債	その他	一般財源	
学校等における感染症対策等支援事業 (令和3年度繰越分) 宮津小学校 1,350千円 それ以外の小・中学校 900千円	7,650,000	7,650,000	—	—	—	空調機器、液晶テレビ等
学校等における感染症対策等支援事業 (令和4年度12月補正分) 宮津小学校 210千円 それ以外の小・中学校 140千円	1,190,000	1,190,000	—	—	—	消毒液、マスク等
幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業 (令和3年度繰越分：感染症対策分) 公立幼稚園2園 400千円	800,000	800,000	—	—	—	消毒液、マスク等

## 27 学校再編に係る取組

### (1) 小学校再編に係る取組

第2次宮津市立小・中学校の再編計画（北部地域編）に基づき、養老小学校を府中小学校に再編することに関して、保護者及び地域との協議を進めた。

令和4年11月30日（水）	養老小学校の再編に関する児童保護者、地域と市教育委員会との意見交換会 ・小学生/就学前児童保護者（7名）、自治会役員（4名）と意見交換
令和4年12月16日（金）	養老小学校の再編に関する地域説明会 ・小学生/就学前児童保護者（6名）、地域住民（14名）と意見交換
令和5年2月24日（金）	養老小学校の再編に関する保護者説明会 ・小学生/就学前児童保護者（16名）と意見交換
令和5年2月28日（火）	養老小学校の再編に関する地域説明会 ・小学生/就学前児童保護者（10名）、地域住民（21名）と意見交換

### (2) これからの時代に求められる学校・学校施設等の在り方について

学校等の小規模化が見込まれるなか、持続可能な質の高い教育の推進に向けて、これからの時代に求められる宮津市の教育について検討するため、宮津市学校施設等の在り方検討委員会に諮問を行い、提言を受けた。

諮問事項	これからの時代に求められる宮津市の学校・学校施設等の在り方について (1) 求められる資質や能力を育成するために必要な教育環境 (2) 望ましい幼児教育の在り方 (3) 望ましい教育環境の実現に向けた学校施設等の配置
提言の概要	(1) 宮津市の目指すべき教育 ① 多様性を認め合い、自立心を高め合う豊かな学び ② 「生きる力」の基礎を育む幼児教育・保育 ③ ふるさとみやづの魅力を活かした学び (2) 望ましい教委育環境の実現に向けて
検討の経過	○ 宮津市学校施設等の在り方検討委員会 委員 12名 学識経験者、地域団体の代表者、小中学校保護者、就学前児童保護者、学校関係者、保育施設関係者、行政関係者 ○ 調査・審議の経過 令和4年8月9日 第1回検討委員会 令和4年8月22日 教育懇話会（宮津会場） 令和4年9月9日 教育懇話会（府中会場） 令和4年9月29日 第2回検討委員会 令和4年10月24日 第3回検討委員会① 令和4年10月29日 第3回検討委員会② 令和4年11月16日～23日 学校教育・幼児教育に関するアンケート実施 令和4年11月29日 第4回検討委員会 令和4年12月17日 提言書の手交

# 第16章 社会教育課

## 第1節 社会教育

### 1 宮津市社会教育委員会（宮津市公民館運営審議会）

○委員 10人

○開催状況

開催日	主な協議内容
令和4年5月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度重点施策について</li> <li>・令和4年度組織目標（教育委員会）について</li> <li>・令和4年度京都府丹後地方社会教育委員連絡協議会事業について</li> <li>・令和4年度公民館事業について</li> </ul>
令和4年11月14日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度教育委員会事務事業評価について</li> <li>・令和4年度京都府丹後地方社会教育委員連絡協議会事業について</li> <li>・令和4年度公民館事業について</li> </ul>
令和5年3月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度教育の重点について</li> <li>・令和5年度教育委員会所管歳入歳出予算（案）について</li> <li>・令和4年度公民館事業実施状況について</li> </ul>

### 2 青少年教育推進事業

家庭・地域社会の教育力の向上等、子どもたちの心豊かな人間形成を推進し、青少年の健全育成を図るため、次の事業を実施した。

#### (1) 子どものびのび体験活動事業

各地区公民館において、陶芸・絵画教室、料理教室、スポーツ教室・大会や餅つきなどの世代間交流事業等の各種体験活動事業を実施、また、日置・世屋地区公民館において、日置小学校の児童を対象に、放課後見守り活動事業を開催した。

開催事業数	参加者数(人)
101	延べ1,974
(6)	(延べ 201)

※表中下段( )書きは、前年度の実績

#### (2) 青少年健全育成事業

青少年の指導育成等について、関係行政機関等相互の連絡調整を図るため、青少年問題協議会総会を開催したほか、「宮津市子どもをはぐくむ7カ条」リーフレットを小学1年生の保護者へ配付、7月と12月には、家庭教育啓発チラシを作成して配付するとともに、乳幼児健診時にリーフレット「豊かな言葉をはぐくむ親子のかかわり」と「自立心と自己有用感をはぐくむ親子のかかわり」を作成配付して啓発を図った。また、「インターネット・ゲームと依存症」をテーマに、研修会を開催した。

#### ア 青少年問題協議会

○委員 14人

○研修会開催状況

開催日	主な内容
令和4年5月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の事業報告について</li> <li>・令和4年度青少年健全育成推進方針・事業計画について</li> </ul>
令和4年10月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 「インターネット・ゲームと依存症」 ～もっとも気をつけるべきことは何か～ 京都府立大学公共政策学部 准教授 山野 尚美 氏 参加者 62 人</li> </ul>

イ 青少年の非行・被害防止全国強調月間の推進

○期間 令和4年7月1日～31日

○内容 懸垂幕の掲出、広報誌「みやづ」での啓発、保育所（園）・幼稚園・小・中学校を通じて啓発チラシ「心豊かな子どもをはぐくむ」を配布

ウ 子ども・若者育成支援強調月間の推進

○期間 令和4年11月1日～30日

○内容 懸垂幕の掲出、幼稚園・小・中学校を通じて啓発チラシ「心豊かでたくましい子どもに」を配布

エ わくわく星座観測

○実施日 令和4年8月27日

○内容 学習会、星座観測

○場所 丹後海と星の見える丘公園

○参加者数 11人

オ 小学生自然科学講座

○実施日 令和4年8月10日

・内容 パンづくり、バターづくり、原始コーラづくり

・場所 福祉・教育総合プラザ4階 クッキングルーム

・参加者数 13人

○実施日 令和5年3月18日

・内容 スライムづくり、段ボール空気砲実験、まさつ力体験

・場所 みやづ歴史の館 体験学習室

・参加者数 22人

(3) 中学生の主張大会

中学生が日頃感じていることや考えていること、大人や社会に向けて訴え主張したいことを発表する機会を設け、社会の一員としての自覚を高めるとともに、中学生に対する市民の理解を深めるため、中学生の主張大会を実施した。

○期 日 令和4年11月12日

○会 場 みやづ歴史の館文化ホール

○発表者 宮津中学校、栗田中学校、橋立中学校、各3人（1, 2年生含む）計9人

○来聴者 95人

(4) 二十歳のつどい

民法改正による成人年齢の引き下げを受け、これまでの新成人となつての祝祭事業（成人式典）から、20歳の節目の年に「ふるさとみやづ」を見つめなおす機会として開催した。

○期 日 令和5年1月8日

○会 場 宮津市民体育館

○出席者数

	対象者数	出席者数	前年度出席者数
男	70人	56人 (80.0%)	70人 (83.3%)
女	74	59 (79.7)	49 (74.2)
合計	144	115 (79.9)	119 (79.3)

※対象者数は、宮津市に住民票がある方及び市外からの申込者

(5) ふるさとみやづ学～高校生立志編～

市内小中学校において授業カリキュラムの一環として実施している「ふるさとみやづ学」。「ふるさとみやづ学」の途切れない学び、「地域学校協働活動」の推進、「地域を担う人材づくり」をねらいとし、小中学校の学習内容を基に、高校生らしい視点で、「ふるさとづくり」「地域づくり」などの探求学習を深める「ふるさとみやづ学～高校生立志編～」を実施した。

○開催状況

開催日等	主な内容
令和4年7月21日	・市長講話 ・市長と高校生の座談会
令和5年3月24日 市長へのプレゼン・提言	・市長への提言・プレゼン (市長との座談会を通じ、研究を深めた内容の発表) ・意見交流会

### 3 高齢者教育推進事業

「宮津市高齢者保健福祉計画」の趣旨を踏まえ、高齢者のための多様な学習機会の提供を促進し、知識と教養を身につけるとともに、社会参加活動を促進するため、60歳以上の方を対象に宮津市すこやか大学を開講した。

○学生数（令和4年度末人数）

学生数	皆勤者	修了者
302人 (321人)	2人 (一人)	— (一人)

※修了者は、3講座以上の出席者。（令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため出席をためらう学生の方がおり、修了者の調査なし。）

※表中下段（ ）書きは、前年度の実績。

○活動内容

- ・陶芸教室・歴史訪問などの生き生き学習など
- ・受講者による文集「福寿草」の発行
- ・クラブ活動
- ・年間8つの講座

### 4 障害者教育推進事業

(1) 宮津障害者青年学級

「宮津市障害者計画」の趣旨を踏まえ、障害のある人の交流、自立促進、社会参加促進のための学習の場として、「青年学級」、「女子成人教室」、「男子成人教室」等を実施した。

京都北部青年学級交流会については中止となった。

事業名	実施回数(回)	学級生数(人)		内 容
		実人数	延べ人数	
青年学級	10 (5)	11(12)	40 (18)	調理実習、軽スポーツ等
女子成人教室	19 (12)	9 (8)	110(117)	編物、工芸、パッチワーク、生け花、 絵手紙、お茶
男子成人教室	7 (6)	5 (6)	23 (21)	陶芸
共通事業	1 (0)	8 (0)	8 (0)	クリスマス会は3年振りに開催
合 計	37(23)	33(26)	181(156)	

※表中( )書きは、前年度の実績

## (2) 障害者成人講座

障害のある人が、地域社会で充実した生活を送ることができるよう、社会参加を促進するための学習の場として成人講座を開設した。聴覚障害者の講座は実施できたが、視覚障害者の講座は新型コロナウイルス感染拡大が心配され、計画は立てたが実施できなかった。

講座名	開催回数(回)	参加者数(人)	内 容
視覚障害者成人講座	0 (0)	0 (0)	令和4年度中止
聴覚障害者成人講座	1 (0)	11 (0)	社会見学(城崎マリンワールド)
合 計	1 (0)	11 (0)	

※表中( )書きは、前年度の実績

## 5 人権教育推進事業

「宮津市人権教育・啓発推進計画(第2次)」の趣旨を踏まえ、人権の尊重が日常生活のすみずみまで浸透した人権感覚豊かな地域社会の実現を目指し、人権の理念や様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるための取り組みを計画的に推進した。

また、宮津市企業人権教育推進協議会の一層の活動に寄与するための支援のほか、社会教育関係団体等への指導助言を行った。

### ○人権問題研修会の開催

・令和4年6月16日

演題「アンコンシャス・バイアスとは何か?」～身近な偏見、ネットと差別、そして人権～  
講師 東洋大学 教授 北村 英哉 氏

参加者 75人

・令和4年10月21日

演題「子どもを『SNS・性被害、性暴力』から守る」～子どもから信頼される大人になるために～

講師 京都教育大学・立命館大学 非常勤講師 関口 久志 氏

参加者 69人

○人権啓発カレンダーの作成・配布

○人権問題研修に係る講師派遣事業の実施(3講座)

- 「人権市民のつどい」の開催（共催）
- 広報みやづ「人権の窓」により、人権啓発を毎月実施
- 宮津市企業人権教育推進協議会の取組
  - ・令和4年11月25日 研修会
    - 演題 「性的マイノリティ（LGBT）と人権」
    - 講師 京都地方法務局 宮津支局 支局長 山本 裕幸 氏
    - 参加者 16人
  - ・人権標語コンテストを実施し、入選標語をステッカーにして配付

## 6 浜町ギャラリーの運営

宮津阪急ビル3階の浜町ギャラリーの展示利用等を通じて、各文化団体等の自主的な活動の活性化や、市民が身近に文化・芸術に触れる機会の提供に努めた。

○浜町ギャラリー利用状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

利用件数計	利用日数計	使用料計	来場者数計
34件 (27件)	219日 (192日)	118,830円 (107,100円)	8,842人 (8,244人)

※表中( )書きは、前年度の実績

## 7 地域学校協働活動

地域住民、保護者、団体等の参画により、地域全体で子どもの学びや成長を支える地域学校協働活動を推進するため、地域学校協働活動推進員を委嘱し、情報交換の場となる地域学校協働活動推進員連絡会議を開催した。令和3年度より委嘱している宮津学院（2名）及び栗田学院（2名）に加え、北部4小学校より推薦された4名を新たに委嘱、市内全小中学校にて取り組みを実施した。

あわせて、地域学校協働活動の充実・発展の方向を探るとともに、地域学校協働活動推進員の資質の向上を図るため、研修会に参加した。

(1) 宮津市地域学校協働活動推進員協議会

開催日	主な協議内容
令和4年6月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動の進め方について</li> <li>・令和4年度事業について</li> </ul>
令和4年10月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動の推進について</li> <li>・令和4年度事業について（中間報告）</li> <li>・各地域の事業取組状況について（意見交換）</li> <li>・令和5年度予算要求について</li> </ul>
令和5年3月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動の推進について</li> <li>・令和4年度の事業取組状況について（中間報告）</li> <li>・令和5年度の事業取組について</li> </ul>

(2) 地域学校協働活動推進員研修

開催日	主な協議内容
令和4年6月23日	丹後「地域学校協働活動」推進研修会 5人参加
令和4年7月1日	第1回京都府地域学校協働活動研修会 3人参加
令和4年10月5日	第2回京都府地域学校協働活動研修会 4人参加

(3) 地域学校協働活動実施内容

学校名(学院名)		実施回数(回)	ボランティア(延べ人数)	内容
宮津学院	小学校	63	790人	そろばん学習支援等
	中学校	1		地域おこし講話等
栗田学院	小学校	85	328人	読み聞かせ、図書室整備等
	中学校	9		読み聞かせ、学校環境整備等
吉津小学校		225	291人	地域探検学習等
府中小学校		222	888人	あいさつ運動等
日置小学校		233	861人	地域探検学習等
養老小学校		217	651人	アカモク植付け・収穫体験等
合計		1,055	3,809人	

第2節 公民館

1 公民館

市民の生涯学習への関心・意欲の向上、自己の充実・実現を図る機会を提供するため、青少年の健全育成や人権教育、国際化や情報化といった現代的課題にも重点を置きながら、中央公民館及び各地区公民館等において各種講座や文化・体育事業等を実施した。

あわせて、今日の時代にふさわしい公民館活動の充実・発展の方向を探るとともに、公民館職員の資質の向上を図るため、研修会に参加した。

(1) 宮津市公民館連絡協議会

開催日	主な協議内容
令和4年4月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮津市公民館連絡協議会の役員体制について</li> <li>令和4年度教育の重点について</li> <li>令和4年度社会教育関連事業・予算について</li> <li>令和4年度各地区及び中央公民館事業・予算について</li> <li>令和4年度宮津市公民館連絡協議会事業について</li> </ul>
令和4年10月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度宮津市公民館連絡協議会事業について</li> <li>令和4年度各地区公民館事業取組状況について(意見交換)</li> <li>令和5年度予算要求について</li> </ul>
令和5年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度宮津市公民館連絡協議会事業について</li> <li>令和4年度各地区公民館の事業取組状況について(意見交換)</li> <li>令和5年度教育委員会所管歳入歳出予算(案)について</li> </ul>



(2) 公民館職員研修

開催日	内 容
令和4年6月23日	丹後「地域学校協働活動」推進研修会 12人参加
令和4年7月19日	与謝地方公民館連絡協議会・総会及び研修会 15人参加
令和4年7月4日	京都府社会教育・生涯学習・公民館等指導者研修会 3人参加
令和4年10月3日 ～19日	京都府公民館大会（動画配信） 10人参加
令和4年10月7日	第2回丹後人権教育行政担当者等研究協議会 10人参加
令和4年11月10日	近畿公民館大会 5人参加、オンライン6人参加
令和5年2月23日	京丹後市公民館連絡協議会・与謝地方公民館連絡協議会合同研修会 16人参加

(3) 地区公民館事業

地区ごとに地区住民の学習ニーズ等を踏まえ、文化講座、各種講演会、健康づくり、スポーツ大会、運動会・文化祭等の公民館事業を計画。新型コロナウイルス感染症予防に努めたながらの開催となった。

開催事業数	参加者数
310 (128)	7,177人 (延べ約3,975人)

※表中下段( )書きは、前年度の実績

(4) 吉津地区公民館太陽光発電

発電量及び使用電力量の状況

発電量（歳入）		使用電力量・電気料（歳出）				
電力量	売却料金	従量電灯		低圧電力		電気料合計
		電力量	電気料	電力量	電気料	
6,032 kwh (6,208)	48,256 円 (49,664)	6,953kwh (6,672)	239,690 円 (226,334)	4,386 kwh (5,421)	327,221 円 (338,170)	566,911 円 (564,504)

※表中下段( )書きは、前年度の実績

2 中央公民館事業

指定管理者に公益財団法人宮津市民実践活動センターを指定し、管理運営を委託した。

(1) みやづ歴史の館指定管理料等

指定管理料	管理経費	利用料金		
32,605,255 円	36,135,127 円	3,529,872 円	中央公民館分	1,396,649 円
			歴史の館分	2,133,223 円

(公益財団法人宮津市民実践活動センター事業報告書)

(2) 中央公民館利用状況

区 分	大会議室	小会議室	談話室	和 室	体験学習室	宮津分館	計
件数 (単位：件)	418 (326)	262 (222)	343 (214)	245 (245)	259 (271)	— (-)	1,527 (1,278)
人数 (単位：人)	6,961 (5,571)	2,457 (1,896)	1,477 (932)	1,397 (1,118)	2,732 (2,195)	— (-)	15,024 (11,712)

※表中下段( )書きは、前年度の実績

※開館日数 317日

(公益財団法人宮津市民実践活動センター事業報告書)

(3) 中央公民館目的別利用状況

区 分	件数(件)	人数(人)
大 会	0	0
会 議	280	3,419
講 習 会	28	409
研 修 会	21	273
式 典	0	0
教 室	401	3,242
控 室	144	845
そ の 他	653	6,836
合 計	1,527	15,024

(公益財団法人宮津市民実践活動センター事業報告書)

(4) 中央公民館利用料金収入状況

区 分		収 入	
		件数(件)	金額(円)
施 設	大会議室	254	464,048
	小会議室	191	152,957
	談話室	174	149,814
	和 室	120	132,818
	体験学習室	167	145,924
	計	906	1,045,561
設 備	冷房料	234	167,314
	暖房料	250	183,774
	計	484	351,088
合 計		1,390	1,396,649
前 年 度		1,155	1,147,786

(公益財団法人宮津市民実践活動センター事業報告書)

(5) 中央公民館事業 (青少年教育推進事業と共催)

事 業 名	開催回数(回)	受講者数(人)	会 場
小学生自然科学講座	2	35	福祉・教育総合プラザ 中央公民館体験実習室
わくわく星座観測	1	11	丹後海と星の見える丘公園

### 第3節 図書館

「宮津市立図書館基本的運営方針」の4つの基本目標「学びと育ちを支える図書館」「市民に役立つ図書館」「市民が利用しやすい図書館」「出会いのある図書館」に基づき事業を行った。また、開館100周年・移転開館5周年記念イベントを行った。

#### 1 図書館の事業概要

区 分	開 催 日	内 容 等
開館100周年・移転開館5周年記念イベント	11月26日	記念講演会「山崎洋子講演会」(文化ホール) 59人
	10月28日～3月29日	企画展示 図書館の年表・写真・蔵書等
	11月1日～12月28日	宮津市立図書館とわたし「図書館をめぐるエピソード」募集 22人応募
	10月28日～	宮津市にゆかりのある方のコーナー (山崎洋子・石井幸孝・堀田力・小松正史・瀬尾まいこ)
おはなし会	毎月1・3・5回土曜日 中止：7月16日	24回開催 参加者192人
赤ちゃんおはなし会「めばえ」	第3木曜日	0～2歳対象 12回開催 参加者50人

大人も楽しむおはなし会	12月18日	高校生以上対象 参加者13人
こどもの読書週間行事	5月7日	おはなし会スペシャル 第1部8人 第2部4人
読書週間行事	11月5日	大型紙芝居を楽しむおはなし会 (100周年記念)「雪舟物語」参加者73人
としょかん映画会	① 6月19日 ② 7月31日 ③ 1月23日	①「アイネクライネハムジーク」参加者27人 ②「映画すみっこぐらし」参加者37人 ③「パパはわるものチャンピオン」参加者15人
雑誌・図書リサイクルデー	3月18日～3月19日	178人 1,147冊持ち帰り
テーマ別図書の展示	毎月	
地域高校生連携事業 「おおすすめ本展示」	7月、12月、3月	市内高等学校3校(宮津天橋・海洋・京都 暁星)
市内中学校生連携事業 「おおすすめ本展示」	9月30日～11月23日	中学校2校(宮津・栗田)
子ども読書本のしおりコンテスト 作品巡回展(浜町ギャラリー)	2月9日～2月12日	入賞作品123点 宮津市応募作品113点
学校貸出文庫巡回配本	5月～3月	小学校6校・中学校2校
移動図書館車学校等訪問	6月～11月	18校23回実施
学校等の見学	6月3日 6月14日 11月15日 12月8日	宮津幼稚園 27人 吉津小学校2年生 7人 栗田幼稚園 17人 宮津小学校2年生 67人
職場体験受入	10月18日～10月19日 10月27日～10月28日	加悦中学校2年生 2人(与謝野町) 宮津中学校2年生 3人
図書館ボランティア	① 活動回数16回 (配架10回、読み聞かせ6回) ② 活動回数59回	① 登録4人 新規2人(配架) ② 「あいうえお」会員17人

- ・移動図書館車運行(図書館から2km超の16ステーションに3週間に1回水・土曜日の午後運行)
- ・レファレンス対応(699件 内訳 口頭655件 電話38件 文書3件 メール3件)
- ・京都府内外他図書館との相互貸借(借受1,344冊 貸出1,671冊)
- ・予約・リクエスト(6,725件 内訳 窓口5,618件 インターネット1,038件 館内検索機69件)
- ・雑誌スポンサー制度 3社(雑誌4タイトル 新聞1紙)

## 2 宮津市立図書館協議会

- 委員 11人
- 開催概要

回	日時	内容
第1回	令和4年7月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度図書館協議会事業報告</li> <li>・令和3年度図書館事業について</li> <li>・令和3年度図書館資料受入状況について</li> <li>・令和3年度図書館利用状況について</li> <li>・令和3年度図書館資料費決算について</li> <li>・令和4年度事業計画について</li> <li>・令和4年度図書館資料購入計画と資料収集方針について</li> <li>・その他</li> </ul>
第2回	令和5年3月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度図書館事業について(中間報告)</li> <li>・令和5年度図書館運営について</li> <li>・その他</li> </ul>

### 3 蔵書冊数

#### (1) 図書資料

##### ア 図書

分類	受入(冊)			蔵書冊数(冊)				構成比
	一般書	児童書	計	一般書	前尾記念文庫	児童書	計	
総記	46	15	61	2,613	3,200	682	6,495	3.7%
哲学	50	9	59	2,951	2,556	463	5,970	3.4
歴史	148	21	169	6,443	4,876	2,518	13,837	7.9
社会	290	52	342	10,476	9,367	2,051	21,894	12.5
自然	162	96	258	4,747	1,210	3,936	9,893	5.6
工業	228	40	268	6,419	563	1,471	8,453	4.8
産業	84	32	116	2,637	737	971	4,345	2.5
芸術	78	28	106	6,401	1,829	2,487	10,717	6.1
語学	25	8	33	1,276	2,126	611	4,013	2.3
文学	1049	743	1,792	38,922	4,399	43,878	87,199	49.6
紙芝居	—	49	49	—	—	2,797	2,797	1.6
合計	2,160 (667)	1,093 (125)	3,253 (792)	82,885	30,863	61,865	175,613	100%

※( )内は寄贈によるもので内数

年間除籍冊数 一般書 1,103 冊 児童書 505 冊 計 1,608 冊

イ 郷土資料 受入 31 冊 (うち寄贈 30 冊) 所蔵数 2,053 冊  
ウ 行政資料 受入 22 冊 (うち寄贈 22 冊) 所蔵数 1,433 冊

#### (2) 視聴覚資料及び定期刊行物

区	分	受入	除籍	所蔵数
視聴覚資料	カセットテープ	0 巻(0)	0 巻	279 巻
	CD	34 枚(0)	0 枚	343 枚
	ビデオ	0 巻(0)	0 巻	68 巻
	DVD	15 枚(6)	0 枚	227 枚
定期刊行物	新聞	8 紙(1)	—	—
	雑誌	881 冊(115)	748 冊	4,405 冊
	官公報	2 種(2)	—	—

※( )内は寄贈によるもので内数

### 4 利用状況

(1) 開館日数 図書館 293 日 移動図書館車巡回日数 63 日

※3月22日車損傷のため移動図書館車休止

(2) 入館者数 75,168 人 (1日平均 257 人)

(3) 貸出状況

ア 貸出数

(ア) 個人貸出

分類	図書館			移動図書館			合計
	一般書	児童書	計	一般書	児童書	計	
総記	635 冊	280 冊	915 冊	20 冊	30 冊	50 冊	965 冊
哲学	1,588	307	1,895	53	24	77	1,972
歴史	2,553	2,178	4,731	57	129	186	4,917
社会	3,741	707	4,448	93	39	132	4,580
自然	2,869	4,111	6,980	69	251	320	7,300
工業	6,275	1,297	7,572	731	46	777	8,349

産 業	1,919	568	2,487	109	27	136	2,623
芸 術	3,347	1,514	4,861	107	76	183	5,044
語 学	511	258	769	27	13	40	809
文 学	25,443	31,778	57,221	3,056	1,167	4,223	61,444
紙芝居	—	751	751	—	3	3	754
小 計	48,881 ※(193)	43,749	92,630	4,322 ※(0)	1,805	6,127	98,757 ※(193)
雑 誌	—	—	4,500 冊	—	—	341 冊	4,841 冊
C D	—	—	96 枚	—	—	0 枚	96 枚
カセット	—	—	1 巻	—	—	—	1 巻
合 計	—	—	97,227 点	—	—	6,468 冊	103,695 点

※一般のうち( )内は、前尾記念文庫蔵書で内数

(イ) 団体貸出

登録 団体	貸出 団体	貸出館	貸 出 数					合 計
			一般書	児童書	紙芝居	雑 誌	C D	
42 団体	延 398 団体	図書館	1,603 冊	6,805 冊	1,295 冊	426 冊	2 枚	10,131
		移動図書館	3	938	0	0	0	941
		合 計	1,606	7,743	1,295	426	2	11,072

(ウ) 学校貸出文庫

小 学 校			中 学 校				計
学校名	配本 回数	児 童	学校名	配本 回数	一 般	児 童	
宮 津	3 回	1,530 冊	宮 津	3 回	390 冊	510 冊	900 冊
栗 田	7	1,540	栗 田	3	117	153	270
吉 津	9	2,160	合 計		507	663	1,170 冊
府 中	7	1,610	※京都府立図書館貸出文庫より 1,200 冊借受				
日 置	7	1,540					
養 老	5	800					
合 計		9,180					

(エ) 貸出総数

区 分	個人貸出		団体貸出		学校貸出文庫	合 計
	図書館	移動図書館	図書館	移動図書館		
一般図書	48,881 冊	4,322 冊	1,603 冊	3 冊	507 冊	55,316 冊
児童図書	43,749	1,805	8,100	938	9,843	64,435
雑 誌	4,500	341	426	0	—	5,267
C D	96 枚	0 枚	2 枚	0 枚	—	98 枚
カセット	1 巻	0 巻	0 巻	0 巻	—	1 巻
合 計	97,227	6,468	10,131	941	10,350	125,117
前 年 度	100,434	7,257	11,313	1,063	14,070	134,137
増 減	△3,207	△789	△1,182	△122	△3,720	△9,020

イ 貸出者数

(単位：人)

	図書館	移動図書館	合計	比率
小学生含幼・保	3,365	683	4,048	14.7%
中 学 生	339	1	340	1.2
高 校 生	219	0	219	0.8
一 般 成 人	21,857	1,073	22,930	83.3
合 計	25,780	1,757	27,537	100.0
前 年 度	25,674	2,030	27,704	
増 減	106	△273	△167	

ウ 登録者数 (単位：人)

区 分	合 計
小学生 (含幼・保)	1,015
中 学 生	503
高 校 生	583
一 般 成 人	11,701
合 計	13,802
前 年 度	13,341
増 減	461

※登録率 83.4% (前年度 78.7%)  
人口 16,554 人宮津市のみ 11,242 人 (67.9%)

(単位：人)

他市町	
福 知 山 市	47
綾 部 市	21
舞 鶴 市	206
与 謝 野 町	1,354
伊 根 町	119
京 丹 後 市	745
京都府内(上記以外の地域)	20
京 都 府 外	48
計	2,560

#### 第4節 文化財保護

##### 1 埋蔵文化財調査事業 (市内遺跡発掘調査事業)

市内遺跡の保護と活用を図るため、埋蔵文化財包蔵地内における開発行為の調整を図るとともに、必要に応じて試掘調査や工事立会を行った。また、市内重要遺跡である安国寺遺跡について、平成28年度より年次計画に基づき範囲内容確認調査を実施した。

##### (1) 開発行為の対応

- ア 埋蔵文化財包蔵地の照会 18 件
- イ 文化財保護法第93条に基づく届出 6 件 (試掘調査1件 工事立会5件)
- ウ 文化財保護法第94条に基づく届出 2 件 (工事立会2件)

##### (2) 市内重要遺跡の範囲内容確認調査

##### ア 安国寺遺跡の発掘調査

安国寺遺跡(字中野地内)は、古代丹後国府や雪舟「天橋立図」に描かれた中世寺院「安国寺」の候補地で、古代・中世の歴史都市「丹後府中」の繁栄を示す重要遺跡であることから、平成28年度より、遺跡の範囲内容を明らかにするため発掘調査を年次計画に基づき実施している。調査の実施に当たっては、学識経験者等により組織する「丹後府中遺跡群発掘調査委員会」の指導を得た。

##### イ 実施内容

- ・安国寺遺跡の発掘調査 (114 m<sup>2</sup>)
- ・丹後府中遺跡群発掘調査委員会 (委員会：9月28日、現地指導)
- ・府中小学校見学 (12月19日)

##### 2 文化財保護事業

文化財保護審議会の開催、文化財説明板の設置更新のほか、社寺等が所有する文化財に係る相談や防火防犯活動、市民等が行う取り組みへの協力を通じて文化財の保護と活用を図った。また、令和4年度の両丹文化財保護連絡協議会を京丹后市において開催した。

##### (1) 宮津市文化財保護審議会

委員：10人 任期：2年(令和4年4月1日～令和6年3月31日)

開 催 日	主な議事内容等
令和4年5月31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度文化財保護関係事業報告並びに令和4年度事業計画</li> <li>・第21次宮津市指定文化財候補の審議・検討について</li> <li>・その他文化財保護に係る協議・意見交換</li> </ul>

令和5年2月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第21次市指定候補物件の検討（指定指針の整理、指定候補調査の報告）</li> <li>・宮津市文化財保存活用地域計画について（報告）</li> <li>・その他（報告等）</li> </ul>
-----------	--

※宮津市内国・府・市指定等文化財件数一覧（令和5年3月31日現在）

（単位：件）

種別 区分	建築物	美術工芸品							有形 民俗 文化財	無形 民俗 文化財	文化 的景 観	史跡 名勝 天然 記念 物	その他	合計
		絵 画	彫 刻	工 芸 品	書 跡・ 典籍	古 文 書	考 古 資 料	歴 史 資 料						
国宝・特別名勝						1						1		2
国指定・選定等	2	1	6	5	1	2	1		1		1	2	2	24
国登録	10													10
府指定・選定等	7	4	5	2	2	6	3	1		2	1	4	1	38
府登録	1			1		1			3	2		1		9
府暫定登録	9	25	7		2	1	6		2			3		55
市指定	6	8	14	3	2	2	2	2	10	5		9		63
計	35	38	32	11	7	13	12	3	16	9	2	20	3	201

(2) 文化財説明板の設置・更新

名称	区分	設置場所
木造地藏菩薩坐像（如意寺）	更新	字由良地内
天橋立神社	更新	字文珠地内
木造観音菩薩立像（休耕寺）	更新	字脇地内

(3) 両丹文化財保護連絡協議会

- ア 日時 令和4年11月30日 午後1時から4時
- イ 会場 アグリセンター大宮 1階 視聴覚教養室
- ウ テーマ 災害と文化財
- エ 参加者 両丹地域の文化財保護審議会委員等、行政担当者 約50人
- オ 内容
- ・講演「災害文化遺産としての兎王遺跡と治水神・兎王信仰」  
植村善博（佛教大学名誉教授）
  - ・事例報告（各市町の担当者）

3 宮津市文化財保存活用地域計画策定事業

文化財の保存活用のマスタープラン及びアクションプランとなる「宮津市文化財保存活用地域計画」について、令和5年度の文化庁の認定をめざし事業を実施した。令和4年度は、市内文化財の把握とデータ整理を行うとともに、宮津市文化財保存活用地域計画策定協議会において計画の構成を検討し、原稿執筆や図版作成等の計画書のレイアウト作業を進めた。

(1) 宮津市文化財保存活用地域計画策定協議会の開催（2回）

開催日	内容
令和4年9月5日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度事業計画</li> <li>・「文化財保存活用地域計画（案）」について</li> </ul>
令和5年1月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度の事業と今後の日程</li> <li>・「文化財保存活用地域計画（案）」について</li> </ul>

#### 4 文化的景観保護推進事業

学識経験者等により組織する宮津市文化的景観検討委員会の指導を得て、重要な構成要素の整備事業（実施設計）を行うとともに、重要な構成要素の現状変更について調整を行った。

##### (1) 宮津市文化的景観検討委員会

開催日	内容
令和4年9月20日	委員会（オンライン） ・令和3年度の事業報告 ・令和4年度の事業計画 ・重要な構成要素の現状変更
令和5年2月20、24日	現地指導 ・天橋立栈橋および溝尻舟屋の実施設計

(2) 重要な構成要素の整備事業 2件（天橋立栈橋（実施設計）、溝尻舟屋（実施設計））

(3) 重要な構成要素の現状変更 10件

#### 5 重要文化財旧三上家住宅

令和3年度より指定管理者として「特定非営利活動法人 天橋作事組」を選定し、管理運営業務を委託した。

##### (1) 指定管理料等

指定管理料	利用料金	自主事業収入	雇用保険預金	その他収入	合計
4,000,000円	659,850円	663,810円	7,427円	2,907円	5,333,994円

（天橋作事組業務報告書）

##### (2) 開館及び利用状況

ア 開館日数 309日（休館日：毎週水曜日・年末年始）

イ 観覧者数及び観覧料収入

区分	基本料金			宿泊者 優待券	減免	合計
	個人	団体	小計			
人数 (単位：人)	1,814 (1,366)	318 (63)	2,132 (1,429)	87 (34)	154 (136)	2,373 (1,599)
金額 (単位：円)	538,800 (404,200)	79,500 (15,750)	618,300 (419,950)	21,650 (8,500)	3,100 (1,950)	643,050 (430,400)

※表中下段（ ）書きは、前年度の実績（天橋作事組業務報告書）

ウ 施設利用状況

区分	オクザシキ	茶室	合計
件数 (単位：件)	15〔1〕 (10〔1〕)	0 (0)	15〔1〕 (10〔1〕)
金額 (単位：円)	16,800 (10,800)	0 (0)	16,800 (10,800)

※表中下段（ ）書きは、前年度の実績〔 〕書きはうち減免件数（天橋作事組業務報告書）

##### (3) 自主事業の実施

事業名称	期間	入館者数（人）	夜間
じよんのれん70 t hライブ	4月9日	25	○
じよんのれん71 t hライブ	5月14日	90	○
大原隆行氏展示会	6月21日 ～6月30日	170	
じよんのれん72 t hライブ	6月25日	48	○
京都府立大学COC+	7月3日	—	
じよんのれん73 t hライブ	8月6日	72	○



京都府立大学COC+	9月21日 ～9月22日	—	
じよんのれん74thライブ	10月8日	90	○
じよんのれん75thライブ	11月5日	60	○
和火無料開館	11月23日	36	○
DMOモデルツアー夜間宴会	12月6日	—	○
宮津おどり振興会による踊り披露	12月17日	4	
二十歳の集い無料開館	1月8日	26	
宮津おどり振興会による踊り披露	1月21日	6	
お雛様の展示	2月8日 ～3月31日	—	
宮津おどり振興会による踊り披露	2月18日	4	
宮津まちなみシンポジウム	3月4日	40	
京都府立大学生COC+ 旧三上家住宅企画展示&お茶カフェ	3月4日	20	
じよんのれん76thライブ	3月4日	70	○
宮津おどり振興会による踊り披露	3月18日	4	

(天橋作事組業務報告書)

(4) 文化財等の観光コンテンツ化による賑わいづくり(旧三上家住宅分) 2,177,280円

「重要文化財旧三上家住宅」を市民や観光客の交流拠点として整備し、市民の文化活動の充実や観光コンテンツ化を目的に、施設の整備や利活用の実証事業を実施した。

ア 文化観光プログラムの開発

指定管理者が行う重要文化財「旧三上家住宅」を活用した新たな利活用プログラムの開発及び実証実験に対して補助金を交付した。

- ・物販機能の強化(カフェスペース運営 等)
- ・観光プロモーション及び旅行商品造成(モニターツアー実施 等)
- ・学生による利活用事業の展開(学生参加のシンポジウムや企画展示等の実施)
- ・実験的利活用(学生による利活用、夜間音楽イベントの開催 等)

イ 夜間ライトアップ及びイベントの実施

施設の魅力向上のための建物外観、内部、庭園のライトアップを実施した。また、建物内部の夜間公開とライトアップを活かした集客イベントを開催した。

- ・建物外観のライトアップ(通年)
- ・夜間特別開館と合わせた集客イベントの開催 9回
- ・照明器具の追加設置及び管理

ウ プロモーション用映像コンテンツの作成

旧三上家住宅の魅力を紹介する映像コンテンツ2本を作成した。

- ・「時が揺蕩うー重要文化財旧三上家住宅」
- ・「三上家と茶屋町ーカール・ヴァルザーとベルンハルト・ケラーマンの旅ー」

## 6 みやづ歴史の館

指定管理者に、公益財団法人宮津市民実践活動センターを指定し、管理運営を委託した。

### (1) みやづ歴史の館指定管理料等（再掲）

指定管理料	管理経費	利用料金	
32,605,255円	36,135,127円	3,529,872円	中央公民館分 1,396,649円
			歴史の館分 2,133,223円

(公益財団法人宮津市民実践活動センター事業報告書)

### (2) 文化ホール利用状況

区分	大会	講演会	講習会	公演	発表会	式典	その他	合計
利用件数 (単位:件)	1 (2)	7 (6)	12 (7)	17 (10)	13 (10)	4 (4)	67 (57)	121 (96)
利用人数 (単位:人)	100 (250)	730 (630)	1,160 (500)	2,359 (1,312)	1,410 (890)	620 (420)	4,004 (3,225)	10,383 (7,227)

※開館日数 317日

※表中下段( )書きは、前年度の実績

(公益財団法人宮津市民実践活動センター事業報告書)

### (3) 文化ホール利用料金収入状況

区分		収 入	
		件数(件)	金額(円)
施設	文化ホール	110	1,062,678
	計	110	1,062,678
設備	冷房料	28	445,972
	暖房料	15	113,624
	舞台設備	77	177,848
	照明設備	61	129,128
	音響設備	48	146,933
	映像設備	26	52,930
	その他	16	4,110
計	271	1,070,545	
合計	381	2,133,223	

(公益財団法人宮津市民実践活動センター事業報告書)

### (4) 改修・営繕等事業

区分	内 容	事業費
歴史の館	非常用自家発電機燃料タンク修繕	1,754,720円

## 7 宮津市歴史資料館

平成19年4月1日から休館中であるが、収蔵庫等の維持管理に努めるとともに、収蔵資料等の貸出等を行った。また、宮津市が主催・共催するイベント等にあわせて常設展示室の特別開館を行うとともに、「宮津市歴史資料館に係る特別利用要項」に基づいて特別利用の受入れを行った。

(1) 資料等の貸出 2件 (※他資料館施設等が行う展示への資料貸出)

(2) 資料調査への対応 2件

(3) 特別開館・特別利用

ア 特別開館 (2件、計72人) (※天橋立ツーデーウォーク、宮津市民文化祭)

イ 特別利用 (1件、計8人)

## 8 世界遺産

天橋立世界遺産登録推進のため、民間で構成される「天橋立を世界遺産にする会」が行う機運醸成・普及啓発等々の事業に対し補助金を交付し、京都府や地元自治体、関係機関などと連携の上、その活動を支援した。

### (1) 普及啓発事業

#### ア 天橋立国際オンラインカンファレンス（京都府・与謝野町・宮津市と「する会」の共催）

天橋立の国際的価値の向上を目的として、宮津湾・伊根町湾が姉妹湾協定を締結する世界文化遺産モン・サン・ミシェル(フランス)の関係者とオンラインカンファレンスを開催した。

- ・日 時 令和5年2月3日 午後4時30分から7時30分
- ・会 場 ルビノ京都堀川「ひえいの間」  
宮津市福祉・教育総合プラザ第1コミュニティールーム（地元上映会場）
- ・出席者 ルイ・ティボルト氏（モン・サン・ミシェル広域自治体連合首長）  
ジャン＝ロベール・ピット（地理学者/元ソルボンヌ大学学長）  
京都府天橋立世界遺産推進会議委員、専門委員  
関係機関職員及び地元関係者
- ・内 容 報告「世界遺産を目指す天橋立の価値について」  
講演「世界遺産「モン・サン＝ミシェル」から見た「天橋立」について」  
コメント「欧州・フランスから見た天橋立について」  
質疑応答、意見交換

#### イ 天橋立世界遺産講座

京都府立京都学・歴彩館を会場として講座を開催し、京都市内において天橋立の価値や魅力を紹介する連続講座を開催した。令和4年度は「名勝」をテーマとして実施した。

- ・日 時 令和4年9月15日～令和4年10月6日(4回) 14時30分～16時30分
- ・会 場 京都府立京都学・歴彩館 大ホール
- ・参加者 延べ383人
- ・内 容

第1回	9月15日	日本の庭園と天橋立	仲 隆裕（京都芸術大学教授）
第2回	9月22日	名勝の誕生	上杉和央（京都府立大学准教授）
第3回	9月29日	天橋立の景観と松林管理	深町加津枝（京都大学准教授）
第4回	10月6日	世界文化遺産 静岡市三保松原の保護	山田祐記子（静岡市三保松原文化創造センターみほしるべ）

#### ウ パネル展示「天橋立と世界遺産」

天橋立世界遺産講座の開催にあわせ、京都府立京都学・歴彩館において、天橋立の価値や世界遺産登録推進運動などを紹介するパネル展示を実施した。

- ・日 時 令和4年9月15日～10月6日
- ・会 場 京都府立京都学・歴彩館 1階ロビー

#### エ パネル展示「天橋立パネル展 ～名勝100年から次の100年へ～」

京都府立京都学・歴彩館の交流スペースである京都学ラウンジにおいてパネル展示と動画上映を実施。

- ・日 時：令和5年1月19日（木）から3月7日（火）
- ・会 場：京都府立京都学・歴彩館1階 京都学ラウンジ

## (2) 情報発信・PR 事業

### ア 関連団体、イベントとの連携および PR 活動

- ・クリーンはしだて一斉清掃 令和4年4月17日
- ・宮津市文化祭 令和4年11月3日、11月5日
- ・迎春 天橋立一斉清掃 令和4年12月11日

### イ メディア等を通じた PR 活動、各種メディアによる取材

### ウ 普及啓発グッズの作成

「天橋立名勝 100 年特別名勝 70 年」記念グッズ（のぼり、クリアファイル、横断幕）

## 9 天橋立名勝 100 年・特別名勝 70 年記念事業

天橋立が名勝に指定されて 100 年、特別名勝に指定されて 70 年の節目の年に、改めて天橋立の価値や保全活用の原点をみつめ直し、未来への継承について考える機会とするべく、市長部局とも連携の上記念事業を実施した。

### ア 天橋立名勝 100 年・特別名勝 70 年記念シンポジウム

- ・日 時：令和4年11月19日（土）午後1時30分から4時30分
- ・会 場 みやづ歴史の館2階 文化ホール
- ・内 容 講演1「日本の名勝 —100年の歩み—」 平澤 毅（文化庁）  
講演2「芸術の源泉としての富士山と天橋立」【オンライン】  
松島 仁（静岡県富士山世界遺産センター教授）  
事例発表「特別名勝・天橋立と日本の文化的景観」  
河森一浩（宮津市教育委員会）  
パネルディスカッション「富士山、三保松原、天橋立の価値と保全」  
平澤、松島、山本大八朗（天橋立を守る会）、聞き手：河森

### イ ウォークイベント「特別名勝・天橋立を歩く」

- ・日 時 令和4年11月20日（日） 午前10時から12時
- ・集合場所 智恩寺山門前（智恩寺近辺及び天橋立を散策）

### ウ 歴史講座「映像でみる天橋立の歴史と魅力」

- ・日 時 令和4年7月16日、8月20日、27日（各土曜日）【全3回】  
午後1時30分から3時
- ・会 場 宮津市福祉・教育総合プラザ3階 第1コミュニティールーム
- ・内 容 令和3年度に作成した天橋立の動画を使った講座（歴史、伝説、景観）

### エ 天橋立世界遺産講座（録画上映）

- ・日 時 令和4年7月7日、14日、21日、28日（各木曜日）【全4回】  
午後7時から8時30分
- ・会 場 宮津市福祉・教育総合プラザ4階 第4コミュニティールーム
- ・内 容 過去の「天橋立世界遺産講座」の録画映像の上映とポイント解説

### オ 記念グッズの作成 等

# 第17章 選挙管理委員会

## 1 委員会開催状況

開催年月日	付 議 事 項
令和4年6月1日	選挙人名簿の定時登録、選挙人名簿の閲覧状況の公表 ほか
令和4年6月11日	R4市長市議選に係る選挙人名簿の選挙時登録 ほか
令和4年6月12日	R4市長市議選に係る候補者の氏名等の掲載順序を定めるくじの実施について
令和4年6月21日	R4参院選に係る選挙人名簿の選挙時登録 ほか
令和4年6月22日	R4参院選に係る候補者の氏名等の掲載順序を定めるくじの実施について
令和4年9月1日	選挙人名簿の定時登録、市長市議選挙・参議院選挙の結果について ほか
令和4年12月1日	選挙人名簿の定時登録 ほか
令和5年3月1日	選挙人名簿の定時登録、京都府議会議員一般選挙について ほか
令和5年3月30日	R5 府議選に係る選挙人名簿の選挙時登録 ほか
令和5年3月31日	R5 府議選に係る候補者の氏名等の掲載順序を定めるくじの実施について

## 2 選挙人名簿

永久選挙人名簿の登録者数と地方自治法の規定による選挙権を有する者の総数の50分の1の数等は、次のとおりであった。

登録期日	男	女	計	50分の1の数	3分の1の数	6分の1の数
令和4年6月1日	6,995 人	7,846 人	14,841 人	297 人	4,947 人	2,474 人
令和4年6月11日	6,995	7,846	14,841	297	4,947	2,474
令和4年6月21日	7,002	7,838	14,840	297	4,947	2,474
令和4年9月1日	6,966	7,810	14,776	296	4,926	2,463
令和4年12月1日	6,933	7,757	14,690	294	4,897	2,449
令和5年3月1日	6,908	7,702	14,610	293	4,870	2,435
令和5年3月30日	6,894	7,693	14,587	292	4,863	2,432

また、在外選挙人名簿の登録者数は、次のとおりであった。

登録期日	男	女	計
令和4年6月1日	2 人	10 人	12 人
令和4年6月21日	2	10	12
令和4年9月1日	3	9	12
令和4年12月1日	4	8	12
令和5年3月1日	4	8	12

## 3 検察審査員候補者予定者の選定

検察審査会法の規定に基づき令和4年度検察審査員候補者予定者の選定を行い、次のとおり各群の候補者予定者を選定した。

第1群 19人	第2群 19人	第3群 19人	第4群 18人
---------	---------	---------	---------

## 4 裁判員候補者予定者の選定

裁判員の参加する刑事裁判に関する法律の規定に基づき、令和4年度裁判員候補者予定者47名を選定した。

## 5 啓発活動の実施

選挙が明るく公正に行われ、選挙人の意思が政治に正しく反映される選挙を実現するため、啓発

活動等を行う。令和4年度は明るい選挙啓発ポスター及び標語の募集を行った。

明るい選挙ポスター及び標語募集事業

○ポスター 応募作品 28点（養老小1点、栗田中5点、宮津中22点）

結 果 京 都 府 入 選 2 点（宮津中2点）

佳 作 1 点（栗田中1点）

○標 語 応募作品 15点（宮津小2点、海洋高13点）

結 果 京 都 府 選 管 委 員 長 賞 1 点（海洋高1点）

6 各種選挙の結果について

(1) 令和4年4月10日執行京都府知事選挙

ア 地区別投票者数及び投票率

地 区	有 権 者 数	投 票 者 数	棄 権 者 数	投 票 率	
宮 津	7,177 人	3,398 人	3,779 人	47.35 %	
上宮津	870	452	418	51.95	
栗 田	1,530	827	703	54.05	
吉 津	1,222	652	570	53.36	
府 中	1,462	767	695	52.46	
日 置	614	326	288	53.09	
世 屋	84	53	31	63.10	
養 老	714	412	302	57.70	
日ヶ谷	138	82	56	59.42	
由 良	873	417	456	47.77	
合 計	男	6,907	3,462	3,445	50.12
	女	7,777	3,924	3,853	50.46
	計	14,684	7,386	7,298	50.30

イ 開票状況（宮津市開票区）

有効投票数	無効投票数	投票総数	無効投票率	持帰り票
7,260 票	126 票	7,386 票	1.71 %	0 票

ウ 候補者別得票数（宮津市開票区）

候補者氏名	年齢	所属党派	職 業	得 票 数
梶 川 憲	満62歳	無 所 属	京都地方労働組合総評議会議長	1,440 票
西 脇 隆 俊	満66歳	無 所 属	京都府知事	5,820

エ 当選者

西脇 隆俊

(2) 令和4年6月19日執行宮津市長選挙

ア 地区別投票者数及び投票率

地 区	有 権 者 数	投 票 者 数	棄 権 者 数	投 票 率
宮 津	7,138 人	4,271 人	2,867 人	59.83 %
上宮津	865	592	273	68.44
栗 田	1,512	963	549	63.69
吉 津	1,211	798	413	65.90
府 中	1,455	981	474	67.42
日 置	612	386	226	63.07
世 屋	83	62	21	74.70

養老		714	492	222	68.91
日ヶ谷		136	102	34	75.00
由良		871	474	397	54.42
合計	男	6,860	4,267	2,593	62.20
	女	7,737	4,854	2,883	62.74
	計	14,597	9,121	5,476	62.49

イ 開票状況

有効投票数	無効投票数	投票総数	無効投票率	持帰り票
8,939 票	182 票	9,121 票	2.00 %	0 票

ウ 候補者別得票数

候補者氏名	年齢	所属党派	職業	得票数
城崎 雅文	満51歳	無所属	無職	6,318 票
長林 三代	満64歳	無所属	無職	2,621

エ 当選者

城崎 雅文（満51歳、所属党派：無所属）

(3) 令和4年6月19日執行宮津市議会議員一般選挙

ア 地区別投票者数及び投票率

地区	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率	
宮津	7,138 人	4,273 人	2,865 人	59.86 %	
上宮津	865	592	273	68.44	
栗田	1,512	962	550	63.62	
吉津	1,211	798	413	65.90	
府中	1,455	982	473	67.49	
日置	612	386	226	63.07	
世屋	83	62	21	74.70	
養老	714	492	222	68.91	
日ヶ谷	136	103	33	75.74	
由良	871	474	397	54.42	
合計	男	6,860	4,270	2,590	62.24
	女	7,737	4,854	2,883	62.74
	計	14,597	9,124	5,473	62.51

イ 開票状況

有効投票数	無効投票数	投票総数	無効投票率	持帰り票
8,985 票	139 票	9,124 票	1.52 %	0 票

ウ 候補者別得票数

候補者氏名	年齢	所属党派	職業	得票数	当落別
松本 隆	満63歳	公明党	政党役員	978 票	当
堀 未季	満37歳	無所属	無職	938	
坂根 栄六	満44歳	無所属	乗馬体験施設経営	836	
宇都宮 綾	満52歳	日本共産党	ペンション経営	832	
小濃 孝之	満67歳	日本共産党	農業	690	
松浦 登美義	満63歳	公明党	政党役員	662	
星野 和彦	満56歳	無所属	宮津を元気に する会代表	629	
徳本 良孝	満69歳	自由民主党	行政書士	542	
河原 末彦	満69歳	無所属	農業	515	
長本 義浩	満58歳	無所属	建具製造業経営者	500	

横川 秀哉	満55歳	無所属	株式会社時計のよ こかわ代表取締役	462	
幾世 恭典	満39歳	無所属	株式会社橋立大丸 社長	394	
久保 浩	満62歳	無所属	宮津市議会議員	371	
安田 裕美	満49歳	無所属	株式会社京都宮津 オリーブ代表取締 役社長	338	
向山 禎彦	満65歳	無所属	食品加工業経営	298	落

(4) 令和4年7月10日執行参議院京都府選挙区選出議員選挙

ア 地区別投票者数及び投票率

地区	有権者数	投票者数	棄権者数	投票率	
国内	宮津	7,267人	3,891人	3,376人	53.54%
	上宮津	872	493	379	56.54
	栗田	1,526	871	655	57.08
	吉津	1,234	705	529	57.13
	府中	1,467	817	650	55.69
	日置	621	354	267	57.00
	世屋	83	55	28	66.27
	養老	721	421	300	58.39
	日ヶ谷	137	85	52	62.04
	由良	881	444	437	50.40
在外	12	1	11	8.33	
合計	男	6,989	3,947	3,042	56.47
	女	7,832	4,190	3,642	53.50
	計	14,821	8,137	6,684	54.90

イ 開票状況

有効投票数	無効投票数	投票総数	無効投票率	持帰り票
7,856票	281票	8,137票	3.45%	0票

ウ 候補者別得票数(届出順)

候補者氏名	年齢	所属党派	職業	得票数
土居 彩子	満51歳	日本共産党	政党役員	829票
福山 哲郎	満60歳	立憲民主党	参議院議員	2,282
平井 基之	満43歳	新党くにもり	会社役員	27
橋本 久美	満53歳	維新政党・新風	公認心理師	189
星野 達也	満33歳	NHK党	会社員	113
安達 悠司	満40歳	参政党	弁護士	247
近江 政彦	満52歳	NHK党	派遣社員	23
楠井 祐子	満54歳	日本維新の会	政党役員	1,324
吉井 章	満55歳	自由民主党	政党役員	2,822

エ 当選者

吉井 章 福山 哲郎



(5) 令和4年7月10日執行参議院比例代表選出議員選挙

ア 地区別投票者数及び投票率

地区		有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
国内	宮津	7,267 人	3,891 人	3,376 人	53.54 %
	上宮津	872	493	379	56.54
	栗田	1,526	871	655	57.08
	吉津	1,234	705	529	57.13
	府中	1,467	817	650	55.69
	日置	621	354	267	57.00
	世屋	83	55	28	66.27
	養老	721	421	300	58.39
	日ヶ谷	137	85	52	62.04
	由良	881	444	437	50.40
在外		12	1	11	8.33
合計	男	6,989	3,947	3,042	56.47
	女	7,832	4,190	3,642	53.50
	計	14,821	8,137	6,684	54.90

イ 開票状況

有効投票数	無効投票数	投票総数	無効投票率	持帰り票
7,882 票	255 票	8,137 票	3.13 %	0 票

ウ 各参議院名簿届出政党等の得票数 (届出順)

政党等の名称	得票数	政党等の名称	得票数
幸福実現党	14.000 票	日本第一党	2.000 票
日本維新の会	1,632.895	日本共産党	847.103
れいわ新選組	214.528	新党くにもり	9.000
公明党	770.000	自由民主党	2,609.804
ごぼうの党	19.000	社会民主党	94.000
立憲民主党	1,081.592	N H K 党	78.000
国民民主党	323.407	維新政党・新風	5.000
参政党	181.666		

# 第18章 公平委員会

## 1 公平委員

(令和5年3月31日現在)

職名	氏名	備考
委員長	豊浦 嘉治	
委員	福井 栄子	委員長職務代理者
	桐村 圭子	

## 2 委員会の開催

開催年月日	開催場所	議題等
R4. 4. 15	宮津市役所公平委員会事務局	令和4年度事業計画について ① 令和4年度全国公平委員会連合会近畿支部総会・研修会等への参加ほか ② 京都府公平委員会連合会総会並びに事務研究会について
R4. 9. 16	宮津市役所公平委員会事務局	・新公平委員の紹介 ・委員長選挙 ・公平委員長職務代理者の指定について

## 3 委員の研修等

内容	開催日	開催地	参加人員
全国公平委員会連合会近畿支部特別研究会	(R4. 4. 22)	(御坊市)	中止
京都府公平委員会連合会総会及び事務研究会	(R4. 5. 13)	(長岡京市)	総会：書面審議 研究会：中止
全国公平委員会連合会近畿支部総会及び事務研究会	(R4. 8. 5)	(御坊市)	総会：書面審議 研究会：中止

## 4 業務の状況

区分	件数
勤務条件に関する措置の要求	0
不利益処分についての審査請求	0
職員の苦情の処理	0

# 第 19 章 監査委員

## 1 監査委員 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

監 査 委 員	氏 名
識見選出委員	中 村 明 昌
議員選出委員	松 本 隆

## 2 定期監査

地方自治法（以下この章において「法」という。）第199条第4項の規定により、令和3年度に執行された財務に関する事務及び経営に係る事業の管理並びに市の事務について、全部・局を対象に関係書類の提出を求め、書面による審査を行うとともに、必要に応じて関係職員から事情聴取を行った。また、前年度の指摘事項が改善されているかについて重点的に監査を実施した。

### (1) 監査の期間

令和4年9月5日から令和5年2月17日まで

### (2) 監査の結果

監査の結果については、法第 199 条第 9 項の規定により、議会及び市長等に報告するとともに、これを公表した。

## 3 例月出納検査

法第235条の2第1項の規定により、前々月分の各会計、基金等に係る現金、預金等の出納保管状況について、公営企業会計については毎月5日過ぎ、一般・特別会計及び基金については毎月25日前後に、検査を実施した。

なお、検査の結果については、同条第3項の規定により、議会及び市長に報告した。

## 4 決算、基金及び健全化判断比率・資金不足比率審査

### (1) 公営企業会計決算

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された令和3年度宮津市公営企業会計決算について、令和4年5月31日から8月2日まで審査を行い、その結果について、市長に意見書を提出した。

### (2) 一般・特別会計決算及び基金の運用状況

法第233条第2項及び第241条第5項の規定により、審査に付された令和3年度宮津市一般・特別会計決算及び各基金の運用状況について、令和4年7月8日から8月19日まで審査を行い、その結果について、市長に意見書を提出した。

### (3) 健全化判断比率・資金不足比率の審査

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により、審査に付された令和3年度宮津市健全化判断比率及び資金不足比率について、令和4年7月8日から8月19日まで審査を行い、その結果について、市長に意見書を提出した。

## 5 住民監査請求に基づく監査

地方自治法第242条第9項の規定により住民監査請求に基づく勧告に係る措置を実施した旨の通知があったので、同項の規定により当該通知に係る事項を公表した。

監 査 結 果	
措置状況の報告	1 件

## 第20章 農業委員会

### 1 委員の構成

農業委員	14人
農地利用最適化推進委員	10人
合 計	24人

※任期：令和2年7月20日～令和5年7月19日

### 2 農業委員会協力員

地域に根ざした農業委員会活動を展開していくため、農家組合ごとに72名の農業委員会協力員を委嘱した。

### 3 会議等開催状況

(単位：回)

定 例 総 会	12	役 員 会	12	農地利用最適化推進会議	12
建 議 等 専 門 委 員 会	2	情 報 委 員 会	2		

### 4 農地関係処理状況

処 理 内 容	筆 数	面 積			合 計
		田	畑	その他	
所 有 権 移 転 (農地法第3条)	18	9,360.00	1,687.00	-	11,047.00
使用貸借による権利の設定 (農地法第3条)	-	-	-	-	-
使用貸借による権利の移転 (農地法第3条)	-	-	-	-	-
賃 貸 借 権 の 設 定 (農地法第3条)	-	-	-	-	-
賃 貸 借 権 の 移 転 (農地法第3条)	-	-	-	-	-
農 地 転 用 (農地法第4条)	1	-	319.00	-	319.00
農 地 転 用 (農業用施設等) (農地法第4条届出)	1	23.10	-	-	23.10
農地転用のための権利移転 (農地法第5条)	6	681.00	529.00	442.07	1,652.07
貸 借 契 約 の 解 約 (農地法第18条)	214	201,664.00	13,870.00	-	215,534.00
非 農 地 証 明	132	15,844.37	19,768.00	769.22	36,381.59
再生困難な農地の非農地判断	855	134,866.52	78,776.19	10,103.56	223,746.27
合 計	1,227	362,438.99	114,949.19	11,314.85	488,703.03

うち農地法第4条、第5条農地転用内訳

(単位:㎡)

用途別 地区別	住宅	倉庫	駐車場	資材置場	農業用施設	その他	合計	筆数	
								4条	5条
宮津	982.00	-	-	-	-	-	982.00	-	3
上宮津	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栗田	-	-	488.65	-	-	-	488.65	1	1
由良	-	-	-	-	-	-	-	-	-
吉津	-	-	-	-	-	-	-	-	-
府中	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日置	228.00	-	272.42	-	-	-	500.42	-	2
世屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-
養老	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日ヶ谷	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,210.00	-	761.07	-	-	-	1,971.07	1	6

### 5 農用地利用集積状況

(単位:㎡)

地区別 地目別	宮津	上宮津	栗田	由良	吉津	府中	日置	世屋	養老	日ヶ谷	合計
田	22,993	66,311	11,174	18,319	96,043	9,806	323,800	12,176	5,159	2,125	567,906
畑	1,283	1,385	-	1,316	-	10,932	30,457	-	-	-	45,373
合計	24,276	67,696	11,174	19,635	96,043	20,738	354,257	12,176	5,159	2,125	613,279

### 6 農地利用状況調査

農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査を農業委員会委員及び農業委員会協力員により実施した。地区ごとの耕作放棄地の状況は次のとおり。

地区名	耕作放棄地								
	A区分			B区分			合計		
	筆数 筆	面積 ㎡	放棄率 %	筆数 筆	面積 ㎡	放棄率 %	筆数 筆	面積 ㎡	放棄率 %
宮津	114	78,671	9.6	427	195,981	23.8	541	274,652	33.4
上宮津	115	87,895	6.5	998	392,050	29.1	1,113	479,945	35.6
栗田	366	175,165	9.4	1,239	353,683	19.0	1,605	528,848	28.4
由良	158	61,543	6.7	786	284,032	31.1	944	345,575	37.9
吉津	33	7,728	1.5	437	95,557	18.6	470	103,285	20.1
府中	235	69,745	9.9	449	116,493	16.6	684	186,238	26.5
日置	10	2,644	0.3	46	9,605	1.2	56	12,249	1.6
世屋	161	105,502	10.1	2,263	670,510	64.2	2,424	776,012	74.3
養老	246	117,903	5.5	3,336	1,031,919	48.5	3,582	1,149,822	54.0
日ヶ谷	54	21,315	1.7	2,325	754,648	59.5	2,379	775,963	61.3
合計	1,492	728,111	6.4	12,306	3,904,478	34.3	13,798	4,632,589	40.7

※A区分は、現に耕作されず、引き続き耕作されないと見込まれる農地で、再生利用が可能な土地

※B区分は、森林・原野化しているなど、農地に復元することが困難な土地

## 7 農地利用意向調査

農地法第32条の規定により、遊休農地の所有者等に対し、農地の農業上の利用の意向についての調査を行った。

- |             |          |      |               |
|-------------|----------|------|---------------|
| (1) 調査書送付状況 | 所有者等119人 | 217筆 | 面積119,484.88㎡ |
| (2) 回答状況    | 所有者等84人  | 137筆 | 面積69,163.32㎡  |

## 8 農地利用最適化推進活動

### (1) 農地利用最適化推進活動

毎月、定例総会後にテーマを設定し、農地利用最適化推進会議を開催したほか、農業委員会委員が中心となって集落単位で今後の農地利用や農業振興策について話し合いの場を積極的に設けるよう努め、50/75集落で京力農場プランや集落営農等のあり方について話し合いを重ねた。

### (2) 地区連絡会議・拡大地区連絡会議の開催

地域の農業に関わる課題を明らかにし、将来の農業振興を推進するため、農業委員と農地利用最適化推進委員が旧町村単位で担当地区ごとに会議を開催するとともに、農業委員会協力員等との意見交換会(拡大地区連絡会議)を7月の農地利用状況調査説明会時に開催した。

## 9 研修視察

### (1) 視察先

- ア 丹波市立農(みのり)の学校
- イ 丹波市産業経済部農林振興課
- ウ 株式会社 丹波たかみ農場
- エ ビオ・ラビッツ 株式会社
- オ 株式会社 坪口農事未来研究所

### (2) 視察目的

- ア 有機農業が学べる全日制の学校「農(みのり)の学校」について
- イ 丹波市の有機農業を中心とした農業振興施策について
- ウ 有機農業と6次産業化について
- エ 有機農業と飲食の提供、6次製品の加工・販売等について
- オ 有機農業と営農型太陽光発電施設について

- |          |       |            |
|----------|-------|------------|
| (3) 視察日  | 上記ア～ウ | 令和4年11月29日 |
|          | 上記エ～オ | 令和4年12月9日  |
| (4) 参加人数 | 上記ア～ウ | 15人        |
|          | 上記エ～オ | 20人        |

## 10 農地地図の更新・タブレット導入

毎年実施している農地利用状況調査の基となる図面が長年更新できていなかった中、昨年導入した京都府市町村共同統合型地理情報システム(京都府GIS)の農地情報を出力することで新たな地図の作成を行った。

- 農地利用状況調査用図面作成業務 990,000円

農地利用状況調査等に係る現地確認を適正に実施するため、全ての農業委員会委員に現地において農地情報システムを閲覧できる情報端末を配付し情報収集等業務の効率化を図った。

- タブレット端末購入 743,952円 (運用開始：令和4年8月)

## 11 その他の活動

### (1) 農地パトロールの実施

農地転用許可地・農地形状変更届受理地等の進捗状況の確認のため、市内を北部(22か所)・南部(17か所)地区に分け農地パトロールを実施した。

ア 開催日 令和4年10月21日、10月28日

### (2) 農業委員会等に関する法律に基づく市長への意見書の提出

農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定による意見書を提出し、市長と建議等専門委員会委員による農地利用の最適化推進に係る政策連携会議(トップ会議)を開催し、意見交換を行った。

ア 開催日 令和4年11月15日

### (3) 農業委員会だよりの発行 年1回(令和5年3月6日)

### (4) 若手農業者の集いの開催

	第1回	第2回
期 日	令和5年8月18日	令和5年3月20日
テーマ	「有機農業の今後の可能性について」	「儲ける農業について」
講 師	(株)マイファーム 取締役 アグリイノベーション大学 学長 石原北斗氏 ※オンライン出演	有限会社 誠武農園 代表取締役 西川忠弘氏
参加者	全18人(うち若手農家8人)	全24人(うち若手農家15人)

### (5) 法人研修

#### ア 法人設立講座

	第1日	第2日
期 日	令和5年1月19日	令和5年1月20日
テーマ	農業法人設立時の課題と税務・会計	法人における雇用と労務管理
講 師	高岡 政義税理士	坂根 省吾 社会保険労務士
参加者	12人	12人

## 12 農業者年金

(令和5年3月31日現在)

	人 数	備 考
旧制度受給権者	37人	農業者老齢年金・経営移譲年金
新制度受給権者	4人	農業者老齢年金
受給権者合計	41人	
新制度被保険者	3人	



# 第21章 議 会

## 第1節 議員表彰

区 分	表彰年月日	被表彰者
全国市議会議長会議員一般表彰（正副議長4年以上）	令和3年5月26日	北 仲 篤
全国市議会議長会議員一般表彰（議員在職10年以上）	令和3年5月26日	河 原 末 彦
全国市議会議長会議員一般表彰（議員在職10年以上）	令和3年5月26日	坂 根 栄 六
全国市議会議長会議員一般表彰（議員在職15年以上）	令和4年5月25日	長 林 三 代
全国市議会議長会議員一般表彰（議員在職25年以上）	令和4年5月25日	徳 本 良 孝

## 第2節 議会の組織

### 1 議員の氏名・議席番号

(R5. 3. 31 現在)

議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
1	宇都宮 綾	8	河 原 末 彦
2	小 濃 孝 之	9	安 田 裕 美
3	松 本 隆	10	坂 根 栄 六
4	松 浦 登美義	11	長 本 義 浩
5	幾 世 恭 典	12	横 川 秀 哉
6	徳 本 良 孝	13	久 保 浩
7	堀 未 季	14	星 野 和 彦

※ R4. 6. 19 執行 宮津市議会議員一般選挙により当選

### 2 議長・副議長

議 長 徳 本 良 孝 (令和4年7月9日退任)  
 徳 本 良 孝 (令和4年7月20日就任)  
 副議長 河 原 末 彦 (令和4年7月9日退任)  
 長 本 義 浩 (令和4年7月20日就任)

### 3 常任委員会

#### (1) 総務文教委員会

委員長	副委員長	委 員
横川秀哉	松本 隆	星野和彦、小濃孝之、長本義浩、北仲 篤、河原末彦
松浦登美義	安田裕美	宇都宮綾、徳本良孝、堀 未希、坂根栄六、星野和彦

(任期：上段 R4. 7. 9 まで／下段 R4. 7. 20 から)

#### (2) 産業建設福祉委員会

委員長	副委員長	委 員
坂根栄六	久保 浩	向山禎彦、※ 長林三代、松浦登美義、徳本良孝
小濃孝之	横川秀哉	松本 隆、幾世恭典、河原末彦、長本義浩、久保 浩

(任期：上段 R4. 7. 9 まで／下段 R4. 7. 20 から)

#### (3) 予算委員会

委員長	副委員長	委 員
長本義浩	※長林三代	久保 浩、星野和彦、松本 隆、向山禎彦、横川秀哉、小濃孝之、松浦登美義、坂根栄六、北仲 篤、河原末彦
坂根栄六	久保 浩	宇都宮綾、小濃孝之、松本 隆、松浦登美義、幾世恭典、堀 未希、河原末彦、安田裕美、長本義浩、横川秀哉、星野和彦

(任期：上段 R4. 7. 9 まで／下段 R4. 7. 20 から)

(4) 決算委員会

委員長	副委員長	委 員
長本義浩	※長林三代	久保 浩、松本 隆、向山禎彦、横川秀哉、小濃孝之、松浦登美義、坂根栄六、北仲 篤、河原末彦
坂根栄六	久保 浩	宇都宮綾、小濃孝之、松浦登美義、幾世恭典、堀 未希、河原末彦、安田裕美、長本義浩、横川秀哉、星野和彦

(任期：上段 R4. 7. 9 まで／下段 R4. 7. 20 から)

(5) 議会情報化委員会

委員長	副委員長	委 員
向山禎彦	北仲 篤	久保 浩、小濃孝之、松浦登美義、坂根栄六、河原末彦
久保 浩	宇都宮綾	松浦登美義、幾世恭典、堀 未希、河原末彦

(任期：上段 R4. 7. 9 まで／下段 R4. 7. 20 から)

※上記各常任委員会中、長林三代委員は令和 4 年 6 月 10 日議員辞職に伴い、同日後欠員。

#### 4 議会運営委員会

委員長	副委員長	委 員
星野和彦	長本義浩	向山禎彦、※長林三代、松浦登美義
松浦登美義	星野和彦	小濃孝之、坂根栄六、横川秀哉

(任期：上段 R4. 7. 9 まで／下段 R4. 7. 20 から)

※長林三代委員は令和 4 年 6 月 10 日議員辞職

#### 5 特別委員会

(1) 議会活性化特別委員会

委員長	副委員長	委 員
星野和彦	横川秀哉	長林三代、松浦登美義、長本義浩
横川秀哉	河原末彦	宇都宮綾、松浦登美義

(設置・任期：上段 R4. 6. 3 まで／下段 R4. 10. 6 から)

(2) 公共施設再編及びまちづくり調査研究特別委員会

委員長	副委員長	委 員
松浦登美義	坂根栄六	久保 浩、星野和彦、松本 隆、向山禎彦、横川秀哉、小濃孝之、※長林三代、長本義浩、北仲 篤、河原末彦

(設置・任期：R4. 7. 9 まで)

※長林三代委員は令和 4 年 6 月 10 日議員辞職

#### 6 会派別所属議員数

会派名	R4. 6. 10 まで	R4. 6. 11～7. 9
公明党	2 人	2 人
蒼風会	2 人	2 人
丹誠会	2 人	2 人
日本共産党宮津市会議員団	2 人	1 人
無所属クラブ	2 人	2 人
無会派	3 人	3 人

会派名	R4.7.10から
蒼風会	6人
無所属クラブ	4人
公明党	2人
日本共産党宮津市議員団	2人

### 第3節 議会の活動状況

#### 1 本会議の審議状況

本会議	招集 月日	閉会 月日	会期 日数	会議 日数	付議事件数											
					議員提出					市長提出				請 願	計	
					条 例	意 見 書	決 議	選 挙	そ の 他	条 例	予 算	決 算	そ の 他			
令和4年 第2回臨時会	4.22	4.22	1	1	-	-	-	-	-	-	5	1	-	-	-	6
第3回定例会	5.23	6.3	12	3	-	-	-	-	-	3	2	-	-	-	-	5
第4回臨時会	7.20	7.20	1	1	1	-	-	7	5	-	-	-	1	-	-	14
第5回臨時会	8.3	8.5	3	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
第6回定例会	8.30	10.6	38	5	-	-	-	-	4	1	8	16	5	-	-	34
第7回定例会	11.30	12.23	24	4	1	-	-	-	2	6	7	-	3	-	-	19
令和5年 第1回定例会	2.22	3.30	37	5	1	-	1	-	1	※18	19	-	7	-	-	47
計			116	21	3	-	1	7	12	33	38	16	16	-	-	126
付議事件のうち否決した件数					-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※審議中の撤回1件を含む。

#### 2 常任委員会の開催・審査状況（議会情報化を除く。）

委員会名	開催・審査日数	付 託 件 数					計
		条 例	予 算	決 算	請 願	そ の 他	
	日	件	件	件	件	件	件
総務文教	24 (10)	18 (審査中の撤回1件含む)	-	-	2	3	23
産業建設福祉	18 (10)	7	-	-	-	5	12
予 算	11 (0)	-	32	-	-	-	32
決 算	7 (0)	-	-	16	-	-	16
計	60 (20)	25	32	16	2	8	83

※開催・審査日数の( )内は閉会中の審査で内数、所管事務調査日を含む。

#### 3 常任委員会における所管事務調査

各委員会で決定したテーマについて、執行部担当部署や関係団体との意見交換等を実施し報告書をまとめ、6月定例会本会議(令和4年6月3日)において委員長が所管事務調査報告を行い、同報告書を市長に提出した。

(1) 総務文教委員会

テーマ 「持続可能な地域公共交通について」

(2) 産業建設福祉委員会

テーマ 「新型コロナウイルス禍の現状と対策について」

4 議会情報化委員会の開催状況

年月日	主 な 内 容
R4. 4. 4	・議会だよりNo.107の発行について
R4. 4. 15	・議会だよりNo.107の校正について ・市民と議会の懇談会について
R4. 4. 26	・議会だよりNo.107の最終校正について ・市民と議会の懇談会について
R4. 6. 3	・議会だよりNo.108の発行について
R4. 7. 20	・正副委員長の互選について ・閉会中も審査及び調査を継続するの件について
R4. 7. 20	・編集マニュアルの確認について ・議会だよりNo.108の発行について
R4. 7. 28	・議会だよりNo.108の校正について
R4. 8. 4	・議会だよりNo.108の最終校正について ・市民と議会の懇談会（地域）について
R4. 8. 19	・市民と議会の懇談会について
R4. 8. 30	・市民と議会の懇談会について
R4. 9. 8	・議会だよりNo.109の発行について ・市民と議会の懇談会について ・閉会中も審査及び調査を継続するの件について
R4. 9. 15	・市民と議会の懇談会について
R4. 9. 30	・市民と議会の懇談会について
R4. 10. 6	・市民と議会の懇談会について
R4. 10. 11	・議会だよりNo.109の発行について ・市民と議会の懇談会について
R4. 10. 13	・市民と議会の懇談会について
R4. 10. 21	・市民と議会の懇談会について
R4. 10. 24	・議会だよりNo.109の校正について
R4. 11. 1	・議会だよりNo.109の最終校正について
R4. 11. 30	・市民と議会の懇談会について
R4. 12. 7	・議会だよりNo.110の発行について ・市民と議会の懇談会（地域）のまとめについて ・市民と議会の懇談会（団体）の実施について
R4. 12. 12	・市民と議会の懇談会について ・閉会中も審査及び調査を継続するの件について
R4. 12. 19	・市民と議会の懇談会（地域）のまとめについて
R4. 12. 27	・議会だよりNo.110の発行について ・懇談会の反省について
R5. 1. 16	・議会だよりNo.110の校正について ・市民と議会の懇談会について
R5. 1. 23	・議会だよりNo.110の最終校正について ・市民と議会の懇談会について
R5. 2. 6	・市民と議会の懇談会について
R5. 3. 2	・議会だよりNo.111の発行について ・懇談会の見直しについて ・閉会中も審査及び調査を継続するの件について

## 5 議会運営委員会の開催状況

年月日	主 な 内 容
R4. 4. 4	・ 請願に対する討論内容について
R4. 4. 18	・ 令和4年第2回(4月)臨時会の日程について ・ 令和4年第2回(4月)臨時会の運営について
R4. 4. 28	・ 予算委員会での発言について
R4. 5. 19	・ 公共施設再編及びまちづくり調査研究特別委員会及び所管事務調査の報告について ・ 令和4年第3回(6月)定例会の日程について ・ 令和4年第3回(6月)定例会の運営について
R4. 7. 20	・ 正副委員長の互選について ・ 閉会中も審査及び調査を継続するの件について
R4. 7. 29	・ 令和4年第5回(8月)臨時会の日程について ・ 令和4年第5回(8月)臨時会の運営について ・ 予算委員会の運営について ・ 令和4年第6回(9月)定例会の日程について
R4. 8. 25	・ 予算委員会・決算委員会総括質疑について ・ 令和4年第6回(9月)臨時会の日程について ・ 令和4年第6回(9月)臨時会の運営について ・ 予算委員会の運営について ・ 決算委員会の運営について
R4. 9. 7	・ 令和4年第6回(9月)定例会の運営について ・ 予算委員会の運営について
R4. 9. 28	・ 宮津市議会会議規則等の一部改正について ・ 令和4年第6回(9月)定例会第4日の運営について
R4. 10. 4	・ 宮津市議会会議規則の一部改正について ・ 議会活性化特別委員会の設置について ・ 令和4年第6回(9月)定例会最終日の運営について ・ 令和4年第7回(12月)定例会の日程について ・ 閉会中も審査及び調査を継続するの件について
R4. 10. 6	・ 議会活性化特別委員会の設置について ・ 令和4年第6回(9月)定例会最終日の運営について
R4. 11. 25	・ 予算委員会総括質疑について ・ 令和4年第7回(12月)定例会の日程について ・ 令和4年第7回(12月)定例会の運営について ・ 予算委員会の運営について ・ 請願の委員会付託先について ・ 常任委員会視察報告会について ・ 宮津市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について ・ 令和5年第1回(3月)定例会の日程(案)について
R4. 12. 7	・ 一般質問における発言について
R4. 12. 9	・ 宮津市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について
R4. 12. 21	・ 宮津市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について ・ 「議第86号 宮津市個人情報保護法施行条例の制定について」に対する修正動議について ・ 令和4年第7回(12月)定例会最終日の運営について ・ 一般質問の日程の検討について ・ 令和5年第1回(3月)定例会の日程について ・ 閉会中も審査及び調査を継続するの件について
R5. 2. 17	・ 請願の訂正申し出について ・ 令和5年第1回(3月)定例会の日程について ・ 令和5年第1回(3月)定例会の運営について ・ 予算委員会の運営について ・ 請願の委員会付託先について ・ 宮津市個人情報保護法施行条例の一部改正について

	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮津市議会の個人情報の保護に関する条例施行規程の制定について</li> </ul>
R5. 3. 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年第1回(3月)定例会第4日の運営について</li> <li>令和5年第1回(3月)定例会の日程について</li> <li>宮津市個人情報保護法施行条例の一部改正について</li> <li>宮津市議会の個人情報の保護に関する条例施行規程の制定について</li> <li>宮津市議会事務局規程の一部改正について</li> </ul>
R5. 3. 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年第1回(3月)定例会最終日の運営について</li> <li>令和5年第2回(6月)定例会の日程(案)について</li> <li>令和6年第1回(3月)定例会の日程(素案)について</li> <li>閉会中も審査及び調査を継続するの件について</li> </ul>

## 6 特別委員会の開催状況

### (1) 議会活性化特別委員会

年月日	主 な 内 容
R4. 4. 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月定例会予算委員会の反省点について</li> </ul>
R4. 6. 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算委員会での発言等について</li> </ul>
R4. 10. 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>正副委員長の互選について</li> <li>閉会中も審査及び調査を継続するの件について</li> </ul>
R4. 11. 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX推進に係る検討事項について</li> </ul>
R4. 11. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX推進に係る検討について</li> </ul>
R4. 12. 21	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX推進に係る検討について</li> <li>閉会中も審査及び調査を継続するの件について</li> </ul>
R5. 1. 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>視察に係る質問事項について</li> </ul>
R5. 3. 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX推進に係る検討について</li> <li>閉会中も審査及び調査を継続するの件について</li> </ul>

### (2) 公共施設再編及びまちづくり調査研究特別委員会

年月日	主 な 内 容
R4. 5. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設再編及びまちづくり調査研究特別委員会調査報告について</li> </ul>

## 7 全員協議会の開催状況

年月日	主 な 内 容
R4. 5. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>天橋立名勝100年・特別名勝70年記念事業『田中彩子 モノオペラ「細川ガラシヤ」天橋立公演』の開催について</li> </ul>
R4. 7. 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>議長候補者所信表明</li> </ul>
R4. 7. 20	<ul style="list-style-type: none"> <li>副議長候補者所信表明</li> </ul>
R4. 8. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>関西電力(株)宮津エネルギー研究所に係る状況について</li> </ul>
R4. 9. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>『宮津市過疎地域持続的発展計画』(令和3年度～令和7年度)の変更について</li> </ul>
R4. 10. 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮津市プラスチック等資源循環促進条例(仮称)について</li> </ul>
R4. 12. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>未来の庁舎を考える市民会議提案及び庁舎に関する市民アンケート結果について</li> <li>宮津市DX推進計画の策定について</li> <li>第3期宮津市スポーツ推進計画の策定について</li> <li>公の施設に係る令和5年度からの指定管理者の指定に向けて</li> <li>一般廃棄物(し尿)処理手数料の見直しについて</li> <li>宮津市公共下水道使用料金の見直しについて</li> <li>宮津市学校施設等の在り方検討委員会の提言について</li> </ul>
R5. 2. 22	<ul style="list-style-type: none"> <li>関西電力(株)宮津エネルギー研究所に係る状況について</li> <li>島崎ウォーターフロントエリアの再開発に係る調査結果と今後の対応について</li> <li>市有地売却による民間活用計画の進捗状況について</li> <li>宮津市学校施設長寿命化計画及び学校施設整備年次計画について</li> </ul>
R5. 3. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>丹後地区土地開発公社の今後のあり方について</li> <li>宮津市市税条例の一部改正に係る専決処分の予定について</li> </ul>

・宮津市国民健康保険税条例の一部改正に係る専決処分の予定について
----------------------------------

## 8 議会傍聴者数

区 分	傍聴者	区 分	傍聴者
令和4年第2回(4月)臨時会	0人	令和4年第6回(9月)定例会	49人
令和4年第3回(6月)定例会	30人	令和4年第7回(12月)定例会	46人
令和4年第4回(7月)臨時会	4人	令和5年第1回(3月)定例会	34人
令和4年第5回(8月)臨時会	8人		
計			171人

## 第4節 議員提出案件・請願

### 1 議員提出案件

議案番号	件名	議決年月日	議決結果
令和4年市議第1号	宮津市議会委員会条例の一部改正について	R4. 7. 20	原案可決
市議第2号	宮津市議会会議規則の一部改正について	R4. 10. 6	原案可決
市議第3号	宮津市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	R4. 12. 23	原案可決
令和5年市議第1号	議第42号 宮津市学校給食費徴収条例の一部を改正する条例に対する附帯決議(案)	R5. 3. 30	原案可決
市議第2号	宮津市個人情報保護法施行条例の一部改正について	R5. 3. 30	原案可決

### 2 請願

請願番号	件名	請願者	議決年月日	議決結果
請願第1号	「インボイス制度実施中止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書	宮津市字川向 1456 与謝民主商工会 会長 和田 裕之	R5. 3. 30	継続審査
請願第2号	ゲノム編集とらふぐのふるさと納税返礼品に関する請願書	宮津市字新宮 199 井口裕子 宮津市字日置 2034 矢野めぐみ	R5. 3. 30	継続審査

## 第5節 行政視察

### 1 管外行政視察

委員会名	期 間	視察先	視 察 事 項
総務文教	R4. 4. 13	京都府福知山市	持続可能な地域公共交通について
総務文教	R4. 11. 8	長野県駒ヶ根市	・移住定住施策について
	R4. 11. 9	長野県原村	・移住定住施策について
産業建設福祉	R4. 11. 14	石川県能美市	・在宅高齢者福祉サービスについて
	R4. 11. 16	長野県箕輪町 新潟県糸魚川市	・在宅高齢者福祉サービスについて ・在宅高齢者福祉サービスについて
議会活性化	R5. 2. 10	京都府舞鶴市	議会における ICT 活用(タブレット端末導入)について

### 2 他市町村議会議員の宮津市への行政視察

#### (1) 受入状況

5団体 39人

視察事項	件 数
福 祉 政 策	2 (0)
観 光 政 策	1 (1)

交通政策	1 (0)
議会運営	1 (0)
計	5 (1)

※( )内は、会派の行政視察で内数

(2) 視察料金収入状況

件数	金額
5団体39人	30,000円

※基本額 2,000 円/団体 加算額 500 円/人を徴収。京都府内の議員及び市町村職員は免除。

(当日 1 名キャンセル分含む。)

## 第 6 節 議員研修

議会の責務と役割の重要性を認識し、議員としての視野を広げ見識を深めるため、一般財団法人自治研修協会の共催で議員研修会を開催した。

- <日 時> 令和 4 年 8 月 18 日(木) 午後 2 時～4 時
- <場 所> みやづ歴史の館 文化ホール
- <受研者> 京都府北部 5 市 2 町議会議員 83 人 (うち宮津市議会議員 13 人)
- <演 題> 効果的な質問手法と政策形成への活かし方について
- <講 師> 株式会社地方議会総合研究所 代表取締役 廣瀬 和彦 氏

## 第 7 節 議員研修 (議員派遣)

開催日	件名	内 容	場 所	受研者
R4. 8. 5	福知山市議会議員研修会	人口減少時代における地方議会の役割 株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役 関 幸子氏	ハピネスふくちやま (福知山市)	14 人
R4. 8. 24	市町村 1 期目議員研修会	議員にとっての自治体議会の取扱説明書 東京大学法学部教授 金井 利之氏 「住民自治の根幹」としての議会を作動させる 対話の民主主義へ ー新任議員に期待することー 中央学院大学社会システム研究所 教授 福嶋 浩彦氏	(オンライン受講)	3 人
R5. 2. 3	京都府議会・市町村議会正副議長合同研修会	「あたたかい京都づくり」をめざして 京都府知事 西脇 隆俊 氏	ホテルグランヴィア京都 (京都市)	3 人
R5. 2. 9	舞鶴市議会議員研修会	住民意見の聴取と政策形成について 青森大学社会学部教授 佐藤 淳 氏	舞鶴市商工観光センター	13 人
R5. 2. 10	市町村トップセミナー	政治の行方を展望する ～近づく統一地方選～ 時事通信社 解説委員 山田 恵資 氏	(オンライン受講)	1 人
R5. 2. 16	京丹後市議会議員研修会	持続可能な地域社会を目指して ～診断と合意形成の進め方 一般社団法人持続可能な地域社会総合 研究所所長 藤山 浩 氏	アグリセンター大宮 (京丹後市)	13 人

## 第 8 節 市民と議会の懇談会 (議会報告会)

改選後初の懇談会は、一人でも多くの市民の声を聴くため、例年どおり各地区での開催に加え、子育て世代を対象とした懇談会も開催した。



### 1 団体対象

開催日	相手方	開催場所	担当委員会	参加者数(人)
R5. 1. 23	宮津市地域女性の会	宮津市役所 第5会議室	総務文教	7
R5. 1. 30	宮津市食生活改善推進員協議会	福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム	産業建設福祉	8
計	2団体			15

### 2 一般市民対象（各地区開催）

開催日	開催場所	担当班	参加者数(人)
R4. 10. 26	栗田地区公民館	1班	29
	由良地区公民館	2班	13
R4. 10. 27	養老地区公民館	1班	9
R4. 10. 28	日ヶ谷地区公民館	1班	8
	世屋地区公民館	2班	10
R4. 10. 29	府中地区公民館	1班	10
	日置地区公民館	2班	18
R4. 10. 30	福祉・教育総合プラザ	2班	17
R4. 10. 31	吉津地区公民館	2班	14
R4. 11. 1	上宮津地区公民館	1班	20
計	10会場		148

班編成（◎：班長）

1班	◎久保浩、堀未季、松浦登美義、小濃孝之、坂根栄六、星野和彦、長本義浩
2班	◎宇都宮綾、幾世恭典、河原末彦、松本隆、安田裕美、横川秀哉、徳本良孝

### 3 子育て世代対象

開催日	開催場所	担当	参加者数(人)
R4. 10. 30	福祉・教育総合プラザ	全議員	6

## 第9節 みやづ市議会だよりの発行

宮津市議会の活動状況等を市民に周知するため、年4回の定例会後に議会だよりを発行し、各戸及び関係機関に配布した。当初予算（3月定例会）と決算認定（9月定例会）審査記事を掲載する号は、ページ数を増やし、議会（審議）の見える化を図った。議員による取材記事や市民の声の掲載、議案に対する賛否状況の公表など、市民に親しみやすく、わかりやすい紙面構成に努めた。

発行経費(年間) 975,150円

発行部数(1回当たり) 7,500部